

平成31年度

# 事業別予算概要説明書

(安曇野市議会基本条例第11条関係資料)

安曇野市



# 目 次

重点化施策	……	1	頁		
事業別予算概要説明	……	2			
一般会計					
議会事務局	……	5			
総務部					
総務課	……	8			
契約検査課	……	16			
職員課	……	18			
危機管理課	……	19			
人権男女共同参画課	……	24			
政策部					
政策経営課	……	28			
秘書広報課	……	33			
情報統計課	……	35			
財政部					
財政課	……	45			
税務課	……	50			
収納課	……	52			
財産管理課	……	53			
総合体育館建設推進課	……	58			
市民生活部					
地域づくり課	……	60			
市民課	……	67			
環境課	……	68			
廃棄物対策課	……	74			
穂高地域課	……	79			
三郷地域課	……	82			
堀金地域課	……	85			
明科地域課	……	88			
福祉部					
長寿社会課	……	93			
福祉課	……	100			
子ども支援課	……	109			
保健医療部					
健康推進課	……	138			
介護保険課	……	153			
国保年金課	……	155			
農林部					
農政課	……	159			
耕地林務課	……	180			
				商工観光部	
				商工労働政課	…… 196
				観光交流促進課	…… 205
				都市建設部	
				監理課	…… 215
				建設課	…… 224
				都市計画課	…… 232
				建築住宅課	…… 238
				上下水道部	
				経営管理課	…… 244
				会計課	…… 247
				教育部（教育委員会）	
				学校教育課	…… 249
				生涯学習課	…… 274
				文化課	…… 289
				図書館交流課	…… 296
				監査委員事務局	…… 300
				選挙管理委員会事務局	…… 302
				農業委員会事務局	…… 308
				公平委員会事務局	…… 311
				特別会計	
				国民健康保険特別会計	…… 316
				後期高齢者医療特別会計	…… 355
				介護保険特別会計	…… 362
				上川手山林財産区特別会計	…… 389
				北の沢山林財産区特別会計	…… 393
				有明山林財産区特別会計	…… 396
				富士尾沢山林財産区特別会計	…… 399
				穂高山林財産区特別会計	…… 402
				産業団地造成事業特別会計	…… 405
				有明荘特別会計	…… 407



**【重点化施策】**

下図のうち網掛け部分は、第2次総合計画の基本施策のなかで実施計画において重点化施策として示された「積極的に強化すべき12施策」及び「最適化に向け見直すべき3施策」です。各重点化施策の右側の番号は、前期基本計画の重点施策に紐づく番号を掲載しています。

基本構想		前期基本計画				
将来都市像	基本目標	基本方針	基本施策（網掛け部分はH31年度の重点化施策）	前期基本計画 重点施策		
「北アルプスに育まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」	計画の実現に向けて	基本計画の推進に当たっての経営方針	方針1 協働によるまちづくりの推進			
			方針2 広報・広聴の充実			
	方針3 地域情報化の推進					
	方針4 質の高い行政経営の推進					
	方針5 健全財政の堅持					
	1 いきいきと健康に暮らせるまち	1-1 健康を大切に するまち	1-1-1 <b>健康づくりの推進</b> (1)		(1) 健康長寿のまちづくり	
			1-1-2 地域医療の充実			
		1-2 一人ひとりが大切に されるまち	1-2-1 <b>高齢者福祉の充実</b> (1)			(2) 活かに満ちた産業があるまちづくり
			1-2-2 障がい者福祉の充実			
			1-2-3 生活困窮者への支援			
			1-2-4 人権の尊重			
	1-3 安心して暮らせる まち	1-3-1 地域福祉の推進				
		1-3-2 <b>出産・子育て支援の充実</b> (3)				
	2 魅力ある産業を 維持・創造するまち	2-1 農林水産業を 振興するまち	2-1-1 <b>農業の振興</b> (6)		(3) 出産・子育て環境が充実したまちづくり	
			2-1-2 林業の振興			
			2-1-3 水を活用した産業の振興			
		2-2 商工観光業を 振興するまち	2-2-1 商業の振興			
			2-2-2 工業の振興			
			2-2-3 労働・雇用対策の推進			
	2-3 ブランドの創出に 取り組むまち	2-2-4 <b>観光の振興</b> (6)				
2-3-1 戦略的な地域ブランドの創出						
2-3-2 <b>安曇野ブランド発信の強化</b> (2)	3 自然環境を 大切に するまち	3-1 自然と共存・共生 するまち	3-1-1 自然環境の保全	(4) 豊かな人を育むまちづくり		
			3-1-2 快適な生活環境の創造			
3-2 環境を守るまち		3-2-1 <b>水環境の保全・強化・活用</b> (2)				
		3-2-2 環境負荷の軽減				
		3-2-3 地球温暖化対策の推進				
4 安全・安心で 快適なまち		4-1 災害に強いまち	4-1-1 <b>防災体制の充実</b> (6)			(5) 防災力・減災力の強化に向けたまちづくり
	4-1-2 消防・救急体制の充実					
	4-1-3 治山・治水事業の推進					
	4-2 事件・事故を防ぐ まち	4-2-1 防犯・交通安全の推進				
		4-2-2 消費者保護の推進				
	4-3 住みやすさを感じる まち	4-3-1 秩序あるまちづくりの推進				
		4-3-2 <b>景観の保全と育成の推進</b> (5)				
		4-3-3 <b>良質な住環境の整備</b> (5)				
		4-3-4 安定した水道・下水道事業の運営				
		4-3-5 <b>移住・定住の促進</b> (2)				
4-4 利便性の高いまち	4-4-1 道路整備の推進					
	4-4-2 公共交通の充実					
5 学び合い 人と文化を はぐくむまち	5-1 子どもが健やかに 育つまち	5-1-1 <b>学校教育の充実</b> (4)		(6) 基本計画推進に 当たっての経営方針  〔最適化に向け 見直すべき施策〕		
		5-1-2 青少年の健全育成				
	5-2 生涯を通じて 学び合うまち	5-2-1 <b>生涯学習の推進</b> (4)				
		5-2-2 <b>スポーツ活動の充実</b> (4)				
	5-3 文化を創り育むまち	5-3-1 芸術文化活動の推進				
		5-3-2 <b>交流活動の推進</b> (4)				

# 事業別予算概要説明

# 一般会計





# 議会議務局

予算書ページ	52
--------	----

重点施策	—	コード	011401100
		課・係等	議会事務局 庶務係

予算	款	01	議会費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	議会費		基本方針	基本計画の推進に当たっての経営方針
	目	01	議会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0101010	議会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	253,513	0	0	0	0	253,513
前年度	249,348	0	0	0	0	249,348
増減額	4,165	0	0	0	0	4,165

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市議会(本会議、常任委員会、特別委員会)の運営、議会改革の取組み、政務活動費の交付ほか

【効果】

・議会報告会を実施することにより、直接市民と対話ができ、市民の思いや考えを伺えとともに議会活動への理解を得る場ともなる。  
 ・議会改革の取組みとして、研修会等を通じ政策提言への取組みを一層推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・議会改革推進委員会を中心に、平成26～30年度に開催した議会報告会の反省等を踏まえ、次年度の開催に向けてどのような論点で議会報告会を運営するか、また、そのための資料作成を行う。  
 ・独自の議員研修会を開催し、議会としての政策提言の実現に向けて、積極的に取り組む。  
 ・常任委員会・特別委員会・議会運営委員会・議会改革推進委員会のそれぞれの観点における視察研修を行い、先進地での取組みなどを参考に政策提言などの議会活動の充実を図っていく。

【詳細事業内訳】

議会費 253,513千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	96,504	議員報酬 96,504千円	11	需用費	4,609	議会だより印刷費 2,910千円
02	給料	26,088	職員給料 26,088千円	12	役務費	135	インターネット回線使用料 82千円
03	職員手当等	52,494	議員期末手当 37,717千円	13	委託料	13,418	会議録調整業務 9,820千円 会議録配信業務 1,677千円
04	共済費	45,216	議員共済組合給付金 36,592千円	14	使用料及び賃借料	3,859	議長車借上料 1,087千円 映像配信システム使用料 1,374千円
08	報償費	502	議員研修会講師謝礼 150千円 議会傍聴者託児謝礼 44千円	18	備品購入費	223	議員図書室PC更新 190千円 議員図書室図書 33千円
09	旅費	6,663	議員出張・委員会視察研修外の費用弁償 4,916千円	19	負担金補助及び交付金	3,622	全国議長会他負担金 982千円 政務活動費 2,640千円
10	交際費	180	議長交際費 180千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	・議会だより印刷製本費 ・会議録調製業務 ・会議録配信業務 ・議会映像配信ASPシステム使用	議会の審議概要などについて年4回広報紙を発行する。本会議や委員会の会議録を作成するとともに、会議録や本会議のライブ中継及び録画映像をインターネットを通じて配信し、市民に開かれた議会運営に努める。	11	需用費	2,910
				13	委託料	9,820
				13	委託料	1,677
				14	使用料及び賃借料	1,374
					計	15,781
2					計	0

# 総務部

重点施策	—		コード	010101100		予算書ページ	56
			課・係等	総務課 行政管理係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進	
	事業	0102010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	943,827	21	1,372	0	69,501	872,933
前年度	911,448	23	1,157	0	61,001	849,267
増減額	32,379	△2	215	0	8,500	23,666

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	自衛官募集事務委託金	21	21	派遣職員給与費負担金	69,500				
16	特例処理事務交付金	1,362								
16	住宅新築資金県補助金	10								
18	指定寄附金	1								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費と総務課の一般管理費、平和都市宣言事業及び固定資産評価審査委員会事務に係る経費を計上する。  
**【効果】**  
 ・市の総務部門である総務部、政策部、財政部に従事する職員の人件費を適正に管理できる。  
 ・研修旅費や会議等一般管理経費を計上することで、円滑な行政運営が図れる。  
 ・平和行政の推進に向け、広島平和記念式典へ市内中学生を派遣するほか、平和のつどいを開催することで、市民の平和意識の高揚が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・固定資産評価審査委員会を開催する。(11月)  
 ・平和都市宣言事業を実施する。(市内小中高等学校への事業協力の依頼、広島平和記念式典への中学生派遣事業の実施、平和のつどいの開催等)  
 ・特別職、一般職の人件費の適正な支出を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 941,515千円 平和都市宣言事業 2,283千円 固定資産評価審査委員会事務 29千円

【一般財源増加理由】 総務部門に配置する職員数の増(5人)による給料、職員手当等及び共済費の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	29	固定資産評価審査委員会委員報酬(3人)	11	需用費	406	消耗品261千円、食糧費48千円 広島平和記念式典参加体験文集印刷97千円
02	給料	519,168		12	役務費	105	県人会等広告料98千円 広島平和記念式典参加生徒旅行保険7千円
03	職員手当等	253,739		14	使用料及び賃借料	177	広島平和記念式典バス借上料167千円 広島市内バス駐車場使用料10千円
04	共済費	168,068		19	負担金補助及び交付金	86	暴力追放県民センター賛助会費50千円、職員研修負担金34千円 平和首長会議メンバーシップ納付金2千円
07	賃金	25	広島平和記念式典随行、平和のつどい救護等看護師賃金				
08	報償費	217	平和のつどい参加児童・生徒等への記念品188千円 その他29千円				
09	旅費	1,807	広島平和記念式典参加中学生及び随行職員旅費(33人分)1,757千円、職員研修旅費50千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	平和都市宣言事業	広島平和記念式典へ市内中学校7校から代表生徒28人を派遣し、戦争の悲惨さを学び、平和に対する意識の高揚を図る。また、安曇野市平和都市宣言の精神に基づき、安曇野市平和のつどいを開催し、市民の平和に対する意識の醸成を図る。	09	旅費	1,757
				08	報償費	188
				14	使用料及び賃借料	177
				11	需用費	127
					計	2,249
2					計	0

予算書ページ	56
--------	----

重点施策	—	コード	010101100
		課・係等	総務課 行政管理係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102015	寄附採納事務			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	337,897	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	228,711	0	0	0	102,859	125,852
増減額	109,186	0	0	0	101,365	7,821

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと寄附基金利子	4,224							
18	ふるさと寄附金	200,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・ふるさと寄附の趣旨に沿って返礼割合の3割を堅持し、「メイドイン安曇野」にこだわった特産品や製造品をお礼の品として提供する。  
 ・地域産業の振興に向けて魅力的な特産品や製造品をお礼の品として取り揃えとともに、事業の資金調達等を図るために賛同を得られる寄附の募集テーマを設け、広く全国からふるさと寄附を募る。  
 ・前年度に寄附をいただいた方との繋がりを大切にするため、お礼状とともにお礼の品一覧を掲載したパンフレットをお送りする。  
**【効果】**  
 ・自主財源を確保することで、健全財政を堅持できる。  
 ・寄附された方が指定する募集テーマに沿った事業の特定財源として活用することで、一般財源の支出を抑制できる。  
 ・お礼の品として地場産品を提供することで、地域産業の振興と雇用促進に寄与する。  
 ・魅力ある返礼品を媒体にして、安曇野市を全国にPRできる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・お礼の品(特産品)を選定し購入する。  
 ・事務の生産性を高めるため、ふるさと寄附事務を委託する。(礼状発送、返礼品送付手配、コールセンター等)  
 ・寄附サイトやクレジット決済を活用することで、寄附する方の利便性を図る。(ふるさと寄附募集受付サイト使用料、クレジット決済手数料)  
 ・ふるさと寄附基金への積立を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 寄附採納事務 337,897千円

【一般財源増加理由】 ふるさと寄附基金積立金を1億円から2億円に増加したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	274	ふるさと寄附受付事務臨時職員賃金(委託事業への移行処理を含む)(1か月×2人分)				
08	報償費	98,400	ふるさと寄附お礼品(地場産品)				
11	需用費	270	ふるさと寄附募集チラシ印刷(5,000部)				
12	役務費	3,434	広告料550千円 クレジット決済手数料2,884千円				
13	委託料	6,748	ふるさと寄附事務委託料				
14	使用料及び賃借料	24,546	ふるさと寄附募集サイト使用料(ふるさとチョイス50千円、ふるなび24,496千円)				
25	積立金	204,225	ふるさと寄附基金積立金200,000千円 ふるさと寄附基金積立金利子4,225千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010101100		予算書ページ	72
			課・係等	総務課 行政管理係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進	
	事業	0102190	文書管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	75,630	0	113	0	400	75,117
前年度	79,738	0	166	0	400	79,172
増減額	△ 4,108	0	△ 53	0	0	△ 4,055

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	特別児童扶養手当事務委託金	113							
21	コピー等サービス料	400								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・ファイリングシステムを活用し、情報公開制度の基礎となる公文書等の適正管理に努め、業務の効率化を図る。  
 ・文書館及び外書庫に保管している公文書(現用文書)等の貸出や返却を適正に管理する。  
**【効果】**  
 ・ファイリングシステムの活用により、機能的で効率的な文書管理が行える。  
 ・文書の收受、起案、決裁、保存、廃棄までの一連の文書管理サイクルを確立することで、必要文書の保管と量の削減が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・臨時職員により郵便業務、支所間メール便の集配、文書仕分業務等を行う。  
 ・外書庫(豊科書庫、穂高会館内書庫)の維持管理及び書庫内の公文書等の適正な管理を行う。  
 ・公文書等の收受、保存期間別の分類と保管、廃棄、歴史的な重要文書への移管といった文書管理のPDCAサイクルをマネジメントする。

**【詳細事業内訳】**  
 文書管理事務 72,518千円 ファイリングシステム事務 2,454千円 書庫管理 658千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,542	郵便業務、庁舎間メール便業務等(2人分)				
11	需用費	1,368	受付印等事務用品404千円、ファイリング消耗品841千円、外書庫修繕及び電気料123千円				
12	役務費	68,403	郵便料67,253千円、宅配料1,150千円				
13	委託料	2,317	文書廃棄169千円、ファイリングシステム維持管理支援1,613千円、外書庫管理535千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	ファイリングシステム事務	文書の個人管理を組織管理(共有化)とするために導入したファイリングシステムを維持するため、専門家による業務の検証と指導を委託することで、機能的で効率性の高い文書管理の定着と維持を図る。	13	委託料	1,613	
				11	需用費	841	
					計	2,454	

重点施策	—		コード	010101200		予算書ページ	72
			課・係等	総務課 法務コンプライアンス係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	02	文書広報費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進	
	事業	0102195	法務管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,901	0	0	0	0	4,901
前年度	3,389	0	0	0	0	3,389
増減額	1,512	0	0	0	0	1,512

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・議案等の調整や法規事務に係る予算を適正に管理するため、一般管理費等から議案の印刷製本や例規システム等維持管理費など、議案等の調整や法規事務に関する経費を抜き出し整理した。

【効果】

・例規の制定改廃に際して、例規総合管理システム等を効果的に活用することで、職員自身の例規立案能力の向上が図れる。  
 ・正確な議案等の作成に努めることで、円滑な議会運営に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・議会定例会(6月・9月・12月・3月・臨時)の議案、予算書等の印刷製本を行う。
- ・例規総合管理システム及び例規集データベース等の維持管理を行う。
- ・地方自治関係実例判例集等の追録を行う。

【詳細事業内訳】

法務管理事務 4,901千円

【一般財源増加理由】 最高裁判所・法曹時報検索システムを追加したことによる使用料の増額。(平成30年度9月補正)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	76	職員研修旅費				
11	需用費	1,038	消耗品費171千円(法規関係図書・追録) 印刷製本費867千円(議案・予算書等)				
12	役務費	27	官報閲覧				
13	委託料	2,763	例規総合管理システム、例規集データベース運用保守等				
14	使用料及び賃借料	928	判例体系等検索システム利用料、コンシェルジュデスク維持管理料等				
19	負担金補助及び交付金	69	職員研修負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	78
--------	----

重点施策	—	コード	010101100
		課・係等	総務課 行政管理係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102310	行政改革			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	455	0	0	0	0	455
前年度	338	0	0	0	0	338
増減額	117	0	0	0	0	117

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・第2次市総合計画の実現に向け、事務の効率化や生産性の向上、健全財政の維持等を推進するために、第4次市行財政改革大綱・実施計画を策定する。
- ・平成31年度に指定期間が終了する公の施設及び平成32年度から新たに指定する公の施設の指定管理者を選定する。

【効果】

- ・第4次行財政改革大綱・実施計画(平成32年度から5年間)に沿った行政改革を着実に推進することで、効率的でスリム化した行財政運営が行える。
- ・専門的な知見を有した審査委員による指定管理者の公正な選定及び管理の適正な評価を受けることで、利用者の利便性が担保されるとともに、施設の維持管理経費等が節減できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政改革推進委員会への諮問から市長への答申を経て、第4次行財政改革大綱・実施計画の策定及び公表を行う。
- ・行政改革推進委員会に第3次行政改革大綱・実施計画の進捗状況を報告し意見を求める。
- ・公の施設指定管理者審査委員会を開催し、募集要項及び応募団体等の審査等を行うとともに、モニタリング評価を実施し、指定管理者による管理を検証する。

【詳細事業内訳】

行財政改革大綱・実施計画進行管理事業 252千円 公共施設管理方針調整事業 203千円

【一般財源増加理由】 第4次行財政改革大綱実施計画の策定に伴う行政改革推進委員会の開催数の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	455	行政改革推進委員会委員報酬252千円 公の施設指定管理者審査委員会委員報酬203千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010101200
課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算書ページ	92
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	11	諸費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102420	諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,405	0	0	0	0	2,405
前年度	2,321	0	0	0	0	2,321
増減額	84	0	0	0	0	84

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市の行政運営における法的問題に適正かつ迅速に対応するため、弁護士より専門的見地からの助言と指導を受ける。  
 ・市に係る係争事件の口頭弁論対応と早期解決を図るため、訴訟代理人との間で弁護委託を行う。  
**【効果】**  
 ・法的な問題を適正かつ早期に解決することで、職員の法的知識のスキルアップと市民に信頼される行政運営が図れる。  
 ・専門的見地から指導、助言を受けることで職員負担の軽減と的確な対応が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・行政運営上の法的問題等の早期解決を図るため、顧問弁護士を選任する。(3人)  
 ・係争事件に係る訴訟代理人弁護士の口頭弁論出廷に要する、日当や旅費等の諸経費の適正な支出を図る。  
 ・弁護士へ助言を求めたり相談する中で、書類作成の必要性が生じた場合の適正な支出に努める。

**【詳細事業内訳】**  
 顧問弁護士及び訴訟等委託事務 2,405千円

【一般財源増加理由】 消費税改正に伴う増額、行政訴訟(許可処分取消請求事件)が高裁へ上告されたことによる諸経費の増額。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	1	弁護士成功報酬				
13	委託料	2,404	顧問弁護士委託料2,188千円 裁判係争等に係る弁護士委託諸経費216千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	12	情報公開費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102450	情報公開管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	215	0	0	0	100	115
前年度	222	0	0	0	100	122
増減額	△7	0	0	0	0	△7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	コピー等サービス料	100							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市が保有する公文書等を積極的に公表することで、情報公開制度の総合的な推進を図り、市政への市民参加を促す。  
 ・市が保有する個人情報を通正に管理することで、個人の権利利益の保護を図る。  
**【効果】**  
 ・公平、公正で開かれた市政運営が行える。  
 ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・情報公開事務の適切な運用を推進する。  
 ・個人情報の適切な取扱いと保護を図る。  
 ・情報公開請求及び個人情報開示請求に係る決定等に対する審査請求があった場合は、「情報公開・個人情報保護審査会」へ諮問すると共に、答申事務を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 情報公開・個人情報開示請求事務 215千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	101	情報公開・個人情報保護審査会委員報酬(5人)								
08	報償費	45	情報公開・個人情報保護審査会答申書作成謝礼								
09	旅費	41	情報公開・個人情報保護審査会委員費用弁償								
11	需用費	28	消耗品費(目隠しテープ)								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010101200
		課・係等	総務課 法務コンプライアンス係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	13	行政不服審査費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102451	行政不服審査会管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	187	0	0	0	0	187
前年度	192	0	0	0	0	192
増減額	△ 5	0	0	0	0	△ 5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市の処分等に対して、市民がその処分等の見直しを求めて不服申立てした際の、簡易迅速かつ公平な審査手続きを定める。
- ・市民の権利と利益の救済を図り、市政の適正な運営を確保する。

【効果】

- ・公平、公正な市政運営を担保する。
- ・市政に対する市民の理解と信頼を深めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・行政不服審査事務の適切な運用を推進する。
- ・市の処分等に係る審査請求が生じた場合は、行政不服審査会へ諮問及び答申事務を行う。

【詳細事業内訳】

行政不服審査事務 187千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	101	行政不服審査会委員報酬(5人)				
08	報償費	45	行政不服審査会答申書作成謝礼				
09	旅費	41	行政不服審査会委員費用弁償				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010107100		予算書ページ	60
			課・係等	契約検査課 検査係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0102180	検査管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	180	0	0	0	0	180
前年度	183	0	0	0	0	183
増減額	△ 3	0	0	0	0	△ 3

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・地方自治法に定める契約の履行の確保を図るため、請負金額130万円以上の建設工事、100万円以上の業務委託及び、購入金額50万円以上の物品について、履行確認の検査を行う。  
 ・より質の高い工事の施工を求めると共に、請負業者の育成を図るために、請負金額300万円以上の建設工事を対象に、工事成績評定を実施し、優秀な案件については優良建設工事として表彰を行う。  
**【効果】**  
 ・契約の適正な履行確認を行うことで、健全な自治体経営の推進に寄与する。  
 ・工事成績の評価を行うことにより、より質の高い施工を確保すると共に、請負業者の技術力向上に資する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・規定請負額以上の工事、業務委託及び物品購入について、契約書、仕様書その他関係書類に基づき契約の履行確認の検査を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 検査管理費 180千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	8	優良建設工事表彰記念品(賞状額、手提げ袋)								
09	旅費	54	実務研修会交通費等								
11	需用費	36	優良建設工事表彰式用生花、参考図書代								
12	役務費	18	優良建設工事表彰用表彰状筆耕料								
19	負担金補助及び交付金	64	実務研修会負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010107200
課・係等	契約検査課 契約係

予算書ページ	76
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102260	契約管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	607	0	0	0	0	607
前年度	2,122	0	0	0	0	2,122
増減額	△ 1,515	0	0	0	0	△ 1,515

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・競争性、透明性、公平性を確保し入札及び契約事務を執行する。  
**【効果】**  
 ・速やかな入札執行により、工事や業務委託の事業が円滑に着手される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・一般競争入札を基本とした入札契約の執行を行う。  
 ・物品購入、業務委託等における一般競争入札の試行実施  
 ・電子入札は、長野県が管理するシステムを利用して実施しその負担金を支払っている。電子入札は制限付き一般競争入札の一部で、市内業者を主として実施しているが、対象となる事業件数は少ない状況である。業者が会場に来ることなく入札が行えることが利点の一つであるが、主に市内業者が対象となっているためにその効果は小さなものとなっている。紙による入札でも競争性、透明性、公平性を確保した入札は執行できると考え、紙を用いた入札にして予算の縮減を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 契約管理費 607千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容			
節	節名称	金額		節	節名称	金額	
7	賃金	384	入札参加資格申請受付事務				
9	旅費	56	実務研修会交通費等				
11	需用費	37	事務用品費等				
14	使用料及び賃借料	66	入札情報システム使用料				
19	負担金補助金及び交付金	64	実務研修会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	58
--------	----

重点施策	—	コード	010102100
		課・係等	職員課 職員担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102030	職員管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	863,994	0	0	0	5,596	858,398
前年度	870,676	0	0	0	5,544	865,132
増減額	△ 6,682	0	0	0	52	△ 6,734

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	職員健康診断共済組合補助	49	21	職員駐車場利用料	5,040				
21	市職員互助会非常勤職員社会保険等事業主負担金	260								
21	団体定期保険事務費外	147								
21	共済組合研修会助成	100								

【目的・効果】

【目的】

・市民に信頼され、より質の高いサービスを提供するため、スリムで柔軟な組織・人事制度の構築と適正な職員管理を行う。

【効果】

・効率的かつ弾力的な人員配置により適正な定員管理ができる。

・人事管理の根幹となる人事評価制度及び、職員研修実施計画に基づく研修の実施により、職員の意識改革、職務遂行能力の向上及び組織力の強化と拡充を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】

- ・再任用職員数と将来見込まれる定年延長を見据え、職員採用計画を策定する。
- ・階層別研修を体系的に実施し、職層ごと求められる能力の育成を行い、組織力の拡充と強化を目指す。
- ・女性職員の活躍の推進に向けた取組として、女性ステップアップ(キャリアアップ)研修を実施する。
- ・通信教育への助成及び自主学習応援制度を実施し、自主的な学びへの支援を行う。
- ・職員が心身ともに健康で、安心して働ける職場にするため、健康診断・メンタルヘルス事業等を実施する。
- ・特別職等報酬審議会による審議を行う。
- ・2020年4月1日施行の会計年度任用職員制度移行に伴う整備及び関連システムの改修を行う。
- ・職員の労働時間の適正管理を行うため、認定こども園等の37施設にタイムレコーダーを導入する。
- ・人事評価制度に対する職員の意識の醸成、管理監督職の評価スキルの向上を図るため、職員研修を実施するとともに人事評価結果を人材育成、人事配置等人事管理の基礎として活用する。
- ・処遇への反映については、現在勤勉手当の成績率に反映をしているが、昇給・昇格等への反映も含め拡充を図る。
- ・本庁舎の職員駐車場の管理(借地料、除雪等)

【詳細事業内訳】

職員採用事業 1,633千円 職員管理総務費 844,868千円 職員勤務管理事業 5,508千円 人事評価による人事管理事業 1,549千円 職員駐車場管理運営事業 10,436千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,290	産業医報酬(2人分)、特別職等報酬審議会報酬(10人分)	12	役務費	200	退職者賞状筆耕料、手話通訳
03	職員手当等	132,420	時間外勤務手当、児童手当	13	委託料	18,039	採用試験(1・2次試験、作文)、職員研修、人事給与システム改修、職員健康診断、職員駐車場管理等
04	共済費	231,381	社会保険料、公務災害	14	使用料及び賃借料	9,939	職員駐車場借地料
07	賃金	8,944	正規職員不在時対応分(一般事務3人分)、職員課配置分(2人分)	18	備品購入費	4,796	タイムレコーダー購入
08	報償費	633	採用試験面接官謝礼、退職者記念品	19	負担金補助及び交付金	446,910	職員研修負担金、退職手当負担金、職員互助会負担金、職員自主研修助成金
09	旅費	7,986	職員研修旅費、派遣職員日額旅費				
11	需用費	1,456	事務用品、職員作業服外(ヘルメット・作業服)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	職員管理総務費	人材育成基本方針に掲げる、目指すべき職員像の実現のため、職員研修実施計画を策定し実施することで、職員のやる気と意欲の向上を図り、組織力の拡充と強化を目指す。	09	旅費	815
				13	委託料	1,713
				19	負担金補助及び交付金	1,949
					計	4,477
2	ハード	職員勤務管理事業	認定こども園等37施設にタイムレコーダーを導入し入退庁記録参照システムに反映させることで、所属長による勤怠管理の徹底を図る。	11	需用費	702
				13	委託料	10
				18	備品購入費	4,796
					計	5,508

重点施策	—		コード	010103200		予算書ページ	274
			課・係等	危機管理課 消防防災係			
予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち	
	目	01	常備消防費		基本施策	消防・救急体制の充実	
	事業	0109010	常備消防負担金				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,084,895	0	0	6,134	1,078,761
前年度	1,008,302	0	0	6,345	1,001,957
増減額	76,593	0	0	△ 211	76,804

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	高速自動車道救急支弁金	6,134							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・常備消防の松本広域消防局が行う消防・救急業務が、効率的かつ効果的に行われるよう必要経費(人件費・消防設備費・消防業務費・救急業務費)について、構成団体として応分の負担をする。  
**【効果】**  
 ・松本広域消防局が行う消防・救急業務が的確に実施されることで、市民の生命・財産を災害から守り、安全と安心が確保される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・常備消防分負担金1,075,997千円を支出する(前年度より76,792千円の増)。  
 松本広域消防局通信指令業務の中核機能を担う情報通信機器の部分更新外  
 ・県消防防災航空隊へ負担金として2,763千円を支出する(前年度より12千円の増)。  
 ・『高速自動車国道における救急業務に関する覚書』に基づき、東日本高速道路株式会社及び中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として6,134千円を支出する。

**【詳細事業内訳】**  
 常備消防負担金事業 1,084,895千円

【一般財源増加理由】 常備消防分負担金、県消防防災航空隊負担金の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	1,084,895	県消防防災航空隊負担金、松本広域連合消防費負担金、高速自動車道救急事業支弁金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	

予算書ページ	274
--------	-----

重点施策	—		コード	010103200		
			課・係等	危機管理課 消防防災係		
予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	非常備消防費		基本施策	消防・救急体制の充実
	事業	0109020	非常備消防費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	161,501	0	0	14,500	21,176	125,825
前年度	175,950	0	0	22,700	24,436	128,814
増減額	△ 14,449	0	0	△ 8,200	△ 3,260	△ 2,989

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	消防団員退職報償金	18,329							
21	消防団員等公務災害補償給付金	2,622								
21	消防団員福祉共済	225								
22	防災基盤整備事業	14,500								

【目的・効果】

【目的】

- ・火災時における初期消火活動の充実、強化
- ・多数の人数を必要とする大火、林野火災、地震、風水害等の大規模災害時における消防対応力の強化

【効果】

- ・火災予防、防火意識の高揚及び消防整備の充実など消防対応力の強化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消防組織法第9条に定める消防団の運営
- ・消防団の任務を遂行する為の人員費、物件費等
- ・地域密着性、要員動員力及び即時対応力の面で優れた組織である消防団が、大規模災害時の対応や身近な災害への取り組み等、地域の安全と安心を確保するための活動を行う。
- ・消防団装備を充実強化するため、消防団員服制基準に適合した活動服を3年計画により配備する。(平成31年度:第1ブロック(豊科))
- ・消防車両(可搬ポンプ積載車2台)の更新
- ・消防団組織と消防団員定数等の見直しに関する市長への答申について、平成30年度に引き続き消防委員会で審議する。

【詳細事業内訳】

非常備消防運営事業 127,986千円 分団等運営補助金交付事業 13,800千円 消防団車両更新事業 19,715千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	25,604	消防団員報酬、消防委員報酬	13	委託料	588	消防団幹部研修外運転代行委託、出初式分列行進警備委託
05	災害補償費	2,623	消防団員公務災害補償	14	使用料及び賃借料	609	ポンプ操法大会会場テント外借上料、デジタル簡易無線機電波利用料
07	賃金	1,434	臨時職員賃金	18	備品購入費	19,430	可搬ポンプ積載車2台
08	報償費	44,720	災害・訓練出勤出席謝礼、退団者退職報奨金外	19	負担金補助及び交付金	42,901	消防団退職報奨金掛金、防火用水通水負担金、消防団運営費補助金外
09	旅費	456	消防団幹部等視察研修	27	公課費	966	車検時重量税
11	需用費	19,783	ポンプ用ホース、法被、活動服、車両・可搬ポンプ燃料、ポンプ等修繕外				
12	役務費	2,387	車検・点検時検査費用外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防団車両更新事業	安曇野市消防団車両配備計画報告書(平成23年3月)に基づき、可搬ポンプ積載車(第15分団第2部・第16分団第2部)を更新することで消防団活動の向上が図られる。	18	備品購入費	19,430
				12	役務費	188
				27	公課費	66
				09	旅費	31
					計	19,715
2						
					計	



重点施策	—		コード	010103200		予算書ページ	276
			課・係等	危機管理課 消防防災係			
予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち	
	目	03	消防施設費		基本施策	消防・救急体制の充実	
	事業	0109030	消防施設維持整備事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67,609	0	0	0	0	67,609
前年度	62,932	0	0	0	0	62,932
増減額	4,677	0	0	0	0	4,677

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									(入湯税)	

【目的・効果】

【目的】

- ・地域防災の中心的な役割を果たす消防団活動に対し、初動活動体制の拡充のため、施設等の環境整備を行う。
- ・火災発生時の水利確保のため、防火水槽・消火栓の整備を計画的に行う。

【効果】

- ・火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・消防用水利(防火水槽・消火栓)を整備し、消防団員による円滑な消火活動ができる環境を整えることにより、災害発生時に市民が被る被害の減少を図る。
- ・災害時に防災拠点となる消防団詰所を、消防団員の活動拠点として十分な機能を果たせるように整備する。
- ・第4分団第1部詰所の新築工事及び第6分団第1部詰所の新築に向けた実施設計を行う。

【詳細事業内訳】

消防施設維持整備事業 42,192千円 消防団詰所更新・統廃合事業 25,417千円

【一般財源増加理由】 詰所新築工事実施設計の事業変更、詰所新築に係る工事費の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	9,610	消火栓用ホース外購入、消防団詰所外施設修繕、光熱水費				
12	役務費	54	消防団詰所浄化槽検査手数料、建築確認申請等手数料				
13	委託料	4,561	消防団詰所浄化槽管理委託、消防機材廃棄処分、詰所新築工事施工監理委託、詰所新築工事実施設計				
14	使用料及び賃借料	386	消防施設用地(詰所・警鐘楼敷地外)借地料				
15	工事請負費	29,301	消防団詰所新築工事1棟、ホース乾燥塔設置、防火水槽外撤去、火の見櫓撤去外				
18	備品購入費	945	消火栓用ホース格納箱				
19	負担金補助及び交付金	22,752	消火栓維持管理負担金、消火栓修繕・更新・移設10基、消火栓新設10基				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	消防団詰所更新・統廃合事業	地域の防災拠点となる消防団詰所の新築工事(第4分団第1部)を実施する。市の消防力維持には必要不可欠であり、地域防災力の向上とともに消防団員の士気高揚につながる。	15	工事請負費	21,301
				13	委託料	4,072
				12	役務費	44
				17	公有財産購入費	0
					計	25,417
2					計	

重点施策	—		コード	010103100		予算書ページ	276
			課・係等	危機管理課 危機管理担当			
予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち	
	目	03	消防施設費		基本施策	防災体制の充実	
	事業	0109040	防災無線維持管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,563	0	0	0	0	35,563
前年度	37,583	0	0	2,600	0	34,983
増減額	△ 2,020	0	0	△ 2,600	0	580

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 災害時における市民への情報伝達手段を確保する。
- 平常時から防災行政無線等の設備を維持し、災害時においても適切に機能させる。

【効果】

- 災害に関わる情報や避難情報を、迅速かつ正確に市民に伝達することにより、災害による被害の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 防災行政無線設備として、移動系(統制台、中継2局、移動352局)及び同報系(親局、遠隔制御装置、中継1局、子局236局、Jアラート受信装置)の維持管理を行う。
- コミュニティFM局と連携する緊急割込み放送システムの維持管理を行う。

【詳細事業内訳】

防災行政無線維持整備事業 31,613千円 緊急割込み放送システム維持整備事業 3,950千円

【一般財源増加理由】	Jアラート新型受信機導入による。										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	11,294	無線用品30千円、子局施設等電気料1,522千円、屋外子局等修繕・無線機バッテリー交換9,742千円								
12	役務費	1,617	防災無線用庁舎間専用回線等1,421千円、緊急割込放送用回線等196千円								
13	委託料	22,320	移動系・同報系設備保守業務18,566千円、緊急割込放送システム保守業務3,754千円								
19	負担金補助及び交付金	332	県防災行政無線負担金30千円、無線技士講習会50千円、電波利用料252千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1						計	
2						計	

重点施策	(6)
------	-----

コード	010103100
課・係等	危機管理課 危機管理担当

予算書ページ	278
--------	-----

予算	款	09	消防費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	消防費		基本方針	災害に強いまち
	目	04	災害対策費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0109050	災害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	130,078	0	0	0	4,000	126,078
前年度	146,359	0	0	0	21,000	125,359
増減額	△ 16,281	0	0	0	△ 17,000	719

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○市民の生命・財産を侵害する事態に迅速に対応するため、危機管理体制の充実と計画的な備蓄を実施、自主防災組織活動の強化と市民の防災意識の高揚を図り、防災・減災に取り組むことを目的とする。  
**【効果】**  
 ○「災害に強いまちづくり」の推進。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○安曇野市防災会議の開催(「安曇野市地域防災計画」の見直し)  
 ○防災啓発として市総合防災訓練及び防災講演会を開催して市民意識の高揚を図る  
 ○「地盤と地震動に関する調査」事業の実施、及び防災用品購入補助等を行う  
 ○自主防災組織活動の強化を図るため、「地域自主防災会議」の開催と、資機材整備及び防災訓練等に補助金を交付する  
 ○市民への情報発信手段として重要な「登録制メール配信システム」が平成31年2月で期間満了となるため、3カ月の移行期間と以後の運用・維持を行う  
 ○防災拠点施設として防災広場の維持管理を行う  
 ○備蓄計画に基づき、食料、飲料水、資機材等の備蓄を進める

**【詳細事業内訳】**  
 防災啓発事業 13,424千円 防災情報システム事業 3,773千円 防災計画関連事業 105千円 防災広場管理事業 3,301千円 災害対策総務費 85,644千円  
 防災組織支援事業 5,819千円 災害対策事業 18,012千円

【一般財源増加理由】		節 節名称		金額	節 節名称		金額	主な内容	
01	報酬	105	防災会議 委員報酬		11	需用費	15,922	備蓄品14,155千円、防災訓練消耗・食糧等614千円、防災広場管理用品・光熱水費等993千円、災害対策事務用品160千円	
02	給料	42,797			12	役務費	1,356	電話等通信849千円、トイレ取手数料51千円、自主防アドバイザー保険2千円、防災管理情報ネットワーク回線454千円	
03	職員手当等	23,262			13	委託料	8,904	地盤・地震動調査5,338千円、メール配信システム管理等1,328千円、防災広場清掃業務・芝生維持管理業務等2,238千円	
04	共済費	13,491			14	使用料及び賃借料	3,037	総合防災訓練会場天幕等957千円、メール配信システム1,991千円、地図情報PC89千円	
07	賃金	4,993	防災専門官 賃金		15	工事請負費	1,426	本庁舎災害対策本部室用通信回線延長工事	
08	報償費	300	防災講演会 講師謝礼		18	備品購入費	2,503	備蓄資機材・災害対策本部室用品2,431千円、啓発教材72千円	
09	旅費	81	職員研修等・担当者会議旅費67千円、防災講演会講師旅費14千円		19	負担金補助及び交付金	11,901	防災用品補助6,150千円、自主防活動支援補助5,650千円、災害補償負担95千円、県市長会2千円、防火管理者負担金4千円	

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	防災組織支援事業	地域自主防災会議を開催して組織活動を支援するとともに、全組織において「地区自主防災計画」の策定と防災訓練実施を目指す。	19	負担金補助及び交付金	5,745
				18	備品購入費	72
				12	役務費	2
					計	5,819
2	ハード	防災情報システム事業	現行システムのリース期間満了に伴い、新システムへ移行することにより、緊急情報メール配信の確実性を高める	14	使用料及び賃借料	1,991
				13	委託料	1,328
				12	役務費	454
					計	3,773

重点施策	(4)	コード	010104100			
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	10	人権啓発費		基本施策	人権の尊重
	事業	0102410	人権啓発費			

予算書ページ	90
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,550	0	0	0	625	1,925
前年度	1,930	0	129	0	133	1,668
増減額	620	0	△129	0	492	257

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	厚生住宅使用料	132							
	14	厚生住宅使用料滞納繰越分	1							
	19	国際交流基金繰入金	492							
										625

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・人権意識の高揚のため、学校・地域・職場などのあらゆる場や機会を通じて周知・啓発活動を推進し、いかなる差別も許さない社会の実現を目指す。  
 ・性別や年齢、国籍に関わらず、誰もが地域の一員としてその役割を果たしていくことができる多文化共生の地域づくりを進める。  
**【効果】**  
 ・人権に対する啓発・広報活動を進めることで人権に対する市民の意識の高揚を図り、正しい理解を促進することができる。  
 ・性別や年齢、国籍に関わらず、互いを認め合い、共に助け合う意識の醸成を進めることができる。  
 ・人権擁護団体の育成を図ることにより、協働・連携しながら啓発や相談活動を促進できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・イベントの開催、人権パネルの展示等による啓発の場において、関連団体と協働して人権啓発活動を行う。  
 ・成人式において新成人に対し啓発を行い、人権意識の高揚を図る。  
 ・法務局、人権擁護委員による「人権特設相談所」の開設を支援し、人権に関する市民相談の機会を設ける。  
 ・法務局、保護司会と共に「社会を明るくする運動」に参加・支援する。  
 ・国籍等による文化や習慣の違いに対する理解を深めるため、多文化共生を推進する団体等に事業補助し、協働して事業を実施する。  
 (政策経営課より移管)  
 ・社会教育担当と連携し「企業人権啓発事業」を推進する。  
 ・矯正施設所在自治体会議に参加し「再犯防止支援事業」に協力する。  
 ・警察や支援団体が実施する「犯罪被害者支援事業」に参加・協力する。

**【詳細事業内訳】**  
 人権啓発費 2,550千円

【一般財源増加理由】 国内友好交流推進団体補助金を政策経営課から移管したため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	53	人権擁護審議会委員報酬				
08	報償費	10	中学生人権作文コンテスト受賞者記念品				
09	旅費	20	人権施策関連集会参加職員旅費				
11	需用費	247	人権啓発用品、人権特設相談所賄い				
12	役務費	300	講師紹介手数料				
14	使用料及び賃借料	2	駐車場使用料				
19	負担金補助及び交付金	1,918	人権擁護委員、犯罪被害者支援負担金、矯正施設所在自治体会議負担金、同和対策推進団体補助金、国内友好交流推進団体補助金、保護司会交付金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	人権啓発事業(人権啓発費)	イベントの開催や人権パネル展示等による啓発、新成人への啓発等、様々な機会を通じて人権意識の高揚を図り、一人ひとりが平等な立場で個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を図る。	11	需用費	203
				12	役務費	300
					計	503
2					計	0

重点施策	(3)	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	04	男女共同施策費		基本施策	人権の尊重
	事業	0103220	男女共同推進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	956	0	0	0	0	956
前年度	989	0	0	0	0	989
増減額	△ 33	0	0	0	0	△ 33

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・男女が互いにその人権を尊重し責任を分かち合い、性別によって制約されることがなく、個性と能力を充分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を目指す。

【効果】

- ・国・県・市の施策を事業者や推進関係団体と連携・協働することで、市民の男女共同参画の意識を高めることができる。
- ・女性の社会活動を推進するため、自らの意識改革に向けた啓発を行うとともに、学習機会を提供する。
- ・第3次男女共同参画計画に沿い、重点的に取り組む課題を明確にして男女共同参画社会の実現を図っていく。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・第3次男女共同参画計画の実施状況審議のため、男女共同参画推進審議会を開催する。
- ・男女共同参画推進関係者による「男女共同参画フォーラム」を開催し、推進団体会員や市民に学習の機会を提供する。
- ・男女共同参画推進団体・男女共同参画コミュニケーターと連携して、若い世代と共に「男女共同参画講座」を開催することにより、世代間交流を図る。
- ・男女共同参画広報紙「湧愛」の発行により、地域や事業者への啓発を進めていく。
- ・企業人権啓発事業とタイアップし、事業者に男女共同参画の推進を啓発する。
- ・各種研修会や国・県主催の事業に参加し、男女共同参画推進のリーダー的人材の育成を図る。

【詳細事業内訳】

男女共同推進費 956千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	133	男女共同参画推進審議会委員報酬	19	負担金補助及び交付金	557	研修会負担金、男女共同参画推進団体補助金
08	報償費	55	男女共同参画講座講師謝礼、フォーラム・講座託児サービス				
09	旅費	53	男女共同参画講座講師旅費、大会参加職員旅費				
11	需用費	35	事務用品、講演会用品				
12	役務費	3	男女共同参画コミュニケーターボランティア保険料				
13	委託料	111	バス運転委託料				
14	使用料及び賃借料	9	駐車場使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	男女共同参画推進事業(男女共同推進費)	男女が共にそれぞれの役割を担いながら、自らの意思で決定し、生涯に亘って参画していける社会を目指し、男女共同参画推進会議、コミュニケーターと共催により、フォーラム、講座を開催する。	08	報償費	55
				11	需用費	11
				12	役務費	3
				19	負担金補助及び交付金	550
					計	619
2					計	0

予算書ページ	138
--------	-----

重点施策	—	コード	010104100
		課・係等	人権男女共同参画課 人権男女共生担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	社会福祉費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	人権同和推進費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	54	0	0	0	0	54
前年度	54	0	0	0	0	54
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・住宅新築資金等貸付事業の債権管理を適正に行う。  
**【効果】**  
 ・債権回収を進めていく。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・納入通知書、催告書等を発送する。  
 ・個別ファイルにより、返済経過、折衝記録の管理を行う。  
 ・債権回収が不可能な事案について、法に照らし、事案別の対応方法の検討を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 住宅新築資金貸付事業 54千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		09	旅費	37	研修会等職員旅費				
		11	需用費	3	参考図書				
		12	役務費	1	登記手数料				
		19	負担金補助及び交付金	13	研修会参加負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

# 政策部

重点施策	(1)	コード	010201100		予算書ページ	80
		課・係等	政策経営課 企画担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	06	企画費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0102320	企画総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,677	150	3,283	0	2,376	19,868
前年度	21,712	150	16	0	200	21,346
増減額	3,965	0	3,267	0	2,176	△ 1,478

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	150	18	ふるさと寄附金	2,000				
16	土地利用規制対策交付金	14								
16	元気づくり支援金	3,269								
17	おためし住宅貸付料	376								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 1 自転車活用推進事業  
 自転車を活用したまちづくりに向け、市民への機運の醸成を図る。  
 2 移住定住促進事業  
 人口減少を抑制し、住んでみたい、住み続けたいと感じてもらえるまちを目指す。  
 3 行政評価と実施計画  
 市民福祉の向上を目指し、最少の経費で最大の効果をあげる。

**【効果】**  
 1 市民を対象に自転車による健康づくりの実証実験を行うことで体力の向上等にどのように作用するかを検証できる。  
 市内にサイクリングコースを設定することで、市民等が自転車に親しむ環境が作れる。  
 2 空き家の利活用の促進と人口の社会増が期待できる。  
 3 行政評価結果を実施計画の策定方針へ的確に反映できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 1 自転車による健康づくりの実証実験とサイクリングコースの設定(3コース程度)。  
 2 空き家調査結果をもとに、環境課との合同により所有者へ利活用や空き家の管理についてお知らせを送る。  
 空き家バンクへ登録している不動産業者への研修会。  
 3 事務事業評価、施策評価を実施し、その結果等をもとに市全体の政策を見渡し、最終評価・分析を行い、重点的に取り組むべき施策や改善すべき課題等を明らかにし、また、市民意識の変化を計る。

**【詳細事業内訳】**  
 広域行政推進事業 16,305千円 松本山雅ホームタウン事業 185千円 地方創生事業 302千円 自転車活用推進事業 4,170千円 移住定住促進事業 4,245千円 企画総務費 470千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	62	市民満足度調査入力事務	18	備品購入費	1,404	自転車活用健康づくり実証実験用活動量計
08	報償費	973	空き家利活用に係る研修会42千円 安曇野暮らし支援協議会とセミナー等協力者396千円 まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議216千円 自転車活用アドバイザー150千円	19	負担金補助及び交付金	16,520	松本広域連合16,291千円
09	旅費	447	移住セミナー関係226千円 地方創生事業関係79千円 自転車活用推進事業関係72千円				
11	需用費	726	移住セミナーとおためし住宅関係411千円 市民満足度調査164千円				
12	役務費	7	移住体験ツアー保険料				
13	委託料	5,215	結婚支援業務2,555千円 サイクリングコース設定関係599千円 自転車活用健康づくり実証実験1,935千円				
14	使用料及び賃借料	323	移住セミナー会場使用料等122千円 安曇野暮らし支援協議会HPサーバー使用料199千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	移住定住促進事業	【事業内容】 1 空き家調査結果をもとに、所有者へ利活用や空き家の管理についてお知らせを送る。 2 空き家バンクへ登録している不動産業者へ空き家物件の取扱いに関する研修会を実施する。 【効果】 市の空き家バンクの体制強化が図れる。	13	委託料	2,631
				08	報償費	437
				11	需用費	411
					その他	766
					計	4,245
2	ソフト	○ 自転車活用推進事業	【事業内容】 1 自転車による健康づくりの実証実験(3か年計画の初年度) 2 サイクリングコースの設定(3か所程度) 【効果】 「自転車を活用したまちづくり」に向け、市民への機運醸成が図れる。	13	委託料	2,534
				18	備品購入費	1,404
				08	報償費	150
					その他	82
					計	4,170



重点施策	(4)	コード	10201300			
		課・係等	政策経営課 交通政策係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	06	企画費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0102330	公共交通事業			

予算書ページ	82
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	82,742	0	0	0	0	82,742
前年度	82,612	0	167	0	65,000	17,445
増減額	130	0	△167	0	△65,000	65,297

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 1 市民の移動手段の確保・維持  
**【効果】**  
 1 市民生活の利便性や質的向上が図れる。  
 2 地域間交流の活性化を促し、市域全体の活性化につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 1 公共交通を維持し、持続可能な運行体制となるよう、地域公共交通協議会において、運行体系、利用料、運行委託単価について協議を行う。利用者の利便性の向上にむけて、運行エリア、新たな運行路線について調査、研究を行う。  
 2 デマンド交通運行管理システムの安定稼働のため、システムセキュリティ機器の更新とシステムカスタマイズを行う。  
 3 「あづみん」等に係る運行車両の更新に伴い市内タクシー事業者2社が購入する車両2台の費用の一部を助成する。  
 4 大系線利用促進輸送強化期成同盟会、中央東線高速化促進広域期成同盟会、篠ノ井線松本地域活性化協議会の事業と連携し、鉄道の利用促進を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 公共交通事業 82,385千円 公共交通連携事業 357千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
8	報償費	8	・先進地視察時土産				
9	旅費	107	・地域公共交通研修会・先進地視察・期成同盟会総会				
11	需用費	10	・事務用品				
13	委託料	889	・デマンドシステムセキュリティ機器更新152千円 ・デマンドシステムカスタマイズ737千円				
14	使用料及び賃借料	2,883	・田沢駅構内使用料14千円・デマンド交通運行管理システム賃借料2,869千円				
19	負担金補助及び交付金	78,845	・安曇野市地域公共交通協議会73,913千円 ・運行車両購入費補助4,600千円 ・中央東線高速化促進期成同盟会外332千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公共交通事業	・地域公共交通網形成計画に基づき事業を行い、持続可能な運行体系と利用者の利便性の向上を図る。 ・運行車両購入費の一部を助成することで、運行事業者の車両買替を促し、市民等利用者の安全・安心の確保を図ることができる。	19	負担金補助及び交付金	78,513
				14	使用料及び賃借料	2,883
				13	委託料	889
					その他	100
					計	82,385
2					計	0

重点施策	—		コード	010201200		予算書ページ	92
			課・係等	政策経営課 都市交流係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	11	諸費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0102430	国内友好交流事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,787	0	0	0	2,080	5,707
前年度	8,815	0	0	0	1,572	7,243
増減額	△ 1,028	0	0	0	508	△ 1,536

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	21	交流事業参加負担金	2,080								2,080

【目的・効果】

【目的】

1 友好都市との連携・交流を深め互いの特性を生かし、市民や企業・地域などの主体による多様な交流の展開を図り、文化交流と人材育成を推進する。

【効果】

友好都市との交流事業をととして、

- 安曇野市の特産品ならびに安曇野市を発信することにより、各都市住民への周知を図り、市内観光事業へつなげることができる。
- 青少年同士の交流をととして、息の長い人的交流が期待できるとともに、様々な経験をとおしての人材育成に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 友好提携を結んでいる各都市へのイベントへ前年度同様参加する。さらに、
- 武蔵野市…隔年で実施している「武蔵野市民ツアー」の開催年度に当たるため、武蔵野市との連絡調整の上、受け入れを実施する。
  - 江戸川区…江戸川区花火大会観覧事業参加者を募集の上実施する。また、江戸川区穂高荘の担当者と調整の上、同施設利用者と安曇野市民の交流事業を企画・実施する。
  - 福岡市東区…例年実施している青少年交流事業で安曇野市が訪問する年度となるため、参加者を募集の上実施する。また、博多どんたく港まつりへの市民参加を募り市民の交流事業として実施する。
  - 三郷市・三郷町…安曇野市で開催する、三郷・安曇野(みさと・さんごう・あづみの)友好都市交流推進協議会を企画運営する。
  - 真鶴町…例年実施している青少年交流事業で安曇野市が訪問する年度となるため、参加者を募集の上実施する。
  - 東金市…東金市の「あづみの探検隊」の受け入れと、東金市への青少年交流事業を実施する。

【詳細事業内訳】

国内友好交流事業 7,787千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	91	青少年交流事業における看護師賃金	19	負担金補助及び交付金	1,040	友好都市協議会負担金450千円、江戸川区民まつり負担金70千円、民間交流補助金520千円
08	報償費	695	友好都市への記念品・土産代				
09	旅費	2,205	イベント参加普通旅費1,205千円、費用弁償1,000千円				
11	需用費	935	交流事業に係る消耗品費87千円、青少年交流事業食糧費848千円				
12	役務費	172	イベント出展時使用法被クリーニング代20千円、イベント出展時・青少年交流事業等参加者傷害保険152千円				
13	委託料	2,205	友好都市交流時バス運転委託料369千円、東区交流事業業務委託1,836千円				
14	使用料及び賃借料	444	友好都市イベント等参加時の駐車料金84千円、青少年交流時施設使用料350千円、江戸川区民まつりテント使用料10千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国内友好交流事業	福岡市の博多どんたく港まつりに合わせて、住民交流事業を実施し、東区演舞台などに参加する中で、友好交流推進協定締結都市である福岡市東区との交流と市のピーアールを図る。	13	委託料	1,836
					計	1,836
2					計	0

重点施策	(4)	コード	010201200		
		課・係等	政策経営課 都市交流係		

予算書ページ	94
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102440	国際友好交流事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,243	0	0	0	615	7,628
前年度	1,039	0	0	0	1,039	0
増減額	7,204	0	0	0	△ 424	7,628

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	青少年交流事業支援基金 利子	15							
17	国際交流基金利子	43								
19	国際交流基金繰入金	557								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 1 広い視野と国際感覚を身に付けた人材を育成する。  
**【効果】**  
 国際姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザッハとの交流事業をととして  
 1 安曇野市及び日本文化を広く発信できる。  
 2 海外の文化と交流した市民の活動により、広く市民に姉妹都市の文化を伝えることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 市長をはじめとする訪問団によるオーストリア共和国チロル州クラムザッハへの公式訪問を実施するとともに、市内で活動している国際交流団体への事業に対する補助金交付をととして、民間の国際交流事業の促進を図り、もって国際化を担う市民の育成に努める。

**【詳細事業内訳】**  
 国際友好交流事業 8,243千円

【一般財源増加理由】 オーストリア共和国チロル州クラムザッハへの公式訪問に伴い増加となった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	163	クラムザッハへの記念品・土産等	25	積立金	16	青少年交流事業支援基金利子
09	旅費	609	普通旅費37千円、特別旅費572千円				
11	需用費	456	クラムザッハ訪問団 名札等消耗品66千円、食糧費390千円				
12	役務費	132	クラムザッハ訪問団保険				
13	委託料	5,427	車両運行委託料117千円、クラムザッハ訪問団旅行業務5,310千円				
14	使用料及び賃借料	830	駐車場使用料30千円、クラムザッハ大型車両使用料800千円				
19	負担金補助及び交付金	610	県日中賛助金10千円、クラムザッハ友好会300千円、日中友好協会300千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	国際友好交流事業	市長をはじめとする訪問団のオーストリア共和国チロル州クラムザッハへの公式訪問を行い、人的・文化的交流を深める。また、市内で活動している国際交流団体への支援として、実施事業に対して補助金を交付することにより、国際交流の推進と各団体の主体的な活動を促すことができる。	09	旅費	609
				11	需用費	456
				13	委託料	5,427
					その他	1,751
					計	8,243
2					計	0

重点施策	(4)	コード	010201200			
		課・係等	政策経営課 都市交流係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	総務管理費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	11	諸費		基本施策	交流活動の推進
	事業	0102442	ホストタウン推進事業			

予算書ページ	94
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,949	0	0	0	3,000	3,949
前年度	3,966	0	0	0	0	3,966
増減額	2,983	0	0	0	3,000	△ 17

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	ふるさと寄附金	3,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 1 2020年東京オリンピック・パラリンピックオーストリアカヌーチームのホストタウンとして、オーストリア並びに海外姉妹都市のクラムザッハとの人的・経済的・文化的な相互交流を通じて、地域の活性化、観光振興等を図る。  
 2 オリンピック・パラリンピック1年前イベントとして、オリンピックによる講演会をはじめカヌー教室の開催やホストタウンタイアップイベントにより、応援する機運の醸成を図るとともにカヌー競技やスポーツの素晴らしさを市民等へ伝える。その上で、2020年東京オリンピック・パラリンピックオーストリアカヌーチームの競技観戦ツアーが実施できるようチケットの確保を進める。  
**【効果】**  
 1 オーストリアの歴史や文化を知るとともに、本市の魅力を肌で体験してもらうことで本市の情報を世界に向け拡散することで、訪日外国人の誘客や農産物の海外輸出等の事業の推進に資する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 1 全市を挙げて2020年東京オリンピック・パラリンピックを応援する機運の醸成を図る。  
 2 カヌー教室を開催することにより、カヌーを身近に感じていただくとともに、ホストタウンの啓発を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 ホストタウン推進事業 6,949千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	1,323	講師謝礼1,125千円、記念品・土産等198千円				
09	旅費	224	普通旅費				
11	需用費	74	消耗品費54千円、食糧費20千円				
12	役務費	32	カヌー教室イベント傷害共済保険				
13	委託料	4,710	車両運行委託料124千円、ホストタウン機運醸成イベント等820千円、ホストタウン啓発事業326千円、東京オリ・パラ観戦ツアー3,440千円				
14	使用料及び賃借料	286	会場等使用料				
19	負担金補助及び交付金	300	ホストタウン啓発事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	ホストタウン推進事業	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ホストタウンを推進するための事業を展開する。ホストタウン推進事業をとおり、オリンピック・パラリンピックへの市民意識を醸成するとともに国際交流への関心を高め、多くの市民が係わることができる。	08	報償費	1,323	
				13	委託料	4,710	
				19	負担金補助及び交付金	300	
					その他	616	
					計	6,949	
2					計	0	

予算書ページ	60
--------	----

重点施策	—	コード	010202100
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102060	秘書・渉外			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,500	0	0	0	300	6,200
前年度	5,953	0	0	0	300	5,653
増減額	547	0	0	0	0	547

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	新年祝賀会会費	300							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市長及び副市長の交際、並びに渉外に関する事務事業を適正に執行し、開かれた市政を進める。  
**【効果】**  
 ・交際費を中心に、透明性ある行政の推進が図れる。  
 ・市功労表彰式及び新年祝賀会の開催により、市政の進展とともに一体感の醸成が図れる。  
 ・友好都市との交流や自転車を活用したまちづくりを推進する会をはじめとする各種関係会議への出席により得られた情報を市の施策に生かせる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・市長日程・交際費等を市ホームページで公開し、開かれた市政を進める。  
 ・市功労表彰式を開催し、地方自治の振興に多大な功績を残された功労者に対して感謝と敬意を表する。  
 ・新年祝賀会を開催し、年頭のあいさつを交わすとともに、新年の抱負を語り合い、市のより一層の発展を目指す。  
 ・県内19市をはじめ、県・北信越市長会を通じて県・国等に対して政策要望を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 秘書・渉外事務 6,500千円

【一般財源増加理由】	全国都市問題会議、各種団体の長として総会等への参加による旅費の増額										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	343	市功労表彰記念品代他								
09	旅費	1,467	市長・副市長・職員旅費								
10	交際費	1,096	市長・副市長交際費960千円、電報料136千円								
11	需用費	942	事務消耗品費133千円、新年祝賀会会食費502千円、名刺印刷代307千円								
12	役務費	219	表彰状等筆耕料他								
14	使用料及び賃借料	645	新年祝賀会会場使用料365千円、市長・副市長タクシー料金280千円								
19	負担金補助及び交付金	1,788	全国市長会他負担金、市長会議出席負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(2)	コード	010202100		予算書ページ	74
		課・係等	秘書広報課 秘書広報担当			

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	文書広報費		基本施策	方針2 広報・広聴の充実
	事業	0102210	広報費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,635	0	0	0	3,130	50,505
前年度	54,098	0	0	0	3,130	50,968
増減額	△ 463	0	0	0	0	△ 463

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	広告料収入	3,130							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・広報紙やホームページ、コミュニティFMなどの広報媒体を活用し、市民に迅速かつ分かりやすい市政情報を提供する。  
**【効果】**  
 ・市の主要施策、事業等に関わる情報を市民に知ってもらうことができる。  
 ・市政への関心、参画意識が高まる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【広報制度の充実】**  
 ○「広報あづみの」を発行し、全世帯を対象に配布する。  
 ・発行部数37,500部 ・発行日(原則)「お知らせ版」・・・毎月第1水曜日、「通常版」・・・毎月第3水曜日 ・総発行回数:年21回  
 ・各世帯への配布は市内新聞販売店を通じて、新聞折り込みとポストイングにより、発行日を含めて5日間で配布する。  
 ○市ホームページを運営し市政情報を広く発信する。  
 ・お問い合わせフォーム等から市民の意見を集め、広聴の充実にも努める。  
**【情報提供の充実】**  
 ○コミュニティFMを活用し、音声による市政情報の提供を行う。  
**【自主財源の確保】**  
 ○広報紙とホームページに有料広告を掲載し、自主財源の確保に努める。

**【詳細事業内訳】**  
 広報広聴総務費 701千円 広報ラジオ番組放送事業 9,104千円 広報発行事業 36,996千円 インターネット広報事業 6,834千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	市長と語る会シンポジウム謝礼								
09	旅費	87	日本広報協会主催の各種研修会参加旅費								
11	需用費	15,850	広報あづみの印刷費15,735千円、消耗品88千円、広報機材修繕料27千円								
12	役務費	90	市長と語る会シンポジウム翻訳料								
13	委託料	33,362	FM放送9,104千円、広報紙配布21,261千円、市ホームページシステム保守2,889千円、市長と語る会シンポジウム会議録作成108千円								
14	使用料及び賃借料	4,038	市ホームページシステムリース料3,945千円、ホームページ編集ソフト使用料93千円								
19	負担金補助及び交付金	108	日本広報協会年会費24千円、各種研修会参加負担金84千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	広報発行事業	簡潔で分かりやすい広報紙の編集に努め、市の施策や事業を広く伝えるための広報媒体として充実を図る。また各課広報委員の活用により、情報収集・発信力の向上に繋げる。	13	委託料	21,261
				11	需用費	15,735
					計	36,996
2	ソフト	インターネットやコミュニティFMによる市政情報の発信	市ホームページは、情報の整理と内容の充実を図り、閲覧者の満足度を向上させ、安曇野市の魅力を高める。コミュニティFMは、音声による広報媒体として、積極的な活用を図る。	14	使用料及び賃借料	3,945
				13	委託料	11,993
					計	15,938

重点施策	—		コード	010203100		予算書ページ	86
			課・係等	情報統計課 情報政策係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進	
	事業	0102370	電算管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	268,865	2,391	0	0	858	265,616
前年度	272,568	0	0	0	858	271,710
増減額	△ 3,703	2,391	0	0	0	△ 6,094

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	財務会計処理実費徴収	858								

**【目的・効果】**  
**【事業内容】**  
 ICTの進展やICT環境の変化に対応しながら、行政情報システムの適正な管理・運用を行い、市民に対する行政サービスの継続性を確保する。  
**【効果】**  
 情報システムのセキュリティを確保することにより、市民から預かっている個人情報データを不正漏えいから守る。  
 ICTの進展に合わせて行政情報システムを適正に管理・運用することにより各種証明書発行、窓口相談支援等市民サービスを向上させ、継続性を確保する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 情報システムや庁内パソコン・プリンタの保守及びトナーの在庫を一括管理し、老朽化した機器の入れ替えを行う。  
 情報システムの動作状況の監視、職員のシステム操作支援を行う。  
 情報システムの障害発生時、障害現象・範囲等の切り分け、保守委託会社との連絡・調整、庁内への周知等を行う。  
 情報システムのライセンス、バージョン、システム更新情報を適切に管理しセキュリティ対策を行う。  
 マイナンバー運用開始に伴うマイナンバー取扱業務に関する研修の強化を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 電算システム管理運営事業 268,865千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	100	研修等出張旅費								
11	需用費	9,829	プリンタトナー等購入費								
12	役務費	19,288	出先ネットワーク等通信料								
13	委託料	42,885	電算システム保守委託料								
14	使用料及び賃借料	188,294	電算システム機器リース料及びシステム使用料								
19	負担金補助及び交付金	8,469	番号制度中間サーバ及び情報セキュリティクラウドの利用負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	(2)	コード	010203100			
		課・係等	情報統計課 情報政策係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	07	情報施策費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業			

予算書ページ	88
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,977	0	0	0	0	5,977
前年度	5,615	0	0	0	0	5,615
増減額	362	0	0	0	0	362

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【事業内容】**  
 情報通信技術を活用し、市民生活の利便性向上および行政事務の効率化を図る。  
**【効果】**  
 電子申請システム、公衆無線LANの整備などにより、市民の利便性向上、安心・安全な暮らしに寄与する。  
 LGWAN(総合行政ネットワーク)安定稼働のため維持管理を行うことで、各省庁のほか他の行政機関等との安全な通信を確保し、迅速・正確な行政事務を行う事ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 市内公共施設等17施設に整備した公衆無線LANの維持管理及び機器統一を行うとともに、市民や観光者への利活用を向上させるための周知を行う。  
 LGWAN(総合行政ネットワーク)機器の管理・運用を行う。  
 ながの電子申請の利用促進、庁内各部署からの手続き追加要望に伴う設定情報の追加・修正を行う。  
 市民と行政の課題を共有し共に解決するための、道路・公園の不具合箇所通報アプリ(FixMyStreet Japan)及び議事録作成・障がい者支援システム(UDトーク)の運用管理を継続して行う。

**【詳細事業内訳】**  
 ながの電子申請・届出システム有効利用推進事業 596千円  
 地域・行政情報化推進事業 5,381千円

【一般財源増加理由】平成30年度に新規設置した5施設の公衆無線LANに係る通信料が12カ月分となるため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	1,654	ライブカメラ及び公衆無線LAN通信費				
14	使用料及び賃借料	2,348	LGWAN機器リース料及び道路・公園通報アプリ等使用料				
19	負担金補助及び交付金	1,975	県WAN(IBN)負担金及び県電子申請システム負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公衆無線LAN機器の統一(地域・行政情報化推進事業)	平成27年度以降に整備した公衆無線LAN機器を平成29年度以降に整備した機器へ統一し、利用者の利便性向上及び運用管理の効率化を図る。	12	役務費	142
					計	142
2						
					計	0



予算書ページ	110
--------	-----

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	統計調査総務費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102570	統計調査総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,809	0	36	0	0	1,773
前年度	62	0	36	0	0	26
増減額	1,747	0	0	0	0	1,747

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	統計調査員確保対策事業委託金	36							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・各種施策に役立てることを目的として、安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載等を行う。  
 ・国が行う各種統計調査の実施にあたり、統計調査員の推薦を円滑に県へ報告するため、登録調査員の確保を行う。  
**【効果】**  
 ・市の人口・経済など市勢の現況やその推移を明らかにした統計資料を公表する。これらの調査結果は、行政等の各種計画策定に活用されている。  
 ・調査員の確保対策事業を行うことにより、円滑・正確な統計調査を推進することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 ・安曇野市の統計データの作成及びホームページへの掲載等を行う。  
 ・統計登録調査員の確保や多年統計調査実務者の表彰推薦のため、調査員・指導員台帳の作成整備を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 統計調査総務費 1,809千円

**【一般財源増加理由】** 各種統計調査の増加及び大規模調査による事務量増加に対応するため臨時職員1名を新たに雇用する。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,726	臨時職員賃金				
11	需用費	36	統計調査用事務用品				
12	役務費	26	統計調査諸連絡郵便料及び通信費				
13	委託料	19	県知事表彰等表彰式調査員送迎バス運行委託料				
14	使用料及び賃借料	2	コピー機使用料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	110
--------	-----

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102580	学校基本調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20	0	18	0	0	2
前年度	20	0	18	0	0	2
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	学校基本調査委託金	18							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に行われる。  
**【効果】**  
 学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用される。また、地方交付税の算定の基礎としても活用される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 本調査の実施にあたって、調査関係資料の配布、調査票内容の点検等を行う。  
**【調査の概要】**  
 ・所管省庁 文部科学省  
 ・調査周期 毎年  
 ・調査対象 市内の小学校(10校)、中学校(7校)、幼稚園(1園)、認定こども園(1園)と安曇野市教育委員会  
 ・調査方法 教育委員会を通じて協力依頼及び調査票配布(調査はすべてインターネット調査による。)  
 ・調査期日 2019年5月1日現在

**【詳細事業内訳】**  
 学校基本調査費 20千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	20	統計調査用事務用品								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	110
--------	-----

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102590	工業統計調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	750	0	740	0	0	10
前年度	631	0	621	0	0	10
増減額	119	0	119	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 製造業を営む全ての事業所に対し、経営の態様、製品出荷額等について調査を実施し、工業の実態を明らかにすることを目的に行われる。  
**【効果】**  
 調査結果は、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となる。また、国の経済統計体系の根幹を成し、経済白書、中小企業白書などの経済分析及び各種の経済指標へデータが提供され活用される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県へ提出する。  
**【調査の概要】**  
 ・所管省庁 経済産業省 ・調査周期 毎年 ・調査対象 製造業の経営を行う全ての個人、組織、法人  
 ・調査方法  
 ①調査員調査方式 調査員による調査客体への調査票の配布、回収 経済産業省→都道府県→市町村→調査員→調査客体  
 ②本社等一括調査方式 経済産業省→調査客体  
 ③国直送調査方式 経済産業省→調査客体  
 ・配布方法 調査員配布  
 ・回答・収集方法 調査員調査(調査員回収)、オンライン回答、郵送(国直送、本社一括分)  
 ・調査基準日 2019年6月1日現在  
 指導員1人 調査員21人 予定

**【詳細事業内訳】**  
 工業統計調査費 750千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	650	統計調査 指導員1人、調査員21人 報酬								
03	職員手当等	18	時間外勤務手当								
07	賃金	16	調査票審査等賃金								
09	旅費	27	統計調査 指導員1人、調査員21人 交通費								
11	需用費	17	統計調査用事務用品								
12	役務費	20	調査員等諸連絡郵便料及び通信費								
14	使用料及び賃借料	2	コピー機使用料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	112
--------	-----

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102600	農林業センサス			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,734	0	10,724	0	0	10
前年度	41	0	40	0	0	1
増減額	10,693	0	10,684	0	0	9

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案等のための基礎資料を作成、提供することを目的に実施される。  
**【効果】**  
 普通交付税算定の際、農業行政費及び林野行政費の算出や「食料・農業・農村基本計画」、「森林・林業基本計画」等策定の際の基礎資料として活用される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 農林水産省所管の5年周期調査「農林業センサス」を実施する。本調査の実施にあたって調査員・指導員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県に提出する。  
**【調査の概要】**  
 ・所管省庁 農林水産省  
 ・調査周期 5年周期  
 ・調査対象 農林業経営を行う個人、組織、法人  
 ・回答・収集方法 統計調査員が調査客体への調査票配布、回収(調査員調査)及びオンライン回答、郵送回答(農山村地域調査)を実施予定  
 ・主な調査事項 経営状態、経営面積、規模や経営の特徴等  
 ・調査期日 2020年2月1日  
 指導員19人、調査員349人 予定

**【詳細事業内訳】**  
 農林業センサス 10,734千円

【一般財源増加理由】 前年度は準備経費だったが本年度は本調査のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	9,172	統計調査 指導員19人 調査員349人 報酬	14	使用料及び賃借料	10	コピー機使用料
03	職員手当等	122	時間外勤務手当				
04	共済費	56	社会保険料				
07	賃金	264	調査票点検等賃金				
09	旅費	615	統計調査 指導員19人、調査員349人 交通費				
11	需用費	220	統計調査用事務用品				
12	役務費	275	調査員等諸連絡郵便及び通信費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010203200		予算書ページ	112
			課・係等	情報統計課 統計係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進	
	事業	0102620	全国消費実態調査費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,527	0	1,517	0	0	10
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	1,527	0	1,517	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	全国消費実態調査委託金	1,517							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地等の家計資産を総合的に調査し、世帯の消費・所得・資産に関する水準、構造、分布などを全国及び地域別に明らかにすることを目的に実施される。  
**【効果】**  
 年金や介護等の社会保障制度の在り方やその水準を検討するための行政施策の企画・立案等の基礎資料としても活用される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 総務省所管の5年周期調査「全国消費実態調査」を実施する。本調査の実施にあたって調査員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県に提出する。  
**【調査の概要】**  
 ・所管省庁 総務省  
 ・調査周期 5年周期  
 ・調査対象 4調査区を国が指定。1調査区の中から12世帯を抽出調査  
 ・回答・収集方法 調査員調査(調査員回収)、オンライン回答、郵送回答  
 ・主な調査事項 収支及び貯蓄・耐久消費財に関する事項等  
 ・調査期間 2019年10月から11月  
 指導員1人、調査員4人 予定

**【詳細事業内訳】**  
 全国消費実態調査費 1,527千円

【一般財源増加理由】 5年毎の周期調査のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,010	統計調査 指導員1人 調査員4人 報酬	14	使用料及び賃借料	1	コピー機使用料
03	職員手当等	2	時間外手当				
07	賃金	15	調査票審査等賃金				
08	報償費	326	調査協力謝礼				
09	旅費	84	統計調査 指導員1人 調査員4人 交通費				
11	需用費	65	調査用事務用品				
12	役務費	24	統計調査諸連絡郵便及び通信費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	114
--------	-----

重点施策	—	コード	010203200
		課・係等	情報統計課 統計係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102700	国勢調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	484	0	474	0	0	10
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	484	0	474	0	0	10

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	国勢調査委託金	474							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 2020年「国勢調査」実施にあたっての円滑な調査実施を図るための事前準備事務費。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 2020年に実施される総務省所管の5年周期調査「国勢調査」の準備段階として調査区設定に関する事務処理を行う。  
**【主な事務処理事項】**  
 ・実施計画等の作成  
 ・現地踏査  
 ・基本単位区の点検・修正  
 ・調査区の画定  
 ・調査区関係書類の作成  
 ・調査区関係書類の検査  
 ・調査区関係書類の県への提出  
 ・調査区関係書類の保存

**【詳細事業内訳】**  
 国勢調査費 484千円

**【一般財源増加理由】** 5年毎の周期調査の準備段階として調査区設定等に関する事務処理を行うため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
03	職員手当等	55	時間外勤務手当				
07	賃金	286	調査区審査等賃金				
11	需用費	108	調査区設定用事務用品				
12	役務費	35	区実施通知及び調査区確認書類郵便料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010203200		予算書ページ	114
			課・係等	情報統計課 統計係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	05	統計調査費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	02	基幹統計費		基本施策	方針3 地域情報化の推進	
	事業	0102720	経済センサス				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,612	0	1,602	0	0	10
前年度	41	0	40	0	0	1
増減額	1,571	0	1,562	0	0	9

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	経済センサス委託金	1,602							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 事業所及び企業の経済活動の状況を明らかにし、我が国における包括的な産業構造を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とする各種統計調査の実施のための母集団情報を整備することを目的としている。  
**【効果】**  
 地方消費税の精算及び市町村の交付基準や、国民経済計算の推計といった国の行政施策等の基礎資料として活用されている。また、地方公共団体の行政施策や企業・研究機関等における経営戦略やマーケティングの見地や研究などに活用されている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 総務省所管の5年周期調査「経済センサス-基礎調査」を実施する。本調査の実施にあたって調査員の推薦、用品購入、事務打合せ会の開催、調査票等の審査を行い県に提出する。  
**【調査の概要】**  
 ・所管省庁 総務省  
 ・調査周期 5年周期  
 ・調査方法 統計調査員の調査客体への現地踏査の実施。国において、現行の方式(全国一律の期日調査)を見直して、地域ごとに調査期間を設ける(ローリング調査)により実施する。また、調査員用端末機を使用した新たな調査方法をとり入れ実施する。  
 ・調査期間 第1期(6月~7月)第2期(8月~9月)第3期(10月~11月)  
 調査員12人(1期4人)予定

**【詳細事業内訳】**  
 経済センサス 1,612千円

【一般財源増加倍理由】 5年毎の周期調査であり前年度の準備調査に対して本年度は本調査の為、予算規模が大きくなった。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	1,110	統計調査 調査員12人 報酬				
03	職員手当等	87	時間外勤務手当				
07	賃金	149	調査票審査等賃金				
09	旅費	45	統計調査 調査員12人 交通費				
11	需用費	136	調査用事務用品				
12	役務費	84	諸連絡郵便料及び通信費				
14	使用料及び賃借料	1	コピー機使用料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

# 財政部



重点施策	—		コード	010301100		予算書ページ	74
			課・係等	財政課 財政担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0102230	財政管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,401	0	0	0	0	2,401
前年度	2,602	0	0	0	0	2,602
増減額	△ 201	0	0	0	0	△ 201

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 普通交付税の算定における基礎数値を把握・報告し、算出を行う。
- 特殊財政事情の内容、予算額を報告し、特別交付税の交付を受ける。
- 前年度決算に基づき、地方財政状況調査表を作成する。
- 地方財政状況調査結果により、財政健全化比率を算出する。
- 財政事務に必要な実務能力の向上と、地方公会計(財務書類)の取り組みによる財政分析及び活用を行う。

【効果】適正で健全な計画性のある財政運営につなげる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
財政計画に基づく健全財政の堅持。

【詳細事業内訳】

財政管理費 2,401千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	46	財務業務一般研修等				
11	需用費	156	地方財務実務提要、参考図書資料他				
13	委託料	2,199	公会計システム保守、財務書類等作成支援				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010301100
課・係等	財政課 財政担当

予算書ページ	76
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	財政管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102250	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,109	0	0	0	28,105	4
前年度	423,236	0	0	374,000	29,532	19,704
増減額	△ 395,127	0	0	△ 374,000	△ 1,427	△ 19,700

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	財政調整基金利子	12,746							
17	減債基金利子	3,639								
17	公共施設整備基金利子	5,539								
17	地域振興基金利子	6,181								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 条例の定めにより、特定の目的のために財産を維持するとともに、資金を積み立てる。  
**【効果】**  
 市の健全な財政運営に資する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・財政調整基金条例の定めにより、H30年度決算剰余金からH31年度に繰り越す歳出予算の財源に充てるべき金額(継続費の支出財源として通次繰り越した金額を含む。)を控除した額の2分の1を下らない額を財政調整基金に積み立てる。  
 ・財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金及び地域振興基金の4基金の運用で生じた利子を、当該基金へ積立てる。  
**【参考:基金残高(H30年度末見込額)】**  
 財政調整基金 5,356,422,000円/減債基金 1,513,169,000円/公共施設整備基金 1,652,817,000円

**【詳細事業内訳】**  
 財政4基金積立金 28,109千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
25	積立金	28,109	地域振興基金利子、財政調整基金利子、減債基金利子、公共施設整備基金利子								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—		コード	010301100		予算書ページ	358
			課・係等	財政課 財政担当			
予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	公債費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	元金		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0112010	長期借入金償還元金				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,160,658	0	0	820,600	200,000	4,140,058
前年度	5,119,778	0	0	973,700	203,125	3,942,953
増減額	40,880	0	0	△ 153,100	△ 3,125	197,105

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	減債基金繰入金	200,000							
22	借換債(衛生債・旧合併特例事業債)	820,600								

【目的】  
地方債元金を償還する。  
【効果】  
将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
H30年度までの借入に対し元金を償還する。  
(地方債現在高のH30年度末見込額 42,031,733千円)  
(内、H29借入までの分37,459,731千円、H30借入見込額4,572,002千円)  
※上記のうち、H21地方債借換分【合併特例】日赤 820,600,000円

【詳細事業内訳】  
長期借入金償還元金 5,160,658千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	5,160,658	地方債の償還元金分				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	12	公債費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	公債費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	利子		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0112020	長期借入金償還利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	190,216	0	0	0	0	190,216
前年度	215,836	0	0	0	0	215,836
増減額	△ 25,620	0	0	0	0	△ 25,620

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・地方債利子を償還する。
- ・一時借入のための利子を確保する。

【効果】

将来を見据え、計画的に償還を進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
H30年度までの借入に対し利子を償還。

【詳細事業内訳】

長期借入金償還利子 188,716千円 一時借入金利子 1,500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	190,216	地方債の償還利子、一時借入金利子				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	360
--------	-----

重点施策	—	コード	010301100
		課・係等	財政課 財政担当

予算	款	13	予備費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	予備費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	予備費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0114010	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50,000	0	0	0	0	50,000
前年度	50,000	0	0	0	0	50,000
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】

【目的】

地方自治法217条により予備費を設ける。

【効果】

当初予期しなかった予算外の支出が生じた場合及び歳出予算計上額に不足が生じた場合、これに充てることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
予備費として50,000千円を計上

【詳細事業内訳】

予備費 50,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	50,000	予期しない歳出予算計上額の不足財源に充てる				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010302100		予算書ページ	98
			課・係等	税務課 諸税係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	税務総務費		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0102460	税務総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	419,330	国支出金	県支出金	市債	その他	305,329
前年度	406,103	0	112,000	0	1	294,102
増減額	13,227	0	2,000	0	0	11,227

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	県民税徴収事務委託金	114,000							
21	その他税務関係雑入	1								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 税の公平・公正・適正な賦課及び捕捉率の向上に努める。  
 広報活動の充実等により納税意識の向上を図り、安定した財政基盤を確保する。  
**【効果】**  
 安定した財政基盤の確保。  
 適正な課税客体の捕捉による不公平感の是正。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 公平・公正・適正な賦課と捕捉率の向上に向け  
 ①未申告者の解消。  
 ②庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認。  
 ③訪問指導等の実施。  
 納税意識の高揚(関心の増加)を図るため  
 ①租税教育、中高生の税に関する作文・ポスターの募集及び表彰の実施。  
 ②広報紙・ホームページ・新聞等を活用した税務広報。  
 ③口座振替の推進。  
 ④特別徴収事業所の推進。

**【詳細事業内訳】**  
 市民税賦課等総務費 419,330千円

【一般財源増加理由】 10月1日から始まる地方税共通納税システム導入に係る初期経費及びサービス使用料 1,441千円

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	174,550	一般職49人(職員課)	12	役務費	350	税のPR用広告料、申告会場電話機能変更手数料
03	職員手当等	85,168	扶養手当、期末勤勉手当他(職員課)	13	委託料	21,759	各種納税通知書印刷及びシステム保守業務委託、課税原票管理システム保守業務委託、税制改正に伴うシステム改修等
04	共済費	54,830	職員共済組合納付金(職員課)	14	使用料及び賃借料	12,531	課税原票管理システム機器賃借、地方電子申告支援サービス利用料等
07	賃金	12,938	窓口事務及び課税事務補助非常勤職員(2人)、申告受付・課税事務補助対応臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	2,107	地方税電子化協議会等負担金、日本経営協会研修会参加料他
08	報償費	667	租税教育推進協議会が実施する、税に関する作文・ポスターの応募者・入賞者記念品	23	償還金、利子及び割引料	51,300	市税還付金及び還付加算金
09	旅費	123	地方税電子化協議会全国説明会等旅費(東京)				
11	需用費	3,007	事務用品、図書、追録代、申告関係印刷製本費等				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	98
--------	----

重点施策	—	コード	010302300
		課・係等	税務課 家屋担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	02	徴税費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	賦課徴収費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102470	資産税費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	77,324	0	0	0	1	77,323
前年度	49,479	0	0	0	1	49,478
増減額	27,845	0	0	0	0	27,845

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	固定資産土地精通者謝金	1							

【目的・効果】

【目的】

市町村税体系における基幹的な税であり、納税者にとって身近な税である固定資産税の公平・公正、適正な課税。

【効果】

- ・財政基盤の安定。
- ・市民への「受益と負担」の関係における、負担についての不公平感の是正。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・H33基準年度評価替えに向け、市内評価の均衡を目的とした調査による基礎資料づくりを始める。(家屋)
- ・地方税法343条第2項に基づき、相続人等の調査を実施し納税義務者を死亡者から相続人等に賦課替えを行うため、改めて課税に係る手続きを行い適正な賦課に努める。
- ・H33基準年度評価替えに向け、不動産鑑定士による標準宅地(403地点)の鑑定評価を行う。(土地)

【詳細事業内訳】

家屋経年異動判読調査 15,790千円、 土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業 36,103千円、 課税客体調査事業 5,259千円、 基幹系システムセンター代行業務 9,281千円、 資産税総務費 10,891千円

【一般財源増加理由】 3年毎(H33基準年度)の評価替えに対応するため、不動産鑑定士による標準宅地の鑑定評価を行う。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	29	固定資産評価員報酬29	18	備品購入費	39	災害時住宅調査機材39
07	賃金	7,837	臨時職員賃金7,837	19	負担金補助及び交付金	222	研修負担金222
09	旅費	357	職員研修旅費357				
11	需用費	1,359	印刷製本費835・消耗品費377外				
12	役務費	38	ウイルス対策ソフト更新28外				
13	委託料	66,777	家屋経年異動判読調査15,790外/土地の鑑定評価36,103・課税客体調査5,259				
14	使用料及び賃借料	666	帳票電子化機器借上料391外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業	3年に1度の固定資産税の評価替えに向け、宅地の評価に係る適正な時価を求めるとあるため、固定資産評価基準に基づき不動産鑑定士による標準宅地の鑑定評価を行う。	13	委託料	36,103
					計	36,103
2	ソフト	家屋経年異動判読調査	前回撮影と最新撮影の航空写真の照合により、経年による家屋の新增築・減失の異動を把握する。	13	委託料	15,790
					計	15,790

重点施策	—		コード	010304100		予算書ページ	100
			課・係等	収納課 管理係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	02	徴税费		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	02	賦課徴收費		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0102480	収納費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	56,675	0	40,000	0	2,301	14,374
前年度	56,219	0	40,000	0	2,400	13,819
増減額	456	0	0	0	△ 99	555

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	督促手数料	2,300							
16	県民税徴収事務委託金	40,000								
21	その他税務関係雑入	1								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○ 市税納期内納付の勧奨及び滞納整理を実施することにより未納額の縮減、財政基盤の安定化を図る。  
 ○ 口座振替の推進、コンビニ収納の実施等により納税者が市税を納めやすい環境を整備する。  
**【効果】**  
 ○ 滞納整理業務を執行し、納税義務の公平性の確保と貴重な自主財源としての市税を確保することができる。  
 ○ 納税義務者が市税を納めやすい環境を整備し、納期内納付の推進及び収納率の向上を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 ・財産調査予告書・差押予告書による催告の実施。  
 ・催告に応じない滞納者に対して実態調査や財産調査を行い、差押処分を執行する。  
 ・大口案件や困難案件を長野県地方税滞納整理機構に移管する。  
 ・市税の当初納付書の発送時にハガキ型の口座振替依頼書、口座振替チラシを同封し、口座振替を推進する。

**【詳細事業内訳】**  
 収納総務費 51,259千円 納税コールセンター業務委託事業 5,416千円

【一般財源増加理由】	滞納整理システムサーバーの保守期間終了に伴い、H31.10月から新規でサーバーをリースするための増加。H30年度、職員管理総務費で予算計上していた「収税対策本部講師派遣委託料」をH31年度から収納費で計上するための増加。										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	1,081	滞納整理顧問報酬			14	使用料及び賃借料	1,404	コンビニ収納システム使用料、滞納整理システムサーバー借上料、官報閲覧システム、駐車料金等		
07	賃金	14,488	収納嘱託員3人・非常勤職員(日給者3人)			19	負担金補助及び交付金	7,717	日本経営協会研修負担金等、長野県地方税滞納整理機構負担金、松本地区納税貯蓄組合負担金		
08	報償費	540	収納嘱託員自動車借上げ謝礼			27	公課費	9	自動車重量税		
09	旅費	465	日本経営協会・東京税務協会等研修参加費・県外臨戸旅費								
11	需用費	2,908	事務用品・督促状・催告書・口座振替依頼書・手書き納付書等印刷、封筒作成、公用車修繕等、公用車ガソリン代								
12	役務費	17,554	携帯電話料、窓口収納他金融機関手数料、コンビニ収納取扱手数料、相続財産管理人手納金、不動産鑑定手数料、自賠責保険								
13	委託料	10,509	督促状センター代行業務、県外滞納者居住実態調査業務、滞納管理システム保守/納税コールセンター業務委託								

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	納税コールセンター業務委託事業	新規滞納者を増やさないため、納税コールセンターから初期未納者に対して架電を行い自主納付を促す。	13	委託料	5,416
				01	報酬	0
				07	賃金	0
				08	報償費	0
					計	5,416
2						
					計	0



重点施策	—		コード	010305300		予算書ページ	62
			課・係等	財産管理課 庁舎管理係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0102020	本庁舎管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	183,358	0	0	0	1,922	181,436
前年度	176,430	0	0	0	2,042	174,388
増減額	6,928	0	0	0	△ 120	7,048

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	電報電話料(本庁舎)	1	21	その他雑入(庁舎管理係)	1,692				
21	資源ごみ売却代(本庁舎)	60								
21	自動販売機設置電気料(本庁舎)	168								
21	公衆電話料(本庁舎)	1								

【目的・効果】

【目的】

・本庁舎の維持管理を行う。総合管理によりきめ細やかな運用で、住民サービスと施設長寿命を図る。

【効果】

・総合管理により専門的な施設管理ができることから、施設の長寿命化や維持管理コストの低減が図れる。これにより、庁舎利用者の利便性と安全が確保でき、住民サービスの向上に繋げられる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・総合管理の委託内容は、施設常駐管理、設備管理、宿日直警備業務、清掃業務、総合受付案内業務、電話交換業務、植栽管理業務、除雪業務を行う。
- ・本庁舎で使用する複合機、印刷機、コピー用紙等の必要経費の維持管理と光熱水費、通信費の支出事務
- ・市有施設のNHKテレビ受信料、危険物取扱者、防火管理者、危険物安全協会に係わる事務

【詳細事業内訳】

本庁舎管理費 183,358千円

【一般財源増加理由】 竣工5年目による点検項目の増(免震装置、排煙動作点検等)

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,776		19	負担金補助及び交付金	186	危険物取扱者受講負担金
11	需用費	52,769	コピー用紙・インク等消耗品、冷暖房用灯油、庁舎光熱水費、庁舎施設・物品修繕				
12	役務費	9,480	電話料、危険物取扱受検料				
13	委託料	90,755	庁舎総合管理委託、印刷機保守、庁舎設備機器点検				
14	使用料及び賃借料	27,985	コピー機・印刷機借上料、テレビ受信料、借地料				
15	工事請負費	330	庁舎維持管理工事				
18	備品購入費	77	カウンター用目隠しパネル				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010305300
課・係等	財産管理課 庁舎管理係

予算書ページ	62
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102080	公用車管理費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	40,454	0	0	600	39,854
前年度	43,688	0	0	1,500	42,188
増減額	△ 3,234	0	0	△ 900	△ 2,334

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	公有自動車損害共済金	600							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・共有車両の維持管理を行う。実施計画に基づき20年経過の車両は修繕費等の費用が嵩むことから順次更新等を行う。  
 ・共有車両を一元管理することにより、効率的な利用と運用を図る。  
**【効果】**  
 ・共有車両の一元化により効率的な利用と配車により維持管理経費の節減ができる。  
 ・老朽車両の維持管理経費の節減。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・共有車両(39台及びバス6台)の一元管理及び総務部(危機管理課を除く)、政策部、財政部(収納課、税務課を除く)、議会事務局車両の52台の維持管理費、燃料、車検、法定点検等を一元管理する。  
 ・市の所有する全ての公用車(企業会計及び貸出車両は除く)の任意保険の加入を行う。但し、事務手続き、事故処理については一元管理により行う。  
 ・有料道路使用料(ETC)の一元管理を行う。但し、企業会計、国保・介護保険特別会計及び貸出車両の経費は除く。

**【詳細事業内訳】**  
 公用車更新事業 9,241千円 公用車管理費 31,213千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	14,315	公用車タイヤ代、燃料費、車両修繕費						
12	役務費	10,229	車検・点検手数料、保険料						
14	使用料及び賃借料	9,286	ETC利用料						
18	備品購入費	5,606	軽貨物車4台、ドライブレコーダー4台						
19	負担金補助及び交付金	126	安全運転管理者協会負担金						
27	公課費	892	自動車重量税						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	64
--------	----

重点施策	—	コード	010305100
		課・係等	財産管理課 管財担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102083	AED維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,908	0	0	0	0	6,908
前年度	3,683	0	0	0	0	3,683
増減額	3,225	0	0	0	0	3,225

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市有施設に配置されたAED(自動体外式除細動器)の管理を行う。
- ・耐用年数を迎えた機器、バッテリー、パッドの更新。
- ・消耗したバッテリー、パッドの補充

【効果】

- ・公共施設へのAED配備により、緊急時の救命措置を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・AED本体 更新 36台、新規購入 1台
- ・バッテリー 更新 28個、予備 3個
- ・パッド 更新 12個、予備 6個

【詳細事業内訳】

AED維持管理費 6,908千円

【一般財源増加理由】 AEDの本体及び消耗品の購入数の増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	803	バッテリー交換(28個)、予備(3個)・パッド更新(12個)、予備(6個)				
18	備品購入費	6,105	更新(36台)、AED新規購入(1台)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	AED維持管理費	公共施設にAEDを配備し、緊急時に使用できるように消耗品等の交換を行い適切な維持管理をする。	18	備品購入費	6,105
				11	需用費	803
					計	6,908
2					計	0

重点施策	—	コード	010305100		予算書ページ	78
		課・係等	財産管理課 管財担当			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	財産管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102270	財産管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,457	0	0	28,200	1	48,256
前年度	47,215	0	0	0	1	47,214
増減額	29,242	0	0	28,200	0	1,042

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	建物総合損害共済金	1							
	22	施設除却事業	28,200							
									28,201	

**【目的・効果】**  
 財産管理課 管財担当  
**【目的】**  
 ・低未利用地及び低未利用施設を処分して維持管理費の低減を図るとともに、自主財源を確保する。  
 ・公共施設再配置計画に基づき、老朽化した上川手書庫及び豊科解放館を解体する。  
**【効果】**  
 ・遊休資産の処分により、自主財源の確保と維持管理費の低減ができ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込める。  
 ・公共施設再配置計画10年計画案に沿った施設面積の圧縮が図れる。

財産管理課 施設経営担当  
**【目的】**  
 施設を所管する事業担当課とともに実施設計の段階からしゅん工、引渡しに及ぶ工事管理に一元的に携わり技術提供することで建築コストの適正な管理と施設経営の良好な運営を支援する。  
**【効果】**  
 長寿命化に憂慮した技術提案や設備機能の最適化により維持管理コストの低減が図れる

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 財産管理課 管財担当  
 ・市有財産の管理と地方公会計移行による固定資産台帳の整備を継続して行っていく。  
 ・未利用となった教職員住宅ほかの市有財産の不動産鑑定等を行い、一般競争入札により処分する。  
 ・建物災害共済及び総合賠償補償保険の事務を行う。  
 ・上川手書庫・豊科解放館を解体し、跡地を他の用途に転用する。

財産管理課 施設経営担当  
 施設の建物用途や利用目的に応じた安全性、機能性の確保はもとよりライフサイクルコストの低減を図るとともに市民の皆様方が利用し易い公共建築を実現、維持していく。

**【詳細事業内訳】**  
 市有財産管理費 39,223千円 公共建築物のコスト・品質・施工管理 6,383千円 上川手書庫・豊科解放館解体事業 30,851千円

【一般財源増加理由】 上川手書庫・豊科解放館解体事業実施に伴う増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	600	設計士等謝礼	18	備品購入費	54	工事現場用デジタルカメラ
09	旅費	217	行政管理講座「公有財産管理の実務」ほか／技術セミナー構造設計(建築基礎構造編)	19	負担金補助及び交付金	219	行政管理講座「公有財産管理の実務」負担金、浄化槽管理組合負担金(離山会館)／技術セミナー等研修会負担金
11	需用費	556	事務用品、財産管理費(除草剤他)、燃料費(草刈機)、光熱水費(離山会館)／設計積算書籍及びテキスト代、事務用品外				
12	役務費	14,566	未利用地不動産鑑定、水質検査、市有物件災害共済、総合賠償補償保険他				
13	委託料	32,789	市有地維持管理業務、固定資産台帳等データ異動更新業務、測量業務、エネルギーサービスプロバイダー業務(新電力)、市有施設解体工事費設計業務他／アスベスト調査、設計監理委託等				
14	使用料及び賃借料	143	刊行物掲載情報利用料				
15	工事請負費	27,313	上川手書庫・豊科解放館解体工事				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	上川手書庫・豊科解放館解体事業	15	工事請負費	27,313
				13	委託料	3,538
					計	30,851
2	ソフト		低未利用地及び低未利用施設を処分することにより、維持管理費の低減と自主財源の確保が図れ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込まれる。	13	委託料	24,370
				12	役務費	14,566
				11	需用費	206
				09	旅費	44
					計	39,186

重点施策	—	コード	010305100
		課・係等	財産管理課 管財担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102340	土地開発基金費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	522	0	0	0	477	45
前年度	532	0	0	0	487	45
増減額	△ 10	0	0	0	△ 10	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・土地開発基金の財産の管理、運営を行い、最終的に土地開発基金の整理を行う。  
**【効果】**  
 ・土地開発基金運営により、市事業の円滑な展開が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・土地開発基金で先行取得した土地の整理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 土地開発基金費 522千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	44	中信平左岸土地改良区賦課金								
28	繰出金	478	基金運用益								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	土地開発基金費	土地開発基金で先行取得した土地について市による買戻し手続きを行い、資産の健全運用を図る。	28	繰出金	478	
				19	負担金補助及び交付金	44	
					計	522	
2							
					計	0	

重点施策	(4)	コード	010306100		予算書ページ	264
		課・係等	総合体育館建設推進課 総合体育館建設推進係			

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	都市計画費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	03	公園事業費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0102275	新総合体育館建設事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	723,563	国支出金	県支出金	市債	その他	
		348,000	0	339,600	0	35,963
前年度	256,729	97,600	0	142,300	0	16,829
増減額	466,834	250,400	0	197,300	0	19,134

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	社会資本整備総合交付金(体育館分)	348,000							
22	体育施設整備事業	339,600								

【目的・効果】

【目的】

・健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズが一段と高まる中、市民が自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、スポーツを通じたコミュニティづくりと心身の健康増進及び競技力の向上を図るための環境づくりを目的とする。

【効果】

・公式スポーツ施設整備計画で示された必要な機能、規模を確保することにより本格的な競技への対応が図られるとともに、スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・新総合体育館の建設にあたり、早期完成と入札不調のリスクを軽減させるため「設計協力付施工一括発注方式」により施工者を早期に決定し、施工者からの技術提案を取り込んだ実施設計を作成し、事業費の抑制と品質の確保を図る。

- ・施工者を早期に決定して、早期に資材調達に着手して工期の短縮を図るとともに、造成工事に着手する。
- 安曇野市新総合体育館
  - ・所在地 安曇野市豊科高家(豊科南部総合公園南側拡張敷地内)
  - ・敷地面積 約29,000㎡ ・建築面積 約5,555㎡ ・屋内延べ面積 約7,300㎡ ・鉄骨造2階建て ・建物高さ 約19m
  - ・メインアリーナ(アリーナ:約1,830㎡、有効高さ:約12.5m、収容人員:約2,000人、観客席数:1,004席)
  - ・サブアリーナ(アリーナ:約720㎡、有効高さ:9.5m) ・トレーニング室兼多目的室:約320㎡ ・柔剣道場:約390㎡ ・会議室:約250㎡
  - ・駐車場 普通自動車:506台(常設駐車場:147台(うち身障者用7台) 臨時駐車場:359台)、大型バス:15台
  - ・広場 ふらっとひろば、多目的ひろば、ウォームアップひろば、スケートボードひろば

【詳細事業内訳】

新総合体育館建設事業 723,563千円

【一般財源増加理由】 事業の進捗により、建設工事に着手するため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	1,175	実施設計総合評価審査委員及び応募者謝礼				
09	旅費	42	総合評価審査委員費用弁償				
11	需用費	168	建設用地管理消耗品等				
12	役務費	2,117	建築確認手数料、上水道引込工事検査手数料ほか				
13	委託料	15,220	施工者技術協力業務・施工監理業務等委託				
15	工事請負費	699,963	新総合体育館建設工事・下水道接続工事				
19	負担金補助及び交付金	4,878	上水道加入者分担金・下水道受益者負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	新総合体育館建設事業	豊科南部総合公園の敷地を拡張した場所に、災害時の避難所及び救援物資集積場の機能を有した新総合体育館を建設することで、スポーツの振興及び災害時の地域防災拠点としての機能の向上が図られる。	15	工事請負費	699,963
				13	委託料	15,220
				19	負担金補助及び交付金	4,878
				12	役務費	2,117
				08	報償費	1,175
				11	需用費	168
				09	旅費	42
					計	723,563
2					計	0

# 市民生活部

重点施策	—		コード	10401300		予算書ページ	64
			課・係等	地域づくり課 豊科地域係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進	
	事業	0102095	豊科地域事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,408	0	0	0	0	4,408
前年度	4,569	0	0	0	0	4,569
増減額	△ 161	0	0	0	0	△ 161

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・豊科地域の自治会及び団体等の活動を支援し、地域の活性化と、地域課題を地域自らが解決できる仕組みの構築を図る。

【効果】

・市民一人ひとりが、いきいきと心豊かにくらすことができる地域社会の実現が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・豊科地域区長会等を通じて、地域課題を共有し、解決に向けた取り組みを支援する。  
 ・あづみ野祭り実行委員会に補助金を交付するとともに実行委員として運営を支援する。

【詳細事業内訳】

豊科地域管理事業 254千円 豊科地域づくり事業 4,154千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	322	豊科地域区長会出席謝礼				
09	旅費	6	豊科地域区長会視察研修随員職員旅費				
11	需用費	272	事務用品、施設(消防コミュニティ)光熱水費 ほか				
13	委託料	208	文書仕分配達業務委託				
19	負担金補助及び交付金	3,600	あづみ野祭り補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



予算書ページ	74
--------	----

重点施策	—	コード	010401400
		課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	02	文書広報費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0102220	市民相談事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	896	0	0	0	0	896
前年度	888	0	0	0	0	888
増減額	8	0	0	0	0	8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・多様化、複雑化する相談に対し、専門的な相談の機会を設け、提供する。  
 ・総務大臣から委嘱された行政相談委員の活動へ協力する。  
**【効果】**  
 ・専門的な相談の機会を設けることにより、問題の解決や悩みの解消へつなげる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・長野県弁護士会松本在住会と弁護士の派遣委託契約を結び、相談の機会を設ける。  
 ・長野県司法書士会松本支部安曇野区会、長野県行政書士会松本支部との調整により、相談の機会を設ける。  
 ・心配ごと相談事業と連携しながら、行政相談委員との相談の機会を設ける。

**【詳細事業内訳】**  
 市民相談事業 896千円

【一般財源増加理由】 消費税率の改定に伴う増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	864	法律相談担当弁護士派遣業務委託				
14	使用料及び賃借料	2	会議等 駐車場料金				
19	負担金補助及び交付金	30	長野行政相談委員協議会負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010401100
課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係

予算書ページ	82
--------	----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,531	0	0	0	3,907	5,624
前年度	12,001	0	0	0	4,120	7,881
増減額	△ 2,470	0	0	0	△ 213	△ 2,257

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさとづくり基金利子	7							
19	ふるさとづくり基金繰入金	1,200								
19	地域振興基金繰入金	2,700								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 市民、市民活動団体をはじめとするあらゆる主体が、目的や課題を共有し、それぞれの特性を活かし、主体的・自発的に役割を担い合い、対等な立場で連携することにより、みんなが主役ではじまる協働のまちづくりを推進する。  
**【効果】**  
 「協働」を通して、全市の一体感が醸成できる。  
 一人ひとりが行動することで、いきいきと心豊かに暮らすことができる地域社会の実現が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 平成31年度から5年間で計画期間とする「第2次安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、「みんなが主役ではじまる協働のまちづくり」を推進する。  
 ・ 市民活動サポートセンターの本庁舎への移設による機能の充実と事業の充実  
 ・ 協働のまちづくりフォーラム等の開催  
 ・ 市民協働事業提案事業の実施  
 ・ 光城山1000人SAKURAプロジェクト、アルプス花街道事業の実施  
 ・ つながりひろがる地域づくり事業補助金の交付

**【詳細事業内訳】**  
 協働のまちづくり推進事業 9,531千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	1,190	講座等講師謝礼、委員会委員出席謝礼 ほか			19	負担金補助及び交付金	2,700	つながりひろがる地域づくり事業補助金		
09	旅費	13	視察研修職員旅費			25	積立金	8	ふるさとづくり基金利子		
11	需用費	430	事務用品、市民活動サポートセンター消耗品、SAKURAプロジェクト消耗品 ほか								
12	役務費	110	傷害保険料、講演会手話通訳								
13	委託料	4,711	SAKURAプロジェクト伐採等業務、視察研修バス運転業務、アルプス花街道事業委託料								
15	工事請負費	253	SAKURAプロジェクト土工事								
16	原材料費	116	SAKURAプロジェクト苗木								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	協働のまちづくり推進事業	「第2次安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき諸事業を実施する。とりわけ本庁舎に移転する市民活動サポートセンターの充実を図る。豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。	13	委託料	4,711	
				19	負担金補助及び交付金	2,700	
				08	報償費	1,190	
					需用費 他	930	
					計	9,531	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010401100
		課・係等	地域づくり課 まちづくり推進係

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	06	企画費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102355	区等地域力向上事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	108,718	0	0	0	99,343	9,375
前年度	122,128	0	0	0	113,189	8,939
増減額	△ 13,410	0	0	0	△ 13,846	436

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	その他証明手数料		1						
19	地域振興基金繰入金		83,342							
21	コミュニティ助成事業助成金(一般・地域防災)		16,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を自ら解決できる仕組みを構築する。  
**【効果】**  
 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・区等交付金、地域力向上事業交付金、コミュニティ助成事業補助金などの交付  
 ・区における部制度構築支援  
 ・「区マニュアル」「コミュニティ・マニュアル」等の普及啓発  
 ・まちづくり推進会議等を通じた地域課題の共有と解決に向けた取り組み

**【詳細事業内訳】**  
 区等地域力向上事業 108,718千円

【一般財源増加理由】 2地区で計画のある地区集会施設建設補助金を計上したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	6,004	地域おこし協力隊員(2人)賃金				
08	報償費	970	まちづくり推進会議出席謝礼、市区長会理事会出席謝礼				
09	旅費	144	市区長会視察研修随員職員旅費、地域おこし協力隊員旅費				
11	需用費	370	事務消耗品、区活動啓発リーフレット印刷費				
13	委託料	69	市区長会視察研修バス運転業務委託				
19	負担金補助及び交付金	101,161	コミュニティ助成事業補助金、地区集会施設建設補助金、区等交付金 ほか				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	区等地域力向上事業	地域おこし協力隊員とともに、各区の地域力向上の支援と、区の円滑な事業推進のための相談、市区長会の企画・事業運営のサポート等を行う。すべての市民が安曇野に住んで良かったと思える地域づくり(地域コミュニティの形成と「絆」づくり)が図れる。	19	負担金補助及び交付金	101,161
				07	賃金	6,004
				08	報償費	970
					需用費 他	583
					計	108,718
2					計	0

重点施策	—		コード	010401200		予算書ページ	88
			課・係等	地域づくり課 生活安全係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち	
	目	08	交通安全対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進	
	事業	0102390	交通安全対策費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,427	0	153	0	14,274
前年度	14,873	0	0	0	14,873
増減額	△ 446	0	153	0	△ 599

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	元気づくり支援金	153							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・交通安全の推進、交通安全体制の強化を図るとともに、地域ぐるみの活動を推進し、交通事故のない安全な地域社会の実現を目指す。  
 ・総合的な交通安全対策に取り組む組織の充実を図り、子どもから高齢者まで各年代に応じた参加・体験・実践型の交通安全教育を推進するとともに、交通事故防止を図るため、交通安全思想の普及促進に努める。  
**【効果】** 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・高齢者と子どもの交通安全対策を重点事項として設定し、家庭や地域に浸透するきめ細かな交通安全対策を推進するとともに、地域の安全は地域で守る区マニュアルに基づく区及び部制度の考え方を取り込み、地域における交通安全の実現に向けて、家庭、職場、地域から、市民総ぐるみの交通安全対策を展開する。  
 ・市民に最も身近な公民館等で開催する「地域(区)訪問型高齢者交通安全教室」では、交通安全ミュージカルや反射神経テストを通してわかりやすく実践、体験する交通安全教室の開催とともに、高齢者宅を戸別訪問して交通事故防止を呼び掛ける高齢者宅家庭訪問の取り組みにより、高齢者の交通安全教育の充実と交通安全思想の普及・浸透を図る。  
 ・幼稚園・こども園等では理解力に応じた段階的な交通安全教室を展開。小中学校では、通学路に潜在する危険をスケアード・ストレイト方式(恐怖を実感することにより危険行為を未然に防ぐ教育手法)を用いて再現する実践的な交通安全教室を展開し、心身の発達に即した体系的な交通安全教育に取り組む。

**【詳細事業内訳】**  
 交通安全対策推進事業 14,427千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	686	交通指導員報酬		18	備品購入費	76	交通安全教室指導用備品	
08	報償費	382	交通安全推進協議会委員・高齢者交通安全教室関係役員出席謝礼		19	負担金補助及び交付金	4,458	交通安全協会負担金、交通安全普及協会研修負担金	
09	旅費	86	交通安全教育指導者研修会旅費		27	公課費	7	公用車自動車重量税	
11	需用費	2,127	交通安全用品外						
12	役務費	73	公用車車検検外						
13	委託料	3,718	園児・小中高交通安全教室、訪問型高齢者交通安全教室等の委託						
14	使用料及び賃借料	2,814	高齢者交通安全教室会場使用料、デマンド交通割引回数券の購入						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	010401200		予算書ページ	90
			課・係等	地域づくり課 生活安全係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	事件・事故を防ぐまち	
	目	09	防犯対策費		基本施策	防犯・交通安全の推進	
	事業	0102400	防犯対策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,597	0	0	0	200	28,397
前年度	30,316	0	0	0	200	30,116
増減額	△ 1,719	0	0	0	0	△ 1,719

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	地区防犯灯新設分担金	200							

【目的・効果】

【目的】

- ・犯罪や夜間の交通事故を未然に防ぐ防犯灯を計画的に整備することで、地域の安全活動を推進し、犯罪のない安全な地域社会の実現を目指す。
- ・市民が安心して暮らすことができる安全な地域社会を実現するため、関係機関との連携のもと、市民参加による防犯運動や広報、啓発活動を通じて、防犯意識の高揚を図る。
- ・地域ぐるみの防犯活動を展開するため、関係機関との連携を強化し、地域防犯活動を支援する。

【効果】 犯罪や交通事故のない安全な地域社会の実現。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・防犯灯のLED化更新事業については、市内約7,000基のLED化更新工事の完了により環境負荷の低減と経費削減が図られ、全市的な防犯効果が高められている。また、防犯灯管理運営費として取り組む防犯灯設置工事では、通学路への計画的な設置や安全対策が必要な未整備路線等への新設を進めるとともに、鋼管柱等の老朽化により順次更新時期を迎える独立柱防犯灯についても、安全かつ効果的な照明配置となるよう移設可能な電力柱等への共架移転を検討したうえで、計画的に照明柱の更新(建替)工事を進める。

・地域の安全を守る為、関係機関、団体と連携し、啓発活動、防犯運動を展開するとともに、市民協働によるまちづくり施策を推進し、現在、市としても取り組んでいる区及び部制度の考え方を取り込み、地域の安全は地域で守る防犯思想の浸透と総合的な安全・安心対策を担う効果的かつ効率的な組織体制の拡充を図る。

【詳細事業内訳】

防犯対策推進事業 3,193千円 防犯灯管理運営費 25,404千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	19,826	防犯灯施設修繕、防犯灯電気料				
12	役務費	825	防犯灯移設				
15	工事請負費	4,950	防犯灯新設、防犯灯移設及び照明柱共架更新工事				
19	負担金補助及び交付金	2,996	安曇野防犯協会連合会負担金、防犯対策機器購入補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	○	防犯対策機器購入補助	被害の絶えない特殊詐欺を防止するため対策機器の購入設置を補助することにより被害防止を図る。	19	負担金補助及び交付金	500
					計	500
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010401400
課・係等	地域づくり課 市民相談室

予算書ページ	246
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	事件・事故を防ぐまち
	目	04	消費者行政対策費		基本施策	消費者保護の推進
	事業	0107180	消費者行政対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,766	0	0	0	0	5,766
前年度	4,836	0	0	0	0	4,836
増減額	930	0	0	0	0	930

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・消費者問題に対する相談体制の充実に努める。  
 ・特殊詐欺等被害防止のための啓発活動を実施。  
 ・知識向上のための研修へ参加。  
**【効果】**  
 ・消費者被害の防止、減少のための啓発活動や相談に対応できる体制づくり。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・多様化、複雑化する消費者問題等に対する知識向上や情報交換のための研修へ参加。  
 ・区や団体への出前講座の対応。  
 ・高齢者宅を中心とした家庭訪問による啓発活動。  
 ・中学生や新成人への消費者トラブル防止のための啓発活動。

**【詳細事業内訳】**  
 消費者行政対策事業 5,766千円

【一般財源増加理由】消費生活相談員の勤務時間の変更などによる増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	4,752	消費生活相談員 賃金				
09	旅費	52	旅費				
11	需用費	935	消費生活啓発物品、参考図書等				
14	使用料及び賃借料	3	会議等 駐車場料金				
19	負担金補助及び交付金	24	研修参加負担金、安曇野市消費者の会補助金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	102
--------	-----

重点施策	—	コード	010402100
		課・係等	市民課 市民担当

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	03	戸籍住民基本台帳費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	戸籍住民基本台帳費		基本施策	方針3 地域情報化の推進
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	187,164	9,336	94	0	44,000	133,734
前年度	194,534	19,940	94	0	44,000	130,500
増減額	△ 7,370	△ 10,604	0	0	0	3,234

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	戸籍住民基本台帳手数料	44,000	16	人口動態調査委託金	94				
15	中長期在留者住居地届出等事務委託金	300								
15	個人番号カード交付事業費補助金	7,000								
15	個人番号カード交付事務費補助金	2,036								

【目的・効果】

【目的】

行政事務の基礎となる戸籍、住民基本台帳の整備・管理を行う

【効果】

市民に関する基礎資料を正確かつ統一的に整備することにより、市民の利便性の増進、行政事務の合理化を図り、窓口での待ち時間を減らす等、市民の負担軽減が図られ良好な市民サービスが提供できる。また、法改正などに対する対応も、適切かつ迅速に対応できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

証明書を全国のコンビニエンスストア等で交付が受けられるよう、個人番号カードの普及促進活動を積極的に行い、市民の利便性の向上を図る。  
戸籍総合システム、証明書コンビニ交付システム等のシステム保守を行うことで、恒常的に正常な状態で稼働させ、常に良好な市民サービスを提供できる状態を保つ。  
昨年実施した市オリジナル婚姻届事業や結婚記念証・出生記念証交付事業をより良いものにしていくための検討を進める。  
証明書の申請について窓口での市民負担の軽減を図るため、窓口申請ツール等の導入についての検討を進めるとともに、市民への心づかいや配慮を大切に窓口サービスに心がける。

【詳細事業内訳】

市民総務費 169,238千円 戸籍総合システム管理業務 10,529千円 証明書コンビニ交付事業 7,397千円

【一般財源増加理由】	個人番号カードの普及により、コンビニでの証明書の交付件数が増加すると見込みコンビニ業者へ支払う委託手数料の増加及び個人番号カード・通知カードの紛失によるJ-LISに支払う再発行手数料(国庫補助金対象外)の増加による。										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	86,619				13	委託料	8,822	戸籍総合システム・ブックレス、証明書コンビニ交付システム等保守業務委託料		
03	職員手当等	38,861				14	使用料及び賃借料	8,709	戸籍総合システム・ブックレス機器等借上料、戸籍総合システム・ブックレスソフトウェア使用料		
04	共済費	26,099				19	負担金補助及び交付金	10,737	個人番号カード等関連委任事務交付金		
07	賃金	3,551	戸籍住民基本台帳事務・個人番号カード交付事務								
09	旅費	101	住基法外改正に係る研修会参加旅費・コンビニ交付システム改修に伴う試験旅費								
11	需用費	2,870	戸籍関係図書費、本人確認書類裏面印刷機消耗品、結婚・出産お祝い事業印刷費								
12	役務費	795	個人番号カード交付通知書類郵送料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	証明書コンビニ交付事業	個人番号カードを利用して証明書をコンビニで交付することで、窓口の混雑緩和及び請求用紙等の削減が図られると考える。	13	委託料	4,662
				19	負担金補助及び交付金	2,700
				09	旅費	30
				12	役務費	5
					計	7,397
2						
					計	0

重点施策	(2)	コード	010403200			予算書ページ	86
		課・係等	環境課 環境保全担当				
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	環境を守るまち	
	目	06	企画費		基本施策	水環境の保全・強化・活用	
	事業	0102360	水資源対策費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,487	0	0	0	7,487
前年度	7,095	0	0	0	7,095
増減額	392	0	0	0	392

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・地下水の保全、涵養及び適正利用を図る。  
**【効果】**  
 ・地下水収支のバランスを改善し、健全な水循環(水量・水質)を創出し、地下水資源の活用により豊かな安曇野を創成する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・地下水水位観測調査、地下水水質検査を実施する。(地下水水位観測調査12箇所、湧水量調査2箇所、水質検査6箇所)  
 ・平成28年度に策定した「水環境基本計画(マスタープラン)」 「水環境行動計画(アクションプラン)」に基づき計画的に進める。  
 ・実効性のある有効な地下水涵養施策や涵養経費の負担方法などについて、水資源対策協議会及び本協議会資金調達専門部会で検討していく。  
 ・雨水貯留施設設置する者に対して補助金を交付する。  
 ・公共施設への雨水貯留槽の設置を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 水資源対策費 7,487千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	264	地下水採取審査委員会の委員報酬	19	負担金補助及び交付金	955	水資源対策協議会負担金及び雨水貯留施設設置補助金
07	賃金	1,329	地下水保全条例に伴う届出事務及び水環境基本計画事務の臨時職員賃金				
08	報償費	102	地下水講座の講師謝礼				
09	旅費	393	関係省庁事務打ち合わせ、地下水講座講師外、全国名水サミット(鹿児島県鹿児島市)、先進地視察				
13	委託料	4,304	地下水水位等観測、水質調査業務委託				
14	使用料及び賃借料	10	堀金地下水水位観測井借地料				
15	工事請負費	130	公共施設への雨水貯留施設設置工事費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	水資源対策協議会(水資源対策費)	「水環境基本・行動計画」に基づき、計画的に施策を進める。また水資源対策協議会において、地下水涵養施策の検討、確立を行い、同協議会資金調達専門部会を中心として費用負担ルールの研究、調整、確立を進めていく。	19	負担金補助及び交付金	800
					計	800
2					計	0



予算書ページ	180
--------	-----

重点施策	—	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	霊園管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0104140	霊園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,427	0	0	0	26,426	1
前年度	36,484	0	0	0	36,482	2
増減額	△ 10,057	0	0	0	△ 10,056	△ 1

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	霊園管理料	10,064	17	霊園基金利子	270				
13	霊園管理料滞納繰越分	15	19	霊園基金繰入金	3,086					
14	霊園使用料	12,985								
14	霊園事務手数料	6								

【目的・効果】

【目的】

・市内10ヶ所の市営霊園及び合葬式墳墓の定期的な施設管理と必要な施設整備を行う。

【効果】

・霊園施設及び合葬式墳墓の適切な維持管理が図られることで、利用者の利便性が向上するとともに周辺環境の保全に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市営霊園(市内10ヶ所、3,786区画)及び合葬式墳墓の維持管理を実施する。
- ・合葬式墳墓「合葬墓」の申し込みの受付と埋蔵等の運営を行う。

【詳細事業内訳】

霊園管理費 26,427千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	3,078	清掃用具、除草剤の消耗品、施設修繕、光熱水費				
12	役務費	189	市営霊園トイレの汲み取り、浄化槽法定点検手数料				
13	委託料	10,829	市営霊園墓地施設管理委託外、穂高墓地公園の擁壁耐震診断				
14	使用料及び賃借料	306	墓地管理システム使用料				
16	原材料費	44	市営霊園の植木代				
23	償還金、利子及び割引料	1,100	霊園聖地の使用料還付金				
25	積立金	10,881	霊園基金積立金及び利子				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	霊園管理費	市営霊園及び合葬式墳墓の維持管理を実施する。また穂高墓地公園の擁壁耐震診断を行い、その結果によって擁壁修繕工事を実施することで、利用者の利便性と安全性を図る。	13	委託料	10,829
					計	10,829
2					計	0

重点施策	(4)・(5)
------	---------

コード	010403100
課・係等	環境課 環境政策係

予算書ページ	182
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生するまち
	目	05	環境衛生費		基本施策	自然環境の保全
	事業	0104150	環境基本計画推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,767	0	0	0	208	29,559
前年度	32,439	0	0	0	426	32,013
増減額	△ 2,672	0	0	0	△ 218	△ 2,454

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	その他刊行物頒布代	10								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 第2次環境基本計画の施策の展開により、豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐ。  
**【効果】**  
 市民一人ひとりが、安曇野に住むことに誇りを持ち、安曇野らしい景観や環境を守ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・環境審議会の運営  
 ・環境基本計画の施策の推進  
 ・環境フェアの開催  
 ・自然観察会の開催  
 ・特定外来生物駆除研修会の実施  
 ・省エネのための緑のカーテンの普及等  
 ・エコアクション21の運営  
 ・太陽光発電システム設置補助、太陽熱利用システム設置補助による新エネルギー活用の推進

**【詳細事業内訳】**  
 環境基本計画推進事業 5,897千円 地球温暖化対策事業 23,870千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	280	環境審議会委員報酬								
08	報償費	1,783	環境フェア謝礼、環境教育プログラム他講師謝礼、地球温暖化対策啓発、生物多様性アドバイザー他謝礼								
09	旅費	133	自然保護有識者・エコアクション21審査人費用弁償								
11	需用費	932	環境フェア、緑のカーテン、特定外来生物駆除啓発チラシ								
12	役務費	529	エコアクション21審査手数料、環境フェア傷害保険料他								
13	委託料	3,145	環境フェア運営他、自然観察会運営サポート、エコアクション21支援業務								
19	負担金補助及び交付金	22,965	住宅用太陽光発電システム設置補助金、住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	環境基本計画推進事業	自然観察会や特定外来生物駆除研修会などにより、市民が環境について学ぶ・体験する機会を充実するとともに、本年度も環境フェアを開催し環境への意識を高める。	08	報償費	1,671	委員等報酬 外
				11	需用費	776	
				13	委託料	2,914	
					その他	536	
					計	5,897	
2					計	0	

重点施策	(5)	コード	010403200			予算書ページ	184
		課・係等	環境課 環境保全担当				
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち	
	目	05	環境衛生費		基本施策	良質な住環境の整備	
	事業	0104160	環境衛生総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	201,927	0	0	0	4,486	197,441
前年度	205,148	0	0	0	4,710	200,438
増減額	△ 3,221	0	0	0	△ 224	△ 2,997

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	霊園管理料	419							
14	狂犬病予防注射済票交付手数料	2,904								
14	犬の登録手数料	1,163								

【目的・効果】

【目的】

・安曇野の自然環境、田園環境を生かした快適な生活環境を維持するため、市民の生活に身近な施策を実施する。

【効果】

・身近な生活環境の整備や保全により、安曇野らしい、快適な田園産業都市生活を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・公衆浴場経営安定化事業の補助金を交付する。
- ・空家等対策協議会を開催し、特定空家の認定等の協議を行う。
- ・空家の適正管理を促し、また有効活用を図るため、空家相談会、講演会を開催する。
- ・市内の空家に対して、適切な対応と対策を図るため、空家実態調査に基づく空家管理台帳の活用を図る。
- ・広域豊科葬祭センターを利用した市民の火葬料無料化と、管外施設を利用した市民への扶助を行う。
- ・安曇野松筑広域環境施設組合豊科葬祭センター施設運営の負担をする。
- ・犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、犬鑑札及び注射済票を交付する。
- ・地域猫の不妊・去勢手術費用に対して補助金を交付する。
- ・豊科駅前・新田公衆便所の管理を行う。

【詳細事業内訳】

空家対策費 1,273千円 環境衛生総務費 187,918千円 公衆便所管理事業 1,120千円 公衆浴場経営安定化助成事業 1,800千円 狂犬病予防・動物愛護事業 1,678千円 火葬料負担事業 8,138千円

【一般財源増加理由】 ※H31年度より空家を作らない対策として「空家予防啓発講演会」を、年3回開催していく。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	79,345		12	役務費	337	公用車、動力噴霧器等の点検手数料外
03	職員手当等	40,582		13	委託料	2,669	犬の登録管理狂犬病予防委託、休日等保護犬搬送業務委託、公衆便所清掃委託、空家データベースシステム更新業務委託
04	共済費	25,436		14	使用料及び賃借料	76	空家地図のコピーライセンス料
07	賃金	339	アンケート調査(空家・地下水)実施による集計事務の臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	51,460	公衆浴場経営安定化助成金、火葬料負担金、安曇野松筑広域環境施設組合負担金、猫不妊・去勢手術費用補助
08	報償費	286	空家予防講演会等の講師謝礼外	20	扶助費	175	火葬料
09	旅費	19	犬管理対策協議会研修会、空家等対策研修会外	27	公課費	14	公用車自動車重量税
11	需用費	1,189	アメリロ防除薬剤等、狂犬病予防注射済票、犬鑑札、公衆便所の光熱水費外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	空家対策費	空家の適正管理、有効活用を推進するため、建築士・司法書士による相談会・講演会を開催し、また空家実態調査に基づき、空家所有者に対して意向調査を実施する。	08	報償費	283	
				09	旅費	19	
				13	委託料	867	
					その他	104	使用料、手数料
					計	1,273	
2					計	0	

重点施策	—		コード	010403200		予算書ページ	186
			課・係等	環境課 環境保全担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	環境を守るまち	
	目	05	環境衛生費		基本施策	水環境の保全・強化・活用	
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,016	4,050	3,746	0	0	10,220
前年度	18,016	4,050	3,746	0	0	10,220
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	浄化槽設置整備補助金	4,050							
16	浄化槽設置整備補助金	3,746								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・下水道整備区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置を推進し、市民の生活環境の向上を目指す。  
**【効果】**  
 ・市民の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善に繋げる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・下水道整備区域外に建築される専用住宅に対し、合併浄化槽を設置する際、設置者に補助金を交付する。

**【詳細事業内訳】**  
 合併浄化槽補助事業 18,016千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	18,016	浄化槽設置整備補助金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1	ソフト	合併浄化槽補助事業	下水道事業計画区域外での合併処理浄化槽設置者に対し補助金を交付することで、生活環境の向上と公共用水域の水質改善を図る。		19	負担金補助及び交付金	18,016
						計	18,016
2						計	0

予算書ページ	186
--------	-----

重点施策	—	コード	010403200
		課・係等	環境課 環境保全担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	自然と共存・共生すまち
	目	06	公害対策費		基本施策	快適な生活環境の創造
	事業	0104180	公害対策費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,663	0	0	0	0	12,663
前年度	11,779	0	0	0	0	11,779
増減額	884	0	0	0	0	884

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・水質、大気、騒音等に係る環境調査により、市民の健康を保護するうえで維持されることが望ましい環境基準を達成する。

【効果】

・各種検査、測定を実施することで公害監視体制の強化を図り、公害のない健康で快適な市民生活の保持を目指す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・自動車騒音等の各種環境調査定期測定を実施する。  
 ダイオキシン類大気検査5箇所、大気中窒素酸化物12回/3箇所、道路騒音調査8箇所、河川水質検査2回/51箇所・46箇所、地下水水質検査2回/28箇所、ゴルフ場農薬検査1回/2箇所、硝酸態窒素水質調査2回/3箇所、トリクロロエチレン水質検査6箇所、自動車騒音常時監視及び面的評価3路線、長野道騒音調査測定3箇所/24時間。

・公害発生の早期発見と発生状況を監視するため、公害監視員による市内の巡回を行う。

・悪臭防止法に基づく臭気指数規制に係る臭気指数調査を行う。  
 三郷地域畜産臭気測定3回/8箇所、苦情に係る臭気指数調査の実施。

【詳細事業内訳】

公害対策費 9,303千円 臭気対策費 3,360千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	365	臭気モニター及び公害監視員謝礼				
09	旅費	19	公害対策研修会への職員旅費				
11	需用費	182	公害作業対応に伴う消耗品				
12	役務費	326	公害測定機保守点検及び公害監視員傷害保険料				
13	委託料	11,771	環境調査定期測定等の委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公害対策費	騒音、ダイオキシンなどの公害測定を行い、環境基準の達成状況を常に監視することで、生活環境の向上を図る。	13	委託料	8,901
					計	8,901
2	ソフト	臭気対策費	基準を超える臭気により苦情が頻発する事業所に対して指導等を行い、臭気の低減を図る。また、公害監視員が市内を巡回し、臭気をはじめとした公害の発生を監視することで、公害の早期発見につながり、快適な生活空間の維持改善を図ることができる。	08	報償費	365
				11	需用費	82
				12	役務費	43
				13	委託料	2,870
					計	3,360

重点施策	—		コード	010404100		予算書ページ	188
			課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすま	
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すま	
	目	01	清掃総務費		基本施策	快適な生活環境の創造	
	事業	0104210	清掃費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
2,321,921	925,906	1,396,015	0	0	1,300,700	105,788
			0	0	7,300	108,534
			0	0	1,293,400	△ 2,746
						105,361

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	一般廃棄物許可申請等手数料	20		22	旧合併特例事業債(新ごみ処理施設建設事業)	1,300,700			
14	可燃ごみ処理手数料	91,419								
14	動物死骸処理手数料	5,894								
21	資源売却代	8,455					(入湯税)	(5,571)		

【目的・効果】

【目的】

・市民から排出されるごみ・資源物の適正な収集及び処理を行う。また、不法に投棄される廃棄物の早期回収・処理を行い、市民の清潔で快適な生活環境を確保する。

【効果】

・ごみ・資源物、不法投棄ごみなど、適正な処理を行うことにより清潔で快適な生活環境を確保することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・不法投棄防止及び早期撤去を行う。
- ・可燃ごみ証紙の管理事務を行う。
- ・可燃ごみ、不燃ごみ、資源物の収集運搬業務を委託する。
- ・粗大ごみ等の収集・運搬・処理業務を委託する。
- ・市内一斉清掃を実施する。
- ・穂高広域施設組合の運営並びに新ごみ処理施設の整備費用について応分の負担をする。(平成33年3月共用開始予定)

【詳細事業内訳】

穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業 1,413,343千円 廃棄物収集運搬事業 334,919千円 穂高広域施設組合事業 552,692千円 乳幼児の紙おむつ処理手数料減免事業 570千円 廃棄物対策総務費 5,202千円 不法投棄対策事業 7,325千円 可燃ごみ有料化事業 7,870千円

【一般財源増加理由】		穂高広域施設組合新ごみ処理施設整備費負担金						
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,764	臨時職員賃金		18	備品購入費	343	犬猫死体一時保管用冷凍ストッカー
08	報償費	2,569	不法投棄監視連絡員出席謝礼		19	負担金補助及び交付金	1,966,154	穂高広域施設組合負担金、新ごみ処理施設整備費負担金、廃棄物処理施設技術管理者講習受講料
09	旅費	367	廃棄物処理施設技術者講習受講、東京高等裁判		27	公課費	78	公用車重量税
11	需用費	2,177	不法投棄防止看板、出荷管理票印刷、直営管理集積所修繕、公用車燃料費・修繕、減免用交付袋					
12	役務費	8,253	公用車車検手数料、不法投棄監視連絡員保険料、可燃ごみ証紙売り捌き手数料					
13	委託料	339,074	収集運搬・中間処理、直営集積所管理、犬猫死体回収、動物死骸等処理、不法投棄・一斉清掃粗大ごみ収集運搬・処理					
16	原材料費	142	旧穂高処分地整備用敷砂利、柵設置資材					

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	不法投棄対策事業	不法投棄の防止、不法投棄をさせないまちづくりと早期発見のため、不法投棄監視連絡員を委嘱し常習箇所を中心としたパトロールを実施する。また不法投棄された廃棄物は呼び水とならないよう早期に撤去し処分する。	13	委託料	4,213
				08	報償費	2,565
				11	需用費	335
				12	役務費	212
					計	7,325
2	ソフト	廃棄物収集運搬事業	①市民が指定集積場所に排出する可燃ごみ・不燃ごみを収集し、穂高クリーンセンター等へ搬入する業務を業者へ委託する。 ②市民が分別排出した資源物の収集運搬・保管・中間処理を業者へ委託し、資源物のリサイクルをする。なお、資源物の売却収入の一部を財源として充当する。	13	委託料	334,576
				18	備品購入費	343
					計	334,919

重点施策	—
------	---

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	190
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,638	0	0	0	14,450	15,188
前年度	33,355	0	0	0	26,650	6,705
増減額	△ 3,717	0	0	0	△ 12,200	8,483

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	資源売却代	11,900							
21	再商品合理化拠出金配分金	2,550								

【目的・効果】

【目的】

- ・市民から排出されるごみの分別・資源化を進め、ごみの減量化と市民の住環境の向上を図る。
- ・市内各自治会が組織する環境部の活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。

【効果】

- ・ごみの減量化による行政経費の軽減と資源化再利用により環境負荷が軽減される。
- ・環境部を中心とした市民活動を支援することにより、住民協働の進展とごみの減量化や生活環境の保全が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・ごみ減量化・資源化を図るため、適正な分別の啓発・指導の推進を行う。
- ・「ごみ・資源物収集カレンダー」を全戸に配布する。
- ・スマートフォン、タブレット向け「ごみ分別アプリケーション」の安曇野市版を配信することにより、更なるごみの分別・啓発を行う。
- ・市民から排出されるせん定枝をチップ化し市民に無償で提供する「緑のリサイクル事業」を委託する。
- ・ごみ減量のため、市民が購入する生ごみ処理機器等の購入補助を行う。
- ・地域ごとに環境部長会議を開催し、必要な研修機会を設けることで地域活動を支援する。
- ・各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積所の管理やごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援する。

【詳細事業内訳】

ごみ減量化推進事業 6,623千円 環境活動支援事業 23,015千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	619	環境部長会議出席謝礼、講習会講師謝礼	27	公課費	40	特殊車両(タウンビーパー)重量税
09	旅費	14	職員旅費				
11	需用費	2,728	ごみ・資源物収集カレンダー印刷、一斉清掃用ごみ袋				
12	役務費	520	特殊車両(タウンビーパー)車検・保険・破碎機歯研磨手数料、ごみ専用フリーダイヤル電話料、ごみカレンダー翻訳料				
13	委託料	2,192	せん定枝破碎業務、廃食油回収業務、運転代行				
14	使用料及び賃借料	177	ごみ分別アプリケーションサービスサーバー使用料、不用食器リサイクル運搬車両借上料				
19	負担金補助及び交付金	23,348	環境活動交付金、生ごみ処理機器等購入補助金、指定集積所施設整備補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ごみ減量化推進事業	収集カレンダーを発行並びにごみ分別アプリケーションサービスによる啓発を行い、市民より排出される廃棄物の分別の徹底を図り、ごみの減量化・資源化を推進する。	11	需用費	2,243
				13	委託料	2,125
				19	負担金補助及び交付金	1,500
				12	役務費	520
					計	6,388
2	ソフト	環境活動支援事業	各自治会環境部に交付金を交付し、指定集積場の管理やごみ分別の適正化推進、地域一斉清掃などの地域活動を支援し、住民協働により生活環境の保全を図る。	19	負担金補助及び交付金	21,848
				08	報償費	601
				11	需用費	485
				13	委託料	67
					計	23,001

重点施策	—		コード	010404100		予算書ページ	192
			課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち	
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち	
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減	
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,628	0	0	0	0	14,628
前年度	15,091	0	0	0	0	15,091
増減額	△ 463	0	0	0	0	△ 463

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

目的:一般廃棄物の自区内処理の原則により、三郷一般廃棄物最終処分場では市内から排出されるガラス・陶器・家庭焼却灰を、小岩岳不燃物処理場では市内から排出されるブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立て処分する。これら2つの処分場の適切な維持管理及び埋立てが終了している旧豊科最終処分場の監視を行う。  
 効果:廃棄物処理施設は、周辺環境の保全を目的に施設を適正に維持管理する義務が課せられている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

三郷最終処分場の放流水等検査、小岩岳不燃物処理場等の地下水検査を行う。  
 三郷最終処分場の測量を委託し、埋立残余量を把握する。  
 小岩岳不燃物処理場では、一般廃棄物のブロック・コンクリート・瓦・タイル・壁土等を埋立処分する。

【詳細事業内訳】

最終処分場施設管理事業 14,628千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,626	施設修繕費、光熱水費				
12	役務費	265	電話料、トラックスケール定期検査				
13	委託料	11,092	埋立業務、周辺環境整備、水質検査、受入れ業務、測量業務				
14	使用料及び賃借料	186	重機借上料、監視井戸借地料				
16	原材料費	459	覆土用土砂				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	最終処分場施設管理事業	三郷一般廃棄物最終処分場に搬入されたガラス・陶器・家庭焼却灰の埋立て処分業務を委託する。	13	委託料	11,092
				11	需用費	2,626
				16	原材料費	459
				12	役務費	265
					計	14,442
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010404100
課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当

予算書ページ	194
--------	-----

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にするまち
	項	02	清掃費		基本方針	環境を守るまち
	目	02	じんかい処理費		基本施策	環境負荷の軽減
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,032	0	0	0	6,487	5,545
前年度	9,900	0	0	0	6,501	3,399
増減額	2,132	0	0	0	△ 14	2,146

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	木くず受入処理手数料	1,308							
21	資源売却代	5,000								
21	リサイクルセンター再生品販売代	179								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 市内3箇所(豊科・穂高・明科)のリサイクルセンターの管理・運営を行い、資源物回収の拠点として廃棄物の資源化の促進を図る。  
**【効果】**  
 多様化する市民のライフスタイルに対応するため、指定集積所での収集に加え、休日等に拠点施設での資源物の受け入れを行い、市民が分別排出する機会を増やし、リサイクル事業の進展が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 3施設に受入指導員を配置し、適正な分別方法の周知と管理運営を行う。  
 3施設において事業所資源物(紙類)の受入れを行う。  
 緑のリサイクルでは受入れできない太さ8cmを超えるせん定枝・丸太などの処理困難物を豊科リサイクルセンターにおいて有料で受け入れ、処理を業者に委託する。

**【詳細事業内訳】**  
 リサイクルセンター施設管理事業 12,032千円

【一般財源増加理由】	木くずのサーマルリサイクルの受入れに伴う公金収納業務委託(シルバー人材センター)										
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	1,155	受入れ指導員・リサイクル工房指導員謝礼								
11	需用費	1,199	光熱水費、施設修繕費、自転車修理用部品外、灯油代								
12	役務費	335	電話料、フォークリフト特定検査、トラックスケール定期検査、指導員保険料								
13	委託料	9,066	受入れ指導・清掃業務、木くず収集運搬・破碎処理、公金収納外								
18	備品購入費	277	テンキー式耐火金庫、カメラ、防犯センサー外								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	リサイクルセンター施設管理事業	ごみ減量化・資源化推進のため、利用者への適正な分別指導を行う。また、開場日の混雑時に整理等をし、円滑な施設運営を行う。	13	委託料	9,066	
				11	需用費	1,199	
				08	報償費	1,155	
				12	役務費	335	
					計	11,755	
2					計	0	

重点施策	—		コード	010404100		予算書ページ	194
			課・係等	廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	自然環境を大切にすまち	
	項	02	清掃費		基本方針	自然と共存・共生すまち	
	目	03	雑排水処理費		基本施策	快適な生活環境の創造	
	事業	0104260	雑排水処理事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,133	0	0	0	71	23,062
前年度	23,409	0	0	0	73	23,336
増減額	△ 276	0	0	0	△ 2	△ 274

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	雑排水配管敷設借地料	3								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃を奨励し、適正に処分することで生活排水による河川等の汚濁を防止する。市内全域から収集された生活雑排水を受け入れ、処理を行う。(汚水・汚泥は地下水で希釈後に下水道に放流)  
 ・柏原団地の生活雑排水浄化施設の維持管理を行い、排水水質の浄化安定を図る。  
**【効果】**  
 ・定期的な清掃を実施し、汚水汚泥の適正な処理を行う。また、市内全域から収集された生活雑排水の適正な処理を行うことができる。  
 ・柏原団地浄化施設の適正な管理を行うことで、放流先の農業用灌漑水に影響のない安定した水質の排水が確保できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・家庭雑排水沈殿槽の清掃と汚泥収集運搬業務を委託する。  
 ・処理施設の管理運営を行う。  
 ・定期的に浄化槽の清掃を行う。  
 ・施設の計画的な修繕を行う。  
 ・柏原浄化施設の槽・設備機器の維持管理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 生活雑排水処理施設管理事業 23,133千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	6,150	光熱水費、管理用消耗品、灯油代、施設修繕費				
12	役務費	55	電話料				
13	委託料	16,793	貯留槽・沈殿槽清掃業務、施設管理作業、生活雑排水汚泥保管・運搬、生活雑排水汚泥汲取(助成)				
14	使用料及び賃借料	40	除雪機械借上げ、雑排水管借地料				
19	負担金補助及び交付金	95	放流水水質検査負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—		コード	010406100		予算書ページ	64
			課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進	
	事業	0102110	穂高支所費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,497	0	0	0	100	23,397
前年度	21,552	0	0	0	108	21,444
増減額	1,945	0	0	0	△ 8	1,953

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高支所雑入	90							
20	コピー等サービス料	10								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○市民の視点に立った管理運営をし、利便性の向上を図る。  
 ○各区との連携。  
**【効果】**  
 ○継続的かつ適切な維持管理を行うことにより、利用者の安全・安心・快適性が確保できると共に、災害発生時などの地域支援の拠点として機能することができる。  
 ○各区との連携により、地域住民の安全・安心な生活環境づくりに努めている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・穂高支所及び所管施設(福武書庫)、公用車の維持管理を行う。  
 ・穂高地域区長会の運営補助。  
 ・本庁部局との連絡調整。  
 借地①庁舎敷地935.39㎡(地権者1名)  
 ②公用車駐車場2.231㎡(地権者1名)  
  
 一般財源増理由  
 ・下水道配管替工事増  
 ・納涼祭補助金増(観光交流促進課から分かれたもの)

**【詳細事業内訳】**  
 穂高支所等施設管理運営事業 22,168千円 穂高地域づくり事業 1,329千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	5,273	臨時職員		15	工事請負費	1,210	穂高支所下水道修繕工事		
08	報償費	322	区長会出席謝礼		19	負担金補助及び交付金	814	穂高地域納涼祭補助		
09	旅費	6	普通旅費(区長会研修同行)		27	公課費	18	公用車車検		
11	需用費	6,941	事務消耗品、燃料費、施設修繕費、光熱水費、物品修繕費他							
12	役務費	1,479	電話料、法定点検手数料、管理手数料他							
13	委託料	3,706	管理委託(庁舎清掃、保守点検業務他)、警備業務							
14	使用料及び賃借料	3,728	コピー機外借上げ、各種使用料、駐車場外借地等							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高地域づくり事業	地域課題の解決に向け、協働(市民等と行政)で取組む仕組みづくりを推進する。	19	負担金補助及び交付金	814
				08	報償費	322
				11	需用費	155
				13	委託料	32
					計	1,323
2					計	0

予算書ページ	334
--------	-----

重点施策	—	コード	010406100
		課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110395	穂高公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,565	0	0	0	840	20,725
前年度	22,619	0	0	0	936	21,683
増減額	△ 1,054	0	0	0	△ 96	△ 958

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	穂高公民館使用料	600							
21	穂高公民館雑入	240								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・多くの市民が利用する生涯学習の場として利用者にとって使いやすく安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。  
 ・市民が安心して利用できる施設として、更なる利用の促進を図る。  
**【効果】**  
 ・穂高会館の一層の利活用を図り、教育・文化の振興に資することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・施設・備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。  
 ・施設予約システムにより適正な受付・管理業務を行う。  
 ・利用者の意向・要望に沿えるように及び情報提供を行う。  
 ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。  
 ・貸館事務等の業務委託

**【詳細事業内訳】**  
 穂高公民館施設管理運営事業 21,565千円

【一般財源増加理由】施設修繕費(消防設備)及び施設管理費の増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,782	非常勤職員	27	公課費	9	自動車重量税
11	需用費	7,714	管理用品費、燃料費、光熱水費、物品修繕費				
12	役務費	859	電話料、手数料、保険料				
13	委託料	10,164	管理委託料、事務事業委託料				
14	使用料及び賃借料	1,028	コピー機他借上料・使用料				
19	負担金補助及び交付金	4	負担金				
23	償還金、利子及び割引料	5	施設使用料還付金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	穂高会館管理	穂高会館の利用者の安全と利便性の向上が図れるように適正な維持管理を行う。光熱水費の適正な執行に努める。	13	委託料	10,164
				11	需用費	7,714
				7	賃金	1,782
				12	役務費	859
					計	20,519
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010406100
課・係等	穂高地域課 地域担当(穂高)

予算書ページ	336
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110400	穂高公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,150	0	0	0	30	4,120
前年度	4,114	0	0	0	30	4,084
増減額	36	0	0	0	0	36

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	20	穂高公民館雑入	30							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に公民館事業の活性化を図る。  
**【効果】**  
 ・多くの市民が、公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。  
 ・文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで生きがいと更なる学習意欲がうまれる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・各種公民館講座、球技大会等の開催により子どもから高齢者まで生涯を通じて学びあえる機会を提供する。  
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民交流の場として文化祭、芸能祭及びスポーツ大会を開催する。  
 ・公民館サポート委員及びスポーツ推進委員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。  
 ・地区公民館役員会議を定期的に開催し、情報提供及び共有を図る。  
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。  
 ・消費税増額に伴い、当年度予算額が前年度より上回る。

穂高公民館事業 4,150千円

【一般財源増加理由】		文化祭出品作品の増による設営費用の増									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,478	館長報酬								
08	報償費	584	労務謝礼、記念品等								
11	需用費	431	事務用品等、球技大用品外、印刷製本費								
12	役務費	194	保険料								
13	委託料	443	文化祭設営・撤去費								
14	使用料及び賃借料	20	公民館講座								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	穂高公民館事業	地区公民館対抗球技大会を年2回を開催し、穂高地域住民の健康づくりと親睦・交流を図る。	01	報酬	2,478	
				08	報償費	584	
				13	委託料	443	
				11	需用費	431	
					計	3,936	
2					計	0	

予算書ページ	66
--------	----

重点施策	—	コード	010407100
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102130	三郷支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,781	0	0	0	132	25,649
前年度	25,074	0	0	0	132	24,942
増減額	707	0	0	0	0	707

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	三郷支所雑入	132							

【目的・効果】

【目的】

○三郷支所・公民館の利用者である市民の視点に立ち、施設を一体的に維持管理・運営し、利便性の向上を図る。

【効果】

- 継続的かつ適切な維持管理を行うことにより、利用者の安全・安心・快適性が確保できると共に、災害発生時などの地域支援の拠点として機能することができる。
- 三郷地域の行政の拠点としての機能を維持することができる。
- ふるさととして地域に愛着を感じ、この地が心の拠り所として存在するを感じてもらえるよう、市民にふれあいの場を提供することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三郷支所・公民館が一体となった複合施設の利点を生かすと共に、交流学習施設も同敷地に開館した事で訪れる市民も多いことから、更なる市民サービス提供と生涯学習活動の中核となる施設環境を維持する。
- ・三郷地域区長会において、市からの依頼事項確認や地域課題の共有・情報交換を行う。
- ・地域住民のふれあいの場を提供するため、「ふるさと夏祭り」への補助を行う。

【詳細事業内訳】

三郷支所等施設管理運営事業 23,975千円 三郷地域づくり事業 1,806千円

【一般財源増加理由】 臨時賃金予算の計上事業変更。公用車車検。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,950	窓口臨時職員、文書配達臨時職員の賃金	15	工事請負費	276	敷地内用水路スクリーン設置工事
08	報償費	212	区長会出席謝礼外	19	負担金補助及び交付金	1,500	「ふるさと夏祭り」補助金
09	旅費	5	区長会研修会職員旅費	27	公課費	23	公用車車検時重量税
11	需用費	7,137	支所光熱水費外				
12	役務費	777	電話料外				
13	委託料	6,635	施設維持管理、法定点検等管理委託料外				
14	使用料及び賃借料	5,266	庁舎敷地借地料外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷地域づくり事業	地域区長会を開催し、情報交換等を行う事で地域課題の解決に資する。 地域住民のふれあいの場として「ふるさと夏祭り」への補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	1,500
				08	報償費	198
				11	需用費	70
				13	委託料	33
					計	1,801
2					計	0

重点施策	—		コード	010407100		予算書ページ	336
			課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110405	三郷公民館管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,669	0	0	0	768	7,901
前年度	8,446	0	0	0	834	7,612
増減額	223	0	0	0	△ 66	289

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	三郷公民館使用料	600							
21	三郷公民館雑入	168								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるように維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ○生涯学習を支える環境が整備されることにより、市民の学習行動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・周辺に多くの公共施設が位置していることから、大人から子どもまで多くの市民が利用する生涯学習施設の拠点として、安全かつ使いやすい施設となるよう維持管理を行う。  
 ・施設・備品等の点検修理を行い、利用環境の整備を図る。  
 ・貸館等事務(夜間・休日)を業務委託し、市民が利用しやすい環境を整える。  
 ・新公共施設予約システムを活用し、窓口業務の迅速化を図る。  
 ・館内清掃を業務委託し、常に清潔で衛生的な環境を提供する。  
 ・支所と公民館が一体となった複合施設として、利用者の意向・要望に沿えるよう、より一層のサービス向上に努める。

**【詳細事業内訳】**  
 三郷公民館施設管理運営事業 8,669千円

【一般財源増加理由】 三郷祭事業や新規公民館講座等で事業が多くなり、貸館業務について委託する必要があるため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	726	消耗品、施設修繕費、光熱費、燃料費外				
12	役務費	159	電話料外				
13	委託料	4,860	公民館管理・清掃業務委託外				
14	使用料及び賃借料	2,924	コピー機外使用料、公民館等敷地借地料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	338
--------	-----

重点施策	—	コード	010407100
		課・係等	三郷地域課 地域担当(三郷)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110410	三郷公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,275	0	0	0	56	5,219
前年度	5,498	0	0	0	64	5,434
増減額	△ 223	0	0	0	△ 8	△ 215

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	三郷公民館雑入	56							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○地域住民が主体的に公民館事業の企画運営に関わり、また積極的に参加することにより、公民館事業の多様化・活性化を図る。  
**【効果】**  
 ○多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地区間の交流も活発化する。  
 ○文化祭・芸能祭・スポーツ大会等、学びの成果を発表する機会を提供することで、生活の励みや生きがいの創出及び健康増進、さらなる学習意欲の向上を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・「三郷祭」を冠する文化産業展・運動会等の行事開催や講座・教室を開講し、地域文化の振興や地域住民の交流を図る。  
 ・生涯学習の成果発表の場及び市民の交流の場として、文化産業展、芸能発表会、運動会及びスポーツ大会を開催する。  
 ・公民館サポート会議委員及びスポーツ推進員と連携し、市民の意向を事業に反映させる。  
 ・地区公民館役員会議を定期的に開催し、情報の提供及び共有を図る。  
 ・地区公民館活動を活発化するための研修会・講習会を開催する。

**【詳細事業内訳】**  
 三郷公民館事業 5,275千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬						
08	報償費	1,402	地区公民館対抗球技大会協力者謝礼、三郷祭協力員謝礼、球技大会・運動会景品、三郷祭記念品外						
11	需用費	380	事務用品、三郷祭プログラム印刷外						
12	役務費	194	公民館総合補償制度掛金						
13	委託料	444	文化産業展会場パネル運搬委託、ふるさと講座バス運転業務委託						
14	使用料及び賃借料	377	文化産業展机等、芸能発表会照明借上料外						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三郷祭運営事業	伝統ある(昭和33年～)三郷祭を継続的に開催することで、生涯学習の成果や発表並びに世代を超えた交流と地域の活性化を図ることができる。	8	報償費	1,402
				13	委託料	444
				13	需用費	380
				11	使用料及び賃借料	377
					計	2,603
2					計	0



重点施策	—	コード	010408100
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102150	堀金支所費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,194	0	0	0	48	22,146
前年度	42,993	0	0	0	94	42,899
増減額	△ 20,799	0	0	0	△ 46	△ 20,753

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	堀金支所雑入		48						

【目的・効果】

【目的】

・堀金複合施設庁舎(支所・図書館・公民館・上下水道料金センターを備えた施設)の維持管理業務を行う。世代を超えた市民の交流並びに学習の拠点となる施設運営の充実のため、総合管理による設備管理、警備、清掃、敷地管理等の管理を行う。

- ・公用車の適切な管理を行う。
- ・快適なまちづくりと地域社会の構築を図る。
- ・市並びに堀金地域の活性化を図る。

【効果】

- ・総合管理により、施設の安全化と長寿命化を高め、また維持管理コストの低減を図ることができる。これにより庁舎利用者の安全性並びに施設利用料の軽減を確保でき、住民サービスの向上に繋がる。
- ・安全、安心で快適なまちづくりと、皆で支え合い助け合う地域社会の構築が図られる。
- ・地域交流や観光振興イベントの開催を通し、安曇野市並びに堀金地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・支所地域課と、地域公民館、図書館並びに上下水道料金センター及び文書館とが所管を超え連携している。更に連携を強化し特に節電、節水において省エネ対策に取り組む、維持管理経費の縮減に努める。
- ・支所地域課と地域公民館とが一体となり、地域固有の行事などを育み、併せて、地域の問題解決に向け、市民と行政が協働して地域づくりを進める。
- ・重要かつ対等なパートナーとしての区の代表組織である区長会と協働し、区が抱える諸課題解決に向けて会議並びに研修会等の開催や支援を行う。
- ・「ほりがね秋の振興祭り」は、地域農産物や特産品のピーアール催事事業である。農業者、商工業者代表の実行委員会に補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

堀金支所等施設管理運営事業 21,077千円 堀金地域づくり事業 1,117千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,578	窓口業務臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	900	「ほりがね秋の振興祭り事業」補助金
08	報償費	133	各種行事式典等報償用物品、区長会出席謝礼	27	公課費	23	公用車車検重量税
09	旅費	6	区長会視察研修随員職員旅費				
11	需用費	7,109	事務用品費、公用車燃料費外、来客用茶葉代、庁舎修繕費、電気料、上下水道料、物品修繕費(車検に伴う公用車修繕費外)、区長会贈い				
12	役務費	1,059	庁舎電話料、公用車車検手数料外、公用車法定点検手数料、マット・モップレンタル料、公用車自賠責保険料				
13	委託料	7,365	庁舎管理業務委託料(電気設備、清掃業務、電話設備、空調設備、エレベーター保守、自動ドア保守、夜間警備)、庭木剪定作業外、区長会研修バス運航業務				
14	使用料及び賃借料	2,021	便器洗浄等、印刷機、コピー機、給茶機レンタル料、コピー機、あづみ野テレビ使用料、庁舎用地借地料外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金地域づくり事業	・地域区長会を開催し、情報交換等を行う事で地域課題の解決に資する。 ・地域振興事業の開催を通し、地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。	19	負担金補助及び交付金	900
				08	報償費	126
				11	需用費	45
				13	委託料	40
					計	1,111
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010408100
課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算書ページ	338
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110415	堀金公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,930	0	0	0	1,140	3,790
前年度	4,758	0	0	0	1,140	3,618
増減額	172	0	0	0	0	172

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	堀金公民館使用料	1,020							
21	堀金公民館雑入	120								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 生涯学習の場として公民館施設を維持管理し、運用・活用を推進する。  
**【効果】**  
 生涯学習環境の整備により、市民の学習活動が活発化・多様化し、その成果が家庭や地域に還元される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 ○公民館施設・備品の維持及び貸出の管理運営。  
**【一般財源増加理由】**  
 地下灯油タンク廃止工事(281千円)実施のため

**【詳細事業内訳】**  
 堀金公民館施設管理運営事業 4,930千円

【一般財源増加理由】		地下灯油タンク廃止工事(281千円)実施のため									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,145	管理消耗品、暖房灯油燃料費、光熱水費								
12	役務費	325	マット・モップ交換、雑排水汲み取り、ピアノ調律								
13	委託料	2,842	施設管理委託、印刷機保守								
14	使用料及び賃借料	333	印刷機・複合機借上料、複合機使用料								
15	工事請負費	281	地下灯油タンク廃止工事								
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会会費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	340
--------	-----

重点施策	—	コード	010408100
		課・係等	堀金地域課 地域担当(堀金)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110420	堀金公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,604	0	0	0	17	4,587
前年度	4,717	0	0	0	15	4,702
増減額	△ 113	0	0	0	2	△ 115

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	堀金公民館雑入	17							

【目的・効果】

【目的】

- 地域づくりの拠点としての地区公民館の支援
- 地域の文化・芸術の振興、生涯学習の推進
- スポーツを通じた健康長寿

【効果】

多くの市民が公民館事業に積極的に参加することにより地域の繋がりが深まり、地域間の交流も活発化する。  
生涯学習・生涯スポーツの推進により、生きがいと更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- 地区公民館関係者研修会や役員会を開催し、地区公民館の支援、地域づくりの意識向上、連携活動を行う。
- 文化祭・芸能祭などの発表の場、学びのつどい等の芸術鑑賞の場を設ける。
- 地区公民館と連携し、運動会・みんなでスポーツin常念、堀金一周駅伝大会・冬期スポーツ大会を開催する。

【詳細事業内訳】

堀金公民館事業 4,604千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬				
08	報償費	1,501	講師・大会協力者・サポート会議委員謝礼、文化祭・スポーツ大会記念品				
11	需用費	323	事業消耗品				
12	役務費	216	クリーニング、総合補償掛金				
13	委託料	86	バス運転・交通誘導委託				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	堀金文化祭事業 (堀金公民館事業)	堀金文化祭(併催事業として堀金芸能祭・堀金常念フェスティバル・堀金一周駅伝大会)を開催する。 文化芸能の発表の場としてだけでなく、出展者・観覧者がともに作り上げる文化祭を企画し、生涯学習の振興に寄与する。	08	報償費	513
				11	需用費	49
				13	委託料	65
					計	627
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010409100		予算書ページ	70
			課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	01	一般管理費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進	
	事業	0102170	明科支所費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,290	0	0	0	82	17,208
前年度	14,690	0	0	0	90	14,600
増減額	2,600	0	0	0	△8	2,608

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	明科支所雑入		82						

【目的・効果】

【目的】

- ・明科支所、公民館の複合施設の維持管理業務を行う。
- ・市民と行政の協働のまちづくりを推進する。

【効果】

- ・明科庁舎等の適切な維持管理が図られる。
- ・利用者の安全、安心を確保し、利便性を向上することができる。
- ・市民と行政の協働のまちづくり体制が構築される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- \* 明科庁舎は、支所と公民館の複合施設として6年目を迎える。
- 支所及び公民館利用者の利用しやすい環境整備を行うと共に、地域の活性化を図るための事業を重点的に進める。
- ・明科庁舎等の行政財産を適正に維持管理し、市民が安全で安心して利用できる親しみやすい環境を整える。
- ・お客様(市民の皆さん)をお待たせしない市民サービスを提供する。
- ・明科支所配置の公用車(2台)の維持管理を行う。
- ・明科地域区長会活動の支援を行う。(明科地域区長会の開催、区長からの相談への対応ほか)
- ・地域の市民団体の育成、支援を進める。
- ・「あやめまつり」の開催に向け実行委員会の補助、補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

明科地域づくり事業 1,605千円 明科支所等施設管理運営事業 15,685千円

【一般財源増加理由】		臨時職員賃金増額、実行委員会事務局移管によるあやめまつり事業補助金の増							
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
07	賃金	3,681	臨時職員		19	負担金補助及び交付金	1,300	「あやめまつり事業」補助金	
08	報償費	198	地域区長会出席謝礼		27	公課費	5	自動車重量税	
09	旅費	5	普通旅費(区長会視察研修職員旅費)						
11	需用費	5,536	事務消耗品、公用車燃料代、区長会、来客贈り物、施設修繕費、光熱水費、公用車等物品修繕費						
12	役務費	523	電話料、公用車車検等手数料、管理手数料、自賠責保険料						
13	委託料	5,811	庁舎等管理(電気設備、消防施設、清掃、警備、空調ほか)点検委託料、ごみ処理、除雪						
14	使用料及び賃借料	231	コピー機使用料、テレビ受信料、庁舎案内看板借地料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	明科地域づくり事業	地域区長会を開催し、情報交換を行うことで地域課題の解決に資する。「あやめまつり」開催の補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	1,300
				08	報償費	198
				11	需用費	70
				13	委託料	32
					計	1,600
2					計	0

予算書ページ	186
--------	-----

重点施策	—	コード	010409100
		課・係等	明科地域課 地域担当(明科)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	07	飲料水供給費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104190	飲料水供給費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,400	0	0	0	154	2,246
前年度	2,497	0	0	0	154	2,343
増減額	△ 97	0	0	0	0	△ 97

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	飲料水供給施設使用料	154							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 明科南陸郷区内の山間集落(金井沢地区)において、市民の健康と生活環境を確保するため、安曇野市明科飲料水供給施設(以下「飲料水供給施設」という。)により、生活のための飲料水を安定供給する。  
**【効果】**  
 安全で安心な飲料水を供給できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・飲料水供給施設として整備されている配水施設の維持管理を、安曇野市水道事業の管理を行う者(安曇野市長:上水道課)に委託する。  
 ・浄水ろ過膜設備の洗浄及び保守点検業務を専門業者に委託し、安定した水質を確保し、安全安心な飲料水を供給する。  
 ・各受益世帯(7世帯)の水道使用量を検針(偶数月)し、使用料を徴収する。

**【詳細事業内訳】**  
 飲料水供給施設管理運営事業 2,400千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	342	施設用消耗品、施設小破修繕費、施設電気料								
12	役務費	40	テレメーター電話料								
13	委託料	2,018	飲料水供給施設維持管理委託料、ろ過膜洗浄及び施設保守点検委託料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—		コード	010409100		予算書ページ	340
			課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110425	明科公民館管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,880	0	0	0	1,041	2,839
前年度	4,341	0	0	0	1,041	3,300
増減額	△ 461	0	0	0	0	△ 461

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	明科公民館使用料	800							
21	明科公民館雑入	241								

【目的・効果】

【目的】

- ・多くの市民が利用する生涯学習の場として、利用者にとって使いやすく、安全かつ快適に利用できるよう維持管理を行う。
- ・市民に最も身近な地域の拠りどころとして、様々なサービスを提供し、情報発信の拠点となるよう心掛ける。

【効果】

- ・情報発信の拠点となることにより、市内外各地からの多くの利用者・参加者が見込まれる。
- ・地域、世代間の交流を進め、山積する地域課題に目を向ける機会を提供し、地域づくりの機運を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設利用方法等の周知を徹底し、不慮の事故等が発生しないよう管理する。
- ・施設、備品等の点検修理を行い、環境整備を図る。
- ・施設利用システムを使い窓口事務の迅速化を図る。
- ・利用者の意向、要望に添えるよう、案内及び情報提供を行う。
- ・利用者の使用日誌への記帳を徹底させ、光熱水費の削減に努める。

【詳細事業内訳】

明科公民館施設管理運営事業 3,880千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	593	・管理用消耗品費外								
12	役務費	391	・調理実習室内クリーニング外								
13	委託料	2,633	・公民館管理シルバー委託外								
14	使用料及び賃借料	263	・コピー機借上料外								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—		コード	010409100		予算書ページ	342
			課・係等	明科地域課 地域担当(明科)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110430	明科公民館事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,896	0	0	0	40	3,856
前年度	3,943	0	0	0	40	3,903
増減額	△ 47	0	0	0	0	△ 47

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	明科公民館雑入	40							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市民の交流と学習の場として、地域の課題に目を向け、時代に即した学習と交流の機会を創出し、地域の活性化を図る。  
 ・地域の伝統を活かした事業を中心に継続し、開催方法や事業内容など市民の意向を取り入れ、より時代に即した事業を展開する。  
**【効果】**  
 ・より多くの市民が興味を持って積極的に公民館事業に参加することにより、地域のつながり(絆)や市民同士の交流の活性化が一層図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・地区公民館役員を対象に、定期会議のほか「協働のまちづくり」に向けた研修会を区役員と合同で開催し、更なる地域づくりの向上を図っていく。  
 ・市民が主体となった団体などとの協働により、地域に目を向けた内容の講座や学習会の企画、運営を展開する。  
 ・スポーツ大会等の企画、立案、運営など、旧体育協会を中心とした組織から市民主体の実行委員会組織へ再構築し、長期的視点に立った運営を目指す。

**【詳細事業内訳】**  
 明科公民館事業 3,896千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	・公民館長報酬				
08	報償費	937	・文化祭・運動会参加景品外				
11	需用費	207	・事業用及び大会用消耗品費				
12	役務費	194	・公民館総合保障制度加入掛金				
13	委託料	80	・公民館講座車両運行業務委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	明科公民館事業	地域の親睦、市民同士の交流、体力と健康づくりを目的に運動会とスポーツ大会を開催する。また、日頃の生涯学習活動の成果を発表するため文化祭を開催する。	01	報酬	2,478	
				08	報償費	937	
				11	需用費	207	
				12	役務費	194	
					計	3,816	
2					計	0	

# 福祉部



重点施策	—		コード	010501100		予算書ページ	118
			課・係等	長寿社会課 福祉政策担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進	
	事業	0103010	社会福祉総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	455,473	45,929	14,057	0	775	394,712
前年度	432,610	0	14,010	0	788	417,812
増減額	22,863	45,929	47	0	△ 13	△ 23,100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域活性化・経済危機対策臨時交付金	45,929	17	福祉基金利子	715				
16	民生委員活動委託金	12,803	21	社会福祉雑入	60					
16	民生委員協議会委託金	1,207								
16	民生委員推薦会委託金	47								

【目的・効果】

【目的】

- ・民生委員活動、災害時避難行動要支援者名簿の作成と提供といった法令の定めに従い、市民生活を守るための事業を実施する。
- ・地域福祉の推進、心配ごと相談等、市民の日常的な問題や課題を解決する事業を実施する。
- ・戦没者追悼式を行い、戦争で尊い命を失った先人のことを後世に伝えていく事業を実施する。
- ・消費税・地方消費税率の10%への引上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えする事業を実施する。

【効果】

このような事業を実施することで、市民の安全や安心を確保し、生活しやすい安曇野市を形成する効果がある。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市と社協が一体となった「第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画」(平成30年度～2022年度)の周知と検証を進め、地域福祉の推進を図る。
- ・民生児童委員、行政相談委員、保護司、人権擁護委員等を相談員とした心配ごと相談を社協へ委託して開催する。
- ・戦没者追悼式を開催することにより、平和への希求を高める。
- ・ボランティア団体の活動の場である「豊かささえあいセンター」の指定管理者を社協とし、ボランティア活動の促進を図る。(1年目/指定管理期間:平成31年度～2023年度)
- ・災害時避難行動要支援者に対し、関係機関への名簿提供同意を進め、システム登録及び関係機関へ名簿を提供する。
- ・市社会福祉協議会、民生児童委員協議会の各種活動や事業を支援するため補助金等を交付し、地域共生社会の実現を図る。
- ・民間福祉施設への防災ラジオ購入を補助する。(3年目/3年間)
- ・本年10月から利用可能なプレミアム付商品券事業を実施する。「商品券額25,000円(販売額20,000円・プレミアム額5,000円)」

【詳細事業内訳】

社会福祉総務費 262,564千円 心配ごと相談事業 3,856千円 戦没者追悼式 456千円 ささえあいセンター指定管理業務 5,083千円 災害時避難行動要支援者名簿作成事業 1,568千円 民生児童委員協議会運営 35,966千円 社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会補助事業 99,998千円 プレミアム付商品券事業 45,929千円 地域福祉計画推進策定事業 53千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	105	民生委員推薦会委員報酬			11	需用費	1,406	事務用品、民生委員手帳、プレミアム付商品券チラシ等印刷代、封筒印刷代		
02	給料	140,603	一般職(39人)			12	役務費	5,399	プレミアム付商品券申請書・引換券送付郵便料、白布等クリーニング代		
03	職員手当等	65,191	職員諸手当			13	委託料	16,469	ささえあいセンター指定管理料、心配ごと相談、避難行動要支援者台帳システム保守、戦没者追悼式会場設営・送迎バス運行、プレミアム付商品券事業システム構築委託料		
04	共済費	43,585	職員共済組合納付金			14	使用料及び賃借料	947	避難行動要支援者台帳システム使用料		
07	賃金	5,718	臨時職員賃金			19	負担金補助及び交付金	155,735	地区民児協補助金・交付金、社協地域福祉推進事業補助金、全国・県民児協負担金、市遺族会補助金、民間福祉施設防災ラジオ購入補助金、プレミアム付商品券発行事務負担金		
08	報償費	19,363	福祉委員報償、地域福祉計画推進・策定委員報償、民生児童委員退任記念品代			25	積立金	716	福祉基金積立金利子		
09	旅費	236	社会福祉主事資格認定講座参加旅費、社会福祉法人実務研修参加旅費								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	民生児童委員協議会運営	2019年12月に民生委員・児童委員の一斉改選があるため、推薦会を開催するほか、退任委員へ感謝状及び記念品を授与する。また、新任委員へは活動の推進に向けた研修等を実施する。	08	報償費	19,310
				19	負担金補助及び交付金	16,656
					計	35,966
2	ソフト	○ プレミアム付商品券事業	本年10月よりの消費税額引上げが影響する低所得者・子育て世帯(0～2歳児のいる世帯)を対象に、プレミアム額5,000円を付した25,000円分の商品券を20,000円で販売し、消費に与える影響を緩和する。	19	負担金補助及び交付金	28,700
				13	委託料	6,000
				12	役務費	5,388
					賃金 外	5,841
					計	45,929

重点施策	—		コード	010501100		予算書ページ	120
			課・係等	長寿社会課 福祉政策担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進	
	事業	0103020	福祉医療費給付事業				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源	
	国支出金	県支出金	市債	その他		
本年度	582,156	0	214,287	0	6,185	361,684
前年度	588,671	0	213,237	0	6,732	368,702
増減額	△ 6,515	0	1,050	0	△ 547	△ 7,018

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	福祉医療費貸付金元金収入	6,185								
							(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(99,000)		

【目的・効果】

【目的】

- ・乳幼児等、障がい者、母子・父子家庭に医療費を給付する。
- ・低所得者(前年度の住民税非課税者)で医療費の支払いが困難な方に、資金貸付事業を実施する。

【効果】

- ・子育て世帯、障がい者、ひとり親世帯の経済的負担を軽減することにより、早期受診と福祉の増進を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・福祉医療受給資格者の保険診療(調剤を含む)に係る自己負担額について助成する。
- ・受給資格者が支払った自己負担額から、1レセプト500円の負担金を控除した額を受給資格者に給付金として支給する。(自動給付:継続)
- ・受給資格者(出生から中学卒業まで)が窓口で負担する500円を超える保険診療分を、医療機関へ支払う。(現物給付:平成30年8月新規導入)
- ・福祉医療受給資格者で医療機関等での一時的な支払いが困難な受給資格者に対し、医療費を貸し付ける。

【詳細事業内訳】

福祉医療費貸付事業 6,186千円 福祉医療費給付事業 575,970千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	101	事務用品、受給者証送付封筒印刷代				
12	役務費	32,348	医療機関事務手数料				
13	委託料	207	国保連合会審査集計事務手数料				
20	扶助費	541,769	福祉医療費給付金				
21	貸付金	6,186	福祉医療費資金貸付				
28	繰出金	1,545	地単事業減額調整分補てん金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	130
--------	-----

重点施策	—	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103130	老人福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
246,004	280,319	△ 34,315	0	1,742	0	10,000
			0	1,806	0	30,250
			0	△ 64	0	△ 20,250
						△ 14,001

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	老人クラブ活動助成事業補助金	1,742							
18	ふるさと寄附金	10,000								

【目的・効果】

【目的】

連携が必要な各団体等への支援や高齢者の社会参加を促進することで、生きがいをもって生き活きと暮らす高齢者を増やす。

【効果】

各団体の運営が安定化することにより、高齢者に提供されるサービスの向上が見込まれ、生きがいづくり・健康づくり及び高齢者福祉の増進につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・シルバー人材センター、老人クラブ連合会へ運営補助金を交付する。
- ・市社会福祉協議会が運営する老人福祉センターへ運営補助金を交付する。
- ・養護老人ホームを運営する一部事務組合へ負担金を支出する。
- ・老人大学を委託方式により開催する。
- ・70歳以上の高齢者に対し、入浴料金割引券24枚を交付する。
- ・一定の要件を満たす在宅で介護を行う家族に対し、年額50,000円の介護慰労金を支給する。
- ・市内男女最高齢者、100歳、88歳の人に対し、祝い品等を贈呈する。

【詳細事業内訳】

老人大学委託事業 3,214千円 福祉有償運送運営協議会事務 56千円 老人クラブ連合会育成事業 5,268千円 老人福祉センター運営補助事業 19,057千円 介護慰労金支給事業 30,000千円 老人福祉総務費 151,443千円 高齢者祝賀事業 3,112千円 シルバー人材センター運営助成事業 11,236千円 地域グループ支援事業 620千円 入浴料金割引券交付事業 21,998千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	78,032	一般職(22人)	12	役務費	21	賞状筆耕料
03	職員手当等	36,716	職員諸手当	13	委託料	3,214	老人大学開催委託料
04	共済費	24,473	職員共済組合納付金	19	負担金補助及び交付金	46,601	シルバー人材センター、老人クラブ連合会、老人福祉センター運営補助他
07	賃金	1,406	非常勤職員賃金	20	扶助費	54,738	入浴料金割引交付事業、介護慰労金、高齢者敬老祝品
08	報償費	157	各地区敬老会御祝、福祉有償運送協議会出席者謝礼				
09	旅費	17	研修会旅費				
11	需用費	629	事務用品、参考図書、封筒印刷代				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	132
--------	-----

重点施策	(1)	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103140	在宅福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
51,718	46,112	5,606	0	955	0	17,822
			0	955	0	18,647
			0	0	0	△ 825
						6,431

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額	
	16	高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	945	21	緊急通報システム利用料滞納繰越分	1		21
16	緊急宿泊支援事業補助金	10	21	配食サービス利用料	11,439	21	生活管理短期宿泊利用料滞納繰越分	1
18	ふるさと寄附金	4,000	21	配食サービス利用料滞納繰越分	1	21	軽度生活援助利用料	248
21	緊急通報システム利用料	1,728	21	生活管理指導利用料	19	21	軽度生活援助利用者滞納繰越分	1

【目的・効果】

【目的】

各種サービスを活用して高齢者の在宅生活を安心して生活できるように支援する。

【効果】

在宅高齢者の健康と福祉の増進につながるにより、施設に頼らない在宅生活での継続を期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活支援サービス等、高齢者の在宅生活を支援する各種サービスを業者に委託し実施する。
- ・高齢者の生きがいづくり、健康づくりに寄与する事業を実施する者に対して補助金を交付する。
- ・所得、介護認定等の一定の要件を満たし、段差解消等の住宅改良工事を実施した場合に費用の一部を補助する。
- ・要介護3以上の認定を受けている高齢者に対して、500円分のタクシー券を年間最大30枚交付する。

【詳細事業内訳】

配食サービス事業 23,271千円 緊急通報サービス事業 9,277千円 軽度生活援助サービス事業 910千円 緊急宿泊支援事業 20千円 アクティブシニアが  
んばろう事業 10,495千円 訪問理美容サービス事業 380千円 生活管理短期宿泊事業 1,200千円 高齢者外出支援事業 4,087千円 生活管理指導員派  
遣事業 188千円 高齢者にやさしい住宅改良促進事業 1,890千円

【一般財源増加理由】 アクティブシニアがんばろう事業及び配食サービス事業の増額によるもの

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	720	健康体操指導員派遣事業講師謝礼				
11	需用費	118	封筒印刷代等				
13	委託料	33,646	配食サービス、緊急通報サービス、軽度生活援助サービス事業他				
19	負担金補助及び交付金	11,665	アクティブシニアがんばろう事業補助金、高齢者にやさしい住宅改良事業補助金				
20	扶助費	5,569	緊急宿泊支援、高齢者外出支援、訪問理美容、生活管理短期宿泊事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	アクティブシニアがんばろう事業	・健康増進や介護予防のために健康づくりや文化活動を定期的に行う団体に支援をすることにより、高齢者の運動機能の向上や生きがいづくりを図り健康長寿の増進に役立つ。 ・各公民館で行う敬老会等、高齢者が参加する行事を支援することで、生きがいと健康づくりを図る。	08	報償費	720
				19	負担金補助及び交付金	9,775
					計	10,495
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010501200
課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算書ページ	132
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	96,842	0	0	0	13,820	83,022
前年度	95,341	0	0	0	12,041	83,300
増減額	1,501	0	0	0	1,779	△ 278

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	老人入所措置費個人負担金	13,819							
13	老人入所措置費個人負担金滞納繰越分	1								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 心身及び経済的な理由から在宅生活が困難な高齢者を施設に入所措置し、養護をするとともに、自立した日常生活が営めるよう援助する。  
**【効果】**  
 施設入所により施設内での自立した生活や社会活動に参加するための支援が受けられる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・入所に際しての判定会議を開催する。  
 ・養護が必要な高齢者を養護老人ホームへ入所措置する。また利用者及び扶養義務者から所得に応じて負担金を徴収する。

**【詳細事業内訳】**  
 老人福祉施設入所措置事業 96,842千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	17	養護老人ホーム入所判定委員会出席謝礼								
20	扶助費	96,825	養護老人ホーム措置費用								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	132
--------	-----

重点施策	—	コード	010501200
		課・係等	長寿社会課 長寿福祉係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	135,168	国支出金	県支出金	市債	その他	
前年度	126,072	0	0	0	21,071	114,097
増減額	9,096	0	0	0	△ 1,633	10,729

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科ふれあいホール使用料	192	21	総合福祉センター管理費等徴収金	14,765				
14	総合福祉センター使用料	1								
21	高齢者福祉施設自販機電気料	123								
21	デイサービスセンター指定管理者納付金	5,990								

【目的・効果】

【目的】

高齢者の健康、福祉増進や要介護者の在宅生活を支援するため、市の各種施設を管理運営する。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活でき、健康、福祉増進が図られることにより、健康長寿が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高地域福祉センター、三郷福祉センター(三郷屋内ゲートボール場を含む)は、指定管理者制度により管理運営する。
- ・介護保険施設であるデイサービスセンター4施設(穂高、三郷、堀金、明科)は、指定管理者制度により管理運営する。
- ・三郷福祉センターの屋根、外壁、内部及び機械設備を改修するための設計を行う。
- ・穂高地域福祉センターのエアコン一式の更新工事を行う。
- ・明科総合福祉センターの給水設備更新のための設計を行う。

【詳細事業内訳】

老人福祉施設等管理事業 68,997千円 三郷福祉センター改修事業 3,289千円 明科総合福祉センター給水設備更新事業 1,419千円 穂高地域福祉センターエアコン更新事業 61,463千円

【一般財源増加理由】 穂高地域福祉センターエアコン更新事業等の整備によるもの

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	22,597	各施設光熱費、小破修繕、施設管理消耗品				
12	役務費	160	ふれあいホールピアノ調律、明科福祉センター汚泥汲み取り手数料他				
13	委託料	50,535	各施設設備等管理委託、各施設指定管理料、三郷福祉センター改修設計監理委託他				
14	使用料及び賃借料	3,293	三郷福祉センター借地料				
15	工事請負費	58,536	穂高地域福祉センターエアコン更新工事				
18	備品購入費	43	ふれあいホール備品				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理協会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○ 穂高地域福祉センターエアコン更新事業	・エアコン13系統の更新。	13	委託料	2,927
				15	工事請負費	58,536
					計	61,463
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010501100
課・係等	長寿社会課 福祉政策担当

予算書ページ	166
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	災害救助費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	災害救助費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103570	災害救助費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	500	0	0	0	0	500
前年度	500	0	0	0	0	500
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

【目的・効果】

【目的】

自己の居住の用に供する家屋における火災のり災者に対し、見舞金及び弔慰金を支給する。

【効果】

見舞金等を支給することでり災者の福祉、生活安定の向上に寄与できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・火災により死亡した者に対する弔慰金 100千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね70パーセント以上に達した場合の見舞金 50千円
- ・被害面積が、住居の延べ床面積のおおむね20パーセント以上に達した場合の見舞金 30千円

【詳細事業内訳】

災害弔慰金等支給事業 500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
20	扶助費	500	災害見舞金・弔慰金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	120
--------	-----

重点施策	—	コード	10502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103040	障がい者支援センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	67,285	4,001	3,586	0	1,510	58,188
前年度	69,665	3,500	3,337	0	1,500	61,328
増減額	△ 2,380	501	249	0	10	△ 3,140

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	地域生活支援事業補助金	4,001	21	障害者就労支援センター指定管理者納付金	1,000				
16	地域福祉総合助成金	1,586								
16	地域生活支援事業補助金	2,000								
21	障害者活動支援センター指定管理者納付金	510								

【目的・効果】

【目的】

- ・障害者活動支援センター:食事や入浴、排泄等の介護や日常生活上の支援、生産活動等の機会を提供する。
- ・就労継続支援B型事業所:就労や生産活動の機会を提供すると共に、一般就労への移行に向けた必要な支援・指導等を行う。
- ・地域活動支援センター:社会交流の促進や創作活動の場を提供することで、障がい者・障がい児の地域生活支援の促進を図る。

【効果】

- ・障がい者・障がい児のニーズに即した適切なサービスが提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、堀金かえでの家、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家の7施設について指定管理の委託を行う。
- ・地域活動支援センターである、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家、ひめこぶしの家については指定管理料を支払う。
- ・ひめこぶしの家では、エアコン設置工事を行う。

【詳細事業内訳】

障がい者支援センター運営事業 67,285千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	400	指定管理施設修繕費				
13	委託料	66,769	指定管理委託料、ひめこぶしの家の庭木の伐採委託				
15	工事請負費	116	ひめこぶしの家エアコン設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○	ひめこぶしの家エアコン設置工事(障がい者支援センター運営事業)	15	工事請負費	116
			【事業内容】 エアコンのない休憩室(利用者が体調不良時に休養する部屋)にエアコンを設置。 【効果】 利用者の適正な体調健康管理ができる。			
					計	116
2						
					計	0



重点施策	-		コード	010502100		予算書ページ	120
			課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費		基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実	
	事業	0103050	障がい者支援事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,699,847	844,300	422,150	0	44	433,353
前年度	1,547,418	768,412	384,206	0	450	394,350
増減額	152,429	75,888	37,944	0	△ 406	39,003

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	障がい者入所措置個人負担金	44	16	自立支援給付費負担金	367,391				
15	自立支援給付費負担金	734,782	16	障害児入所給付費等負担金	43,299					
15	自立支援医療負担金	22,920	16	自立支援医療負担金	11,460					
15	障害児入所給付費等負担金	86,598						(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(289,000)	

【目的・効果】

【目的】

障害者総合支援法、児童福祉法に基づき、障がい者、障がい児が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス等の利用者に対して必要な給付を行う。

【効果】

障がい者、障がい児の自立した日常生活及び社会生活に寄与している。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業内容】

- ・自立支援医療給付(更生・育成・療養介護)
- ・自立支援給付(障害福祉サービス等[介護給付費、訓練等給付費、障害者相談支援給付費、特定障害者特別給付費、やむを得ない事由による措置費]・補装具費・高額障害福祉サービス費)
- ・障害児通所給付費(児童発達支援、放課後等デイサービス費、保育所等訪問支援、訪問型児童発達支援、障害児相談支援給付費)
- ・支援区分認定等事務(認定調査員賃金、消耗品、医師意見書、支援区分認定審査会負担金)

【費用負担】

- ・給付基準額に対し、国:1/2、県:1/4、市:1/4

【詳細事業内訳】

自立支援給付事業 1,519,294千円 障害児通所支援給付事業 173,196千円 障害支援区分認定等事務 7,357千円

【一般財源増加理由】	利用者の意向を踏まえ、総合的・継続的なサービスを提供している。消費税増税における給付単価の改定、利用者、利用量の増加により、費用の増加が見込まれる。なお、支援区分認定審査会負担金については、平成28年度実績に基づき増額となった。									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	3,202	障害認定区分認定調査員賃金							
08	報償費	210	育成医療審査に係る医師への謝礼							
12	役務費	3,918	国保連等審査支払手数料及び認定調査医師意見書作成費用							
14	使用料及び賃借料	654	障害福祉サービス請求内容チェックシステム借上料							
19	負担金補助及び交付金	3,083	支援区分認定調査審査会負担金(松本広域連合)							
20	扶助費	1,688,780	自立支援医療給付費、自立支援給付費、障害児通所支援給付費							

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	自立支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実や提供等により障がい者、障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	1,515,584
				12	役務費	2,846
				14	使用料及び賃借料	654
				08	報償費	210
					計	1,519,294
2	ソフト	障害児通所支援給付事業	日常生活における基本的な動作指導、知識技能の付与、集団への適応訓練、生活能力の向上、社会との交流の促進等を目的に障がい児及びその家族へ障害児福祉サービスを提供することにより、日常生活や社会生活を総合的に支援する。	20	扶助費	173,196
					計	173,196

重点施策	—		コード	010502100		予算書ページ	122
			課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実	
	事業	0103060	児童発達支援事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,196	0	0	0	0	14,196
前年度	14,440	0	0	0	9,000	5,440
増減額	△ 244	0	0	0	△ 9,000	8,756

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 子ども発達支援相談室の専門職配置により、発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営、子育てサポートプログラムなど発達支援に必要な事業の実施及び支援に必要な情報が共有できるネットワークの構築を図ることにより、自立した生活を営むことができる子どもを育成する。  
**【効果】**  
 ・障がいの早期発見や相談体制の強化により、安心して生活できる環境を整備していく。  
 ・早期療育を実施することにより生活における二次障害を予防する。  
 ・自立した生活基盤の確保ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 専門職による発達に心配のある子ども及び保護者の相談、個別療育、教室運営、子育てサポートプログラムなど発達支援、啓発に必要な事業の実施。  
 1) 早期発見、早期支援のための個別相談  
 2) 乳幼児期から途切れることのない子どものライフステージに応じた一貫した支援と支援に必要な情報の共有化、発達に心配のある子どもの連絡会の開催  
 3) こども園等への巡回的相談  
 4) 遊びの教室、子育てサポートプログラム、はいはいたちの相談日事業の実施  
 5) 学校、こども園等対応職員との連携強化と専門性向上のための支援

**【詳細事業内訳】**  
 児童発達支援事業 14,196千円

【一般財源増加理由】 特定財源のふるさと寄付金、基金繰入金が無くなった為、予算額的には減っているが、一般財源は増加した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	12,049	作業療法士(育休代替)、言語聴覚士、保育士、子ども相談員賃金及び遊びの教室等雇上げ賃金				
08	報償費	1,092	遊びの教室、子育てサポートプログラム講師報償費				
09	旅費	68	講師旅費及び研修旅費				
11	需用費	570	心理、発達検査等用紙、サポートブック、公用車タイヤ買替				
12	役務費	395	電話料、公用車ガソリン代、公用車点検、プロダクション依頼講演料				
19	負担金補助及び交付金	22	研修参加負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童発達支援事業	<b>【事業内容】</b> 専門職による相談支援の一層の充実と安心して子育てできるための啓発(教室運営・子育て講演会) <b>【効果】</b> 早期に療育事業を実施することにより、二次障害を防ぎ、発達を促すことで、自立した生活を送る子どもの育成ができる。	07	賃金	12,049
				08	報償費	1,092
				11	需用費	570
				12	役務費	395
					計	14,106
2					計	0

重点施策	(4)	コード	010502100		予算書ページ	124
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103070	地域生活支援事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,618	24,807	12,388	0	42,423
前年度	81,811	22,364	11,180	0	48,267
増減額	△ 2,193	2,443	1,208	0	△ 5,844

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	小児慢性特定疾病対策国庫補助金	30								
16	地域生活支援事業補助金	12,388								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・障害者総合支援法第77条及び第78条に基づく市町村地域生活支援事業  
 障がい者、障がい児が基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を総合的に実施する。  
**【効果】**  
 基本的人権を享受する個人としての尊厳にふさわしい日常生活または社会生活に寄与している。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業内容】**  
 ・理解促進研修・啓発事業、自発的活動支援事業、相談支援事業、成年後見制度利用支援事業、成年後見制度法人後見支援事業、意思疎通支援事業、日常生活用具給付等事業、手話奉仕員養成研修事業、移動支援事業、地域活動支援センター機能強化事業、訪問入浴サービス事業、日中一時支援事業、レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業  
**【費用負担】**  
 基準額に対して、国:1/2、県:1/4、市:1/4

**【詳細事業内訳】**  
 日常生活用具給付等事業 25,000千円 移動支援、訪問入浴、日中一時支援事業 31,344千円 自発的活動支援事業(補助金) 953千円 障がい者相談支援事業 15,750千円 理解促進研修・啓発事業 59千円 手話奉仕員養成研修事業 411千円 地域活動支援センター事業(Ⅱ型) 822千円 意思疎通支援事業 1,551千円 レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業(補助金) 1,322千円 成年後見制度事業 2,406千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	451	理解促進研修・啓発事業、手話奉仕員養成研修事業				
11	需用費	16	理解促進研修・啓発事業、手話奉仕員養成研修事業				
12	役務費	1,554	理解促進研修・啓発事業、意思疎通支援事業				
13	委託料	47,094	障害者相談支援事業、移動支援事業、日中一時支援事業、訪問入浴サービス事業				
19	負担金補助及び交付金	4,225	自発的活動支援事業、成年後見制度法人後見支援事業、レクリエーション等活動支援・芸術文化活動振興事業				
20	扶助費	26,278	成年後見制度利用支援事業、日常生活用具給付等事業、小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	理解促進研修・啓発事業	パラリンピック競技の体験を通じ、障がい者等との交流の促進、障がいや障がい者への理解を深め、共生社会の実現を図るため、障がい者スポーツイベント「軽体操とブラインドサッカー体験会」(仮称)を開催する。また、市内全体においてパラリンピックを応援する機運の醸成を目指す。	08	報償費	50
				11	需用費	6
				12	役務費	3
					計	59
2					計	0

重点施策	(1)	コード	010502100
		課・係等	福祉課 障がい福祉担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,263	504	0	0	0	2,759
前年度	3,286	0	0	0	0	3,286
増減額	△ 23	504	0	0	0	△ 527

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	ひきこもり対策推進事業補助金	504							

【目的・効果】

【目的】

- ・在宅の精神障がい者の社会復帰の促進と精神障がい者を抱える家族の精神的負担の軽減を図る。
- ・ひきこもり者支援についての方向性を探り、個別事案に関しては社会復帰の支援を実施する。

【効果】

- ・精神障がい者(ひきこもり者を含む)の社会復帰及び家族の負担軽減と支援方法の獲得を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・主治医のいない精神等障がいのある困難な事例に対する症例検討実施時に精神科医からのスーパーバイズを受ける事業の実施
- ・精神障がい者を抱える家族に対し、情報の提供や対応のスキルアップ、同じ悩みを持つ家族同士の意見交換等による家族の精神的負担の軽減、精神障がい者の回復を促す暮らしやすい環境づくりのための家族教室の実施
- ・ひきこもり支援に関する啓発のための講演会の実施、家族交流会開催及び庁内外支援関係機関との連絡会議の実施による事業実施方法の検討

【詳細事業内訳】

精神障がい者等相談支援事業 2,252千円 ひきこもり支援事業 1,011千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,119	保健師臨時賃金				
08	報償費	113	精神障がい者家族教室、ひきこもり支援講演会等講師謝礼				
09	旅費	26	ひきこもり講演会講師旅費				
12	役務費	5	ひきこもり家族交流会等使用のためのDVD借用送料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	ひきこもり支援事業	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会実施により、地域理解、支援活動を促進する。</li> <li>・相談窓口を明確にし、相談等の実施により、精神疾患等の早期発見・支援、二次的障がいを予防する。</li> <li>・家族交流会を実施し、家族の孤立予防や情報共有により支援力を向上させる。また、家族会へ移行するよう自主的活動を促進する。</li> <li>・庁内外の支援関係機関との連携会議を開催し、情報共有と事業実施方法の検討を行い、各課各機関の支援事業を効果的に実施する。</li> </ul> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひきこもり者の疾病、障がいの早期発見及び支援により、社会復帰を図り、自立した生活が営むことができる。</li> </ul>	07	賃金	950
				08	報償費	30
				09	旅費	26
				12	役務費	5
					計	1,011
2					計	0

重点施策	—		コード	010502100		予算書ページ	124
			課・係等	福祉課 障がい福祉担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実	
	事業	0103090	障がい者福祉総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	126,879	37,699	3,637	0	0	85,543
前年度	125,200	38,687	3,405	0	0	83,108
増減額	1,679	△ 988	232	0	0	2,435

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	特別障害者手当負担金	37,699				
16	地域福祉総合助成金	3,150					
16	特別児童扶養手当事務委託金	487					

**【目的・効果】**  
**【目的等】**  
 ・障がい者等誰もが生きがいを持って生き生きと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現に向けて、様々な補助事業及び扶助を総合的・一体的に実施する。  
**【効果】**  
 ・自分らしく心豊かな生活を送るための福祉サービスができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・やまびこ学園の運営補助のため委託料を支払う。  
 ・障がい者団体(身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、聴覚障害者協会、夢の実)への補助金交付を行う。  
 ・障がい者の外出を支援するための外出支援事業、ふれあいバスの旅事業へ補助を行う。  
 ・障がい者の生活を扶助するための特別障害者・障害児福祉手当、タイムケア事業、重度心身障害児・者福祉金、透析通院支援等を実施する。  
 ・入浴時に介助者を必要とする障がい者に、しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)利用料の助成を行う。  
 ・あったカフェ運営への補助を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 特別児童扶養手当事務 487千円 障害者余暇活動支援事業補助 200千円 特別障害者・障害児福祉手当事業 54,881千円 重度心身障害児・者福祉金事業 27,072千円 重度障害者家族介護慰労金事業 5,750千円 身体障害者補助犬飼育助成事業 36千円 自動車運転免許取得・改造助成事業 500千円 通所通園補助事業補助 782千円 特定疾患患者見舞金事業 6,720千円 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助 300千円 障害者社会参加促進事業補助 1,200千円 障がい者外出支援事業 5,469千円 透析患者通院支援事業 4,053千円 障がい福祉総務費 2,056千円 障害者住宅等整備事業補助 3,150千円 障害者福祉団体活動補助 1,286千円 障害児・者タイムケア事業 2,368千円 障がい児療育支援事業運営委託 8,935千円 家族介護用品購入助成事業 810千円 身体障害者会館運営事業 575千円 障害児通園施設利用児療育支援補助 249千円

【一般財源増加倍】 補助金・扶助費の増加(主に重度心身障害児・者福祉金の利用者の増加による給付費の増加)を見込んだため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	378	臨時職員賃金	20	扶助費	107,519	障害児・者タイムケア事業、特別障害者・障害児福祉手当事業、特定疾患患者見舞金事業、障がい者外出支援事業、重度心身障害児・者福祉金事業、家族介護用品購入助成事業、重度障害者家族介護慰労金事業、透析患者通院支援事業、身体障害者補助犬飼育助成事業、暖らんの湯利用扶助
08	報償費	368	講師謝礼、医師謝礼、障害福祉運営委員謝礼				
09	旅費	148	職員研修会旅費				
11	需用費	663	特別児童扶養手当事務、身体障害者会館修繕費、障がい福祉総務事務消耗品				
12	役務費	136	クリーニング代、手話通訳士特殊健康診断健診料、手話通訳者等損害保険料、筆耕翻訳速記料				
13	委託料	9,537	やまびこ学園運営委託料、豊科身体障害者会館指定管理料、大型バス運行委託料				
19	負担金補助及び交付金	8,130	障害者余暇活動支援事業補助、障害児通園施設利用児療育支援補助、障害者住宅等整備事業補助、軽度・中等度難聴児補聴器購入補助、障害者福祉団体活動補助、通所通園補助事業補助、障害者社会参加促進事業補助、自動車運転免許取得・改造助成事業、研修参加負担金、松本圏域障がい者スポーツ大会、障害者自立支援関係研修会負担金、自治体手話関係職員連絡会負担金、心身障害児感覚機能訓練事業負担金、あったカフェ運営補助				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)利用扶助(障がい者福祉総務費)	【事業内容】 入浴時に介助者を必要とする障がい者に、しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)の利用料に扶助を行う。 【効果】 利用者の健康増進と社会参加を促進する。	20	扶助費	360	
					計	360	
2	ソフト	あったカフェ運営補助(障がい者福祉総務費)	【事業内容】 障がい者の一般就労に繋がる就労の場であるあったカフェの、安定運営を目的に補助を行う。 【効果】 一般就労への移行推進を図る。	19	負担金補助及び交付金	240	
					計	240	

重点施策	(3)
------	-----

コード	010502200
課・係等	福祉課 生活支援担当

予算書ページ	128
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,479	10,119	0	0	0	4,360
前年度	10,251	7,493	0	0	0	2,758
増減額	4,228	2,626	0	0	0	1,602

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	生活困窮者住居確保給付金負担金	514	15	一時生活支援事業補助金	80					
15	子ども学習支援事業補助金	520								
15	就労準備支援事業補助金	800								

【目的・効果】

【目的】

生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援する。

【効果】

個別に具体的な支援プランを作成することで、提供するサービス(事業)が明確になり自立支援につなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・自立相談支援機関(委託)による、相談支援、支援調整会議開催、支援プランの作成を行い、サービス(事業)の提供を行う。
- ・離職者に対し、住居確保給付金の支給を行い求職活動を支援する。
- ・子ども学習支援事業を行い、貧困の連鎖を食い止め、将来において最低限度以上の生活を維持できることを目指す。
- ・県との共同で就労準備支援事業を行い、一般就労が困難な者に対し、就労に必要な訓練を日常生活自立、社会生活自立段階から実施し一般就労に結び付ける。
- ・家計に問題を抱える生活困窮者に対してアセスメントを行い、家計の状況を「見える化」し、家計再生のための個別のプランを作成し利用者の家計管理意識を引出す。
- ・住居のない生活困窮者に対し一定期間宿泊施設の供与や食事の供与等を実施し次の支援へつなげる。

【詳細事業内訳】

一時生活支援事業 120千円 住居確保給付金事業 687千円 生活困窮者自立相談支援事業 9,965千円 家計改善支援事業 1,465千円 子ども学習支援事業 1,042千円 就労準備支援事業 1,200千円

【一般財源増加理由】生活困窮者自立相談支援事業における人件費増及び家計改善支援事業と一時生活支援事業の新規事業が加わったため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	12,472	生活困窮者自立相談支援事業委託、子ども学習支援事業委託、家計改善支援事業委託				
19	負担金補助及び交付金	1,200	就労準備支援事業(共同実施)の負担金				
20	扶助費	807	住居確保給付金、一時生活支援事業(宿泊費、食費)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども学習支援事業	生活困窮世帯の子どもに対して学習・居場所づくり等の支援を行うことにより貧困の連鎖を食い止める。	13	委託料	1,042
					計	1,042
2	ソフト	○ 家計改善支援事業	家計に問題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計に関するアセスメントを行い、家計の状況を「見える化」し、家計再生のための個別のプランを作成し利用者の家計管理意識を引出し、自立に導く。	13	委託料	1,465
					計	1,465

重点施策	—		コード	010502200		予算書ページ	162
			課・係等	福祉課 生活支援担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	生活保護総務費		基本施策	生活困窮者への支援	
	事業	0103510	生活保護総務費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	752,976	510,838	3,000	0	234,127
前年度	793,389	527,732	3,550	0	256,536
増減額	△ 40,413	△ 16,894	△ 550	0	△ 22,409

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	被保護者就労支援事業負担金	1,423	21	返還金	3,000	21	徴収金過年度	360		
15	生活保護適正実施推進事業補助金	338	21	徴収金	10	21	徴収金過年度(旧法)	560		
16	生活保護費県負担金	3,000	21	徴収金(旧法)	300	21	貸付金元金収入過年度分	1		

【目的・効果】

【目的】

・要保護者の生活維持と自立支援を図るため、生活扶助、医療扶助等を給付する。

【効果】

・保護費の支給により、最低限度の生活が維持できる。  
 ・生活環境を整え、就労へつなげることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・生活保護受給者に対し、生活保護費(扶助費)を支給する。(生活保護費給付事業)
- ・レセプト点検により、適正な医療扶助費の支給に努める。(生活保護適正実施推進事業)
- ・行旅者に対し帰来先までの交通費と食料を供与する。(行旅者対策事業)
- ・生活保護申請者に対し保護費受給開始までの間の生活費を貸し付ける。(生活保護支援資金貸付事業)
- ・安定した仕事に就くことにより保護を必要としなくなった世帯に対し保護廃止後に給付金を支給する。(就労自立給付金事業)

【詳細事業内訳】

生活保護費給付事業 685,770千円 生活保護適正実施推進事業 388千円 行旅者対策事業 50千円 生活保護支援資金貸付事業 600千円 就労自立給付金事業 500千円 生活保護総務費 65,668千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
02	給料	28,370	一般職		12	役務費	729	携帯電話料、審査支払手数料、公用車車検等手数料等		
03	職員手当等	14,038	職員諸手当		13	委託料	3,431	介護認定調査委託、介護審査判定委託、レセプト点検、システム保守(生保、訪問支援)		
04	共済費	9,270	職員共済組合納付金		14	使用料及び賃借料	1,414	訪問支援システム賃借料、レセプト管理システム使用料		
07	賃金	7,117	非常勤職員 4人分		20	扶助費	686,320	生活保護扶助費、就労自立給付金、行旅者対策費		
08	報償費	558	嘱託医手当 2人分		21	貸付金	600	生活保護支援貸付金		
09	旅費	92	職員研修等旅費							
11	需用費	1,037	参考図書、事務用品、公用車タイヤ、公用車燃料、緊急避難所修繕費、公用車修繕等							

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生活保護費給付事業	要保護者に対し生活維持と自立支援を図るため、適正な生活扶助、医療扶助等を給付する。保護費の支給により最低限度の生活維持が可能になる。	20	扶助費	685,770
					計	685,770
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010502200
課・係等	福祉課 生活支援担当

予算書ページ	164
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	生活保護費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	社会就労センター費		基本施策	生活困窮者への支援
	事業	0103520	社会就労センター管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,749	41,958	0	0	967	37,824
前年度	80,845	44,524	0	0	775	35,546
増減額	△ 96	△ 2,566	0	0	192	2,278

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	障害者就労支援センター電気料	720								
21	社会就労センター自販機電気料	247								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・社会就労センター管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うこと。  
**【効果】**  
 ・民間のノウハウを取り込むことで、管理経費の削減やサービスの向上を期待できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・社会就労センターの管理運営を効率的・効果的かつ安定的に行うため指定管理者へ管理運営に関する業務を委託する。  
 ・就労または技能習得のための機会及び便宜(施設=社会就労センター)を提供する。  
 ・各企業から1年を通じて安定的な仕事を確保する。  
 ・利用者の確保と一般就労への支援を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 社会就労センター管理費 80,749千円

【一般財源増加理由】 施設事務費の概算が減少し、これに伴い国庫負担金額が減少したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	400	施設修繕費100,000円×4施設=400,000円				
13	委託料	78,452	指定管理委託料				
15	工事請負費	597	電話施設更新工事(穂高)、休憩室エアコン設置工事(三郷)				
19	負担金補助及び交付金	1,300	社会就労センター福利厚生等事業への補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	社会就労センター管理費	社会就労センターの管理運営を指定管理者へ委託。民間のノウハウ等を活かし、事業の効率化・安定化が期待できる	13	委託料	78,452	
				19	負担金補助及び交付金	1,300	
				15	工事請負費	597	
				11	需用費	400	
					計	80,749	
2					計	0	



重点施策	-		コード	010503100		予算書ページ	128
			課・係等	子ども支援課 児童係			
予算	款	03	民生費		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費			基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103100	母子福祉事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,866	9,756	2,825	0	1	7,284
前年度	20,990	11,196	3,503	0	2	6,289
増減額	△ 1,124	△ 1,440	△ 678	0	△ 1	995

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	母子生活支援施設等入所者負担金	1	16	児童入所施設措置費等県費負担金	2,825				
15	児童入所施設措置費等国庫負担金	5,650								
15	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金	2,974								
15	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金	1,132								

【目的・効果】

【目的】

- DV被害者や困難を抱えたひとり親等への相談(助言、指導等)及び経済的支援
- 自立に向けた施設入所措置
- DV被害時の緊急対応
- 研修会参加による相談員自身のスキルアップ

【効果】

- 安全、安心に過ごせる日常生活の提供
- 相談することでの不安解消及び困窮の未然予防
- 緊急避難時の安全確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- DV被害者やひとり親等が抱える多様な相談への支援対応
- ひとり親家庭の親が、有資格により安定した就労を目指すための経済的支援
- DV被害者等の緊急時における安全確保のため、常時利用可能な避難施設の整備
- DV被害者等に対する、配偶者暴力相談支援センターの有効活用

【詳細事業内訳】

母子福祉事業 6,075千円 女性保護事業 13,791千円

【一般財源増加理由】再任用職員から臨時職員への切替に伴う賃金分を計上したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	4,071	相談員賃金				
09	旅費	200	研修会参加旅費、DV被害者移送支援旅費				
11	需用費	197	避難施設維持管理費				
12	役務費	78	携帯電話使用料				
19	負担金補助及び交付金	10	各連絡協議会負担金				
20	扶助費	15,310	高等職業訓練促進給付金、母子生活支援施設入所措置費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	女性保護事業	○DV被害者の安全確保、経済的支援及び自立に向けた手続きや助言・指導等を行うことのできる配偶者暴力相談支援センターとしての機能を効果的に活用し、安心して暮らすことができるよう支援する。 ○緊急時においては、迅速な対応のうえ関係機関と連携し、被害者の不安解消に繋げていくための最善策を検討する。 ○研修会等への参加や他自治体との情報交換により、相談業務のスキルアップを図り、多様化する事案に的確かつ冷静な対応により取り組んでいく。	20	扶助費	11,344
				07	賃金	2,018
				11	需用費	197
				09	旅費	150
					計	13,709
2					計	0

予算書ページ	138
--------	-----

重点施策	(3)	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103230	児童福祉総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	1,954,836	国支出金	県支出金	市債	その他	573,344
前年度	1,990,039	1,152,996	233,126	0	30,811	573,106
増減額	△ 35,203	△ 11,674	△ 3,090	0	△ 20,677	238

款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
15	児童扶養手当国庫負担金	99,592	15	子ども子育て支援交付金	3,822	21	児童手当返還金	10	1,381,492
15	児童扶養手当国庫負担金前年度精算分	1	16	児童手当県費負担金	226,205	21	児童手当過年度返還金	10	
15	児童手当国庫負担金	1,037,764	16	子ども子育て支援交付金	3,822	21	児童扶養手当返還金	42	
15	児童手当国庫負担金前年度精算分	1	16	児童福祉施設入所負担金判定委託金	9	21	児童扶養手当過年度返還金	72	
15	児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金	142	18	ふるさと寄附金	10,000		(地方消費税交付金・引上分の地方消費税)	(333,000)	

【目的・効果】

【目的】

- 児童虐待事案の早期発見及び未然防止に努める。
- 要対協の調整役を担うことで、関係機関との連携強化及び情報共有により児童とともに家庭を見守る。
- 多様化する児童虐待事案への的確な対応のため、研修会等への参加により相談員のスキルアップを図る。
- 社会保障制度に基づく児童手当、児童扶養手当と市独自事業の子育て応援手当の支給処理を行う。
- 次年度施行に向けた第2次安曇野市子ども・子育て支援事業計画を策定する。
- ひとり親や低所得者等への利用料金の助成及び交流会、養成講習会の日程の見直し等により、会員が利用しやすいファミリーサポートセンター事業を促進する。

【効果】

- 関係機関が関わることで、重篤事案とならないよう見守ることができ、児童虐待の未然防止を図ることができる。
- 各種手当を支給することで、経済的支援を図ることができる。
- 事業計画策定により、市の方針や施策を決定し、子育て世代が安心して暮らすための子育て支援サービスを提供できる。
- ファミリーサポート登録会員が増えることで、地域での相互援助活動に貢献でき、地域における児童への見守りにも繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 児童虐待事案への相談業務及び支援対応
- 法令等に基づく各種手当支給事業
- 第2次安曇野市子ども・子育て支援事業計画策定
- ファミリーサポートセンター事業促進

【詳細事業内訳】

児童扶養手当給付事業 302,594千円 家庭児童相談事業 7,714千円 ファミリーサポート事業 8,205千円 子育て応援手当給付事業 37,586千円  
児童福祉総務費 106,796千円 児童手当給付事業 1,490,816千円 子ども・子育て支援事業計画策定事業 1,125千円

【一般財源増加理由】 特定財源(その他)充当額減のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	55,926	一般職員給与	11	需用費	2,420	公用車維持管理費、各種手当用紙等購入費、児童手当支払通知書及び事業計画書印刷製本費
03	職員手当等	25,462	職員諸手当	12	役務費	508	公用車車検・点検手数料及び保険料、子育て応援手当振込手数料
04	共済費	19,445	職員共済組合給付金	13	委託料	13,694	各種システム保守、児童扶養手当システム改修 ファミサポ事業、子育て支援事業
07	賃金	10,259	児童係事務職員賃金、家庭児童相談員賃金	19	負担金補助及び交付金	164	各種研修費負担金、連絡協議会負担金
08	報償費	175	子ども・子育て会議出席謝礼	20	扶助費	1,826,565	各種手当給付費
09	旅費	143	各種研修参加旅費、虐待児童移送支援旅費	27	公課費	75	公用車重量税

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子育て応援手当給付事業	○市独自事業として、第2子以降の子どもを家庭で保育する保護者に対し、1人あたり月額3,000円の手当を支給する。 ○子育て世代への経済的支援と子どもが入所している家庭との不均衡を是正することができる。 ○飽和状態にある3歳未満児の保育施設利用の抑制に繋げることができる。 ○保育施設を利用せず親子で触れ合う貴重な時間を持つことで、今後の成長過程における乳幼児期の育児の大切さ、重要性を感じてもらえる。	20	扶助費	36,720
				13	委託料	589
				12	役務費	223
				11	需用費	54
					計	37,586
2	ソフト	ファミリーサポート事業	○ひとり親や低所得者にも低価で利用してもらうため、利用料金の1/2を助成し利用者の増加を図る。 ○協力会員養成講習会の開催日程を増やし、多くの会員に登録してもらい、地域の相互援助活動として機能を活性化させる。 ○会員間の交流会等の開催を増やすことで、子育てに関する相談や友達づくりの場を提供し、孤立させない環境づくりをする。 ○妊娠届時や定期受診等で案内パンフを配布し、サービス内容を広く周知することで利用者の増加を図る。	13	委託料	7,312
				20	扶助費	893
					計	8,205

予算書ページ	140
--------	-----

重点施策	—	コード	010503100
		課・係等	子ども支援課 児童係

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103240	児童遊園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,797	0	0	0	0	2,797
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	2,797	0	0	0	0	2,797

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 老朽化等により不備・不用な遊具の撤去工事を行う。
- 健康長寿を目指し、誰もが気軽に利用できる健康遊具を設置する。

【効果】

- 市が管理する児童遊具の安全確保ができる。
- 地域主体による健康づくりと、住民が集う憩いの場を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 児童遊具撤去工事10基(地区への撤去依頼、状況説明)
- 健康遊具設置工事3基(モデル事業地区の選定)

【詳細事業内訳】

小規模公園整備事業 2,797千円

【一般財源増加理由】 老朽化等の児童遊具撤去及び健康遊具設置による工事費計上のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
15	工事請負費	2,797	児童遊具撤去工事、健康遊具設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小規模公園整備事業	○小規模公園の有効活用として、遊具を利用する児童だけでなく、大人も利用できる健康遊具を設置し、個人だけでなく地域区民・団体等を通じて、健康長寿に向けた健康づくりを促進する。 ○小規模公園を起点としたウォーキングコースを設定することで、インターバル時の健康遊具の利用とウォーキングとの相乗効果により健康づくりに伴う体力向上が見込める。 ○地域住民の誰もが気軽に触れ合うことのできる憩いの場として提供することで、住民との繋がりや地域行事等の活性化を図る。	15	工事請負費	2,797
					計	2,797
2					計	0

重点施策	-		コード	010503200		予算書ページ	142
			課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0103290	公立認定こども園整備費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	962,434	0	51,200	844,200	20,000	47,034
前年度	971,453	0	51,200	857,900	20,000	42,353
増減額	△ 9,019	0	0	△ 13,700	0	4,681

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	市町村合併特例交付金	51,200							
19	公共施設整備基金繰入金	20,000								
22	保育所建設事業	466,900								
22	施設整備事業債	377,300								

【目的・効果】

【目的】

○園舎の新築・改修や未満児室・延長保育室の充実化など、施設環境の向上を通じて教育・保育環境を改善する。

【効果】

○施設更新や改修による施設環境の向上により、良好な教育・保育環境を提供できる。  
○未満児室や延長保育室の充実化により、多様な保育ニーズへの対応が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 明科南…園舎建設工事を進める。(H30～H31)
- たつみ…旧園舎を解体して駐車場を整備する。
- 上川手…大規模改修の設計を行う。
- 穂高…大規模改修工事を実施する。

【詳細事業内訳】

たつみ認定こども園建設事業 115,773千円 上川手認定こども園改修事業 1,411千円 明科南認定こども園建設事業 596,138千円  
西穂高認定こども園改修事業 500千円 穂高認定こども園改修事業 248,612千円

【一般財源増加理由】 起債対象外事業の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	9,859	明科南新園舎用消耗品購入				
12	役務費	371	建築確認検査手数料				
13	委託料	37,637	明科南園舎建設工事監理業務、明科南駐車場造成設計業務				
15	工事請負費	902,392	明科南園舎建設工事、穂高大規模改修工事				
18	備品購入費	12,175	明科南新園舎用保育備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	明科南認定こども園建設事業	園舎建設工事をH31年12月竣工の予定で進める。また、駐車場を整備するための造成設計を行う。	15	工事請負費	549,616
				13	委託料	24,210
				18	備品購入費	12,175
				11	需用費	9,859
					計	595,860
2	ハード	たつみ認定こども園建設事業	2期工事として、旧園舎解体工事と駐車場整備工事を行う。	15	工事請負費	113,872
				13	委託料	1,890
				12	役務費	11
					計	115,773

重点施策	-		コード	010503200		予算書ページ	142
			課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0103300	保育政策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	503,752	194,665	106,925	0	33,238	168,924
前年度	460,480	194,469	78,378	0	30,254	157,379
増減額	43,272	196	28,547	0	2,984	11,545

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保育児童保育料	21,729	16	子どものための教育保育給付費負担金	91,659	16	保育対策総合支援事業補助金	33	
15	子どものための教育保育給付費負担金	183,369	16	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分	1	16	第3子以降の保育料減免事業補助金	396		
15	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分	1	16	子育て支援総合助成金	2,399	21	一時的保育料	11,447		
15	保育対策総合支援事業補助金	1,002	16	子どものための教育・保育給付費地方単独費用補助金	2,144	21	病児・病後児保育料	62		
15	子ども子育て支援交付金	10,293	16	子ども子育て支援交付金	10,293					

【目的・効果】

【目的】

- 子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付及び地域子ども・子育て支援事業の実施
- 認可外保育施設を支援し、認可外保育施設を利用する児童の処遇向上を図る
- 多子世帯に対する経済的負担の軽減

【効果】

幼児期の良質な教育・保育が保護者の選択によって多様な実施主体において受けることができるほか、多子世帯に対する経済的負担の軽減や多様な保育サービス等により、子育て環境の充実が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づく、教育・保育の給付(私立の特定教育・保育施設(保育所、幼稚園、認定こども園)及び特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業)に対する給付費の支給)
- 地域子ども・子育て支援事業の実施(私立の特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の延長保育事業に対する補助、病児・病後児保育事業の医療機関への業務委託、公立認定こども園における一時預かり事業の実施)
- 認可外保育施設への補助金の交付
- 認可外保育施設や幼稚園(給付対象施設以外の幼稚園)を利用する第3子目以降の子どもに対する利用料に係る補助金の交付

【詳細事業内訳】

私立保育所等延長保育事業 13,665千円 私立保育所等特別保育事業 27,825千円 保育総務費 10,173千円 多子世帯保育料負担軽減事業 2,580千円 認可外保育施設支援事業 7,122千円 子どものための教育・保育給付費 410,401千円 病児・病後児保育事業 13,170千円 一時預かり事業 18,732千円 実費徴収補給付事業 84千円

【一般財源増加理由】	子どものための教育・保育給付の対象施設が増加したことにより、法定負担割合(国1/2、県1/4、市1/2)の市負担分も増加した。						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	26,664	臨時職員賃金				
08	報償費	27	入園等支援委員会出席謝礼				
09	旅費	93	研修等旅費				
11	需用費	1,126	消耗品、印刷製本費、収納関係帳票類				
13	委託料	15,571	病児・病後児保育事業、市外保育業務委託				
19	負担金補助及び交付金	460,270	私立保育所等延長保育事業、私立保育所等特別保育事業、多子世帯保育料負担軽減事業、認可外保育施設支援事業、子どものための教育・保育給付費、実費徴収補給付事業				
23	償還金、利子及び割引料	1	保育料等過年度還付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子どものための教育・保育給付費	子ども・子育て支援法に基づき、私立の保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業を利用する子どもに対して、教育・保育給付費を負担することにより、すべての子どもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けられる。	19	負担金補助及び交付金	407,942
				13	委託料	2,459
					計	410,401
2	ソフト	認可外保育施設支援事業	認可外保育施設に補助金を交付することにより、認可外保育施設を利用する児童の処遇向上を図るとともに、信州やまほいく等の取り組みを支援し、市の多様な保育環境の充実を図る。	19	負担金補助及び交付金	7,122
					計	7,122

予算書ページ	144
--------	-----

重点施策	(3)	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103310	認定こども園管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,451,092	406	22,805	0	589,403	838,478
前年度	1,361,248	378	22,212	0	518,175	820,483
増減額	89,844	28	593	0	71,228	17,995

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	保育児童保育料	510,554	15	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	406	19	ふるさと寄附基金繰入金	74,880	
13	突発長時間保育料	3,038	16	電源立地地域対策交付金	10,467	21	南穂高認定こども園太陽光発電売電	27		
13	保育児童保育料滞納繰越金	480	16	子育て支援総合助成金	190	21	西穂高認定こども園太陽光発電売電	27		
13	他市町村保育児童保育料	360	16	教育支援体制整備事業補助金	484					
14	保育料督促手数料	37	16	第3子以降の保育料減免事業補助金	11,664					

【目的・効果】

【目的】

○安曇野市の公立認定こども園を適切に管理・運営し、子ども・子育て支援法、児童福祉法並びに認定こども園法に基づき、幼児期の教育・保育の給付を行う。

【効果】

○発達段階に応じた質の高い教育・保育及び子育て支援の提供ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

施設及び設備の点検及び修繕を行い、適切に維持管理するとともに、園長及び主任保育士を含め保育士に対して担当業務に必要な研修を行い、質を高めながら幼児期の教育・保育を提供する。また、信州やまほいく認定制度も活用しながら安曇野市としての特色ある教育・保育を実践していく。

【詳細事業内訳】

公立認定こども園管理費 1,376,212千円 公立認定こども園空調機設置事業 74,880千円

【一般財源増加理由】 職員給料、手当、共済費、保育士等臨時職員賃金の増加による

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,230	園医報酬	11	需用費	7,195	保育士作業用被服費、施設修繕費ほか
02	給料	364,618	職員給料	12	役務費	4,003	機器調整手数料ほか
03	職員手当等	164,544	職員各種手当	13	委託料	26,744	設備管理点検業務、遊戯室エアコン設置工事監理業務ほか
04	共済費	109,368	職員共済組合納付金	14	使用料及び賃借料	9,202	コピー印刷機借上げ、園用地借地料ほか
07	賃金	672,301	保育士等臨時職員賃金	15	工事請負費	77,714	遊戯室エアコン設置工事、小規模改修工事
08	報償費	9,753	保育協力員謝礼ほか	19	負担金補助及び交付金	2,618	研修会講習負担金ほか
09	旅費	802	自家用車公務使用、研修会旅費ほか				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公立認定こども園管理費	公立認定こども園を適切に管理・運営すると共に、安曇野市の豊かな自然環境を活かした「信州やまほいく」を推進することにより、質の高い幼児期の教育・保育並びに子育て支援を提供することができる。	07	賃金	672,301
				02	給料	364,618
				03	職員手当等	164,544
				04	共済費外	174,749
					計	1,376,212
2	ハード	公立認定こども園空調機設置事業	遊戯室にエアコンを設置し、夏場の午睡時等に利用することで、子どもが健康で安全に過ごすことができる。	15	工事請負費	69,220
				13	委託料	5,660
					計	74,880

予算書ページ	146
--------	-----

重点施策	—	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103320	認定こども園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	329,666	0	0	0	21,940	307,726
前年度	340,988	0	0	0	21,924	319,064
増減額	△ 11,322	0	0	0	16	△ 11,338

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	認定こども園廃油売却代金	16								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○児童に安全安心な給食を提供する。  
 ○給食施設の衛生・安全点検を行う。  
**【効果】**  
 ○給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。  
 ○ウィルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○給食調理業務委託を以下の区分に分け、業者に委託している。  
 Aグループ 西穂高・北穂高・穂高  
 Bグループ 有明の森・有明あおぞら・堀金  
 Cグループ 三郷東部・三郷西部・三郷南部・三郷北部  
 Dグループ 豊科・豊科南部・たつみ・アルプス  
 Eグループ 南穂高・上川手・明科南・明科北  
 ○食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。  
 ○職員保菌検査、ノロウィルス検査等の実施。  
 ○調理用備品の整備

**【詳細事業内訳】**  
 公立認定こども園給食運営費 329,666千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	188,144	給食用消耗品、食材費ほか				
12	役務費	1,264	衛生管理検査費ほか				
13	委託料	138,432	調理業務委託ほか				
18	備品購入費	1,826	食器消毒保管庫(三郷東部) テーブル冷蔵庫、ガス式オープン(上川手)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010503201
		課・係等	子ども支援課 豊科認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103330	豊科認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,308	0	0	0	0	6,308
前年度	5,901	0	0	0	0	5,901
増減額	407	0	0	0	0	407

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払い
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

豊科認定こども園管理 6,308千円

【一般財源増加理由】 主に、備品購入費、燃料費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,639	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	183	電話料ほか				
13	委託料	170	厨房雑排水収集運搬・処理業務、運搬用昇降機点検業務				
14	使用料及び賃借料	65	コピー機使用料				
18	備品購入費	221	2歳児用イス(×12)、デジタルカメラ(×2)、シューズボックス				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010503202
課・係等	子ども支援課 豊科南部認定こども園

予算書ページ	148
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103340	豊科南部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,166	0	0	0	0	5,166
前年度	5,062	0	0	0	0	5,062
増減額	104	0	0	0	0	104

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

豊科南部認定こども園管理 5,166千円

【一般財源増加理由】 主に、燃料費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,837	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	159	電話料ほか				
13	委託料	89	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	51	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503203
課・係等	子ども支援課 南穂高認定こども園

予算書ページ	148
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103350	南穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,779	0	0	0	0	6,779
前年度	6,921	0	0	0	0	6,921
増減額	△ 142	0	0	0	0	△ 142

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

南穂高認定こども園管理 6,779千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,756	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	282	電話料ほか				
13	委託料	27	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	60	コピー機使用料				
18	備品購入費	624	キャラバンテント(×2)、ワイアレスアンプCD付マイクセット				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503204
課・係等	子ども支援課 たつみ認定こども園

予算書ページ	150
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103360	たつみ認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,923	0	0	0	0	3,923
前年度	4,595	0	0	0	0	4,595
増減額	△ 672	0	0	0	0	△ 672

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

たつみ認定こども園管理 3,923千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	3,575	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	167	電話料ほか				
13	委託料	106	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	45	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	150
--------	-----

重点施策	—	コード	010503205
		課・係等	子ども支援課 アルプス認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103370	アルプス認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,744	0	0	0	0	3,744
前年度	3,737	0	0	0	0	3,737
増減額	7	0	0	0	0	7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

アルプス認定こども園管理 3,744千円

【一般財源増加理由】 役務費(高所ガラス清掃作業)の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て会議講師謝礼				
11	需用費	3,434	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	181	電話料ほか				
13	委託料	53	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	46	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010503206
		課・係等	子ども支援課 上川手認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103380	上川手認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,718	0	0	0	0	4,718
前年度	4,081	0	0	0	0	4,081
増減額	637	0	0	0	0	637

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 【目的】  
 ○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。
- 【効果】  
 ○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
 ○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

上川手認定こども園管理 4,718千円

【一般財源増加理由】 主に、灯油代及び備品購入費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,262	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	215	電話料ほか				
13	委託料	26	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	44	コピー機使用料				
18	備品購入費	141	CDプレーヤー(園内放送用1、遊戯室用1)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503207
課・係等	子ども支援課 有明の森認定こども園

予算書ページ	152
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103390	有明の森認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,250	0	0	0	0	5,250
前年度	5,403	0	0	0	0	5,403
増減額	△ 153	0	0	0	0	△ 153

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

有明の森認定こども園管理 5,250千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,858	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	270	電話料ほか				
13	委託料	74	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	18	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503208
課・係等	子ども支援課 有明あおぞら認定こども園

予算書ページ	152
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103400	有明あおぞら認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,051	0	0	0	0	6,051
前年度	6,031	0	0	0	0	6,031
増減額	20	0	0	0	0	20

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

有明あおぞら認定こども園管理 6,051千円

【一般財源増加理由】 主に、備品購入費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,299	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	310	電話料ほか				
13	委託料	55	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	67	コピー機使用料				
18	備品購入費	290	ワイヤレスレスアンプCD付				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	-		コード	010503209		予算書ページ	154
			課・係等	子ども支援課 西穂高認定こども園			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0103410	西穂高認定こども園費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,038	0	0	0	0	8,038
前年度	8,609	0	0	0	0	8,609
増減額	△ 571	0	0	0	0	△ 571

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。  
**【効果】**  
 ○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
 ○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

**【詳細事業内訳】**  
 西穂高認定こども園管理 8,038千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	7,696	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	260	電話料ほか				
13	委託料	25	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	27	コピー機使用料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010503210
課・係等	子ども支援課 北穂高認定こども園

予算書ページ	154
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103420	北穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,226	0	0	0	0	4,226
前年度	3,892	0	0	0	0	3,892
増減額	334	0	0	0	0	334

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

北穂高認定こども園管理 4,226千円

【一般財源増加理由】主に、燃料費(灯油代)及び備品購入費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	3,580	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	165	電話料ほか				
13	委託料	19	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	21	コピー機使用料				
18	備品購入費	411	園庭放送機器、未満児用運動マット、ウォッシュャブルソフト畳(4枚組)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503211
課・係等	子ども支援課 穂高認定こども園

予算書ページ	156
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103430	穂高認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,248	0	0	0	0	8,248
前年度	7,941	0	0	0	0	7,941
増減額	307	0	0	0	0	307

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

穂高認定こども園管理 8,248千円

【一般財源増加理由】主に、燃料費(灯油代)及び光熱水費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	7,314	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	349	電話料ほか				
13	委託料	19	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	21	コピー機使用料				
18	備品購入費	515	折りたたみテーブル(×4)、スペースパーテーション				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503215
課・係等	子ども支援課 三郷西部認定こども園

予算書ページ	156
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103440	三郷西部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,693	0	0	0	0	3,693
前年度	3,495	0	0	0	0	3,495
増減額	198	0	0	0	0	198

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。  
**【効果】**  
 ○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
 ○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○保育用品の購入  
 ○施設維持に必要な光熱水費の支払  
 ○産業廃棄物処理業務等  
 ○コピー機使用料

**【詳細事業内訳】**  
 三郷西部認定こども園管理 3,693千円

【一般財源増加理由】主に、燃料費(灯油代)及び備品購入費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	36	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	3,321	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	125	電話料ほか				
13	委託料	40	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	35	電話料ほか				
18	備品購入費	136	冷蔵庫、体重計				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010503213
		課・係等	子ども支援課 三郷南部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103450	三郷南部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,123	0	0	0	0	5,123
前年度	4,989	0	0	0	0	4,989
増減額	134	0	0	0	0	134

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。  
**【効果】**  
 ○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
 ○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○保育用品の購入  
 ○施設維持に必要な光熱水費の支払  
 ○産業廃棄物処理業務等  
 ○コピー機使用料

**【詳細事業内訳】**  
 三郷南部認定こども園管理 5,123千円

【一般財源増加理由】主に、燃料費(灯油代)及び光熱水費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,774	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	134	電話料ほか				
13	委託料	79	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	49	コピー機使用料				
18	備品購入費	57	シュレッダー				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503214
課・係等	子ども支援課 三郷東部認定こども園

予算書ページ	158
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103460	三郷東部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,127	0	0	0	0	7,127
前年度	7,590	0	0	0	0	7,590
増減額	△ 463	0	0	0	0	△ 463

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

三郷東部認定こども園管理 7,127千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	6,101	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	161	電話料ほか				
13	委託料	40	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	28	コピー機使用料				
18	備品購入費	767	体重計、身長計、5歳児用テーブル、弁当保温庫(×2)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010503212
		課・係等	子ども支援課 三郷北部認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103470	三郷北部認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,861	0	0	0	0	5,861
前年度	5,277	0	0	0	0	5,277
増減額	584	0	0	0	0	584

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○当認定こども園において必要な保育用品等の購入、適正な施設管理を行う。

【効果】

○児童への保育材料を充実させることでより広い教育・保育活動を実践することができる。

○施設の適正な管理を行うことで、保育士がより教育・保育に集中できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 児童に必要な保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

三郷北部認定こども園管理 5,861千円

【一般財源増加理由】 主に、光熱水費及び備品購入費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	5,494	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	193	電話料ほか				
13	委託料	79	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	19	電話料ほか				
18	備品購入費	46	事務用イス(×5)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	160
--------	-----

重点施策	—	コード	010503216
		課・係等	子ども支援課 堀金認定こども園

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103480	堀金認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,023	0	0	0	0	9,023
前年度	8,642	0	0	0	0	8,642
増減額	381	0	0	0	0	381

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

堀金認定こども園管理 9,023千円

【一般財源増加理由】主に、燃料費(灯油代)及び光熱水費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	8,446	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	335	電話料ほか				
13	委託料	95	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	34	コピー機使用料				
18	備品購入費	83	木製コーナーサークル				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010503218
課・係等	子ども支援課 明科南認定こども園

予算書ページ	160
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103490	明科南認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,804	0	0	0	0	4,804
前年度	4,605	0	0	0	0	4,605
増減額	199	0	0	0	0	199

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。

○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

明科南認定こども園管理 4,804千円

【一般財源増加理由】主に、燃料費(灯油代)及び光熱水費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	4,424	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	198	電話料ほか				
13	委託料	98	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	54	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010503217
課・係等	子ども支援課 明科北認定こども園

予算書ページ	162
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	児童福祉費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	保育所費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0103500	明科北認定こども園費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,885	0	0	0	0	3,885
前年度	4,161	0	0	0	0	4,161
増減額	△ 276	0	0	0	0	△ 276

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○園の運営に必要な保育用品の購入等、必要経費の管理及び適正な施設管理を行う。

【効果】

○保育材料を提供することで、充実した教育・保育活動を実践することができる。  
○適正な施設管理により、教育・保育に集中できる環境を整えることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 保育用品の購入
- 施設維持に必要な光熱水費の支払
- 産業廃棄物処理業務等
- コピー機使用料

【詳細事業内訳】

明科北認定こども園管理 3,885千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	30	子育て講演会講師謝礼				
11	需用費	3,482	保育用消耗品、光熱水費ほか				
12	役務費	254	電話料ほか				
13	委託料	80	厨房雑排水収集運搬・処理業務				
14	使用料及び賃借料	39	コピー機使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策	—	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110293	幼稚園総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,698	1,204	0	0	0	3,494
前年度	4,698	1,204	0	0	0	3,494
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	幼稚園就園奨励費	1,204							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○次世代を担う人づくりの推進を図る為、保護者の所得状況に応じた利用料の負担で幼稚園が利用できるよう、私立幼稚園へ就園奨励費を支出し、幼稚園への就園を支援する。  
**【効果】**  
 ○私立幼稚園の設置者が、通園しているお子さんをお持ちの保護者に対し入園料及び保育料を減免する場合に、市が国庫補助を受けて補助金を交付し、所得状況に応じた保護者の経済的負担の軽減及び公立と私立の幼稚園間の保護者負担の格差是正を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 ○国における補助基準を基に、補助金(幼稚園就園奨励費)の交付を行う。  
 (「子ども・子育て支援新制度」による「施設型給付」を選択した幼稚園については、施設型給付費により別に給付費が支給される。)

**【詳細事業内訳】**  
 幼稚園就園奨励費 4,698千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	4,698	幼稚園就園奨励費補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	幼稚園就園奨励費	保護者の所得状況に応じた利用料の負担で幼稚園が利用できるよう、私立幼稚園へ就園奨励費を支出し、幼稚園への就園を支援する。	19	負担金補助及び交付金	4,698	
					計	4,698	
2					計	0	

重点施策	(3)	コード	010503200	予算書ページ	310	
		課・係等	子ども支援課 保育担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	62,184	0	0	18,273	43,911
前年度	64,685	0	0	11,298	53,387
増減額	△ 2,501	0	0	6,975	△ 9,476

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	幼稚園使用料	10,945							
19	ふるさと寄附基金繰入金	7,256								
21	幼稚園預かり保育料	72								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○次世代を担う人づくりの推進を図るため、穂高幼稚園を適切に管理・運営することにより、幼児教育の給付を行う。  
**【効果】**  
 ○園児に発達段階に応じた質の高い幼児教育を提供することができ、安全な環境の中で成長に必要な幼児期の基礎を培うことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○学校教育法に基づき、基準に適したクラス編成、職員配置並びに施設管理を行い、幼稚園教育要領に則って適切な幼児教育を提供する。  
 ○加配教諭等を配置し、個々の児童の発達状況に応じて必要な支援を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 穂高幼稚園空調機設置事業 7,256千円 穂高幼稚園運営費 54,928千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	213	園医等報酬			11	需用費	5,359	消耗品、光熱水費、燃料費、印刷製本費ほか		
02	給料	13,855	職員給料			12	役務費	968	電話料、各種検査手数料ほか		
03	職員手当等	7,834	職員各種手当			13	委託料	2,188	園舎設備管理業務委託、遊戯室エアコン設置工事監理業務委託		
04	共済費	4,511	職員共済組合納付金			14	使用料及び賃借料	277	印刷機借り上げ料ほか		
07	賃金	18,765	臨時幼稚園教諭等賃金			15	工事請負費	6,755	図書室網戸設置工事、遊戯室エアコン設置工事		
08	報償費	785	講演会講師謝礼、保育協力員謝礼ほか			18	備品購入費	195	電子ピアノほか		
09	旅費	392	研修・研究会等旅費ほか			19	負担金補助及び交付金	87	研究会、協議会等参加負担金ほか		

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	穂高幼稚園空調機設置事業	遊戯室にエアコンを設置し、夏場の午睡時等に利用することで、子どもが健康で安全に過ごすことができる。	15	工事請負費	6,662	
				13	委託料	594	
					計	7,256	
2							
					計	0	

予算書ページ	312
--------	-----

重点施策	—	コード	010503200
		課・係等	子ども支援課 保育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	04	幼稚園費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	幼稚園費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,658	0	0	0	3,910	7,748
前年度	10,604	0	0	0	4,381	6,223
増減額	1,054	0	0	0	△ 471	1,525

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	幼稚園給食費	3,909							
21	幼稚園廃油売却代金	1								

【目的・効果】

【目的】

- 児童に安全安心な給食を提供する。
- 給食施設の衛生・安全点検を行う。

【効果】

- 給食調理業務の民間委託により、民間の活力を生かした効率的な運営ができる。
- ウィルス検査、食品微生物点検、給食室消毒等を行うことで常に衛生的な環境で調理業務を行うことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 給食調理業務の事業者委託。
- 食器、調理用消耗品、衛生用品、給食材料の購入。
- 職員保菌検査、ノロウィルス検査等の実施。
- 老朽化した備品の整備。

【詳細事業内訳】

穂高幼稚園給食運営費 11,658千円

【一般財源増加理由】 主に、検査手数料の緊急対応分の増、備品購入費の増によるもの。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	5,216	給食用消耗品、食材費ほか				
12	役務費	81	食品検査、厨房機器点検				
13	委託料	5,363	調理業務委託				
18	備品購入費	998	回転釜				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

# 保健医療部

重点施策	—		コード	010701100		予算書ページ	168
			課・係等	健康推進課 健康推進担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま	
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	地域医療の充実	
	事業	0104010	保健衛生総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	266,471	0	0	0	0	266,471
前年度	273,541	0	0	0	0	273,541
増減額	△ 7,070	0	0	0	0	△ 7,070

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○休日、および、夜間の地域医療の体制を充実させる。 ○松本医療圏救急医療体制を維持する。 ○松本地域における出産子育て安心ネットワークを維持する。  
 ○災害時医療救護所装備品の整備を進める。  
**【効果】**  
 ○地域医療、救急医療の体制整備を進めることができる。 ○少子化対策の一環となる。 ○災害時医療体制の整備を進めることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○在宅(休日)当番医制事業を安曇野市医師会へ委託する。  
 ○在宅(休日)歯科当番医制事業を安曇野市歯科医師会へ委託する。  
 ○病院群輪番制病院運営事業について、負担金を支払う。  
 ○松本地域出産子育て安心ネットワーク事業について、同協議会へ負担金を支払う。  
 ○災害時医療救護活動にかかわる事業の実施。(医療救護所装備品等の購入など)

**【詳細事業内訳】**  
 保健衛生総務費 265,104千円 保健医療救護事業 1,367千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	132,023		18	備品購入費	41	災害時医療救護所装備品
03	職員手当等	61,024		19	負担金補助及び交付金	22,629	病院群輪番制負担金、松本地域出産子育て安心ネットワーク事業負担金 外
04	共済費	41,851					
08	報償費	98	新型インフルエンザ等体制検討、医療救護活動マニュアル検証委員会委員の出席謝礼				
11	需用費	715	医療救護所医薬品・装備品、新興感染症備蓄品など				
12	役務費	244	休日診療医師賠償保険				
13	委託料	7,846	在宅(休日)当番医制事業委託、安定ヨウ素剤管理委託				

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	在宅(休日)当番医制事業委託 (保健衛生総務費)	休日等において、二次救急病院の負担軽減も視野に入れながら、地域のかかりつけ医が急病者の対応に当たり、地域の「安心」を提供する事業である。	13	委託料	7,316		
					計	7,316		
2	ソフト	病院群輪番制負担金(松本広域圏) (保健衛生総務費)	松本市が松本医療圏における救急医療対応実施機関のとりまとめを行い、市は負担金を支払う。市内の二次救急病院も少ないことから、松本広域圏における救急医療対応実施機関の確保は必要不可欠である。	19	負担金補助及び交付金	20,334		
					計	20,334		

予算書ページ	168
--------	-----

重点施策	—	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104015	予防総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	65,198	0	0	0	100	65,098
前年度	57,595	0	0	0	100	57,495
増減額	7,603	0	0	0	0	7,603

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○健康づくりに関係する各種計画に基づく事業評価を行う。  
 ○実務にあたる専門職員の人材確保(非常勤職員)と資質向上を図る。  
 ○健康管理システム運用により市民の健康データを一元的に管理し、効果的な保健指導を実施する。  
**【効果】**  
 ○各種保健事業を実施するための環境が整備されることで、市民の健康を守り健康長寿を推進することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○附属機関会議(食育推進会議)及び有識者会議(健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会)を開催し各種計画の進捗管理を行う。  
 ○事業実施に必要な専門職員(非常勤職員)を雇用する。また専門職対象に開催されるの研修会に出席する。  
 ○健康管理システムのリース及び保守・改修業務委託を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 予防総務費 65,198千円

【一般財源増加理由】	マイナポータル(マイナンバー制度)導入に伴う健康管理システム改修、及び職員の出産育児休業に伴う代替非常勤職員の増										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	63	食育推進会議委員報酬			19	負担金補助及び交付金	229	専門職員研修会負担金		
07	賃金	51,492	健康推進課非常勤職員								
08	報償費	126	健康づくり推進協議会・歯科口腔保健部会委員出席謝礼								
09	旅費	182	専門職員研修会旅費								
11	需用費	2,748	健診こよみ・保健事業報告書・各種検診申込票印刷代等								
13	委託料	6,748	健康管理システム保守及び改修業務委託料・各種検診申込票代行印刷業務委託料								
14	使用料及び賃借料	3,610	健康管理システムリース料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康管理システム運用(予防総務費)	市民の健康データを蓄積し一元的に管理することで、効果的な保健指導を実施することができる。	13	委託料	6,748
				14	使用料及び賃借料	3,610
					計	10,358
2						
					計	0

予算書ページ	170
--------	-----

重点施策	(1)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104020	健康づくり事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,751	0	0	0	0	2,751
前年度	2,884	0	0	0	0	2,884
増減額	△ 133	0	0	0	0	△ 133

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】  
○健康づくり推進員活動、啓発活動を通して住民自らが健康づくりに取り組める。

【効果】  
○健康づくり推進員自らが地域の健康課題を理解し、健康づくりに取り組める。  
○健康づくり推進員地区活動等を通して各地区住民が健康づくりの学習機会がもてる。  
○住民自らが健康づくりに関心を持ち、生活改善等実践ができる。  
○住民が自殺予防への関心を持つことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○住民が健康づくりに関心をもてるよう学習等の機会を広く周知する。  
○健康づくり推進員が市の健康課題を理解し、自らの健康づくり及び地区活動等が実践できるよう学習する。全地域での地区活動を通して住民が健康づくりを学び実践できるよう支援する。  
○自殺対策を支える人材を育成するため、ゲートキーパー研修会を開催する。

【詳細事業内訳】

健康づくり事業 2,751千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	1,997	講演会、健康づくり推進員地区活動に伴う講師謝礼・総会等出席謝礼、ゲートキーパー研修会講師謝礼				
11	需用費	5	歯科指導出前講座等材料費				
13	委託料	749	食改県推進大会・健康づくり推進員研修会等バス代 食改伝達講習会費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康づくり事業	健康づくり推進員活動や食生活改善推進員活動、各地区組織への健康教室や自殺対策ゲートキーパー研修等の啓発活動を通して住民自らが健康づくりに取り組める。	08	報償費	1,997
				11	需用費	5
				13	委託料	749
					計	2,751
2						
					計	0



重点施策	—		コード	010701300		予算書ページ	170
			課・係等	健康推進課 健康支援担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすまち	
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,478	0	0	0	1,111	20,367
前年度	21,784	0	0	0	1,070	20,714
増減額	△ 306	0	0	0	41	△ 347

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	保健センター使用料	19							1,111
	21	保健センター自販機電気料	24							
	21	穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1,064							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○市の保健医療施策を展開する拠点として各種事業が計画どおり執行されるよう、また地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう、施設の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。  
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。  
 ○配置された公用車を適正に管理する。

**【詳細事業内訳】**  
 穂高健康支援センター管理事業 21,478千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	12,646	事務用品・施設管理用品・公用車用品・公用車燃料費・施設修繕費・光熱水費・施設及び公用車修繕費				
12	役務費	2,021	電話料・公用車定期点検手数料・自賠責保険料				
13	委託料	4,543	施設及び設備管理業務委託料(警備・消防用設備点検・清掃・自動ドア保守点検・外構整備・休日施設管理・除雪等)				
14	使用料及び賃借料	1,899	コピー機・印刷機借上料及び使用料				
18	備品購入費	247	ドライブレコーダー購入費				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金				
27	公課費	118	自動車重量税				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010701300		予算書ページ	172
			課・係等	健康推進課 健康支援担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち	
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	0104030	地域保健センター管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,923	0	0	0	22	3,901
前年度	4,033	0	0	0	26	4,007
増減額	△ 110	0	0	0	△ 4	△ 106

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	保健センター使用料		22						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○地域の保健事業の拠点として市民が健康づくり活動を安心安全に行えるよう施設の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ○各種検診及び予防活動の際に事故や不具合がなく効果的に事業が実施できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○施設利用者の安全を確保するため、施設及び設備の保守点検業務を業者に委託して実施し、不具合箇所は早期に対処する。  
 ○施設及び設備の計画的な更新を検討する。

**【詳細事業内訳】**  
 地域保健センター管理費 3,923千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	626	施設管理用品・燃料代・施設修繕費						
12	役務費	463	電話料・クリーニング代						
13	委託料	2,537	施設及び設備管理業務委託料(警備・清掃・自動ドア保守・建築物定期調査報告等)						
14	使用料及び賃借料	213	コピー機借上料及び使用料						
18	備品購入費	84	乳児健診用テーブル						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	176
--------	-----

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	予防費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104060	予防接種事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	270,040	12,738	0	0	0	257,302
前年度	262,767	0	0	0	0	262,767
増減額	7,273	12,738	0	0	0	△ 5,465

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

○予防接種は、各種の病原体に対する免疫を持たない者を対象に行われるもので、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを目的としている。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行う。
- 近年変更が相次ぐ予防接種が混乱なく実施できるよう、対象者や医療機関への周知を行う。
- 個別予防接種として、医療機関との委託契約を締結し実施する。
  - A類(個人負担なし):二種混合(DT)、麻しん風しん(MR)、日本脳炎、BCG、Hib、小児用肺炎球菌、4種混合、不活化ポリオ、水痘、子宮頸がん、B型肝炎
  - B類(個人負担あり):高齢者インフルエンザ(1,200円)、高齢者肺炎球菌(2,000円)
- 新たに風しんの追加的対策として、抗体保有率の低い年代の男性に対する抗体検査・予防接種(定期接種)を実施する。

【詳細事業内訳】

予防接種事業 270,040千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	165	予防接種封入作業				
09	旅費	17	予防接種従事者研修会				
11	需用費	2,328	予防接種予診票・通知封筒印刷 外				
12	役務費	80	国保連合会手数料				
13	委託料	266,887	予防接種・風しん抗体検査委託				
14	使用料及び賃借料	65	ドットインパクトプリンタリース料				
20	扶助費	498	県外などでの予防接種扶助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	予防接種事業	予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行うことにより、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを図る。	07	賃金	165
				11	需用費	2,328
				13	委託料	266,887
				20	扶助費 外	660
					計	270,040
2					計	0

予算書ページ	172
--------	-----

重点施策	—	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104070	成人検診事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,416	50	0	0	6,550	72,816
前年度	76,742	200	0	0	6,465	70,077
増減額	2,674	△ 150	0	0	85	2,739

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	がん検診推進事業補助金	50							
19	国民健康保険特別会計繰入金	250								
21	成人検診徴収金	6,300								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○がんや結核の早期発見・早期治療のための検診を実施し、壮年期死亡の減少や健康寿命の延伸を目指す。  
**【効果】**  
 ○検診等の受診により自らの健康を維持していくことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○がん検診(胃・大腸・乳房超音波・マンモグラフィ・子宮頸部・肺がんCT)の実施。  
 ○結核検診の実施。  
 ○がん検診受診率向上をめざし検診体制の検討を行うとともに、受診勧奨通知の送付等を行う。  
 ○休日検診の実施。

**【詳細事業内訳】**  
 成人検診事業 79,416千円

【一般財源増加理由】 検診委託料の値上げ

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	445	成人検診時の事務者・看護師				
08	報償費	56	市内産婦人科医・乳房検診担当医会議出席謝礼				
11	需用費	748	検診用封筒、勧奨用ハガキ作成費、医薬材料費、検診用消耗品				
12	役務費	166	検診クーポン券等郵送料				
13	委託料	77,941	検診通知作成費、検診委託料				
19	負担金補助及び交付金	60	女性がん検診助成				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	成人検診事業	市民が、がん検診等を受けて自らの健康を維持できるよう検診を実施するとともに、受診勧奨・精検受診勧奨を行う。	13	委託料	77,941
				11	需用費	748
				07	賃金	445
				12	役務費 外	282
					計	79,416
2					計	0

予算書ページ	174
--------	-----

重点施策	(1)	コード	010701300
		課・係等	健康推進課 健康支援担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健衛生総務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0104075	健康増進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,470	0	2,000	0	505	9,965
前年度	13,322	0	3,000	0	507	9,815
増減額	△ 852	0	△ 1,000	0	△ 2	150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	保健事業補助金	2,000							
21	健康診査徴収金	505								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○健康診査を実施し、健診結果に基づく保健指導を行い、生活習慣病の発症予防、重症化予防に取り組み、健康増進を図る。  
**【効果】**  
 ○一人ひとりの健診結果に基づく保健指導により、生活習慣病の発症リスクを確認し、個人にあった生活改善の方法を知ることができる。  
 ○生活改善により、生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○健康増進法に基づく事業を行う。  
 健康相談 健康教育  
 保健指導 訪問指導  
 肝炎ウイルス検診  
 骨健診  
 成人歯科健診等  
 ○若年者健診  
 ○特定保健指導

**【詳細事業内訳】**  
 健康増進事業 12,470千円

【一般財源増加理由】 肝炎ウイルス検診受診者数の減少見込による補助金の減額

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,451	保健師、看護師、歯科衛生士等専門職賃金				
08	報償費	925	健康運動指導士講師謝礼、 歯科医師、歯科衛生士等労務謝礼				
11	需用費	967	医薬材料、保健指導用教材購入、 検診帳票・通知用封筒等の印刷製本				
12	役務費	627	肝炎ウイルス検診のお知らせ及び結果通知				
13	委託料	8,416	検診の通知・問診票の作成、封入等事務委託及び 健康増進法に基づく各種検診の医務委託				
14	使用料及び賃借料	84	保健指導教材ソフト(iPad)の使用				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康増進事業	一人ひとりの健診結果に基づいた個別の保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症予防、重症化予防ができる。また、特定健診時に歯科健診を行い、結果に基づいた歯科保健指導を実施することで、生活習慣病との関連が高い歯周疾患の重症化を予防することができる。	13	委託料	8,416
				07	賃金	1,451
				11	需用費	967
				08	報償費 外	1,636
					計	12,470
2					計	0

重点施策	—		コード	010701300		予算書ページ	176
			課・係等	健康推進課 健康支援担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0104090	母子保健事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,068	0	0	0	0	17,068
前年度	21,515	0	0	0	0	21,515
増減額	△ 4,447	0	0	0	0	△ 4,447

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**すべての子どもが健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣を身につけるための支援をする。  
**【効果】**  
 ○保護者が子どもの月齢に応じた発育・発達や、栄養、歯科口腔保健等を理解し実践できる。  
 ○健康的な生活習慣を身につけ、将来の生活習慣病予防等につながる。  
 ○育児に対する不安を軽減し、虐待等の予防を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○特定妊婦やハイリスク妊婦など特に支援を要する妊婦が増加しているため、出産後の背景などを確認し支援につなげることを目的に、母子・子育て相談窓口と連携し相談、訪問等を行う。  
 ○乳幼児健診や相談、教室などの実施し、発達や生活リズム、栄養や歯科口腔等の個別指導の実施。  
 ○必要な子どもや保護者に対して、個別相談や訪問、専門医によるクリニック、療育の教室等につなげ支援する。  
 ○保護者の社会的問題や心の問題、虐待などについて、関係機関と連携を図りながら対応する。  
 ○保育園、小中学校でのフッ化物洗口の実施。  
 ○医療機関での妊婦歯科健診の実施。

**【詳細事業内訳】**  
 母子保健事業 17,068千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	6,191	保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士等専門職賃金				
08	報償費	7,092	医師、歯科医師、助産師、保健師等専門職労務謝礼				
11	需用費	2,165	乳幼児健診等必要物品・医薬材料購入、視聴覚検査用紙・健診票帳票印刷製本				
13	委託料	1,458	フッ化物洗口の薬剤師、妊婦歯科健診の医務委託				
18	備品購入費	162	沐浴指導用物品				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	母子保健事業	乳幼児健診・相談を実施し、発育・発達に関する情報提供を行うことで、保護者が児の発育・発達の状態を理解し、育児不安が軽減し、安心した育児ができる。また虐待予防にもつながる。	07	賃金	6,191
				08	報償費	7,092
				11	需用費	2,165
				13	委託料 外	1,620
					計	17,068
2					計	0

重点施策	—		コード	010701100		予算書ページ	178
			課・係等	健康推進課 健康推進担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0104110	妊婦・乳児一般健康診査事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,979	0	0	0	0	79,979
前年度	80,065	0	0	0	0	80,065
増減額	△ 86	0	0	0	0	△ 86

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○妊娠中に医療機関での妊婦一般健康診査により継続した健康管理を行う。  
 ○乳児期に医療機関で乳児一般健康診査を行い、健康管理を行う。  
**【効果】**  
 ○妊婦が安心して安全な出産ができるようにするとともに、経済的な負担を軽減する。  
 ○乳児期の疾病等を早期発見し、早期治療につなげる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○母子手帳交付時に妊婦一般健康診査受診票を妊婦に交付する。  
 ○産後、乳児一般健康診査受診票を郵送する。

**【詳細事業内訳】**  
 妊婦・乳児一般健康診査事業 79,979千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	86	妊婦一般健康診査受診票等印刷				
12	役務費	311	国保連合会事務手数料				
13	委託料	77,927	妊婦・乳児一般健康診査委託				
19	負担金補助及び交付金	1,655	県外妊婦一般健康診査の助成				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	妊婦・乳児一般健康診査	健康診査の受診票を交付し経済的負担を軽減することで、受診しやすくなり疾病等の早期発見、早期対応をすることができる。	11	需用費	86
				12	役務費	311
				13	委託料	77,927
				19	負担金補助及び交付金	1,655
					計	79,979
2					計	0

予算書ページ	178
--------	-----

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104130	未熟児養育医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,895	3,945	1,972	0	1,000	1,978
前年度	8,456	3,625	1,812	0	1,200	1,819
増減額	439	320	160	0	△ 200	159

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	養育医療国庫補助金	3,945							
16	養育医療県補助金	1,972								
21	未熟児養育医療費徴収金	1,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○未熟児の養育に係る医療費を市が負担する。  
**【効果】**  
 ○未熟児の養育のために保護者の経済的負担を軽減する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○おおむね出生児体重が2000g以下で、医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 未熟児養育医療事業 8,895千円

【一般財源増加理由】 H27～H30実績より増加見込のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	5	事務手数料				
20	扶助費	8,890	未熟児養育医療給付費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	未熟児養育医療給付事業	医師が入院による養育が必要であると認めた乳児の保護者に対し、医療費の負担を行い、経済的負担の軽減を図る。	12	役務費	5
				20	扶助費	8,890
					計	8,895
2					計	0



重点施策	—		コード	010701100		予算書ページ	178
			課・係等	健康推進課 健康推進担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0104131	母子・子育て相談事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,136	1,734	1,734	0	0	2,668
前年度	3,499	1,162	1,162	0	0	1,175
増減額	2,637	572	572	0	0	1,493

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	子ども子育て支援交付金	1,734							
16	子ども子育て支援交付金	1,734								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○妊娠・出産・育児に関する各種の相談に応じ、必要に応じて地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行う。(母子・子育て相談窓口)  
 ○助産師・保健師により、産婦・新生児等訪問指導を行う。(産婦・新生児等訪問指導事業)  
**【効果】**  
 ○妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供することにより、安心して妊娠、出産、子育てができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○相談窓口の専任の相談員として、保健師(非常勤職員)を1名配置する。(母子・子育て相談窓口)  
 ○保健師や助産師により、産婦・新生児等訪問指導を行う。(産婦・新生児等訪問指導事業)

**【詳細事業内訳】**  
 母子・子育て相談事業 6,136千円

【一般財源増加理由】 H30年度迄は妊産婦・新生児訪問事業に計上していた「産婦と新生児訪問事業」を母子・子育て相談事業に組替えたため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	3,190	相談窓口保健師				
08	報償費	1,764	産婦・新生児等訪問指導謝礼				
11	需用費	1,182	訪問指導用消耗品・母子手帳 外				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	母子・子育て相談事業	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援(相談・訪問指導等)を提供することにより、安心して妊娠、出産、子育てができる。	07	賃金	3,190
				08	報償費	1,764
				11	需用費	1,182
					計	6,136
2						
					計	0

重点施策	(3)		コード	010701100		予算書ページ	178
			課・係等	健康推進課 健康推進担当			
予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち	
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実	
	事業	0104132	産前産後支援事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,497	6,724	0	0	0	6,773
前年度	3,204	1,596	0	0	0	1,608
増減額	10,293	5,128	0	0	0	5,165

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	母子保健衛生費国庫補助金	6,724							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○妊娠や育児に関する不安を軽減し、妊産婦が安心して子育てをすることができる。  
**【効果】**  
 ○産婦健康診査(新規事業)を加えた産後ケア等の推進により、産後うつの早期発見と支援ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○医療機関等へ宿泊型の産後ケアや母乳相談の委託を行う。(産後ケア事業)  
 ○医療機関等へ産後2週間及び1か月時に行う産婦健康診査の委託を行う。(産婦健康診査事業、H31年4月から開始)  
 ○保健センターにおいて母乳育児相談を実施し、個別に妊産婦の相談に応じる。  
 ○助産師や保健師による妊婦訪問により、妊婦の相談に個別に応じる。

**【詳細事業内訳】**  
 産前産後支援事業 13,497千円

【一般財源増加倍理由】 H31年4月より産婦健康診査事業を新規に開始。産後ケア事業の利用可能期間を拡大。母乳育児相談等を母子保健事業から組替え。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	279	母乳育児相談看護師賃金				
08	報償費	3,317	母乳育児相談助産師等謝礼				
11	需用費	32	産婦健康診査受診票・母乳相談等助成券印刷				
12	役務費	27	産婦健康診査事務手数料				
13	委託料	9,392	産後ケア・産婦健康診査委託				
19	負担金補助及び交付金	450	県外産婦健康診査補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 産婦健康診査(産前産後支援事業)	産後2週間及び1か月の産婦の心身の状態を把握する健康診査を実施することで、産後うつの早期発見と支援ができる。	11	需用費	20
				12	役務費	27
				13	委託料	5,940
				19	負担金補助及び交付金 外	450
					計	6,437
2	ソフト	産後ケア(産前産後支援事業)	産婦健康診査の結果により、支援が必要な産婦が宿泊型や母乳相談等の産後ケアを利用できるよう利用期間を拡大する。	11	需用費	12
				13	委託料	3,452
					計	3,464

予算書ページ	180
--------	-----

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	安心して暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費		基本施策	出産・子育て支援の充実
	事業	0104133	不妊・不育症治療費助成事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,464	0	0	0	5,000	16,464
前年度	18,359	0	0	0	14,000	4,359
増減額	3,105	0	0	0	△ 9,000	12,105

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	18	ふるさと寄附金	5,000							

【目的・効果】

【目的】

○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の一部を補助することにより、経済的負担軽減と少子化対策を行う。

【効果】

○経済的負担軽減と少子化対策につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

○不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行う。

【詳細事業内訳】

不妊・不育症治療費助成事業 21,464千円

【一般財源増加理由】 1件当たりの平均助成金額が年々増加しているため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	21,464	不妊・不育症治療助成				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	不妊・不育症治療費助成事業	不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行うことにより、経済的負担軽減と少子化対策につなげる。	19	負担金補助及び交付金	21,464
					計	21,464
2					計	0

予算書ページ	188
--------	-----

重点施策	—	コード	010701100
		課・係等	健康推進課 健康推進担当

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健衛生費		基本方針	健康を大切にすま
	目	08	診療所費		基本施策	地域医療の充実
	事業	0104200	夜間急病センター運営費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,520	0	1,300	0	11,871	10,349
前年度	22,446	0	1,400	0	11,871	9,175
増減額	1,074	0	△ 100	0	0	1,174

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	夜間急病センター診療手数料	11,720							
14	夜間急病センター診療手数料滞納繰越分	1								
14	夜間急病センターその他手数料	150								
16	小児初期救急医療体制整備補助金	1,300								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○地域医療体制充実のために、夜間における一次医療体制を担う。  
**【効果】**  
 ○夜間の急病患者や家族の安心と、二次救急医療の負担軽減。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○安曇野市医師会館内に夜間急病センターを設置し、医師会医師により夜間の診療を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 夜間急病センター運営事業 23,520千円

【一般財源増加理由】	インフルエンザ患者への対応のため、医師報酬と医薬材料の増加を見込むため						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	12,656	医師報酬				
07	賃金	4,875	看護師・医療事務賃金				
08	報償費	63	運営委員出席謝礼				
11	需用費	2,455	医薬材料費購入 外				
12	役務費	410	白衣等クリーニング代 外				
13	委託料	1,767	医療事務委託 外				
14	使用料及び賃借料	1,294	医師会館借り上げ 外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	夜間急病センター運営事業	安曇野市医師会館内にセンターを設置し、医師会医師により夜間の診療を行うことにより、夜間の急病患者や家族の安心の確保と2次救急医療の負担軽減等を図る。	1	報酬	12,656
				7	賃金	4,875
				11	需用費	2,455
				13	委託料 外	3,534
					計	23,520
2					計	0

重点施策	—		コード	010702100		予算書ページ	134
			課・係等	介護保険課 介護保険担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実	
	事業	0103180	介護保険対策費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,337,976	21,979	11,289	0	0	1,304,708
前年度	1,265,596	5,598	3,099	0	0	1,256,899
増減額	72,380	16,381	8,190	0	0	47,809

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	低所得者保険料軽減国庫負担金	21,979							
16	低所得者保険料軽減県負担金	10,989								
16	介護保険事業費補助金	300								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 介護保険特別会計へ地域支援事業・介護給付費の市負担分を繰出す他、保険料軽減負担金及び事務費を繰出し、介護保険事業の円滑な運営を図る。  
 介護保険特別会計以外の介護保険に関する事業を実施し介護保険事業の円滑な運営を図る。  
**【効果】**  
 介護保険事業が円滑に運営される。  
 施設整備補助や社会福祉法人への軽減補助を実施し、介護保険事業所等の充実が図れる。  
 市内の地域包括ケア体制構築のため、生活支援体制整備を進める。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・介護予防・日常生活支援総合事業は平成30年4月に完全移行。地域包括ケアシステム構築の為に補助事業の実施。第7期介護保険事業計画に基づく事業実施。  
 ・介護保険給付費増額により一般会計からの繰り出し金が前年度を上回った。

**【詳細事業内訳】**  
 介護保険特別会計繰出金 1,328,857千円 介護保険事業費補助金 400千円 介護保険支え合い施設整備補助金 1,200千円 介護保険課総務費(特別会計によらないもの) 7,519千円

【一般財源増加理由】 低所得者保険料軽減強化による繰出金の増加等。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	7,154	本庁窓口、介護保険事務				
13	委託料	365	認定調査係事務室警備				
19	負担金補助及び交付金	1,600	支え合い施設整備補助金、社会福祉法人等利用者軽減助成				
28	繰出金	1,328,857	介護保険事業(給付費、地域支援事業)市負担分繰出金、保険料軽減繰出金、事務費繰出金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護保険支え合い施設整備補助金	地域が主体の高齢者の生活支援体制、介護予防体制を構築・促進するための補助事業の実施。	19	負担金補助及び交付金	1,200
					計	1,200
2						
					計	0

予算書ページ	134
--------	-----

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103190	在宅介護福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,803	0	0	0	0	16,803
前年度	17,147	0	0	0	0	17,147
増減額	△ 344	0	0	0	0	△ 344

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

要介護者が在宅で生活するためのサービス提供とその家族等の支援と高齢者の権利擁護を目的とする。

【効果】

- ・当事業を実施することにより介護をする家族の経済的、精神的な負担軽減が図れる。
- ・判断力が低下し自己決定が困難な高齢者が成年後見制度を利用することにより高齢者の権利が守られ、安定した生活が送られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家族介護者を支援するため家庭介護用品(8品目)購入の際に利用できる助成券を対象者に交付する。(要介護3~5の高齢者を在宅で介護している家族に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。)
- ・成年後見支援センターへの補助金交付。

【詳細事業内訳】

在宅介護福祉事業 16,803千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	329	介護用品購入助成券印刷費、返信用封筒印刷費				
19	負担金補助及び交付金	8,104	成年後見支援センター補助金				
20	扶助費	8,370	家庭介護用品購入助成費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	家族介護用品購入助成事業	要介護3~5の高齢者を在宅で介護している家族に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。 介護する家族の経済的、精神的負担の緩和が図られる。	11	需用費	329
				20	扶助費	8,370
					計	8,699
2	ソフト	成年後見支援センター補助金	安曇野市他1市5村が利用する成年後見支援センターの運営に対し補助金を交付する。成年後見制度に関する相談、啓発、法人後見の活用等により市民の権利擁護の推進が図られる。	19	負担金補助及び交付金	8,104
					計	8,104

重点施策	—		コード	010703100		予算書ページ	130
			課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にするまち	
	目	01	社会福祉総務費		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	0103120	国保会計繰出金				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	659,968	87,951	285,232	0	0	286,785
前年度	653,708	87,147	283,133	0	0	283,428
増減額	6,260	804	2,099	0	0	3,357

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	保険基盤安定負担金	87,951							
16	保険基盤安定負担金	285,232								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業を実施するにあたり、法令等で定められた額を国保特別会計に繰り出す。  
**【効果】**  
 ・国民健康保険事業で必要とする費用を繰り出すことにより、国保加入者の負担を軽減できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・国民健康保険事業実施による経費についての繰出しを随時行う。

**【詳細事業内訳】**  
 国保会計繰出金 659,968千円

【一般財源増加理由】 保険基盤安定事業繰出等、法定繰出額が増加したため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
28	繰出金	659,968	国保特別会計への繰出金659,968千円(内訳:保険基盤安定事業497,578千円、出産育児一時金12,800千円、財政安定化支援事業67,271千円、精神給付金20,000千円、事務費62,519千円)口				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	136
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	老人福祉費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103200	後期高齢者医療事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,250,811	0	176,130	0	7,790	1,066,891
前年度	1,233,976	0	182,136	0	6,743	1,045,097
増減額	16,835	0	△ 6,006	0	1,047	21,794

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	市町村特別対策広報等事業補助金	7,790								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・後期高齢者医療被保険者を対象に、人間ドック受診者に対し受診費用の一部の助成を行う。  
 ・後期高齢者医療保険を運営している長野県後期高齢者医療広域連合へ法令に基づく市負担金の支払い、及び、後期高齢者医療特別会計への繰出しを行う。  
**【効果】**  
 ・後期高齢者被保険者人間ドック事業を実施することにより、身体機能の保持と疾病の早期発見・早期治療を促し、健康で長寿を目指す。  
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も安定的に維持されていく。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・後期高齢者医療人間ドック等受診者に対する助成金を交付する。(助成方式・償還払い方式)  
 ・医療給付費負担金は、長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支出をする。  
 ・繰出金 ①保険基盤安定繰出金 ②事務費繰出金 を繰出計画に基づき後期高齢者医療保険特別会計へ繰出す。

**【詳細事業内訳】**  
 後期高齢者医療事業 1,226,548千円 後期高齢者医療人間ドック等助成事業 24,263千円

【一般財源増加理由】 人間ドック受診者数増加見込み、繰出金の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	13	人間ドック等受診券用紙				
13	委託料	23,000	人間ドック等受診助成委託費				
19	負担金補助及び交付金	954,764	人間ドック等補助金1,250千円、後期療養給付費負担金 953,514千円				
28	繰出金	273,034	後期保険基盤安定繰出金(234,843千円)、広域連合事務費繰出金(33,657千円)、事務費繰出金(4,534千円)				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後期高齢者医療人間ドック等助成事業	人間ドック等の受診に対し受診内容に応じた費用の一部を助成し、費用の負担軽減を図るとともに、早期発見・治療により重症化予防ができる。後期高齢医療費の抑制を図る。	13	委託料	23,000
				19	負担金補助及び交付金	1,250
				11	需用費	13
					計	24,263
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	136
--------	-----

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	社会福祉費		基本方針	健康を大切にすまち
	目	03	国民年金事務費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	0103210	国民年金事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	74,947	21,000	0	0	0	53,947
前年度	63,993	20,393	0	0	0	43,600
増減額	10,954	607	0	0	0	10,347

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国民年金事務委託金	21,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民年金事務の一部は、法定受託事務として市町村が行うこととなっている。また、法定受託事務に関する事務や相談等は国と市の協力・連携のもと実施している。  
 ・主な手続きとして、国民年金の加入・喪失届出の手続き、口座振替の推進、免除制度の案内、未支給年金手続きの受付や年金の加入等による相談を行う。  
**【効果】**  
 ・市の窓口で受付を行うことで、国民年金被保険者の利便性が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・国民年金に関する各種届出受付業務を扱い、受付した届出書等を日本年金機構へ進達する。

**【詳細事業内訳】**  
 国民年金事務費 74,947千円

【一般財源増加理由】 人件費の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	42,409					
03	職員手当等	19,161					
04	共済費	13,052					
11	需用費	325	啓発用パンフレット(320千円)				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

# 農林部

重点施策	—		コード	010801100		予算書ページ	202
			課・係等	農政課 農業政策係			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興	
	事業	0106030	農業総務費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	177,321	0	0	0	177,321
前年度	180,040	0	50	0	179,990
増減額	△ 2,719	0	△ 50	0	△ 2,669

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・農業振興事業関係の事務的経費  
 【効果】  
 ・農業振興事業の円滑な推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・農業振興事業の総務事務費(人件費、報償費、需用費、公用車管理経費など)

【詳細事業内訳】  
 農業総務費 177,013千円 農業・農村計画事業 308千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容		
02	給料	83,798	一般職(24人)		12	役務費	308	公用車車検費用		
03	職員手当等	40,799	職員諸手当		14	使用料及び賃借料	6	駐車場使用料		
04	共済費	26,268	職員共済組合納付金		19	負担金補助及び交付金	6,371	譲渡施設関連補助金		
07	賃金	15,986	臨時職員賃金		27	公課費	64	公用車車検重量税		
08	報償費	2,133	農家組合長謝礼							
09	旅費	96	職員出張旅費							
11	需用費	1,492	農業振興関係参考図書・事務消耗品・会議賄費・公用車消耗品・燃料・修繕費							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	978	0	0	0	6	972
前年度	1,017	0	0	0	6	1,011
増減額	△ 39	0	0	0	0	△ 39

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	農振関係証明手数料	6							

【目的・効果】

【目的】

・農業振興地域の整備に関する法律(農振法)と安曇野市農業振興地域整備計画に基づく適正な計画変更の推進

【効果】

・優良農地の保全

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・農振法に基づく農振整備計画の変更手続き(年2回)
- ・安曇野市農業振興地域整備促進協議会及び同地域協議会の運営

【詳細事業内訳】

農業振興地域整備促進事業 978千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	350	協議会委員報酬				
08	報償費	588	協議会委員出席謝礼				
11	需用費	40	事務消耗品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	204
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106060	農業生産振興費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,017	0	7,030	0	0	13,987
前年度	28,562	0	10,920	0	0	17,642
増減額	△ 7,545	0	△ 3,890	0	0	△ 3,655

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	環境保全型農業直接支払交付金	780							
16	産地パワーアップ事業	6,250								

【目的・効果】

【目的】

・農家所得の増加を図るため農業技術向上による検証事業等を行うことを目的に、市農業再生協議会へ交付金を交付しJA等農業関係者と取組む。検証結果等は、年度末に農家へ向けて発信する。  
 ・地域の営農戦略に基づき、意欲のある農業者等が高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対し支援する。

【効果】

・農業技術の課題克服やコスト低減、環境に配慮した農業技術方法等を発信することで、農家所得の向上を図る。  
 ・担い手への集約やコスト低減技術の導入等により生産コストを低減する。また、品質向上や高付加価値化等により販売額を向上させる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・市農業再生協議会(農家・市・JA・県改良普及センター・のうさい・市農業委員会で組織)では、所得の増加に向けて農業技術向上検証事業等に取組む。31年度の主な取組み事業として、「麦転作田地力増進等推進事業」「玉ねぎ生産振興事業」「リンゴ新技術導入試験事業」等を実施する計画をしている。  
 ・環境保全型農業の推進では、国の事業を活用し、有機農業及び緑肥使用等による化学肥料・化学合成農薬使用を低減する営農活動に対し、市からも対象農家へ補助金を支給し支援する。  
 ・産地パワーアップ事業を有効活用し、生産コスト削減や高収益な作付け体系への転換を図る取り組みを行う農業者等の掘り起こしを行い支援する。

【詳細事業内訳】

農業生産振興事業(市再生協事業) 12,984千円 産地パワーアップ事業 6,250千円 農業生産振興総務費 743千円 環境保全型農業推進支援事業 1,040千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	131	視察研修等職員旅費				
11	需用費	524	防疫用品等消耗品、防除等啓発チラシ印刷費、ニオイセンサー修繕費				
12	役務費	33	ニオイセンサー定期点検料				
19	負担金補助及び交付金	20,329	水田機能維持・地力増進推進事業負担金、農業再生協議会交付金、産地パワーアップ事業補助金、環境保全型農業直接支払交付金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業生産振興事業(市再生協事業)	市農業再生協議会において、農業技術向上検証等により所得向上や環境保全対策検証に取組む。また、これらの情報を農家に提供していく。	19	負担金補助及び交付金	12,984
					計	12,984
2	ソフト	産地パワーアップ事業	地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者が高収益な作物、栽培体系への転換を図るための取り組みを総合的に支援する。	19	負担金補助及び交付金	6,250
					計	6,250

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	206
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106070	水田農業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,832	0	19,500	0	0	9,332
前年度	34,000	0	20,000	0	0	14,000
増減額	△ 5,168	0	△ 500	0	0	△ 4,668

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	経営所得安定対策等推進事業費補助金	19,500							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・経営所得安定対策等推進事業を円滑に推進する。  
 ・水稻の病害虫及び稲黄萎病による被害を未然に防ぎ、水稻の安定生産と安定収入に繋げる。  
**【効果】**  
 ・需要に見合った米の適正生産及び経営所得安定対策等推進事業の円滑化。  
 ・一等米比率は全国トップクラスを維持しており、安曇野米のブランドを維持している。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【主な事業】**  
 ・経営所得安定対策等推進事業の事務費等として、県交付金を全額市農業再生協議会へ交付。  
 ・苗箱施薬剤購入費の一部(400円/kg)補助。

**【詳細事業内訳】**  
 経営所得安定対策等推進事業 19,500千円 苗箱施薬剤購入補助事務 9,332千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	28,832	経営所得安定対策等推進事業費、水稻苗箱施薬剤購入補助						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営所得安定対策等推進事業	市農業再生協議会が実施する、経営所得安定対策等推進事業事務に対して交付金を交付し、事業を推進する。	19	負担金補助及び交付金	19,500
					計	19,500
2	ソフト	苗箱施薬剤購入補助事務	稲作の病害虫防除対策として、施薬剤購入費の一部を助成することにより、全国トップクラスの一等米比率を安定して維持している。	19	負担金補助及び交付金	9,332
					計	9,332

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	206
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	03	農業振興費		基本施策	農業の振興
	事業	0106080	畑作園芸振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,132	0	0	0	22,000	57,132
前年度	78,191	0	0	0	44,000	34,191
増減額	941	0	0	0	△ 22,000	22,941

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	22,000							

【目的・効果】

【目的】

- ・転作作物の推進に併せ、安曇野市の地味・気候に適し、作業効率、採算面を考慮し産地化の図れる作物の生産振興を図る。
- ・果樹共済では、昨年に引き続き、共済加入農家掛金の33.3%を支援し、共済制度加入促進を図る。
- ・そ菜価格安定共助制度(各JA策定)への市負担金により、農家が安心してそ菜を生産できる環境を整える。
- ・市の主要農産物である果樹の新植と、土地利用型作物で米に代わる作物として振興を図る玉ねぎについて助成を行い面積拡大を図る。

【効果】

安曇野市の主要農産物であるリンゴを中心とした果樹の生産拡大や、気象災害等による被害対策である共済加入促進を図り、経営安定につなげる。また、機械化一貫体系で栽培可能な玉ねぎを振興し、労力の軽減と農家所得の向上を図る。  
また、国が食料・農業・農村基本計画において位置付けている飼料用米の生産拡大を図り、水田のフル活用を推進する。これにより地下水涵養の効果も期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【主な事業】

- ・経営所得安定対策の実績を基に、3品目に対して補助金(15,000円/10a以内)を交付。併せて20a以上作付者に対して、生産面積拡大を促すため3,000円/10a以内から9,000円/10a以内の傾斜加算をする。
- ・新植による果樹の栽培面積の拡大に際し、果樹棚及び苗代の1/3を補助及び、未収益期間の支援として 年50,000円/10aを4年間補助する。
- ・機械化一貫体系による玉ねぎ栽培の拡大を図るため、機械化用苗代の1/3、作業機械の購入費の1/3を補助する。

【詳細事業内訳】

そ菜価格安定共助会負担金 3,300千円 玉ねぎ機械化体系支援事業 7,077千円 市農業振興作物等推進事業 55,148千円 果樹生産農家支援事業 13,607千円

【一般財源増加理由】 特定財源「ふるさと寄附基金繰入金」が減少したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	79,132	玉ねぎ機械化体系支援支援事業、果樹生産農家支援事業、市農業振興作物等推進事業など				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市農業振興作物等推進事業	市重点作物及び小麦・そば・飼料用米の作付けに対して支援を実施し、農業振興及び産地化に向けた取組みを推進する。	19	負担金補助及び交付金	55,148
					計	55,148
2	ソフト	玉ねぎ機械化体系支援事業	玉ねぎの生産を機械化し栽培面積の拡大を図る農家へ、機械化用苗の購入に対して補助を行う。	19	負担金補助及び交付金	7,077
					計	7,077

予算書ページ	206
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801400
		課・係等	農政課 マーケティング担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106100	消費拡大対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,394	2,375	0	0	0	11,019
前年度	17,052	3,250	0	0	0	13,802
増減額	△ 3,658	△ 875	0	0	0	△ 2,783

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金		2,375						

【目的・効果】

【目的】

・海外輸出販路の開拓や都市部の消費者に向けたPR販売・情報発信を通じ、安曇野産農産物の販売促進を図る。

【効果】

・安曇野産農産物の消費拡大に伴う、地域農業振興の活性化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・地方創生推進交付金を活用し、安曇野産農産物・特産品の海外輸出販路開拓に向けたプロモーション活動を継続する。  
 ・農産物の消費拡大を推進するにあたり、県や友好都市のアンテナショップを活用し、イベント開催を通じたPR販売を実施する。  
 ・農業者の祭典とした「農林業まつり」を、商工会主管の“新そばと食の感謝祭”と同時開催することで「農と食」をPRし、安曇野の農産物ブランド、地域イメージを築き、農産物の消費拡大へ繋げる。

【詳細事業内訳】

海外輸出販路開拓事業 4,790千円 農産物等販路拡大事業 4,205千円 産直センター運営支援事業 4,399千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	793	アンテナショップ・友好都市イベント、展示商談会出張旅費				
11	需用費	251	玉ねぎ祭り消耗品他				
12	役務費	92	展示商談会運搬料他				
13	委託料	3,820	産直センター業務委託料				
14	使用料及び賃借料	160	展示商談会資機材借上料				
19	負担金補助及び交付金	8,278	海外プロモーション協議会補助金、農業再生協議会交付金、友好都市負担金他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	海外輸出販路開拓事業	地方創生推進交付金を活用し、安曇野産農産物・特産品(ワサビ・日本酒など)の海外輸出に向けたプロモーション活動を行う。輸出による消費拡大に伴い、地域農業の振興につなげる。併せて安曇野ブランドの情報発信、並びに外国人旅行者誘致による地域産業の振興を目指す。	19	負担金補助及び交付金	4,790
					計	4,790
2	ソフト	農産物等販路拡大事業	玉ねぎ祭りや農林業まつりの開催による、地元農産物のPRや地産地消の推進。友好都市イベントへの出展を契機とした地元農産物のPRや消費拡大に向けた取り組み。生産者による展示商談会への出展、販路開拓を支援する。	19	負担金補助及び交付金	3,289
				09	旅費	413
				11	需用費	251
				14	使用料及び賃借料外	252
					計	4,205



予算書ページ	208
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801400
		課・係等	農政課 マーケティング担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	04	消費拡大対策費		基本施策	農業の振興
	事業	0106110	直売加工施設運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,419	0	0	0	7,599	19,820
前年度	36,105	0	0	0	8,027	28,078
増減額	△ 8,686	0	0	0	△ 428	△ 8,258

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	堀金産地形成促進施設基金 利子	11	21	三郷産地形成促進施設利用 料	890				
19	堀金産地形成促進施設基金 繰入金	1,078	21	豊科南部地区産地形成施設 使用料	180					
21	堀金産地形成施設利用料	2,340	21	穂高農業活性化施設利用料	2,560					
21	三郷畜産活性化施設利用料	210	21	明科農産物加工交流施設利 用料	330					

【目的・効果】

【目的】

・市内の直売加工施設に係る指定管理委託を行い、施設の維持管理・改修を行うことにより、地域活性化の拠点としての機能を維持する。

【効果】

・市内の直売加工施設の利用率向上、並びに地産地消の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内各直売加工施設の指定管理委託。
- ・豊科農産物加工交流センター:圧力煮炊釜修繕
- ・Vif穂高:自動ドア修繕、ペーカリーオープン買い替え
- ・三郷サラダ市:屋根塗装工事
- ・堀金物産センター:煮沸滅菌槽買い替え
- ・明科農産物加工交流施設:外部カーテン工事他

【詳細事業内訳】

堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業 8,109千円 豊科農産物加工交流センター運営事業 1,819千円 三郷産地形成促進施設運営事業 1,728千円 明科農産物加工交流施設運営事業 3,415千円 直売加工施設運営総務費 2,100千円 穂高農業活性化施設運営事業 10,248千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	2,859	圧力煮炊釜修繕(豊科加工交流センター)、自動ドア修繕(Vif穂高)				
13	委託料	11,422	指定管理料				
14	使用料及び賃借料	5,108	借地料				
15	工事請負費	1,647	屋根塗装工事(三郷サラダ市)、外部カーテン工事(えべや)				
18	備品購入費	4,031	ペーカリーオープン(Vif穂高)、煮沸滅菌槽(堀金物産センター)				
25	積立金	2,352	基金積立金(堀金物産センター)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	直売加工施設運営総務費	直売加工施設の指定管理委託、施設修繕、物品修繕、備品購入を実施する。地域活性化の拠点として利用される施設の整備を行い、地域農業の振興・地産地消の推進を図る。	11	需用費	2,100
					計	2,100
2					計	0

重点施策	(6)	コード	010801400			
		課・係等	農政課 マーケティング担当			
予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106115	市民農園事業			

予算書ページ	208
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	473	0	0	0	405	68
前年度	607	0	0	0	405	202
増減額	△ 134	0	0	0	0	△ 134

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市民農園利用料		405						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 市民農園の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流を図る。  
**【効果】**  
 非農業者が市民農園を利用することにより、農業への関心を高めると共に、生きがいきりとして農業に親しむことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 市民農園(市内10か所)の管理、運営。その他、JAあづみ所有の市民農園を含めた農園の利用促進のための情報発信。

**【詳細事業内訳】**  
 市民農園事業 473千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	53	市民農園管理用消耗品他				
14	使用料及び賃借料	417	借地料				
19	負担金補助及び交付金	3	土地改良区負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市民農園事業	市内10か所の市民農園の管理・運営を行い、市民が農のある生活を享受できる場を提供する。自分で作物を作る喜びを感じることで生きがいきりとなり、農のある暮らしの充実が図られる。	14	使用料及び賃借料	417
				11	需用費	53
				19	負担金補助及び交付金	3
					計	473
2					計	0

予算書ページ	208
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801100
		課・係等	農政課 農業政策係

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106120	農村都市交流促進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,809	0	0	0	1,740	10,069
前年度	10,689	0	0	0	1,740	8,949
増減額	1,120	0	0	0	0	1,120

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	21	三郷やすらぎ空間施設利用料	1,740								1,740

【目的・効果】

【目的】

- ・農村都市交流施設の管理を行い、市民が農のある暮らしを享受するとともに農村での交流促進を図る。
- ・研修や講座の開催、健康づくりのための体育活動、農家の集いの場として活用するための施設。農村の活性化に寄与している。
- ・農村都市交流(農家民宿事業)を推進することにより、市民や観光客が農ある暮らしを享受するとともに、農村での交流促進を図る。

【効果】

- ・効果的で適正な施設管理
- ・安曇野の地域イメージの向上

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三郷やすらぎ空間施設の管理(H17建築、木造平屋建、指定管理者:株王滝)
- ・穂高農村景観活用交流施設の管理(H4建築、木造平屋建、指定管理者:矢原区)
- ・小倉多目的研修センターの管理(S57建築、鉄骨2階建、指定管理者:JAあづみ)
- ・農家民宿事業を推進するための講演会及び開設補助

【詳細事業内訳】

コミュニティー施設運営事業 1,175千円 小倉多目的研修施設管理事業 2,600千円 農家民宿推進事業 3,349千円 三郷やすらぎ空間運営事業 4,685千円

【一般財源増加理由】 三郷やすらぎ空間施設に係る工事請負費

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,893	地域おこし協力隊賃金	19	負担金補助及び交付金	255	農家民宿開業助成事業補助金
08	報償費	70	講演会講師謝礼				
09	旅費	86	先進地視察研修・地域おこし協力隊活動研修				
11	需用費	448	施設小破修繕・消耗品				
13	委託料	3,721	指定管理委託料・視察研修の車両運行業務委託				
14	使用料及び賃借料	3,200	施設用地借地料				
15	工事請負費	1,136	照明LED化・古民家網戸設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農家民宿推進事業	地域おこし協力隊による農家民宿事業の推進。農家・学校等との連絡調整、安全に受け入れるための説明会や研修会、新規受け入れ農家の開拓、新たな農作業体験メニューの発掘、滞在型観光への事業発展に向けた調整などを実施していく。一般客やインバウンドを誘客することで農家の新たな収入源として期待でき、観光業振興にもつなげることができる。	07	賃金	2,893
				19	負担金補助及び交付金	255
				09	旅費	86
				08	報償費外	115
					計	3,349
2						
					計	0

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	210
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106130	安曇野の里運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,629	0	0	0	5,303	18,326
前年度	38,750	0	0	0	10,725	28,025
増減額	△ 15,121	0	0	0	△ 5,422	△ 9,699

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	安曇野の里基金利子	13							
21	安曇野の里施設利用料	5,290								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・安曇野市豊科安曇野の里自然活用村施設の管理を行い、都市と農村の交流促進を図る。  
**【効果】**  
 ・施設の適正な維持管理  
 ・市内外の学童や市民に農業に親しむ機会を提供

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・施設の指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

**【施設の概要】**  
 豊科安曇野の里自然活用村(指定管理者:(一社)豊科開発公社、憩いの池と遊歩道は直営)  
 ビレッジ安曇野(S62・H5建築、鉄筋コンクリート、一部鉄骨造)、あづみ野ガラス工房(S60建築、鉄骨平屋建)、あづみ野第2ガラス工房(H4建築、鉄骨2階建)、プラザ安曇野(S63建築、木造2階建)、わさび田広場、湧水探索路

**【詳細事業内訳】**  
 安曇野の里運営事業 18,325千円 安曇野の里改修事業 5,304千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	600	施設小破修繕								
13	委託料	14,100	指定管理委託料								
14	使用料及び賃借料	3,625	施設用地借地料								
15	工事請負費	2,109	木橋改修・湧水探索路案内看板設置工事								
25	積立金	3,195	基金・利子積立て								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	210
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	34,817	0	0	0	34,436	381
前年度	25,136	0	0	0	25,135	1
増減額	9,681	0	0	0	9,301	380

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	三郷農林漁業体験実習館基金利子	33							
19	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	13,793								
21	農林漁業体験実習館利用料	20,610								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・ファインビュー室山の管理を行い、都市と農村の交流促進の拠点施設としての活用を図る。  
**【効果】**  
 ・施設の適正な維持管理  
 ・都市と農村の交流促進

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施  
  
**【施設の概要】**  
 ファインビュー室山(H10・H12建築、鉄筋コンクリート2階建、指定管理者(株)ファインビュー室山)

**【詳細事業内訳】**  
 ファインビュー室山運営事業 2,957千円 ファインビュー室山改修事業 31,860千円

【一般財源増加理由】		経営シミュレーションのため、不動産鑑定再鑑定業務を行うため									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	2,577	施設小破修繕・エレベーター定期オーバーホール・駐車場舗装修繕								
12	役務費	380	不動産鑑定再鑑定業務								
13	委託料	880	工事設計監理業務								
15	工事請負費	4,892	畳表替え・エアコン増設工事								
18	備品購入費	5,444	厨房機器更新								
25	積立金	20,644	基金・利子積立て								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801100
課・係等	農政課 農業政策係

予算書ページ	212
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	05	農業交流促進費		基本施策	農業の振興
	事業	0106150	ほりで一ゆ～運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	104,794	0	0	0	99,117	5,677
前年度	112,183	0	0	0	106,592	5,591
増減額	△ 7,389	0	0	0	△ 7,475	86

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	堀金観光開発基金利子	453							
19	堀金観光開発基金繰入金	42,134								
21	ほりで一ゆ～施設利用料	56,530								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・ほりで一ゆ～四季の郷ほか周辺施設の管理を行い、都市と農村の交流等を進める施設としての活用を図る。  
**【効果】**  
 ・施設の適正な維持管理  
 ・都市と農村の交流促進

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・指定管理と実施計画に基づいた計画修繕の実施

**【施設の概要】**  
 ほりで一ゆ～四季の郷(H7・H12建築、鉄筋コンクリート4階建、指定管理者(株)ほりで一ゆ～)、コテージ四季の郷(H8建築、木造2階建6棟、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、啼鳥山荘(S45建築、木造平屋建、指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)、パターゴルフ場・マレットゴルフ場・キャンプ場(指定管理者:(株)ほりで一ゆ～)

**【詳細事業内訳】**  
 ほりで一ゆ～運営事業 9,860千円 ほりで一ゆ～改修事業 94,934千円

【一般財源増加理由】	経営シミュレーションのため、不動産鑑定時の鑑定時点修正業務を行うため						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	4,184	施設小破修繕・プレハブ冷凍庫修繕				
12	役務費	87	不動産鑑定時点修正業務				
13	委託料	4,321	指定管理委託料・工事設計監理業務				
14	使用料及び賃借料	3,589	施設用地借地料				
15	工事請負費	35,629	蓄電池交換・空調機改修・火災報知器更新工事				
25	積立金	56,984	基金・利子積立て				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801300
課・係等	農政課 集落支援担当

予算書ページ	212
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106160	担い手支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,283	0	20,400	0	180	20,703
前年度	40,699	0	18,626	0	180	21,893
増減額	584	0	1,774	0	0	△ 1,190

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	400							
16	農地利用集積事業補助金	5,000								
16	経営体育成支援事業補助金	15,000								
21	農業経営基盤強化資金利子補給金返還金	180								

【目的・効果】

【目的】

・地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを育成しつつ営農支援することにより、持続的で力強い農業経営基盤を確立する。

【効果】

・農業の担い手の所得確保や経営力アップ、農業・農村の活性化が進む。  
 ・担い手への農地の集積・集約化により、効率的な農業の実施と、農地の保全維持・向上につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 農業用機械施設整備事業  
 担い手が整備する農業機械・施設に対し、国及び市それぞれの制度を活用した補助金または交付金を交付する。①集落営農組織機械等整備支援事業(市単) ②親元就農機械等整備支援事業(市単) ③経営体育成支援事業(国庫) ④農業用施設取得補助金(市単)
- 2 制度資金給付事業  
 融資に対する利子補給 ①農業経営基盤強化資金利子補給金 ②農業近代化資金利子補給金
- 3 安曇野市農業再生協議会集落支援事業  
 市再生協議会の集落支援事業に対して交付金を交付する(集落営農組織助成、荒廃農地対策、有害鳥獣対策)
- 4 農地集積事業  
 農地中間管理機構を介した農地集積を行い、農家・集落等に交付金を交付する(地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金)

【詳細事業内訳】

制度資金給付事業 1,250千円 農業用機械施設整備事業 27,204千円 市農業再生協議会集落支援事業 7,300千円 集落支援総務費 529千円 農地集積事業 5,000千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	89	職員出張旅費				
11	需用費	20	消耗品費				
19	負担金補助及び交付金	41,174	農業用機械施設整備事業補助金、市農業再生協議会交付金他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	農業用機械施設整備事業	認定農家や集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対して補助金交付を行い、農業の機械化を図る。	19	負担金補助及び交付金	27,204
					計	27,204
2	ソフト	農地集積事業	機構集積協力金を活用し、農地中間管理機構を介した農地の集積集約化を図る。	19	負担金補助及び交付金	5,000
					計	5,000

重点施策	(6)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106170	後継者対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	49,180	0	42,000	0	540	6,640
前年度	46,520	0	40,500	0	900	5,120
増減額	2,660	0	1,500	0	△ 360	1,520

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
16	農業次世代投資資金(経営開始型)	42,000								42,540

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・新規就農者や農業後継者の確保・育成を推進する。  
**【効果】**  
 ・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。  
 ・各種支援策があることにより、就農者の増加と定着が見込まれる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 次世代を担う農業者を確保・育成し、新規就農者の経営が軌道に乗るまでの間を、国及び市の給付金制度により支援する。  
 「農業次世代人材投資資金(国庫)」、「親元就農支援金(市単)」、「新規就農者住宅支援金(市単)」、「就農希望者研修費助成(市単)」

**【詳細事業内訳】**  
 後継者育成事業 49,180千円

【一般財源増加理由】 新規就農者住居費支援金が3年経過し、制度周知による交付者対象が増加したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	80	新規就農者住宅施設等修繕費				
19	負担金補助及び交付金	49,100	農業次世代投資資金、親元就農給付金他				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	後継者育成事業	国及び市の給付金制度を活用し、新規就農者の確保・育成を図る。	19	負担金補助及び交付金	49,100
				11	需用費	80
					計	49,180
2					計	0



重点施策	(6)		コード	010801400		予算書ページ	214
			課・係等	農政課 マーケティング担当			
予算	款	06	農林水産業費		総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費			基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費			基本施策	農業の振興
	事業	0106175	職農教育推進事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,043	0	0	0	0	1,043
前年度	1,480	0	0	0	0	1,480
増減額	△ 437	0	0	0	0	△ 437

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・農業を魅力ある職業と捉える「職農教育」を推進し、農業後継者の確保・育成を推進する。  
**【効果】**  
 ・農業の次世代の担い手や後継者が確保・育成されることにより、市の基幹産業である農業の振興が進み、農地・農村機能が維持される。  
 ・農業高校等との連携事業で、就農に資する実習を経験することにより、将来の就農者の増加と定着が見込まれる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【主な事業】**  
 ・南安曇農業高校との連携事業。  
 ・農業塾等就農者育成組織活動助成事業。  
 ・女性農業者に対する研修支援。

**【詳細事業内訳】**  
 南農高校連携事業 517千円 女性農業者支援事業 45千円 職農教育推進事業 31千円 農業塾等助成事業 450千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	12	南農高校による都市販売実習				
11	需用費	113	販売実習消耗品他				
13	委託料	112	南農高校都市販売実習、女性農業者視察研修の車両運行業務委託				
16	原材料費	356	南農高校連携事業による商品開発試作用				
19	負担金補助及び交付金	450	農業塾等農業者育成活動支援事業補助金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	南農高校連携事業	安曇野市と南安曇農業高校との連携協定に基づき、都市部での販売実習や共同研究開発事業を行い、生徒の農業に対する意識高揚と実践的能力を養う。将来的に安曇野市で農業に携わる人材を育成し、農業の担い手を確保する。	16	原材料費	356
				11	需用費	82
				13	委託料	67
				09	旅費	12
					計	517
2	ソフト	女性農業者支援事業	農村生活マイスターを初めとした女性農業者の資質向上を目的に、研修費用を支援する。次世代の担い手を牽引する実践リーダーとして意欲的に活動する農村女性が増え、地域での活躍が期待される。	13	委託料	45
					計	45

重点施策	(6)		コード	010801300		予算書ページ	214
			課・係等	農政課 集落支援担当			
予算	款	06	農林水産業費		総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費			基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費			基本施策	農業の振興
	事業	0106180	荒廃農地対策事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,447	1,500	0	0	0	5,947
前年度	11,147	2,500	2,000	0	0	6,647
増減額	△ 3,700	△ 1,000	△ 2,000	0	0	△ 700

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金		1,500						

**【目的・効果】**  
**【目的】**市内の荒廃農地の解消に向けた取組みを推進し、荒廃面積を減少させる。  
**【効果】**荒廃農地を減少することにより、健全な農地と景観維持、田園保全につなげる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 ・「荒廃農地の発生・解消状況に関する調査要領(農林水産省農村振興局通知)」を受け、関係部署が協力し山林原野化した農地の見極め調査を行い、荒廃の状況等の情報を把握・共有する  
 ・荒廃農地を再生・解消するため、「安曇野市荒廃農地解消就農者支援金」を活用し、再生作業を行う個人および団体を支援する。  
 ・荒廃したわさび田を復旧させるため、実証ほ場を選定し施行方法の検証を行うとともに、低コストでの栽培方法を見出すための支援を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 荒廃農地解消事業 4,447千円 荒廃わさび田再生検証事業 3,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	136	山林原野化農地調査員謝礼				
12	役務費	11	山林原野化農地調査員傷害保険				
19	負担金補助及び交付金	7,300	荒廃農地解消就農者支援金、荒廃わさび田復旧事業補助金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	荒廃わさび田再生検証事業	実証ほ場を選定し施行方法の検証を行うとともに、パイプハウスによる栽培状況を検証し、荒廃化したわさび田を復旧させ、生産振興に繋げる。	19	負担金補助及び交付金	3,000	
					計	3,000	
2	ソフト	荒廃農地解消事業	農業委員と連携して荒廃農地の減少に努めるとともに、補助金交付より荒廃農地を再生する個人・団体を支援し、農地を保全する。	19	負担金補助及び交付金	4,300	
				08	報償費	136	
				12	役務費	11	
					計	4,447	

予算書ページ	214
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106190	中山間地域等支援事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,455	0	10,163	0	7,292
前年度	17,470	0	10,173	0	7,297
増減額	△ 15	0	△ 10	0	△ 5

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	中山間地域等直接支払交付金	10,143							
16	中山間地域等直接支払推進交付金	20								

**【目的・効果】**  
**【目的】**農業生産条件の不利な中山間地域において、農用地を維持・管理していく。集落等を単位に取決めを締結し、農地・農村を守る。  
**【効果】**営農意欲が生まれるとともに、農業・農村の持つ多面的な機能を確保する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 中山間地域等直接支払交付金  
 ・国の中山間地域等直接支払交付金制度(国・県・市からの交付金)を活用し、農業生産条件の不利農地で農業生産活動に取り組む協定集落を支援する。(第4期対策協定集落:11集落)  
 安曇野市中山間地域農業直接支払交付金  
 ・国の制度の対象とならない農用地区域外の同様の集落において、市単の制度(安曇野市中山間地域農業直接支払事業交付金)を活用し、支援する。(協定集落:4集落)

**【詳細事業内訳】**  
 中山間地域直払事業 17,455千円

【一般財源増加理由】		金額		主な内容		金額		主な内容	
11	需用費	25		事務用品他					
14	使用料及び賃借料	20		コピー使用料					
19	負担金補助及び交付金	17,410		中山間直接支払交付金、安曇野市中山間地域等農業直接支払交付金					

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中山間地域直払事業	中山間地域において農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、農地を守る協定を締結することにより、農業生産活動を継続できるとともに、農用地の保全に繋がる。	19	負担金補助及び交付金	17,410
				11	需用費	25
				14	使用料及び賃借料	20
					計	17,455
2					計	0

予算書ページ	216
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801300
		課・係等	農政課 集落支援担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	06	農村集落支援費		基本施策	農業の振興
	事業	0106200	有害鳥獣等予防対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,843	0	0	0	0	7,843
前年度	9,349	0	0	0	0	9,349
増減額	△ 1,506	0	0	0	0	△ 1,506

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】有害鳥獣による農作物被害を未然に防止する。

【効果】生産意欲の減退を防ぐとともに、農業生産活動を継続させ、生産量を保持する。  
 荒廃農地の発生を防ぐことができるとともに、営農の再開も可能になる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【事業概要】

- ・有害獣による農作物への被害を未然に防止するため、広域獣害防護柵の設置を進める。
- ・個人で設置する、侵入防止柵および防止装置等への資材・装置購入への支援を行う。
- ・防止対策の一つとして、西山山麓地域で取組むモンキードッグ事業を支援するため、新たな犬の養成・訓練を行う。

【詳細事業内訳】

有害鳥獣防止対策事業 7,843千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,478	野鼠駆除薬剤代、モンキードッグ関連消耗品				
13	委託料	2,340	モンキードッグ養成訓練費、防護柵緩衝帯整備費				
16	原材料費	1,175	獣害防護柵材料費				
19	負担金補助及び交付金	2,850	松本広域鳥獣被害防止対策協議会負担金、市野生鳥獣被害防止対策補助金、モンキードッグ維持管理補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有害鳥獣防止対策事業	広域獣害防護柵の設置や維持管理支援、個人で設置する侵入防止柵および防止装置への補助等を行うなど未然の防止対策を複合で組合せ対策を講じていくことにより、農作物被害の軽減を図ることができる。	19	負担金補助及び交付金	2,850
				13	委託料	2,340
				11	需用費	1,478
				16	原材料費	1,175
					計	7,843
2						
					計	0

予算書ページ	216
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106210	畜産振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,082	0	0	0	63	4,019
前年度	4,150	0	0	0	63	4,087
増減額	△ 68	0	0	0	0	△ 68

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	家畜防疫事業収入		63						

【目的・効果】

【目的】

・畜産が起因となっている環境問題(悪臭等)に対し、平成27年10月から施行になった悪臭防止法の規制にあわせ有効な悪臭低減等の対策を実施し、持続可能な畜産経営をしていくためのバックアップを行う。

【効果】

・畜産農家周辺に住む市民の安心・安全な住環境づくり。  
 ・畜産農家の経営の安定化。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・悪臭問題が懸案となっている地域での市民を交えた協議会の開催をし、悪臭対策の推進を図る。併せて、悪臭の原因を探るための臭気測定を実施する。  
 ・JA中信農業共済に常駐している獣医師の人件費等の一部を中信地域の19市町村で負担し、家畜の疾病への対応を図る。  
 ・平成27年10月から施行された悪臭防止法への対応として、畜産農家が購入する悪臭低減資材等に対して補助金を支出し、畜産農家自らが悪臭問題への取り組みを強化する意識を高める。  
 ・各種の疾病に対する防疫措置を図るため、畜産農家自らが購入する消毒液や消石灰に対して補助する。併せて、周辺環境にも影響を与えるハエ等の害虫に対する駆除剤の購入に対しても補助をする。

【詳細事業内訳】

畜産農家支援事業 4,082千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	158	畜産悪臭対策協議会出席謝礼				
19	負担金補助及び交付金	3,924	家畜診療所負担金、畜産経営安定化事業補助金、予防注射接種事業補助金、畜産環境リース事業利子補助等補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	畜産農家支援事業	・環境対策の一環として、畜産農家が購入する資材に対して補助する。(1/2補助・上限あり) ・家畜伝染病予防法に規定された疾病の定期検査に対する補助等。(1/3補助)	19	負担金補助及び交付金	3,924
				08	報償費	158
					計	4,082
2					計	0

重点施策	(6)
------	-----

コード	010801200
課・係等	農政課 生産振興担当

予算書ページ	216
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	07	畜産業費		基本施策	農業の振興
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,165	0	0	0	0	19,165
前年度	15,800	0	0	0	0	15,800
増減額	3,365	0	0	0	0	3,365

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を支援する。  
**【効果】**  
 ・良質な完熟堆肥を製造していることから、一般農家から家庭菜園に利用している市民まで堆肥を供給している。(農産物のブランド化の一助にもなり得る)

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・H30年度に堆肥製造が滞ったことを反省し、施設の状況調査した結果を基に、施設の運営を行い良質で安定した堆肥製造に取り組むことで、一般農家や家庭菜園に利用している市民への安定供給に取り組む。

**【詳細事業内訳】**  
 三郷堆肥センター運営事業 19,165千円

【一般財源増加理由】 設備の老朽化による攪拌機等の修繕費の増額。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	3,365	攪拌機シャフト修理等				
13	委託料	14,000	三郷堆肥センター指定管理料				
14	使用料及び賃借料	1,800	借地料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	三郷堆肥センター運営事業	市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。	13	委託料	14,000
				11	需用費	3,365
				14	使用料及び賃借料	1,800
					計	19,165
2					計	0

予算書ページ	230
--------	-----

重点施策	—	コード	010801200
		課・係等	農政課 生産振興担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	04	水産業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	水産業振興費		基本施策	水を活用した産業の振興
	事業	0106360	水産業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	352	0	0	0	0	352
前年度	185	0	0	0	0	185
増減額	167	0	0	0	0	167

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 漁業権の対象魚種の増殖。  
**【効果】**  
 釣りの観光資源確保と漁業法により長野県内水面漁業管理組合が定めた増殖指示量(稚魚400kg:5g/1匹)の確保につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 犀川漁業協同組合が取り組む水産資源拡大事業に対し補助金を交付する。

**【詳細事業内訳】**  
 水産資源拡大補助事業 352千円

【一般財源増加理由】 ニジマスの放流事業に加え、ウグイの人口産卵床造成による増殖事業を行う。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	352	水産資源拡大補助金、人口産卵床造成補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農業総務費		基本施策	林業の振興
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,156	0	1,774	0	0	12,382
前年度	13,710	0	1,294	0	0	12,416
増減額	446	0	480	0	0	△ 34

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	野生鳥獣総合管理対策事業補助金	1,774							

【目的・効果】

【目的】

野生鳥獣がもたらす農林水産業への被害の軽減及び人身被害の防止を図る。

【効果】

- ・野生動物の出没低減により、住民が安心して生活することができる。
- ・安定した農林水産業を営むことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市猟友会に有害鳥獣捕獲業務を委託し、鳥獣被害対策実施隊が中心となり捕獲を実施する。
- ・林縁部に緩衝帯を整備し、周辺部からの視界を良くすることにより、野生獣が出没しにくい状況にする。
- ・公道等での野生小動物の死体回収を業者に委託する。
- ・新規銃猟者確保のため、免許取得経費の一部を補助する。

【詳細事業内訳】

有害鳥獣駆除対策事業 14,156千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	526	鳥獣被害対策実施隊員 鳥獣駆除報酬・緊急パトロール報酬				
11	需用費	209	捕獲用品・捕獲檻修繕費				
13	委託料	10,756	有害鳥獣捕獲・緩衝帯整備・野生小動物死体回収運搬費				
14	使用料及び賃借料	24	捕獲檻設置用地借地料				
18	備品購入費	126	野生鳥獣追払い用電動ガン				
19	負担金補助及び交付金	2,515	従事者傷害保険・野獲対策助成補助・有害鳥獣捕獲助成補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	



予算書ページ	218
--------	-----

重点施策	—	コード	10802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106230	林業振興事業			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源				
本年度	94,668	国支出金	0	県支出金	2,200	市債	0	その他	7,424	85,044
前年度	110,192	0	4,575	0	2,865	102,752				
増減額	△ 15,524	0	△ 2,375	0	4,559	△ 17,708				

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	行政財産目的外使用料(旧山林組合関係)	17	17	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金利子	287	21	信州山の日関連事業交付金	100	
16	信州産ペレット消費拡大事業補助金	1,500	17	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金利子	7					
16	森林づくり推進支援金	700	19	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金	800					
17	市有土地貸付収入(旧山林組合関係)	4,713	21	緑の募金緑化交付金	1,500					

【目的・効果】

【目的】

森林の多面的機能の維持や森林体験施設を活用し、健全な森林づくりを図る。

【効果】

森林の保健保養的利用やみどりの少年団活動、学有林活動等を通じ、市民がさまざまな形で森林にふれあう機会を設けることにより、森林がもつ二酸化炭素の排出抑制や水源涵養等の森林の重要性を普及することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・里山再生計画を推進するため、計画の具体的な5つのプロジェクトを実施する。
- ・ペレットストーブ導入者に設備費用の一部を補助する。
- ・緑の募金の交付金を受けて、市内の公共施設(公民館・公園・学校等)に緑化木の苗木を頒布し緑化の推進を図る。
- ・長峰山森林体験交流センター施設運営【指定管理者】(株)穂高カントリー【期間】平成31年度～平成35年度
- ・森林法による林地台帳制度において林地台帳の整備をする。

【詳細事業内訳】

林業振興総務事業 71,144千円 里山再生計画推進事業 4,284千円 長峰山森林体験交流センター事業 13,840千円 林地台帳整備運用事業 5,400千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	30,653	一般職(9人)	12	役務費	166	ペレットストーブ点検外
03	職員手当等	14,271	職員諸手当	13	委託料	19,414	長峰山交流センター指定管理委託料、林地台帳整備業務委託料
04	共済費	9,821	職員共済組合納付金	16	原材料費	1,609	緑化推進苗木代
07	賃金	1,280	里山再生計画推進業務臨時職員賃金	18	備品購入費	781	資材倉庫
08	報償費	1,677	講師謝礼、出席謝礼、労務謝礼	19	負担金補助及び交付金	8,545	林業関係団体負担金、ペレットストーブ導入補助、緑の少年団補助外
09	旅費	143	職員旅費	25	積立金	5,027	一ノ沢山林組合外基金積立
11	需用費	1,281	現場用消耗品、チェーンソー等修繕費、施設修繕費外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	里山再生計画推進事業	里山再生計画の推進を図るため、具体的な5プロジェクトを実施することで、多くの市民等が里山に関心を持ち、里山に入ることによって現在の里山の抱える課題を解消することができる。	08	報償費	901
				07	賃金	1,280
				13	委託料	506
				19	負担金補助及び交付金	1,150
					計	3,837
2						
					計	

予算書ページ	220
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	180,206	0	85,459	0	1	94,746
前年度	217,151	0	102,718	0	1	114,432
増減額	△ 36,945	0	△ 17,259	0	0	△ 19,686

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	森林健全化推進事業補助金	83,558							
16	森林造成事業費補助金	1								
16	森林づくり推進支援金	1,900								
21	更新伐事業雑入	1								

【目的・効果】

【目的】

松くい虫による被害の拡大を防止し、森林資源の保護育成や健全な森林機能の保全を図る。

【効果】

- ・自然環境の保全や地域の里山の再生を図る。
- ・災害に強い森林としての減災効果を高める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・森林における松くい虫被害木の伐倒駆除を実施する。
- ・守るべき松林における、予防対策の薬剤散布及び樹幹注入を実施する。
- ・更新伐事業に伴う搬出路の整備を実施する。
- ・庭園松等の所有者や管理者が実施する防除対策について、使用薬剤購入費や伐倒処理経費への補助を行う。
- ・被害木の有効活用を図る。

【詳細事業内訳】

松くい虫防除対策事業市単補助事業 27,297千円 松くい虫防除対策事業 144,659千円 松くい虫被害対策更新伐事業 8,250千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	291	東山・西山被害対策協議会出席謝礼	19	負担金補助及び交付金	27,297	市単補助(伐倒駆除、薬剤散布、樹幹注入)
09	旅費	56	職員旅費				
11	需用費	178	予防対策消耗品				
12	役務費	743	松くい虫被害材活用 被害材製材・乾燥手数料				
13	委託料	147,584	松枯損木伐倒処理、防除薬剤散布外				
15	工事請負費	1,650	搬出路整備				
16	原材料費	2,407	樹幹注入剤購入外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	松くい虫防除対策事業市単補助事業	個人庭園松や地域神社林等の所有者や管理者が実施する、薬剤散布や樹幹注入による予防対策費用や松枯損木の伐倒処理経費に対して補助金を交付する。	19	負担金補助及び交付金	27,297
					計	27,297
2					計	

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	220
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,853	0	3,452	0	610	7,791
前年度	16,407	0	3,197	0	610	12,600
増減額	△ 4,554	0	255	0	0	△ 4,809

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	林業費雑入	10								
21	森林の里親促進事業支援金	600								

【目的・効果】

【目的・効果】

安曇野市森林整備計画に基づき造林事業を行い、健全な森林造りを図る。

【効果】

森林(もり)の里親促進事業の提携企業と協働により市有林の森林整備を図り、また、学有林活動による体験的森林施業など、多くの人がさまざまな方法で森林に触れ合う機会を設け、森林の重要性を普及する事ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

安曇野市森林整備計画及び森林経営計画に基づき、市有林の造林事業を行う。

・市有林の施業指針に基づき、搬出間伐等を計画的に実施する。

森林(もり)の里親促進事業の推進をする。

・まゆみ池(堀金)周辺の整備 …… 富士電機メータ(株)

学有林活動 …… 堀金中学校、穂高西中学校

市有林の施業指針を作成し、市有林の管理をする。

【詳細事業内訳】

市有林森林整備事業 11,853千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	9,334	間伐等市有林整備、学有林整備				
13	委託料	2,519	施業指針作成、間伐等設計業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
2						
					計	

予算書ページ	222
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106260	間伐対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,529	0	0	0	6,212	14,317
前年度	17,332	0	900	0	2,922	13,510
増減額	3,197	0	△ 900	0	3,290	807

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	森林総合研究所負担金	6,207							
17	分収造林事業基金利子	5								

【目的・効果】

【目的】

森林環境を守り、山林の立地特性に応じた森林造成にむけて、計画的に施業を行う。

【効果】

計画的に森林施業を行うことにより、効率よく木材を生産するだけでなく、水源の涵養や土砂災害の防止といった森林の公益的機能をより高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・水源林造成事業の実施。
- ・林業事業体が行う森林整備事業の計画作成や造林事業に対して補助金を交付する。

【詳細事業内訳】

分収造林事業 6,529千円 森林造成事業(補助) 14,000千円

【一般財源増加理由】 森林整備地域活動支援交付金事業を実施しないため県補助金額の減。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	33	現場作業用消耗品				
12	役務費	6,490	水源林造成事業(除伐、森林保険)				
19	負担金補助及び交付金	14,000	森林造成事業嵩上げ補助				
25	積立金	6	分収造林事業基金利子積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	

予算書ページ	222
--------	-----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106270	市単林道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,441	0	0	0	0	18,441
前年度	18,397	0	0	0	0	18,397
増減額	44	0	0	0	0	44

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

林道の草刈や路面整備等の維持管理を行い、安定した通行を確保する。

【効果】

林道及び作業道の排水施設維持整備、土砂排除、倒木除去等を適切に行うことにより、利用者が安全で安心して林道を通行することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・既存林道51路線について、草刈り、排水施設維持、土砂排除、倒木除去等の維持管理を行う。

【詳細事業内訳】

市単林道維持事業 18,441千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	200	林道維持用消耗品				
13	委託料	3,400	林道維持業務委託料				
15	工事請負費	14,300	林道維持補修工事費				
16	原材料費	427	林道維持補修原材料費				
18	備品購入費	114	倒木処理用チェーンソー備品購入費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	
2					計	

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	222
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	02	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	林業振興費		基本施策	林業の振興
	事業	0106275	林道危険箇所重点整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,573	0	13,239	0	0	16,334
前年度	40,398	0	18,010	0	0	22,388
増減額	△ 10,825	0	△ 4,771	0	0	△ 6,054

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	公共補助林道事業補助金	13,239							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 交通量の多い観光道路として利用される幹線林道において、大規模な落石や倒木からの被害を未然に防ぐため、単年度に集中して危険箇所の重点的な整備を行い林道の安全性を確保する。  
**【効果】**  
 危険箇所を早急に改修することにより、法面崩落等の被害を未然に防ぎ、森林整備関係者のみならず観光来訪者や登山者が林道を安全に通行することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・大規模な被害を及ぼす可能性がある林道沿いの支障木について伐採を委託する。  
 ・林道烏川線の改良工事を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 林道危険箇所重点整備事業 29,573千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
13	委託料	3,113			
15	工事請負費	26,460			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	林道危険箇所重点整備事業	補助事業を活用し、林道烏川線の改良工事を実施する。工事を実施し土砂崩落等の危険箇所を改善することにより、利用者が安心して安全に林道を通行することができる。	15	工事請負費	26,460
				13	委託料	3,113
					計	29,573
2					計	

重点施策	—		コード	010802100		予算書ページ	224
			課・係等	耕地林務課 耕地担当			
予算	款	06	農林水産業費		総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費			基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費			基本施策	農業の振興
	事業	0106280	耕地総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	107,030	0	8,313	0	1,170	97,547
前年度	109,377	0	8,979	0	1,170	99,228
増減額	△ 2,347	0	△ 666	0	0	△ 1,681

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	農村環境改善センター維持管理分担金	1,050							
16	国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	8,120								
16	地滑り防止施設管理委託金	193								
21	高瀬川左岸水利運営調整費	120								

【目的・効果】

【目的】耕地事業全般にわたる経常的経費及び各種団体への負担金支出や土地改良事業に係る償還事務を行う。

【効果】

- ・三郷農村環境改善センターの効率的な管理運営
- ・市内土地改良区との連携
- ・市内地すべり防止区域の適正な管理
- ・農村公園の適正な管理
- ・国営造成施設の適正な維持

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・耕地林務課職務的経費(職員給料、公用車管理等)
- ・ほ場整備事業等に係る借入金償還事務(H35年度償還終了)
- ・土地改良区に係る県単土地改良事業負担金支出
- ・三郷農村環境改善センターに係る指定管理料、土地借地料、施設器具修繕費等

【詳細事業内訳】

土地改良事業農林漁業資金償還金 1,693千円 農業用水路維持管理負担金(国営造成) 13,554千円 耕地総務費 80,709千円 三郷農村環境改善センター施設管理事業 9,674千円 農村公園遊具更新事業 1,400千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	41,567	一般職(10人)	14	使用料及び賃借料	2,713	三郷農村環境改善センター借地料
03	職員手当等	18,956	職員諸手当	15	工事請負費	1,400	農村公園遊具更新工事費
04	共済費	11,452	職員共済組合納付金	18	備品購入費	448	農道台帳システム用パソコン、水路維持用備品
09	旅費	80	職員旅費	19	負担金補助及び交付金	21,901	土地改良事業借入金償還金、国営造成施設管理負担金・補助金、土地改良区年間通水負担金等、県単事業建設負担金
11	需用費	2,485	事務用消耗品費、公用車燃料費、光熱水費、公用車修繕費、三郷農村環境改善センター修繕費	27	公課費	43	公用車重量税
12	役務費	203	公用車車検手数料、ホイストクレーン点検料、公用車自賠責保険料				
13	委託料	5,782	三郷農村環境改善センター指定管理料、地すべり地区巡視委託料、農業用水路詰まり作業委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,389	0	0	0	0	5,389
前年度	3,211	0	0	0	0	3,211
増減額	2,178	0	0	0	0	2,178

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 土地改良施設維持管理適正化事業により、農業用排水路の健全化工事を行う。  
**【効果】**  
 健全化工事を行うことで、土地改良施設の長寿命化が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○拠出金事業  
 ・青木花見駅西水路 拠出金 360千円  
 ○補助事業  
 ・梓川土地改良区水利施設改修負担金 329千円  
 ・第二拾ヶ堰土地改良区揚水ポンプ改修負担金 2,980千円  
 ・拾ヶ堰土地改良区頭首工計器改修負担金1,720千円

**【詳細事業内訳】**  
 農業用水路改修工事(土地改良施設維持管理適正化) 5,389千円

【一般財源増加理由】 第二拾ヶ堰土地改良区と拾ヶ堰土地改良区の新規工事実施に伴う負担金増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	5,389	建設負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	耕地総務費		基本施策	農業の振興
	事業	0106300	国営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	94,272	0	0	0	0	94,272
前年度	94,284	0	0	0	0	94,284
増減額	△ 12	0	0	0	0	△ 12

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 国営及び県営広域排水事業により造成された施設の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 施設の管理体制が整備されるとともに、適切な維持管理が行われている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・安曇野・松本行政事務組合負担金  
 ・国営広域排水事業に伴う借入金償還

**【詳細事業内訳】**  
 国営広域排水事業負担金 94,272千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
15	工事請負費	993	広域排水路沈砂池土砂排除工事						
19	負担金補助及び交付金	93,279	国営事業負担金借入償還金、一部事務組合負担金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106310	市単土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	55,170	0	0	0	100	55,070
前年度	39,263	0	0	0	102	39,161
増減額	15,907	0	0	0	△2	15,909

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	ふるさと・水と土保全基金利子	100							

【目的・効果】

【目的】

市単事業により農業用排水路の小規模な補修、更新を行う。

【効果】

水路改修工事等を行うことにより、農家の維持管理費の削減や農業生産性の向上が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内農業水利施設個別施設計画の策定
- ・農業用排水路等に係る小規模工事の実施
- ・水路管理者へ農業用排水路の漏水補修材の支給
- ・水路管理者が行う水路改修工事等に補助金交付

【詳細事業内訳】

農業施設維持工事(市単) 55,170千円

【一般財源増加理由】 個別施設計画策定業務委託料の増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	124	消耗品				
13	委託料	18,498	用排水路管理委託料、用排水路ゴミ処理業務委託料、個別施設計画策定業務委託料、設計監理委託料				
14	使用料及び賃借料	823	重機借上料他、システム使用料				
15	工事請負費	25,038	市内用水路改修工事等請負費				
16	原材料費	2,137	水路、農道補修用資材				
19	負担金補助及び交付金	8,550	水路改修事業等補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 農業水利施設個別施設計画策定(農業施設維持工事(市単))	個別施設計画の策定をH31・32の2か年で行う。この計画により市内の農業水利施設の個々の施設の構造、規模、機能診断、概算対策費用等を調査し、計画的、効率的な水路の補修更新を行うことにより、維持管理費用の節減を図る。	13	委託料	13,495
					計	13,495
2					計	0

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106320	県営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,273	0	0	10,100	0	1,173
前年度	25,050	0	0	22,500	0	2,550
増減額	△ 13,777	0	0	△ 12,400	0	△ 1,377

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	県営農道整備事業	10,100							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 県営事業により農道整備が行われるため、建設負担金を支出する。  
**【効果】**  
 県営事業の実施により、農業生産基盤の強化や農村環境が改善される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 市内では県営事業により農業基盤整備が進められており、市から建設負担金を支出し事業を推進している。  
**【事業概要】**  
 ・県営農道整備事業 安曇野地区  
 歩道等安全施設整備工事  
 負担割合 国50%、県25%、市25%  
 平成31年度負担金 11,250千円

**【詳細事業内訳】**  
 県営土地改良負担金 11,273千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	11,273	事業割賦課金、県営事業負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

予算書ページ	226
--------	-----

重点施策	—	コード	010802100
		課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106330	団体営土地改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,812	0	18,360	0	1,881	23,571
前年度	43,453	0	17,595	0	931	24,927
増減額	359	0	765	0	950	△ 1,356

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	土地改良事業地元分担金	1,881							
16	団体営土地改良事業補助金	18,360								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 団体営事業(交付金)により農業用排水路の改修工事、農道舗装工事を行う。  
**【効果】**  
 計画的な水路改修工事、農道舗装工事を行うことにより、農家の維持管理費の削減や農業生産性の向上が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○農業水路等長寿命化・防災減災事業 北穂高地区  
 事業費 16,000千円  
 水路工 L=140m  
 ○基盤整備促進事業 安曇野市地区  
 事業費 20,000千円  
 水路工 L=165m 農道舗装 L=380m

**【詳細事業内訳】**  
 農業用排水路工事・農道舗装工事(団体営) 43,812千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	50	事務用消耗品				
13	委託料	3,000	設計業務委託料				
15	工事請負費	33,400	工事請負費				
19	負担金補助及び交付金	7,362	梓川土地改良区・中信平左岸土地改良区団体営事業負担金等				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	228
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	264,503	0	198,000	0	0	66,503
前年度	235,582	0	176,300	0	0	59,282
増減額	28,921	0	21,700	0	0	7,221

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	多面的機能支払推進交付金	198,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**農村地域の高齢化、人口減少等により、農村環境の保全や共同活動等に支障が生じつつあるため、地域で組織化された活動組織を支援する。  
**【効果】**平成27年度から施行された「農業の有する多面的機能の発揮に関する法律」に基づき、農業農村の多面的機能(草刈り作業、道水路やため池等の施設の維持補修、水路更新工事等)を発揮のため、地域活動等への支援する事により、市内の田園風景や環境が適切に維持管理されている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 平成31年度は、56組織(取組面積3,559ha)が地区の環境保全、共同活動、農業用水路等の長寿命化に取り組む。また、事務の効率化や負担軽減のために活動組織の広域化を進める。

**【詳細事業内訳】**  
 農地保全活動交付金(多面的機能支払) 264,503千円

【一般財源増加理由】取組面積増による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	27	職員旅費				
11	需用費	56	事務用消耗品				
13	委託料	486	GIS更新業務委託料				
19	負担金補助及び交付金	263,934	活動組織支援補助金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802100
課・係等	耕地林務課 耕地担当

予算書ページ	228
--------	-----

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	耕地費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	02	農村整備事業		基本施策	農業の振興
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39,165	0	412	11,800	13,125	13,828
前年度	63,729	0	412	21,200	23,625	18,492
増減額	△ 24,564	0	0	△ 9,400	△ 10,500	△ 4,664

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	土地改良事業地元分担金	13,125							
16	団体営土地改良事業補助金	412								
22	県営ほ場整備事業	11,800								

【目的・効果】

【目的】

県営ほ場整備事業により区画整理を行い営農の効率化を図る。

【効果】

区画整理を行い点在していた農地を集約することにより、作業効率が向上し担い手への農地の集約化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

H31年度 経営体育成基盤整備事業 烏川地区

○負担金事業

- ・事業費 34,934千円  
うち県営事業負担金 26,250千円 (事業費150,000千円×負担率17.5%)
- ・連絡水路工事
- ・換地業務一式
- ・その他工事

○農業経営高度化支援事業(ソフト事業)

- ・事業費 761千円
- ・補助率82.5%
- ・農地集積業務

【詳細事業内訳】

ほ場整備負担金(経営体育成基盤整備) 39,165千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	32	農地集積推進委員報酬	22	補償補填及び賠償金	500	立木移転補償一式
11	需用費	190	農地集積等事務用品				
13	委託料	1,606	農地集積状況図等編集業務委託、地区外境界測量・用地測量				
14	使用料及び賃借料	364	公用車リース料12か月				
15	工事請負費	1,100	市単独事業 補修工事・安全施設工事一式				
17	公有財産購入費	439	水路敷用地購入費				
19	負担金補助及び交付金	34,934	県営事業負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

# 商工観光部

予算書ページ	198
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105010	勤労者福祉事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	59,070	0	0	0	50,000	9,070
前年度	57,392	0	0	0	50,000	7,392
増減額	1,678	0	0	0	0	1,678

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	勤労者資金元金	50,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○安心して働ける環境作りを目指すために、市内中小企業事業所の勤労者の福利厚生事業や共済事業を推進する。  
**【効果】**  
 働きやすい環境整備や福利厚生の上により生産性の向上につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・安曇野市勤労者互助会及び当該団体の福利厚生事業活動を支援する。  
 ・勤労者の生活の安定を図り福祉の向上に資するため、勤労者資金融資あっせん(協調融資)や、勤労者住宅建設資金の融資に対する利子補給を行う。  
 ・安曇野市穂高勤労者福祉センターを普通財産として管理し、廃止後の処理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 安曇野市勤労者互助会運営事業 4,250千円 勤労者福祉センター管理事業 1,670千円 勤労者支援事業 53,150千円

【一般財源増加理由】 穂高勤労者福祉センター廃止に伴う用地測量業務委託料の計上及び勤労者住宅建設利子補助金の増額による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	108	安曇野市穂高勤労者福祉センター消耗品費、燃料費、光熱水費				
12	役務費	17	安曇野市穂高勤労者福祉センター電話料				
13	委託料	1,541	安曇野市穂高勤労者福祉センター消防用設備等点検業務委託料、用地測量業務委託料				
19	負担金補助及び交付金	7,404	安曇野市勤労者互助会負担金、福利厚生事業補助金、勤労者住宅建設利子補助金				
21	貸付金	50,000	勤労者協調融資預託金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野市勤労者互助会運営事業	安曇野市勤労者互助会の事業を支援することで、市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生の上による生産性の向上につながる。	19	負担金補助及び交付金	4,250
					計	4,250
2	ソフト	勤労者支援事業	住宅取得費用の利子補給、生活資金のあっせん及び勤労者福祉事業への補助を行うことで、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図り安心して持続的に働ける環境をつくる。	21	貸付金	50,000
				19	負担金補助及び交付金	3,150
					計	53,150



重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)

予算	款	05	労働費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	労働費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	労働諸費		基本施策	労働・雇用対策の推進
	事業	0105020	労働雇用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,544	0	0	0	0	2,544
前年度	2,962	0	0	0	0	2,962
増減額	△ 418	0	0	0	0	△ 418

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○地域内の求職情報を提供し雇用促進を図るとともに、労働関係に起因する各種相談体制を整え、安心して働ける環境整備に努める。  
**【効果】**  
 就労環境の向上につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・松本公共職業安定所と共同で市内を中心とした就職希望者の相談業務を「ふるさとハローワーク」で行う。  
 ・職場定着セミナー、労働相談会を開催する。

**【詳細事業内訳】**  
 ふるさとハローワーク管理事業 2,414千円 雇用対策事業 130千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	1,454	ふるさとハローワーク臨時職員賃金						
11	需用費	14	ふるさとハローワーク施設管理用品						
12	役務費	275	ふるさとハローワーク電話料						
13	委託料	231	ふるさとハローワークコピー機保守点検委託料、労働相談会委託料、産業事情視察バス運転業務委託料						
19	負担金補助及び交付金	570	長野県安曇野庁舎共益費						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	雇用対策事業	松本職業安定協会と協調して産業事情視察を実施することにより、中信地域内高等学校等に進路指導における有益な情報を提供し、地域経済を支える人材を確保する。	13	委託料	130
					計	130
2	ソフト	ふるさとハローワーク管理事業	松本公共職業安定所と共同で「ふるさとハローワーク」を運営し、地域内の求職情報を就職希望者に提供することにより、雇用の促進と就労環境の向上を図る。	07	賃金	1,454
				19	負担金補助及び交付金	570
				12	役務費	275
				13	委託料他	115
					計	2,414

予算書ページ	232
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	商工総務費		基本施策	商業の振興
	事業	0107010	商工総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	205,105	0	0	0	0	205,105
前年度	220,706	0	0	0	27,000	193,706
増減額	△ 15,601	0	0	0	△ 27,000	11,399

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- 地域経済の基幹をなす中小企業の経営基盤強化を図る。
- 市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
- 事業承継等持続可能な事業展開に向け、商工会・金融機関等と協力し支援体制を整える。

【効果】

中小・小規模事業者の経営の安定につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市商工会経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援する。
- ・地域の活性化を担うイベントに対しその費用の一部を負担する。

【詳細事業内訳】

商工総務費 143,460千円 地域総合振興事業 43,213千円 経営改善普及事業 18,432千円

【一般財源増加理由】 特定財源の「ふるさと寄付金」の計上を見合わせたため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	84	商工業審議会委員報酬	13	委託料	18	まつもと広域ものづくりフェア企業見学会バス運行業務委託料
02	給料	78,204		14	使用料及び賃借料	4	出張時等有料駐車場使用料
03	職員手当等	37,557		19	負担金補助及び交付金	62,449	経営改善普及事業補助金、地域総合振興事業補助金、各種団体負担金
04	共済費	24,821					
07	賃金	1,722	商工事業事務補助臨時職員賃金				
09	旅費	133	職員旅費				
11	需用費	113	経済動向資料購入費他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	経営改善普及事業	安曇野市商工会の経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援することで、小規模事業者の経営の安定を図る。	19	負担金補助及び交付金	18,432
					計	18,432
2	ソフト	地域総合振興事業	市内事業者が取り組む地域の活性化を担う事業に対し、その費用の一部を補助することで、地域経済の活性化を図る。	19	負担金補助及び交付金	43,213
					計	43,213

予算書ページ	232
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	商工総務費		基本施策	公共交通の充実
	事業	0107020	JR・高速乗合バス利用対策事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,037	0	0	0	7,018	13,019
前年度	19,800	0	0	0	6,486	13,314
増減額	237	0	0	0	532	△ 295

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	JR乗車券類等発売業務	3,977								

【目的・効果】

【目的】

○市民の交通手段の利便性の向上を図るため、市内JR営業線無人駅での乗車券類等の発売業務や駐車場・駐輪場等の維持管理を行う。

【効果】

利用者の利便性の向上と、駅周辺や高速乗合バス駐車場周辺の環境美化につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・JR営業線無人駅での乗車券類等発売業務の廃止に向けた準備を進める。
- ・JR営業線駅の駐輪場等の管理を行う。
- ・安曇野インターチェンジ東駐車場等の管理を行う。

【詳細事業内訳】

駅関連施設管理事業 17,073千円 市営駐車場管理業務 2,964千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,016	簡易委託駅等光熱水費、安曇野インターチェンジ東駐車場消耗品、施設修繕費等				
12	役務費	361	簡易委託駅電話料、安曇野インターチェンジ東駐車場警備回線通信料				
13	委託料	17,993	簡易委託駅乗車券類発売業務委託料、駅駐輪場管理委託料、安曇野インターチェンジ東駐車場等管理委託料				
14	使用料及び賃借料	667	JR営業線駅前駐輪場用地借地料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市営駐車場管理業務	安曇野インターチェンジ東駐車場、一日市場駐車場、豊科駅駐車場等の維持管理を行うことにより、利用者の利便性の向上と、高速乗合バス駐車場等の環境美化を図る。	11	需用費	421
				12	役務費	113
				13	委託料	2,430
					計	2,964
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010901100		予算書ページ	234
			課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち	
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興	
	事業	0107030	商業振興事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,506	0	0	0	507	4,999
前年度	6,077	0	0	0	463	5,614
増減額	△ 571	0	0	0	44	△ 615

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	産業会館使用料	91							
14	まちづくり会館使用料	290								
21	産業会館光熱水費	126								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○市内商業系事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。  
 ○商業関連施設の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 既存商店街の活力を促し経済活動を活発化させる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・商店街等が管理する街路灯の維持費用の一部を助成する。  
 ・安曇野市まちづくり会館、安曇野市明科産業会館の維持管理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 商業関連施設管理事業 4,756千円 商業事業者支援事業 750千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	1,266	商業関連施設維持管理用消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕費								
12	役務費	124	商業関連施設電話料・点検手数料等								
13	委託料	2,934	商業関連施設管理委託料								
14	使用料及び賃借料	424	安曇野市まちづくり会館駐車場用地借地料・AED借上料								
19	負担金補助及び交付金	758	街路灯維持管理事業、販路拡大出展支援事業								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	商業事業者支援事業	街路灯維持管理事業、販路拡大松本山雅ホームゲーム会場出展支援事業により、商業事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。	19	負担金補助及び交付金	750
					計	750
2						
					計	0

予算書ページ	234
--------	-----

重点施策	—	コード	010901200
		課・係等	商工労政課 工業振興係 (商工労政課 商工労政係・産業立地支援係)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	241,679	0	0	0	100,000	141,679
前年度	249,024	0	0	0	99,000	150,024
増減額	△ 7,345	0	0	0	1,000	△ 8,345

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
19	ふるさと寄附基金繰入金	80,000								100,000

【目的・効果】

【目的】

- 産業振興ポータルサイトでは、企業情報の他に企業間の受発注・求人情報などを掲載し、販路開拓や人材確保など企業ネットワークの確立を図る。
- 企業ニーズに応じた助成制度の見直し検討や周知を図り、市内企業の業績向上、雇用促進を図るとともに企業誘致を推進する。
- 中小企業の先端設備等導入計画による設備投資を後押しし、労働生産性の年平均3%以上の向上を図る。

【効果】

市外からの新たな企業誘致だけでなく、市内の既存企業にも支援することで、地域経済の活性化や雇用確保につながる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 市内製造業の事業活動をサポートし、様々な情報をワンストップサービスで提供する窓口として、(一社)あづみ野産業振興支援センター(仮称)に業務委託する。
- 地域内の効率的な経済活動に役立つ最新情報を適時に共有できる産業振興ポータルサイトの事業者登録を増やす。
- 工場用地取得、工場等設置、生産設備取得、空き工場等の賃借料一部補助など11メニューの助成制度による企業支援に加え、生産性向上特別措置法に基づく先端設備等導入計画で措置された中小企業の設備投資を支援する。

【詳細事業内訳】

企業助成事業234,155千円 企業サポート事業(工業系) 6,877千円 産業団地特別会計繰出金(その他) 547千円 産業団地特別会計繰出金(建設) 64千円 工業振興総務費 36千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	594	工業振興連携推進協議会(工業振興ビジョン策定)、新製品・新技術開発事業会議出席謝礼				
09	旅費	130	工業振興連携推進協議会、新製品・新技術開発事業会議費用弁償				
11	需用費	20	事務用品				
13	委託料	6,074	産業振興ポータルサイト保守管理業務、補助金交付政策効果検証業務				
14	使用料及び賃借料	156	自動車借上料				
19	負担金補助及び交付金	234,094	企業等支援助成事業233,400千円、安曇野工業会人材育成セミナー694千円				
28	繰出金	611	産業団地特別会計繰出金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	企業サポート事業(工業系)	統計、アンケート調査等から工業振興ビジョンの検証、見直しをする。また、非営利組織の法人である「あづみ野産業振興支援センター」に企業の景況動向調査並びに経営支援を委託し地域経済基盤の確立と活性化を図る。同時に専門機関の支援を受け「産業連関分析」を行い、効果的な補助金交付施策の見直しを図る。	13	委託料	6,074
				8	報償費	549
				14	使用料及び賃借料	156
				09	旅費	98
					計	6,877
2	ソフト	企業支援補助金交付事業(企業助成事業)	市商工業助成制度工業系11メニューの利用促進を行い、企業誘致の推進・市内企業の業績向上を図る。また、中小企業の先端設備等導入計画による設備投資を後押しし、年平均3%以上の労働生産性の向上を図る。	19	負担金補助及び交付金	233,400
				08	報償費	45
				09	旅費	16
					計	233,461

予算書ページ	236
--------	-----

重点施策	—	コード	010901100
		課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	02	商工振興費		基本施策	商業の振興
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	925,318	0	0	0	902,845	22,473
前年度	927,679	0	0	0	903,883	23,796
増減額	△ 2,361	0	0	0	△ 1,038	△ 1,323

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	制度資金保証料補給金返還金	2,845								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○市内企業等の経営の安定化を図るため、市内金融機関に資金を預託し、中小企業の運転・設備等の資金の貸し付けを行う。また、融資に伴う信用保証料や利子の一部について助成することで、企業経営を支援する。  
**【効果】**  
 市内中小企業の経営の安定と生産性の向上につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫、長野県信用組合)に斡旋資金を預託し、それを担保に市内企業の運転・設備に必要な資金の貸し付けを行う。  
 ・その貸付に際し発生する保証料の一部を補給するとともに、貸付利率の1%(1%に満たない場合はその率)を補給する。

**【詳細事業内訳】**  
 制度資金貸付事業 925,318千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	25,318	制度資金保証料補給金、制度資金利子補給金								
21	貸付金	900,000	制度資金預託金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	制度資金貸付事業	市内金融機関(八十二銀行、長野銀行、松本信用金庫、長野県信用組合)に斡旋資金を預託し、市内企業の運転・設備に必要な資金の貸し付けを行うことで、市内企業の経営の安定と生産性の向上を図る。	21	貸付金	900,000
				19	負担金補助及び交付金	25,318
					計	925,318
2					計	0

予算書ページ	236
--------	-----

重点施策	(2)	コード	010901300
		課・係等	商工労政課 産業連携推進係 (商工労政課 商工労政係)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	02	商工振興費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107070	産業連携推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,011	0	0	0	0	11,011
前年度	13,440	0	0	0	18	13,422
増減額	△ 2,429	0	0	0	△ 18	△ 2,411

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目標】**  
 ○地域資源(市内産の農林水産物)を最大限活用するとともに、既存の категорииの枠を超えた事業者連携により、それぞれの有する経営資源を相互に有機的に発揮し、地域ビジネスとして新たな産業の構築を図る。  
**【効果】**  
 異業種との連携・協同による商品開発や販路拡大、新たなサービスの形成などにより、付加価値の高い「ブランド」が発信され、併せて地域活性化に繋げる事業とする。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・産業支援コーディネーターの幅広い人脈を活用し、情報収集と情報の共有を図り、事業者間連携のマッチングとブランド化を進める。  
 ・地域資源活用型連携推進事業を推進するため、事業公募を行い、新たな産業の具現化に向けた推進を図る。  
 ・既存商品群も含め、国内の販路拡大だけでなく、事業者の意欲的な海外販路拡大に対し、企業収益の向上と新取引先の開拓に向け、新たに支援をする。  
 ・農商工連携モデル事業として、新たな地域資源であるホップを活用し、異なる事業者の連携や域内の活性化を促進するため、地域おこし協力隊制度を活用する。

**【詳細事業内訳】**  
 地域資源活用型連携推進事業 5,663千円 企業サポート事業(食品流通系) 5,348千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	6,238	産業支援コーディネーター(食品流通系)、地域おこし協力隊						
08	報償費	68	地域資源活用型連携推進事業審査委員謝礼等						
09	旅費	826	コーディネーター販路拡大等関係旅費、地域おこし協力隊研修旅費等						
11	需用費	66	コーディネーター車燃料費、地域おこし協力隊消耗品						
14	使用料及び賃借料	213	コーディネーター車リース代、車両駐車場使用料						
19	負担金補助及び交付金	3,600	地域資源活用型連携推進事業補助金、販路拡大展示会出展事業補助金						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	海外販路輸出振興事業(企業サポート事業(食品流通系))	平成30年度トライアルにより、海外販路の実現性が見えたため、東アジアを核とした事業者の意欲的な販路拡大を支援し、企業収益向上のための販路拡大と安曇野のブランド発信に繋げる。	19	負担金補助及び交付金	1,000
					09	旅費	408
						計	1,408
2					計	0	

重点施策	(2)	コード	010901100			
		課・係等	商工労政課 商業労政係 (商工労政課 商工労政係)			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	商工費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	商工振興費		基本施策	移住・定住の促進
	事業	0107130	しごと創出事業			

予算書ページ	236
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,791	5,605	0	0	13,000	20,186
前年度	23,326	600	0	0	0	22,726
増減額	15,465	5,005	0	0	13,000	△ 2,540

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	5,605							
18	ふるさと寄附金	10,000								
19	ふるさと寄附基金繰入金	3,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○産業競争力強化法に基づく認定創業支援事業計画に位置づけられた特定創業支援事業である創業実現セミナーにより地域内の創業者・創業希望者の支援を行う。  
 ○若者や女性が起業しやすい環境を整えるとともに、新規起業等に対する支援を行うことで新たな産業(しごと)を創出し、雇用の拡大を図る。  
 ○雇用施策のひとつとして、フルタイムでの就労が困難な人に就労環境を提供するため、テレワークセンターを整備する。  
**【効果】**  
 新規事業者の掘り起こしを行い起業を促進するとともに、若者や女性の新たな起業を促進する。  
 空き店舗を活用することで、賑わいと活力あるまちづくりにつなげる。  
 テレワークセンターを利用することで、ワークライフバランスを確保しながら働きたい女性等が安心して働くことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・特定創業支援事業を実施する者(安曇野市商工会)との共催により、創業実現セミナーを2期開催する。  
 ・空き店舗等活用促進事業により安曇野市立地適正化計画に沿った集中的な投資を行う。  
 ・若者及び女性の起業支援事業により対象者に助成を行う。  
 ・地方創生推進交付金を活用し、テレワークセンターを整備する。

**【詳細事業内訳】**  
 しごと創出事業 38,791千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	810	テレワークセンター消耗品費・光熱水費				
12	役務費	25	テレワークセンター電話料等				
13	委託料	3,710	テレワークセンター管理運営委託料・警備業務委託料				
14	使用料及び賃借料	50	テレワークセンター回線使用料等				
15	工事請負費	1,530	テレワークセンター整備のための改修工事請負費				
18	備品購入費	4,830	テレワークセンター備品購入費				
19	負担金補助及び交付金	27,836	創業実現セミナー開催負担金、空き店舗等活用促進事業補助金、若者及び女性の起業支援事業補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	テレワークセンター整備事業 (しごと創出事業)	雇用施策のひとつとして、フルタイムでの就労が困難な人に就労環境を提供するため、地方創生推進交付金を活用し、テレワークセンターを整備する。	18	備品購入費	4,830
					13	委託料	3,710
					15	工事請負費	1,530
					11	需用費他	885
						計	10,955
2					計	0	



重点施策	(2)	コード	010902100		予算書ページ	238
		課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当 (観光交流促進課 観光交流促進担当)			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	戦略的な地域ブランドの創出
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,884	0	0	0	12	8,872
前年度	9,489	0	0	0	1,210	8,279
増減額	△ 605	0	0	0	△ 1,198	593

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	天蚕振興基金利子		12						

**【目的・効果】**  
**【目的】**市民との協働による安曇野ブランドの創出や、ブランドイメージの効果的な発信を行う。  
**【効果】**観光地としての魅力向上や市内産品の商品価値を高め、地域振興に繋げる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・安曇野やさいスイーツフェアの開催や安曇野林檎ナポリタンのPRなど、安曇野の食の魅力を情報発信する取り組みを行う。  
 ・映画・ドラマ等のメディア掲出により、市のブランドイメージ向上につなげるため、専用HPでの市内のロケ候補地の情報発信、制作関係者への市内宿泊費等助成を行い、安曇野市へのロケ誘致を図る。  
 ・安曇野の朝の魅力を伝えるためVIを活用したイメージ統一を図るとともに、インスタグラムなどのSNSや複数の媒体を組み合わせより訴求力のある情報発信を行う。  
 ・安曇野市の特産品の一つである天蚕に関する資料展示や機織作業が見学できる安曇野市天蚕センターの指定管理を行う。また、安曇野市天蚕振興会と連携し、産業として確立できるよう必要な支援を行う。  
 ・安曇野ブランドの創出に取り組んでいる市民団体の支援を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 天蚕センター維持管理事業 4,426千円 天蚕振興事業 2,052千円 安曇野ブランド創出事業 2,406千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
08	報償費	58			
09	旅費	158			
11	需用費	556			
13	委託料	4,864			
14	使用料及び賃借料	245			
19	負担金補助及び交付金	2,990			
25	積立金	13			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	安曇野ブランド創出事業	安曇野の暮らしや食、風土など地域資源を活かした魅力創出と、複数の情報媒体を組み合わせた訴求力のある情報発信を通じ、市のブランド力の向上を図る。	08	報償費	58
				11	需用費	99
				13	委託料	1,056
				19	負担金補助及び交付金外	1,193
					計	2,406
2	ソフト	天蚕振興事業	飼育林拡大事業完了による天蚕繭収量増に合わせ、繰糸・機織部門の生産拡大を図る。また、安曇野市天蚕センターを拠点に天蚕に関する情報発信、関係産地をつなぐ広域観光ルートを活用した誘客を行い天蚕の認知度向上を図る。	13	委託料	74
				14	使用料及び賃借料	10
				19	負担金補助及び交付金	1,955
				25	積立金	13
					計	2,052

予算書ページ	240
--------	-----

重点施策	(6)	コード	010902200
		課・係等	観光交流促進課 観光交流促進係 (観光交流促進課 観光交流促進担当)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107090	観光イベント事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	41,804	0	0	0	8,000	33,804
前年度	42,463	0	0	0	6,400	36,063
増減額	△ 659	0	0	0	1,600	△ 2,259

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	スポーツ振興くじ助成金	8,000							

【目的・効果】

魅力ある観光イベントの創出により、集客力を高め、満足度及び再来訪意向の向上を図るとともに、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

合併以来、観光イベントとして実施してきた地域色の強いイベントを見直し実施主体を各地域とするなど位置づけを明確化。観光イベント事業の目的である域外からの観光消費につなげるイベントに集中して取り組む。  
 田んぼアートという新たな素材を活用した新規事業への着手。  
 5回の記念大会を迎える信州安曇野ハーフマラソンの着実な運営。  
 田んぼアートと安曇野ハーフマラソン、ホストタウン、スポーツ大使等、各事業との連携。

【詳細事業内訳】

観光イベント事業 41,804千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	57	県外での誘客促進PR				
11	需用費	1,186	ハーフマラソン参加者駐車場用グラウンド整備				
16	原材料費	270	グラウンド整備用砂				
19	負担金補助及び交付金	40,291	観光イベント事業補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	観光イベント事業	信州安曇野ハーフマラソン、信州安曇野田んぼアート、安曇野花火など、イベントの運営を通じて、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図る。	19	負担金補助及び交付金	40,291
				11	需用費	1,186
				16	原材料費	270
				09	旅費	57
					計	41,804
2					計	0

予算書ページ	240
--------	-----

重点施策	—	コード	010902100
		課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当 (観光交流促進課 観光交流促進担当)

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107100	受入体制整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	62,915	5,250	0	0	2,750	54,915
前年度	57,853	5,050	0	0	2,750	50,053
増減額	5,062	200	0	0	0	4,862

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	新型交付金	5,250							
19	山岳環境整備基金繰入金	2,750								
							(入湯税)	(19,793)		

【目的・効果】

【目的】

安曇野市へ来訪する観光客が快適に滞在できるよう、観光案内や二次交通を充実させる等、受け入れ体制を整備する。  
着地型旅行商品の造成により、魅力的な旅行提案を行う。  
インバウンド需要を取り込むための受け入れ体制整備やエージェント営業等を積極的に行う。

【効果】

観光誘客により他産業へも経済効果を波及させ、地域の活性化を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・観光振興ビジョンの中間評価と共に、変化が速い観光ニーズに沿った市の観光振興策全般の見直しを行う。
- ・地域おこし協力隊員を活用し、市観光協会と連携しながら来訪者の満足度向上につながる受入体制や観光商品の企画、情報発信を行う。
- ・穂高駅前観光情報センターと大王わさび農場観光案内所を中心に、来訪者への観光案内業務を行う。
- ・安曇野市の地域資源を活用した着地型旅行商品の造成・販売を行う。
- ・周遊バスや空港シャトル便を運行し二次交通の充実を図る。また、自転車を活用した二次交通の拡充を検証する。
- ・山岳観光推進実行委員会が主催する山岳フェスタ2019を実施し、「北アルプスパノラマ銀座」の魅力をアピールする。
- ・地方創生推進交付金を活用しインバウンド需要を取り込むため、観光事業者等の受入研修会の開催や、インバウンド商談会で誘客の対象となる国や地域への営業活動を強化する。
- ・農家民宿などで教育学習旅行の受け入れを行い、多くの子どもたちに安曇野を体感していただく機会を提供する。

【詳細事業内訳】

来訪者受入環境整備事業 10,283千円 観光推進組織支援等事業 52,632千円

【一般財源増加理由】 地域おこし協力隊員賃金、観光振興ビジョンプロジェクト推進会議開催による増。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	2,902	地域おこし協力隊員賃金等				
08	報償費	320	観光振興ビジョンプロジェクト推進会議出席謝礼				
09	旅費	74	観光振興ビジョンプロジェクト推進会議有識者費用弁償				
12	役務費	688	観光Wi-Fi用iフレッツ光回線費用等				
13	委託料	9,744	観光案内・情報発信等業務委託等				
14	使用料及び賃借料	79	インターネット系プリンター使用料				
19	負担金補助及び交付金	49,108	観光推進組織補助金等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	○	観光振興ビジョンの見直し・地域おこし協力隊員の活用(来訪者受入環境整備事業)	「観光振興ビジョン」の中間評価や地域おこし協力隊員の活用により、変化の速い観光ニーズに沿った受入体制の充実と振興策を検討し、観光需要の取り込みにつなげる。	07	賃金	2,902
					08	報償費	320
					09	旅費	74
						計	3,296
2	ソフト		海外誘客事業(観光推進組織支援等事業)	地方創生推進交付金を活用し、海外旅行会社等の招聘やインバウンド商談会への参加などの営業活動を安曇野市観光協会と連携して実施し訪日外国人の市内への誘客を図る。また、観光事業者向けに外国語対応研修会を開催し受入体制を強化する。	13	委託料	9,744
					19	負担金補助及び交付金	42,888
						計	52,632

重点施策	—	コード	010902100	予算書ページ	240
		課・係等	観光交流促進課 ブランド推進担当		

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	ブランドの創出に取り組むまち
	目	03	観光費		基本施策	安曇野ブランド発信の強化
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,951	9,975	0	0	0	26,976
前年度	32,923	8,000	0	0	0	24,923
増減額	4,028	1,975	0	0	0	2,053

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
								(入湯税)	(10,497)	

【目的・効果】  
 【目的】観光地として「安曇野」が選ばれるよう関係市町村・事業者と連携し、安曇野の魅力を情報発信する。  
 【効果】交流人口の拡大による地域活性化

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・旅行雑誌・新聞等への広告掲載や高速バス(新宿～白馬線)ラッピング広告、総合観光パンフレットの作成、松本山雅HPへの観光情報掲載のほか、WebやSNS、映像など複数媒体を組み合わせた、訴求力のあるプロモーション活動を通じ、安曇野市の観光資源をPRする。  
 ・銀座NAGANOなど首都圏等での施設を活用し、観光誘客を目的としたイベントを開催する。  
 ・地方創生推進交付金を活用し、訪日外国人需要を取り込むため、観光協会、商工会等と連携して海外プロモーション事業を実施する。  
 ・県や、周辺市町村と連携した観光情報の発信などにより、来訪者の市内の回遊性を高め、観光需要の取り込みを図る。

【詳細事業内訳】  
 観光プロモーション事業 29,942千円 広域団体連携事業 7,009千円

【一般財源増加理由】 海外プロモーション事業の増加による。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	679	イベント記念品等				
09	旅費	1,067	情報発信職員旅費等				
11	需用費	853	イベント用品、観光宣伝用手提げ袋作成等				
12	役務費	6,007	情報発信広告等				
13	委託料	2,352	教育旅行助成事業、観光総合パンフレット増刷等				
14	使用料及び賃借料	127	イベント時施設使用料等				
19	負担金補助及び交付金	25,866	海外プロモーション協議会補助金、広域観光団体等負担金等				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	観光プロモーション事業 (海外プロモーション事業)	増加する外国人旅行者に対して、安曇野市海外プロモーション協議会を中心に外国人に訴求力のある地域資源などを活用したモデルコースの提供や動画配信などにより、AZUMIINOの情報発信を行い、市内への誘客を図る。	19	負担金補助及び交付金	18,857	
					計	18,857	
2	ソフト	広域団体連携事業	県や周辺市町村、観光施設等と連携により、県外でのPR活動や信州まつもと空港の利用促進等の事業に取り組み、市域の枠を超えたより効果的な観光誘客を図る。	19	負担金補助及び交付金	7,009	
					計	7,009	

重点施策	—		コード	010902300		予算書ページ	242
			課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち	
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興	
	事業	0107140	温泉活用施設事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,556	0	0	0	8,556	0
前年度	8,029	0	0	0	5,590	2,439
増減額	527	0	0	0	2,966	△ 2,439

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	しゃくなげの湯外施設使用料	8,556							

**【目的・効果】**  
**【目的】**・貴重な資源である天然温泉を多くの人々が利用できるよう、温泉施設の維持管理を行い市民福祉の向上と交流人口の拡大により安曇野の魅力を高める。  
**【効果】**・温泉施設を適正な維持管理により、利用者が温泉を堪能できるよう受け入れ体制を整え、利用者の満足度を高める。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・安曇野しゃくなげ湯、多里山の神、八面大王足湯の適正な維持管理を行ない、来訪者の満足度向上を図る。  
 ・安曇野しゃくなげの湯薪ボイラーへの薪供給を行なう。  
 ・指定管理者との連携を密にして施設の有効活用及び市民サービスの向上につとめる。

**【詳細事業内訳】**  
 温泉施設経営管理等事業 8,556千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	14	鉱山保安会議				
11	需用費	5,376	足湯清掃用品、しゃくなげの湯ボイラー用薪、指定管理施設修繕費、電気料、水道料				
13	委託料	2,213	足湯管理業務委託料、温泉公園清掃管理業務委託料				
14	使用料及び賃借料	160	温泉公園駐車場借地料				
15	工事請負費	603	八面大王足湯冬期対策工事、湯多里山の神露天風呂緑石角部整形工事				
19	負担金補助及び交付金	190	穂高山麓排水事業組合環境整備負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額		
1	ソフト	しゃくなげの湯ボイラー用薪供給	しゃくなげの湯の薪ボイラーに松くい虫被害木等薪材として供給し、被害木等の有効活用及び施設の適正な運営を図る。	11	需用費	4,050		
					計	4,050		
2								
					計	0		

重点施策	—
------	---

コード	010902300
課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算書ページ	242
--------	-----

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,602	0	0	0	0	3,602
前年度	2,983	0	0	0	0	2,983
増減額	619	0	0	0	0	619

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**・安曇野の近代化を支えた篠ノ井線の当時の姿を楽しめるよう、維持管理を行ない、情報発信に努め来訪者の増加を図る。  
**【効果】**・歴史的遺産を、貴重な観光資源として活用し、来訪者の滞在時間の延長を図り満足度を高める。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・潮沢廃線敷の公衆便所等維持管理により、受け入れ環境を整え、来訪者の満足度の向上を図る。  
 ・三五山トンネル、漆久保トンネルの安全・安心を高めるため、継続監視業務を行なう。  
 ・施設の有効性についての検証を進める。

**【詳細事業内訳】**  
 廃線敷施設維持点検管理事業 3,602千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	300	廃線敷遊歩道整備謝礼						
11	需用費	362	潮公衆トイレ他電気料、水道料、下水道料						
12	役務費	176	トイレ汲取り手数料						
13	委託料	2,010	三五山、漆久保トンネル継続監視業務委託料、トイレ清掃業務委託料等						
14	使用料及び賃借料	91	仮設トイレ借上料						
15	工事請負費	619	漆久保トンネル隣接側溝等土砂撤去工事、三五山トンネルレンガ内壁工事						
16	原材料費	44	廃線敷整備用砂利						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	三五山・漆久保トンネル継続監視業務	三五山・漆久保トンネル継続監視業務を行い、利用者の安全安心を確保する。	13	委託料	832
					計	832
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010902300		予算書ページ	244
			課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち	
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興	
	事業	0107160	施設管理整備事業				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	46,403	0	0	2,606	43,797
前年度	78,257	0	0	2,394	75,863
増減額	△ 31,854	0	0	212	△ 32,066

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	かじかの里キャンプ場使用料	100							
17	山岳環境整備基金利子	275								
21	観光施設駐車場負担金	697								
21	しゃくなげの湯外施設使用料	1,534					(入湯税)	(175)		

**【目的・効果】**  
**【目的】**・来訪者が観光施設を快適に利用できるよう、施設整備及び維持管理を行なう。  
**【効果】**・整備管理された観光施設を利用いただくことにより、安曇野市のイメージアップを図ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・登山道整備のための費用を、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金として支出する。(31年度整備路線は、燕岳歩道、常念岳歩道等の協議会登録ルートを中心に整備する。)  
 ・かじかの里公園等の公園施設(8施設)及び公衆便所(29ヶ所(仮設6ヶ所含む))の維持管理を行なう。

**【詳細事業内訳】**  
 観光施設公園管理事業 29,598千円 登山道等整備事業 16,805千円

【一般財源増加理由】									
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	1,845	登山道草刈謝礼、光城山清掃謝礼等		16	原材料費	154	駐車場、遊歩道等整備用砕石	
09	旅費	44	登山者カウンター設置立会		19	負担金補助及び交付金	8,263	北アルプス登山道等維持連絡協議会等	
11	需用費	5,044	観光施設消耗品、施設小破修繕、光熱水費		25	積立金	276	山岳環境整備基金利子積立金	
12	役務費	1,192	トイレ汲取り手数料等		28	繰出金	8,682	有明荘特別会計繰出金	
13	委託料	16,628	公衆トイレ等施設清掃業務委託等						
14	使用料及び賃借料	3,941	白鳥湖トイレ借上料、観光施設用地借地料等						
15	工事請負費	334	一ノ沢トイレ取水柵改修工事、山岳観光施設維持工事、かじかの里公園スプリング遊具撤去工事						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	安曇野穂高駐車場補助金(穂高・宮城)	シーズンにおける登山口での違法駐車は顕著であり、交通に支障をきたしている。これを解消するために平地において登山者用駐車場を管理運営する団体に対し支援を行う。	19	補助金	2,694	
					計	2,694	
2							
					計	0	

予算書ページ	246
--------	-----

重点施策	—	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	07	商工費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	商工費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	03	観光費		基本施策	観光の振興
	事業	0107170	自然交流センター			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,514	0	0	0	0	3,514
前年度	3,546	0	0	0	0	3,546
増減額	△ 32	0	0	0	0	△ 32

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
 【目的】・豊かな水環境に触れ、自然体験ができるよう施設の管理運営を行なう。  
 【効果】・当施設の利用により、身近な自然に親しみ、親水空間とのふれあいの機会を提供し、地域コミュニティの形成また観光拠点として交流人口の拡大を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・指定管理者により自然体験交流センター「せせらぎ」の良好な管理運営を行なうとともに、施設の新たな有効活用方法について検討する。

**【詳細事業内訳】**  
 自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業 3,514千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	需用費	252	施設壁面等修繕				
		13	委託料	3,262	指定管理料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	自然体験交流センター「せせらぎ」の運営管理事業	施設の適正な維持管理を行うと共に、有効活用を図り、雄大な安曇野の自然景観と水環境を楽しんでもらい来訪者の滞在時間の延長を図る。	11	需用費	252	
				13	委託料	3,262	
					計	3,514	
2					計	0	



予算書ページ	256
--------	-----

重点施策	—	コード	010902300
		課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	03	河川費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	河川費		基本施策	観光の振興
	事業	0108170	水辺の楽校費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,264	0	0	0	0	1,264
前年度	1,242	0	0	0	0	1,242
増減額	22	0	0	0	0	22

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】・遊歩道の散策や貴重な資源である水に触れ、自然体験ができるよう施設の維持管理を行なう。  
 【効果】・恵まれた水と緑豊かな自然に包まれた環境を活かし、来訪者に自然とふれあう場を提供し、観光拠点として来訪者の市内での回遊性を高め、滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・御宝田水のふるさと公園の維持管理を行い、来訪者が自然に親しむ機会の提供を行う。

【詳細事業内訳】

御宝田水のふるさと公園の管理事業 1,264千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	411	施設管理用品、燃料費、機械修繕費				
12	役務費	10	草刈ボランティア作業等保険料				
13	委託料	652	公園整備業務委託				
14	使用料及び賃借料	191	重機借上料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	御宝田水のふるさと公園の管理事業	御宝田遊水池の草刈整備業務委託等を行い施設の適正な管理により豊かな親水空間を創出し、水辺環境との触れ合いの場を提供する。	13	委託料	652
					計	652
2					計	0

# 都市建設部

重点施策	—		コード	011001100		予算書ページ	248
			課・係等	監理課 庶務係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108010	土木総務費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	247,549	10,968	0	36,335	200,246
前年度	256,614	15,233	0	36,399	204,982
増減額	△ 9,065	△ 4,265	0	△ 64	△ 4,736

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路占用料	27,215	14	市道占用料督促手数料	1	21	その他雑入(都市建設部)	1	
14	道路占用料滞納繰越分	1	14	公共物占用料督促手数料	1					
14	公共物占用料	3,060	15	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	10,968					
14	公共物占用料滞納繰越分	1	21	有料道路割引回数券販売代	6,055					

【目的・効果】

【目的】

・社会資本ストックの的確な維持管理に努め、社会基盤の骨格となる幹線道路等の整備を推進する。

【効果】

・人、モノ、情報の交流が盛んになり、産業の振興、文化交流の促進、生活の利便性や災害時における安全性の向上が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・三才山トンネル等有料道路を利用する市民の負担軽減を図るため、割引通行券の販売を行う。
- ・市内建設業に係る技術者を育成し、経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行う。
- ・所管する公用車の維持管理、事務消耗品管理を行う。

【詳細事業内訳】

土木総務費 239,002千円 建設技術者等資格取得費補助金交付事業 1,280千円 有料道路通行料金負担軽減事業 7,267千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
02	給料	128,859	一般職(34人)	19	負担金補助及び交付金	1,280	建設技術者等資格取得費補助金交付事業
03	職員手当等	63,813	職員諸手当	27	公課費	185	公用車自動車重量税
04	共済費	41,725	職員共済組合納付金				
11	需用費	3,514	事務用品等・公用車修繕費及び燃料費				
12	役務費	820	公用車車検手数料・自賠償保険料				
14	使用料及び賃借料	7,267	有料道路割引回数券購入代				
18	備品購入費	86	事務用備品				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	有料道路通行料金負担軽減事業	三才山トンネル等有料道路を利用する通勤・通学・通院者に対し、「時間帯割引券」を販売し、利用者の負担軽減を図る。	14	使用料及び賃借料	7,267
					計	7,267
2	ソフト	建設技術者等資格取得費補助金交付事業	建設業者が負担する資格取得費用の1/2以内の額(上限10万円)を補助する。従業員の資格取得で、技術者が確保され公共事業の品質確保ができる。また、建設業者の負担軽減により雇用創出が期待できる。	19	負担金補助及び交付金	1,280
					計	1,280

予算書ページ	248
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108020	地籍管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,293	0	0	0	360	25,933
前年度	26,735	0	0	0	432	26,303
増減額	△ 442	0	0	0	△ 72	△ 370

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公図写等発行手数料	360							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国土調査法第21条第2項の規定に基づき、調査成果である土地台帳及び地籍複図(公図)を適正に管理する。  
**【効果】**  
 ・土地台帳、地籍複図(公図)については平成27年度から地籍管理システムを運用して市民への閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られている。また、本事業により更新する地籍情報は、本市GISシステムの基礎として利用されている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・法務局から送付される異動通知書を基に、地籍管理システムにより土地の分筆・合筆や所有権移転等のデータ更新を業務委託により行う。  
 ・安曇野市が行う市道及び水路等の改良事業により取得した公共用地の登記事務を行う。  
 ・道水路の管理者として、申請者からの申請に基づき、官民境界の確認事務を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 公共取得用地登記事務 10,675千円 土地台帳、公図管理事務 15,618千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
07	賃金	4,696	非常勤嘱託職員賃金								
09	旅費	29	職員研修旅費								
11	需用費	98	事務用品、参考図書等								
13	委託料	21,438	地籍管理システム土地異動更新業務委託、地図訂正等業務委託								
19	負担金補助及び交付金	32	職員研修負担金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	土地台帳、公図管理事務	法務局から送付される異動通知書に基づき、地籍情報のデータ更新を業務委託により行う。地籍管理システムにより、土地台帳・公図の閲覧を行っており、窓口対応の効率化が図られる。	13	委託料	15,618	
					計	15,618	
2					計	0	

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策	—	コード	011001100
		課・係等	監理課 庶務係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108040	道路橋梁総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,281	0	0	0	0	1,281
前年度	1,061	0	0	0	0	1,061
増減額	220	0	0	0	0	220

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、市内道路網の骨格をなす国県道の整備促進を図る。  
**【効果】**  
 ・市内国県道の整備促進が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・各種道路関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。

**【詳細事業内訳】**  
 道路関係同盟会事業 1,281千円

【一般財源増加理由】 あずさクーポン廃止に伴い、通常料金で算定したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	765	道路関係同盟会要望活動等旅費				
11	需用費	5	食糧費(協議会等賄い)				
13	委託料	18	要望活動に伴うバス運行委託料				
19	負担金補助及び交付金	493	道路関係同盟会等負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108050	道路橋梁管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,525	0	0	0	421	17,104
前年度	21,060	0	0	0	424	20,636
増減額	△ 3,535	0	0	0	△ 3	△ 3,532

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	道路占用料	385							
21	地図等交付代	36								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・道路法第28条の規定により、道路管理者は道路台帳を調整、保守しなければならないため、同法に基づき整備している道路台帳について、過年度工事に関わる箇所等の台帳更新業務を行う。  
**【効果】**  
 ・整備した台帳のデータは、道路行政の基礎的資料とするほか、台帳図は市のホームページにおいて閲覧を可能としている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・道路台帳管理システムの図面データ及び調書の補正更新を業務委託により行う。  
 ・道路・水路の適正利用を図るため、道路水路の管理事務を行う。  
 ・道路及び公共物に対する占用また自営工事等の申請について、その許認可事務と占用料金徴収事務を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 市道法定外公共物管理事務 385千円 道路台帳加除事業 17,140千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	29	職員研修旅費				
12	役務費	290	市道維持管理手数料				
13	委託料	17,140	道路台帳補正業務委託				
14	使用料及び賃借料	34	道路用地借地料				
19	負担金補助及び交付金	32	職員研修負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	道路台帳加除事業	道路台帳の調整と保守のため、過年度工事箇所等のデータ更新を業務委託する。台帳データは、道路行政の基礎的資料とするほか、台帳図はHP上で閲覧可能としている。	13	委託料	17,140	
					計	17,140	
2					計	0	

予算書ページ	250
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108060	道の駅維持管理			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,270	0	0	0	0	3,270
前年度	5,700	0	0	0	0	5,700
増減額	△ 2,430	0	0	0	0	△ 2,430

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・道の駅利用者の利便性の向上を図り、快適な休憩空間を提供する。  
**【効果】**  
 ・指定管理委託することで施設利用者の利便性の向上が図られると共に、職員の事務効率化が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 道の駅施設を隣接する堀金物産センター・農産物加工施設の管理者である農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合に指定管理委託を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 道の駅管理事務 3,270千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
13	委託料	3,270	指定管理委託料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	011001200
課・係等	監理課 国県事業推進担当

予算書ページ	254
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108090	県営新設改良事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,050	0	0	0	0	16,050
前年度	19,200	0	0	0	0	19,200
増減額	△ 3,150	0	0	0	0	△ 3,150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・市内危険箇所の防災工事を県が実施することで、災害に強いまちづくりを進める。
- ・市内道路網の骨格をなす国県道の整備を図る。

【効果】

- ・県営事業に対して、県と事業調整する中で、当該事業に係る地元負担金の一部を市が負担することで、市内危険箇所の改善及び道路網の整備促進が図られる。

※地元負担金(長野県建設工事事務処理規程(昭和51年3月3日50監第590号)による。)

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・急傾斜地崩壊対策、兼用側溝整備、県単道路改良事業に対して、事業費の一部を規程に基づき負担する。  
 急傾斜地崩壊対策事業(5%、10%)  
 兼用側溝整備事業(50%)  
 県単道路改良事業(15%)

【詳細事業内訳】

県営新設改良事業負担金 16,050千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	16,050	県営新設改良事業負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



重点施策	(6)		コード	011001100		予算書ページ	256
			課・係等	監理課 庶務係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち	
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進	
	事業	0108130	河川総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	13,085	0	0	0	80	13,005
前年度	11,481	0	0	0	80	11,401
増減額	1,604	0	0	0	0	1,604

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	取水占用料	80							

**【目的・効果】**  
**【目的】**(河川関係同盟会等)  
 ・関係市町村と同盟会活動を行うことで、河川の整備促進を図る。  
**【効果】**  
 ・市内河川の整備促進が図られる。  
**【目的】**(万水川内水対策)  
 ・万水川下流域の治水安全度向上を図る。  
**【効果】**  
 ・周辺住民の安全と農水産物の被害軽減が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・各種河川関係の同盟会負担金を納入し、同盟会要望活動により事業を推進する。  
 ・万水川内水対策(案)の策定に必要な測量調査業務を実施する。

**【詳細事業内訳】**  
 内水対策事業 11,816千円 河川関係同盟会事業 1,269千円

【一般財源増加理由】 万水川内水対策(案)策定に伴う測量調査業務委託費増のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	223	河川関係同盟会要望活動等旅費				
13	委託料	11,816	万水川内水対策(案)策定に伴う測量調査業務委託				
19	負担金補助及び交付金	1,046	河川関係同盟会負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフトハード	内水対策事業	万水川下流域の内水対策(案)の策定を進めることにより、ハードによる内水被害の最小化とソフトによる自主避難体制の構築の相乗効果により地域住民の安全安心な地域づくりが図られる。	13	委託料	11,816
					計	11,816
2					計	0

予算書ページ	258
--------	-----

重点施策	—	コード	011001300
		課・係等	監理課 管理登記担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	治山・治水事業の推進
	事業	0108140	河川管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	515	0	0	0	515	0
前年度	515	0	0	0	515	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	取水占用料	515							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市内の準用河川等について地元区、河川愛護会の協力を得て、河川環境の保全を図る。  
**【効果】**  
 ・河川内の除草・清掃作業を通じて、地元住民の河川環境保全意識の高揚が期待される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 地元区及び河川愛護会の協力を得て河川の除草・清掃作業を行い河川環境の保全に努めるほか、地域の河川愛護の意識の向上を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 河川管理愛護事務 515千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	515	河川除草清掃等手数料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—		コード	011001200		予算書ページ	254
			課・係等	監理課 国県事業推進担当			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108230	国県事業推進費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	860	102	0	0	0	758
前年度	625	157	0	0	0	468
増減額	235	△ 55	0	0	0	290

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	102							

**【目的・効果】**  
**【目的】**(国道19号明科駅前歩道整備事業)  
 ・国、県事業の円滑な推進を図るため、国、県と地元の調整及び、必要な調査等行う。  
**【効果】**  
 ・主要幹線道路である国、県道の整備が進むことで、安全、安心な生活環境が確保される。  
**【目的】**(地域特性に配慮した警戒避難体制づくり)  
 ・地域特性(区)に配慮した警戒避難体制の構築を図る。  
**【効果】**  
 ・地域住民が主体となって、警戒避難体制を構築することにより、地域特性に応じた自主避難体制が構築される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業の促進を図るため、国との委託契約による用地事務を行う。また、事業促進のため国への要望活動を行う。  
 ・地域特性に配慮した警戒避難体制づくりの支援を行う。(リーフレットの作成)

**【詳細事業内訳】**  
 国県事業推進事業 860千円

【一般財源増加理由】 あずさクーポン廃止に伴い、通常料金で算定したため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	664	国道19号明科駅前歩道整備事業要望及び、国県事業用地交渉旅費				
11	需用費	136	警戒避難体制マップ印刷				
12	役務費	49	郵送料				
14	使用料及び賃借料	11	要望活動事業費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	011002200		予算書ページ	248
			課・係等	建設課 維持担当			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	土木管理費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	01	土木管理費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108030	建設機械管理費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,967	0	0	0	2,967
前年度	3,030	0	0	0	3,030
増減額	△ 63	0	0	0	△ 63

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・道路ストックの適切な維持を進めるための維持作業車や機械器具を良好な状態に保つため、点検・整備を行う。  
**【効果】**  
 ・安全な維持作業及び緊急時の円滑な対応による、市道の安全性の確保と利便性の向上が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・道路維持作業車(11台)の法定点検及び車両整備の実施と機械器具類の保守を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 道路維持作業車整備事業 2,967千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	1,820	維持作業車トラックタイヤ、燃料、車両点検時の修繕				
12	役務費	864	点検手数料、自賠責保険料				
27	公課費	283	自動車重量税				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	252
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進
	事業	0108070	道路橋梁維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	297,864	0	0	36,000	230,000	31,864
前年度	334,470	0	0	36,000	259,700	38,770
増減額	△ 36,606	0	0	0	△ 29,700	△ 6,906

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	道路復旧費原因者負担金	30,000							
19	公共施設整備基金繰入金	200,000								
22	道路橋梁維持事業(長寿命化)	36,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・一般交通に支障を及ぼさないよう、安全・安心な道路環境を提供する。  
**【効果】**  
 ・道路利用者に安全・安心な道路環境が提供できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・道路パトロールの実施により、危険個所の早期解消を進める。  
 ・道路の路面、道路側溝等の傷んだ部分の維持修繕工事を行う。  
 ・道路占用工事完了後の舗装本復旧工事を行う。  
 ・市道の路面清掃、草刈り、街路樹管理、側溝清掃等の道路環境整備を行う。  
 ・地区で行う道路整備活動に必要な原材料を支給する。

**【詳細事業内訳】**  
 道路橋梁維持事業 289,550千円 道路維持総務費 8,314千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,738	臨時職員賃金						
11	需用費	5,489	消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費						
12	役務費	131	携帯電話通信料						
13	委託料	24,760	道路管理業務委託、一般廃棄物処分、計画調査・測量業務委託、設計業務委託						
14	使用料及び賃借料	446	作業機械借上、現場状況報告システム使用						
15	工事請負費	260,000	道路維持修繕、道路占用路面復旧、市単舗装修繕(長寿命化)						
16	原材料費	3,300	道路補修用資材、資材支給						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路橋梁維持事業	一般交通に影響を及ぼさないよう、道路を常時良好な状態に保つよう維持管理を行う。道路利用者に安全・安心な道路環境が提供される。	15	工事請負費	260,000
				13	委託料	24,700
				16	原材料費	3,300
					需用費 外	1,550
					計	289,550
2					計	0

重点施策	—		コード	011002200		予算書ページ	252
			課・係等	建設課 維持担当			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	01	道路橋梁維持費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108080	除雪対策費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	142,059	16,008	0	0	126,051
前年度	112,286	0	0	0	112,286
増減額	29,773	16,008	0	0	13,765

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	道路改良費補助金	16,008							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・除雪計画に基づき、通勤通学や物流に欠かせない主たる市道において、降雪・積雪による交通障害を防止するため除融雪作業を行い、安全・安心な道路環境を提供する。  
**【効果】**  
 ・降雪や積雪による交通遮断防止により、市内の産業、経済活動と市民生活の安定が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・除雪、排雪、融雪業務を委託する。  
 ・除雪車両管理と法定点検、車両整備を行う。  
 ・除雪業務で不足する除雪用タイヤドーザを借上げる。  
 ・除融雪指定路線以外の地域に密着している生活道路や歩道の除雪は、地域の協力により行う。  
 ・各区へ歩行型除雪機を貸与する。また、凍結防止剤の配布を行う。  
 ・老朽化した塩カル散布車の更新。

**【詳細事業内訳】**  
 除雪融雪事業 142,059千円

【一般財源増加理由】 穂高地域配備の塩カル散布車更新のため。除雪業務を委託するにあたり、不足する機械を借上げるため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	20,310	凍結防止剤、除雪車消耗品、除雪車燃料費、除雪車修繕費				
12	役務費	2,895	降雪量調査費、除雪車量法定点検費、除雪ボランティア保険料、除雪車自賠責保険料				
13	委託料	68,463	除雪業務委託、融雪業務委託				
14	使用料及び賃借料	20,691	除雪ドーザ借上げ				
18	備品購入費	29,588	歩行型除雪機、塩カル散布車				
27	公課費	112	塩カル散布車重量税				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	除雪融雪事業	市道1,687kmのうち、除雪路線874km、融雪路線105kmを指定し、除融雪に係る業務を委託する。降雪や積雪による交通障害を防止し、市民生活の利便性と安全性が確保できる。	13	委託料	68,463
				18	備品購入費	29,588
				14	使用料及び賃借料	20,691
					需用費 外	23,317
					計	142,059
2					計	0

重点施策	—		コード	011002100		予算書ページ	254
			課・係等	建設課 建設担当			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108100	市道新設改良事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	533,320	0	0	228,000	250,000	55,320
前年度	523,257	0	0	152,000	300,000	71,257
増減額	10,063	0	0	76,000	△ 50,000	△ 15,937

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	公共施設整備基金繰入金	250,000							
22	市道新設改良事業	228,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・道路は、暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であることから、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。  
**【効果】**  
 ・地域間を結ぶ重要路線の整備により、地域間の連携強化が図られる。  
 ・生活道路の整備により、安全・安心な生活環境が構築される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・生活道路の整備(継続:15路線、新規5路線)を進める。  
 ・幹線道路の整備(合併特例債事業3路線)を進める。

**【詳細事業内訳】**  
 市道新設改良事業(市単独) 290,000千円 道路改良総務費 3,320千円 市道新設改良事業(合併特例債) 240,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	51	用地交渉	19	負担金補助及び交付金	330	技術研修会負担金
11	需用費	812	測量関係消耗品、物品修繕費	22	補償補填及び賠償金	176,000	物件移転補償費
12	役務費	680	携帯電話料、測量機器検査手数料及び不動産鑑定料外				
13	委託料	24,319	測量設計、用地測量及び補償調査費				
14	使用料及び賃借料	1,128	土木積算システム使用料				
15	工事請負費	280,000	道路改良工事費				
17	公有財産購入費	50,000	用地買収費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(市単独)	生活道路を拡幅することにより、安全・安心な道路環境を構築する。	15	工事請負費	200,000
				22	補償補填及び賠償金	50,000
				13	委託料	20,000
				17	公有財産購入費	20,000
					計	290,000
2	ハード	市道新設改良事業(合併特例債)	幹線道路の整備、歩道の整備をすることにより、安全・安心な道路環境を構築する。	22	補償補填及び賠償金	126,000
				15	工事請負費	80,000
				17	公有財産購入費	30,000
				13	委託料	4,000
					計	240,000

重点施策	—		コード	011002100		予算書ページ	256
			課・係等	建設課 建設担当			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	02	道路橋梁費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	02	道路橋梁新設改良費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	441,000	233,150	0	183,000	0	24,850
前年度	482,700	263,780	0	184,800	0	34,120
増減額	△ 41,700	△ 30,630	0	△ 1,800	0	△ 9,270

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	道路改良費補助金	233,150							
22	市道新設改良事業	183,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・道路は暮らしの向上や観光を含む産業の発展を支える上で必要不可欠な社会基盤であり、安全性の確保や利便性の向上に向けて道路整備を進める。  
 ・舗装修繕維持管理計画、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、損傷の激しい道路舗装や橋梁の修繕を行う。  
 ・橋梁点検は、平成26年7月の道路法施行規則改正に伴い、『5年に1回の頻度で近接目視による点検』が義務付けられ、市内全ての道路橋を対象として、平成31年度からは2巡目の点検を進める。  
**【効果】**  
 ・幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、地域間の連携強化が図られる。  
 ・橋梁長寿命化計画に基づく橋梁の修繕、舗装維持管理計画に基づく舗装の修繕により、安全・安心な道路環境が構築される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・社会資本整備総合交付金を活用し、幹線道路、歩道等の整備、橋梁、舗装修繕を進める。  
 改良事業 穂高1級6号線(穂高)  
 歩道設置 豊科1345号線(新田)・豊科1級24号線(細萱)・豊科1級29号線(真々部他)  
 橋梁修繕 橋梁定期点検・三郷1級5号線(二木山道橋)外3橋の補修工事  
 舗装修繕 豊科1級23号線外3路線舗装修繕工事

**【詳細事業内訳】**  
 市道新設改良事業(交付金) 228,000千円 道路橋梁修繕事業(交付金) 213,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	70,000	測量設計・用地測量・補償調査費、舗装及び橋梁調査委託、橋梁修繕設計委託				
15	工事請負費	286,000	道路改良、歩道整備費、舗装修繕、橋梁修繕費				
17	公有財産購入費	25,000	用地買収費				
22	補償補填及び賠償金	60,000	物件移転補償費				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市道新設改良事業(交付金)	道路整備推進計画に基づく、幹線道路の整備や歩道等安全施設の整備により、安全・安心な道路環境が構築される。	15	工事請負費	118,000
				22	補償補填及び賠償金	60,000
				13	委託料	25,000
				17	公有財産購入費	25,000
					計	228,000
2	ハード	道路橋梁修繕事業(交付金)	法的義務の橋梁定期点検を進め、健全性の評価を行い、道路施設の安全性が確保される。 また、点検に基づく補修工事を計画的に進める。	15	工事請負費	168,000
				13	委託料	45,000
					計	213,000



予算書ページ	256
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	02	道路橋梁費		基本方針	災害に強いまち
	目	03	交通安全施設費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0108120	交通安全施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	26,400	0	0	0	0	26,400
前年度	29,100	0	0	0	0	29,100
増減額	△ 2,700	0	0	0	0	△ 2,700

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・交通安全施設を適切に維持・設置し、交通上の安全確保を図り、安全・安心な道路環境を提供する。

【効果】

・安全で安心して利用できる道路環境が提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・交通安全施設の設置、維持補修を行う。
- ・施設損傷の小破修繕
- ・区画線等路面表示の整備

【詳細事業内訳】

交通安全施設整備事業 26,400千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,500	道路反射鏡ほか損傷による修繕				
15	工事請負費	24,900	交通安全施設の設置及び維持補修・区画線等の路面表示				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	交通安全施設整備事業	交通安全施設の設置及び維持補修を行うことにより、安全・安心な道路環境が提供できる。	15	工事請負費	24,900
				11	需用費	1,500
					計	26,400
2					計	0

予算書ページ	258
--------	-----

重点施策	—	コード	011002200
		課・係等	建設課 維持担当

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	河川費		基本方針	災害に強いまち
	目	01	河川費		基本施策	防災体制の充実
	事業	0108160	河川維持費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	69,625	0	2,700	0	10,000	56,925
前年度	16,471	0	0	0	0	16,471
増減額	53,154	0	2,700	0	10,000	40,454

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	県単河畔林整備補助金	2,700							
19	公共施設整備基金繰入金	10,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・災害に強い河川環境を維持する。  
 ・水防倉庫等の施設管理と水防資機材の充足を図る。  
**【効果】**  
 ・災害に強い河川環境の提供、出水時など災害への迅速な対応が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・河川構造物の維持管理を行う。  
 ・河川の流下能力が損なわれないよう、除草、支障木の除間伐、堆積土の排除を行う。  
 ・水防倉庫等の施設管理及び水防資機材を備蓄を進める。  
 ・所管施設(上原建設課倉庫)の解体、新築を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 水防倉庫施設管理事業 1,564千円 河川維持事業 15,290千円 水防倉庫改修事業 52,771千円

【一般財源増加理由】 公共施設再配置計画に基づき、所管施設(上原建設課倉庫)の解体、新築に着手するため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	1,357	災害応急資材・倉庫資材消耗品、倉庫・河川施設小破修繕、光熱水費				
12	役務費	404	排水ポンプ保守点検、倉庫新築建築確認手数料、天井クレーン定期自主点検				
13	委託料	8,419	施設管理委託料、倉庫解体・新築設計監理委託料、消防用設備点検、廃棄物処分委託料				
15	工事請負費	59,052	小規模補修、河床整備、倉庫解体・新築工事				
16	原材料費	283	水防資材 洗滌砂				
19	負担金補助及び交付金	110	倉庫新築に伴う上水道加入分担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	河川維持事業	河川の流下能力が損なわれないように、除草、支障木除去及び堆積土砂の排除を行う。	15	工事請負費	8,095
				13	委託料	6,797
				12	役務費	245
				11	需用費	153
					計	15,290
2	ハード	水防倉庫改修事業	倉庫を新築することにより、従来から保管していた資材のほか、水防資材の備蓄が可能となる。	15	工事請負費	50,957
				13	委託料	1,508
				19	負担金補助及び交付金	110
				11	需用費	99
					計	52,674

重点施策	—		コード	011002100		予算書ページ	356
			課・係等	建設課 建設担当			
予算	款	11	災害復旧費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	01	土木施設災害復旧費		基本方針	利便性の高いまち	
	目	01	道路災害復旧費		基本施策	道路整備の推進	
	事業	0111010	道路災害復旧事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,500	0	0	0	0	1,500
前年度	2,000	0	0	0	0	2,000
増減額	△ 500	0	0	0	0	△ 500

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・市が管理している公共土木施設(道路、河川)が、異常気象で被災した場合に施設機能の早期の復旧を進める。

【効果】

・公共土木施設(道路、河川)を早期に機能回復する事により、市民の生命・財産を守ると共に、地域の生活環境が確保される。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・異常気象により生じた災害について、早急に復旧工事を進める。

【詳細事業内訳】

道路災害復旧事業 1,500千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	500	測量設計・用地測量・補償調査費				
15	工事請負費	1,000	災害復旧工事費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	道路災害復旧事業	道路の災害復旧工事を行うことで、沿線住民の安全・安心が確保される。	15	工事請負費	1,000
				13	委託料	500
					計	1,500
2					計	0

重点施策	—		コード	011003100		予算書ページ	260
			課・係等	都市計画課 計画係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち	
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進	
	事業	0108180	都市計画総務費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	218,938	0	0	0	25,418	193,520
前年度	254,824	0	2,551	0	33,654	218,619
増減額	△ 35,886	0	△ 2,551	0	△ 8,236	△ 25,099

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公営住宅使用料	25,382							
21	都市計画図等交付代	36								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・秩序ある土地利用を推進し、生活基盤や経済基盤等の整備を図りつつ、市の均衡ある発展と適正かつ合理的な土地利用に努め、計画的なまちづくりを推進する。  
**【効果】**  
 ・豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守りつつ、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを推進することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・平成30年度に修正を行った1/2,500都市計画基本図に引き続き、1/25,000都市計画用途図を修正する。  
 ・2021年度に予定している土地利用基本計画の変更に向け、現行制度の評価・検証を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 都市計画総務費 210,928千円 土地利用制度 8,010千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	462	都市計画審議会委員報酬、土地利用審議会委員報酬	13	委託料	14,451	都市計画用途図修正、土地利用検証
02	給料	111,902	一般職(31人)	14	使用料及び賃借料	514	会議室借上げ料、土木積算システム使用料
03	職員手当等	54,460	職員諸手当	19	負担金補助及び交付金	662	都市計画協会等負担金、都市計画実務研修負担金
04	共済費	35,654	職員共済組合納付金				
08	報償費	120	制度評価委員会委員出席謝礼				
09	旅費	567	職員旅費、都市計画審議会等委員費用弁償				
11	需用費	146	法規等追録、大型プリンター用紙				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	土地利用制度	恵まれた自然や美しい景観をまもり、活かしながら、秩序ある発展を継続することにより、誰もが住みたい、働きたい、と思えるまち、訪れてみたいと感じてもらえるまちをつくり、育て、次の世代に受け継ぐ。	01	報酬	294
				09	旅費	108
				13	委託料	7,560
				14	使用料及び賃借料	48
					計	8,010
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011003200
課・係等	都市計画課 都市整備係

予算書ページ	264
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108210	街路整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	108,702	58,411	0	43,000	0	7,291
前年度	95,360	49,885	0	36,700	0	8,775
増減額	13,342	8,526	0	6,300	0	△ 1,484

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	社会資本整備総合交付金(街路分)	58,411							
22	街路事業	43,000								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・都市の骨格を形成し、安全で安心な市民生活と機能的な都市活動を確保するため、都市計画道路吉野線の整備を行う。  
**【効果】**  
 ・両側歩道を整備することにより豊科南小学校や県立豊科高校の通学路としての安全性が高まる。  
 ・豊科地域の中心市街地の外郭道路が整備され、市街地および沿線街区からの交通の円滑化につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・平成31年度は、安曇野建設事務所が施工する国道147号本吉町交差点改良工事に合わせ、国道側から改良工事を進める。また、未取得の用地交渉を進める。

**【詳細事業内訳】**  
 街路整備事業(交付金) 108,702千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		13	委託料	6,678	用地測量・補償調査・設計業務				
		15	工事請負費	44,524	道路改良工事				
		17	公有財産購入費	6,500	用地買収費				
		22	補償補填及び賠償金	51,000	物件移転補償費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	街路整備事業(交付金)	機能的な都市を形成するため、都市計画道路の整備を行う。通学路の安全対策と、中心市街地の円滑な交通が確保される。	13	委託料	6,678
				15	工事請負費	44,524
				17	公有財産購入費	6,500
				22	補償補填及び賠償金	51,000
					計	108,702
2					計	0

重点施策	(5)	コード	011003200			
		課・係等	都市計画課 都市整備係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	02	街路事業費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108211	都市再生整備計画事業(都市整備分)			

予算書ページ	264
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	388,081	174,636	0	192,100	0	21,345
前年度	251,000	62,800	0	84,700	50,000	53,500
増減額	137,081	111,836	0	107,400	△ 50,000	△ 32,155

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	都市再生整備計画事業	174,636							
22	都市再生整備計画事業	192,100								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業と合せた既存商店街の環境整備や自然環境を活用したまちづくりを推進するため、駅前広場整備、道路整備、街路灯整備、公園整備等を行う。  
 ・本格的な人口減少社会を迎え、駅周辺の利便性が高いコンパクトなまちづくりを進める。  
**【効果】**  
 ・市街地道路の整備をはじめ、地域の特性を活かしたまちづくりや、商店街の活性化が図られる。また、市民の利便性が向上し、持続可能な都市が形成される。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・関係者との事業調整及び交渉を行う。また、明科駅前広場の工事着手に向けた調整を行う。  
 ・国道19号明科駅前歩道整備事業の進捗に合わせ、駅前広場工事の一部に着手する。  
 ・龍門淵公園・あやめ公園のトイレ改修工事を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 都市再生整備計画事業(明科駅周辺) 388,081千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
12	役務費	30	上下水道設計審査・しゅん工検査手数料							
13	委託料	32,957	測量設計・補償調査業務							
15	工事請負費	86,530	駅前広場工事、公園施設改修工事							
17	公有財産購入費	39,150	用地買収費							
22	補償補填及び賠償金	229,414	物件移転補償費							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	明科駅周辺地区整備により、「安曇野市の東の玄関口」として、活力あるまちづくりを推進する。	13	委託料	32,957	
				15	工事請負費	86,530	
				17	公有財産購入費	39,150	
					その他	229,444	補償金、手数料
					計	388,081	
2					計	0	

重点施策	—		コード	011003300		予算書ページ	266
			課・係等	都市計画課 公園緑地係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち	
	目	03	公園事業費		基本施策	良質な住環境の整備	
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	247,504	20,000	0	18,000	17,831	191,673
前年度	600,422	175,500	0	157,900	55,986	211,036
増減額	△ 352,918	△ 155,500	0	△ 139,900	△ 38,155	△ 19,363

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科南部総合公園テニスコート使用料	3,600	15	社会資本整備総合交付金(公園分)	20,000	21	碌山公園研成ホール雑入	1	
14	碌山公園使用料	1,900	18	ふるさと寄附金	12,000	21	講座参加料	65		
14	室山アグリパーク施設使用料	200	21	常念ふれあい公園太陽光発電売電	5	22	都市公園事業	18,000		
14	都市公園使用料	40	21	室山アグリパーク自販機電気料	20					

【目的・効果】

【目的】

・安曇野市公園施設長寿命化計画に沿って公園施設の計画的な修繕及び更新を行う。また、日頃のパトロールや遊具点検等により不具合箇所を早期に把握し、市民の安全・安心な公園利用を図る。  
 ・緑の基本計画に沿った施策を実施し、緑を活かして、緑の恵みを感じ、美しい緑を未来につなげる。  
 ・都市緑化信州フェアを開催し、市民の緑化に対する機運の醸成を図り、都市緑化に関する意識の高揚、知識の普及等を図る。

【効果】

・公園を良好に維持することにより、地域住民の憩い・交流・レクリエーションの場所となり、また景観・防災面における機能が向上する。  
 ・都市緑化信州フェアの開催により、多くの来場者に安曇野を訪れていただいで、都市緑化の推進や花緑をつなぎ役とした交流を生み出し、緑豊かで活気あるまちづくりに寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・公園の清掃、除草、芝生管理等維持作業を地元団体、シルバー人材センター、専門業者に委託する。  
 ・公園施設長寿命化対策支援事業と市単独事業により、老朽化した公園施設の補修、更新、バリアフリー化を図る。  
 ・第36回全国都市緑化信州フェアの実行委員会負担金を支出、サテライト会場等の企画・運営を行う。

【詳細事業内訳】

公園総務費 87,168千円 都市公園管理事業 58,027千円 その他公園管理事業15,479千円 公園施設長寿命化事業 86,830千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	507	臨時職員賃金			15	工事請負費	64,792	長寿命化対策支援事業等工事費		
08	報償費	75	自然観測会等講師謝礼、三郷文化公園リングの木剪定謝礼			16	原材料費	510	砂場用砂、龍門淵・あやめ公園客土、その他		
09	旅費	52	職員研修旅費			18	備品購入費	196	テニスコート防風ネット		
11	需用費	25,288	公園維持に関わる消耗品、施設修繕費、光熱水費、その他			19	負担金補助及び交付金	90,421	全国都市緑化信州フェア実行委員会負担金、市実行委員会負担金、公園愛護会報奨金、その他		
12	役務費	270	豊科南部総合公園・碌山公園研成ホール電話料、その他			23	償還金、利子及び割引料	30	使用料還付金		
13	委託料	57,620	公園管理委託料、設計監理委託料、その他								
14	使用料及び賃借料	7,743	公園敷地賃借料、借上料、その他								

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公園施設長寿命化事業	老朽化により不具合の生じている公園施設の補修・更新を行い、一般市民はもとより子供と子育て中の親の安心・安全、快適な公園利用を図る。	11	需用費	13,000
				13	委託料	9,038
				15	工事請負費	64,792
					計	86,830
2					計	0

予算書ページ	268
--------	-----

重点施策	—	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108240	都市下水道維持管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,222	0	0	0	0	2,222
前年度	2,268	0	0	0	0	2,268
増減額	△ 46	0	0	0	0	△ 46

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・都市施設である都市下水道及び、潮雨水ポンプ場の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ・市街地において適切な排水機能が確保される。  
 ・豪雨時にポンプ場が適切に機能する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・豊科地域の都市下水道については、草刈り、土砂排除等の維持管理を、地域の農事組合へ委託する。  
 ・潮雨水ポンプ場は点検等のメンテナンスを業務委託する。

**【詳細事業内訳】**  
 都市下水道維持管理費(市単独) 2,222千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		11	需用費	258	潮ポンプ場修繕費、電気料、燃料代				
		13	委託料	1,173	都市下水道管理委託、潮ポンプ場管理委託				
		15	工事請負費	791	都市下水道維持工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	都市下水道維持管理費(市単独)	都市下水道の排水機能を確保するため、維持管理を行う。適切な排水機能が確保される。	11	需用費	258
				13	委託料	1,173
				15	工事請負費	791
					計	2,222
2					計	0



重点施策	—	コード	011003200
		課・係等	都市計画課 都市整備係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	04	都市下水道事業費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108250	市街地排水路改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,949	0	0	0	0	8,949
前年度	9,388	0	0	0	0	9,388
増減額	△ 439	0	0	0	0	△ 439

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・拠点市街区域の水路改修や維持補修等を行うことで、住環境の向上を図る。  
**【効果】**  
 ・住環境整備が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・地元からの要望に対し、緊急度を加味して市街地排水路の改修及び漏水等の維持管理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 市街地排水路改修事業(市単独) 8,949千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		13	委託料	500	測量設計業務委託				
		15	工事請負費	8,349	水路改修・維持工事				
		16	原材料費	100	水路維持原材料支給				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	市街地排水路改修事業(市単独)	住環境整備のため、排水路の改修を行う。市街地排水路の機能が向上する。	13	委託料	500
				15	工事請負費	8,349
				16	原材料費	100
					計	8,949
2					計	0

重点施策	—		コード	011004100		予算書ページ	260
			課・係等	建築住宅課 建築景観係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち	
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち	
	目	01	都市計画総務費		基本施策	景観の保全と育成の推進	
	事業	0108190	景観整備事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,411	0	0	0	635	13,776
前年度	13,638	0	0	0	150	13,488
増減額	773	0	0	0	485	288

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	屋外広告物許可手数料	635							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・景観条例、屋外広告物条例の適正な運用を図る。  
 ・景観づくり住民協定の活動支援と住宅地の緑化推進を図る。  
**【効果】**  
 ・よい景観をつくることで、市民の暮らしの満足度や充実感を高めることが期待できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・景観及び屋外広告物の手続きに関し、窓口において適切な案内と指導を行うとともに、定期パトロールを実施する。  
 ・「緑のまちづくり事業」として記念樹(苗木)の配布及び生垣設置、ブロック塀撤去に対する補助を行う。  
 ・景観づくり住民協定に対する支援として、活動・運営の補助を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 景観整備事業 3,449千円 景観育成団体支援事業 3,108千円 緑のまちづくり事業 7,854千円

【一般財源増加理由】 景観計画改定に伴う委託料増のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	137	景観審議会委員報酬				
07	賃金	1,797	臨時職員賃金				
08	報償費	172	景観住民協定連絡会総会・役員会謝礼				
09	旅費	77	職員研修旅費、景観審議会委員旅費				
11	需用費	78	事務用品、参考図書				
13	委託料	1,218	環境フェアブース等作製、景観計画改定業務				
19	負担金補助及び交付金	10,932	住民協定補助金、記念樹配布、生垣補助金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	緑のまちづくり事業	住宅地の緑化向上のため、大切な出来事の記念として記念樹の配布を行う。また、生垣設置やこれに併せブロック塀等を撤去する場合に補助金の交付を行う。心地よいまち並みが形成されるとともに、震災時のブロック塀等倒壊の危険を軽減することができる。	19	負担金補助及び交付金	7,854
					計	7,854
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011004200
課・係等	建築住宅課 開発調整係

予算書ページ	262
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	秩序あるまちづくりの推進
	事業	0108200	土地利用調整事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	47,081	0	0	0	0	47,081
前年度	47,083	0	0	0	38,000	9,083
増減額	△ 2	0	0	0	△ 38,000	37,998

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・安曇野の豊かな自然環境や景観、歴史・文化を守り、暮らしやすさと産業発展のバランスが取れた田園産業都市づくりを進めるため、土地の適正かつ合理的な利用を推進する。  
 ・土地利用基本計画で定める拠点市街区域、準拠点市街区域及び田園居住区域へ新たに住宅を新築又は新築住宅の購入をして居住する者に支援を行うことにより、対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりを進める。  
**【効果】**  
 ・秩序ある発展を継続することにより、暮らしやすさと産業発展のバランスがとれた田園産業都市づくりが図られる。  
 ・拠点集約型のコンパクトなまちづくりを推進することにより、将来的な行政コストの抑制が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・市民や開発事業者に対し、資料等を用いてより分かりやすく丁寧な説明をする。  
 ・係内で情報を共有することにより、土地利用制度の適正な運用を図る。  
 ・対象区域において新たに住宅を新築又は新築住宅を購入し住民登録をした者へ補助金(200千円/戸)を交付する。また、市外からの転入者・未就学児に対しては補助金を加算する。

**【詳細事業内訳】**  
 土地利用調整事業 381千円 拠点地域等住宅購入費助成事業 46,700千円

【一般財源増加理由】 事業費はほぼ前年同額だが、ふるさと寄附金等の充当が見込まれないため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	48	職員研修旅費				
11	需用費	90	事務用品・参考図書				
14	使用料及び賃借料	52	窓口案内用パソコン賃借料				
19	負担金補助及び交付金	46,891	拠点地域等住宅購入費助成				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	拠点地域等住宅購入費助成事業	対象区域において新たに住宅を新築又は新築住宅を購入し住民登録をした者へ補助金(200千円/戸)を交付することにより、対象区域への居住誘導を促し拠点集約型のコンパクトなまちづくりが図られる。 また、市外からの転入者・未就学児を対象に補助金を加算することで、若い世代の転入促進が図られる。	19	負担金補助及び交付金	46,700	
					計	46,700	
2							
					計	0	

重点施策	(5)	コード	011004300			
		課・係等	建築住宅課 住宅係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108205	耐震化推進事業			

予算書ページ	262
--------	-----

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	28,229	7,350	10,425	0	10,454
前年度	48,438	17,947	13,540	0	16,951
増減額	△ 20,209	△ 10,597	△ 3,115	0	△ 6,497

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	7,350							
16	住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	10,425								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市内の既存建築物の耐震性能を確保するため、昭和56年5月31日以前に建設された住宅・建築物の耐震診断の実施と、その結果に基づく耐震改修を促進する。  
**【効果】**  
 ・耐震性能の向上を図ることで今後予想される地震災害から市民の生命・財産が守られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・昭和56年5月31日以前に建設された木造戸建住宅所有者の申し出により、市が耐震診断士を無料で派遣する。また、木造戸建以外の住宅については、耐震診断・耐震設計を実施する所有者に対して補助を行う。  
 ・耐震診断の結果、耐震性が低い住宅において一定の効果のある耐震補強工事に対する補助を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 住宅・建築物耐震改修促進事業 28,229千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
		12	役務費	29	耐震改修フォローアップ等通知郵送料				
		13	委託料	3,200	診断士による木造住宅等耐震診断業務委託				
		19	負担金補助及び交付金	25,000	耐震補強工事補助金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	住宅・建築物耐震改修促進事業	耐震診断により住宅の安全性を確認し、診断結果により実施する耐震補強工事に対して補助を行う。市内の住宅の耐震化を進めることで、市民の生命・財産が守られる。	19	負担金補助及び交付金	25,000
				13	委託料	3,200
				12	役務費	29
					計	28,229
2					計	0

予算書ページ	262
--------	-----

重点施策	—	コード	011004300
		課・係等	建築住宅課 住宅係

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	都市計画総務費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108207	災害危険住宅移転事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	802	401	200	0	0	201
前年度	3,992	1,996	998	0	0	998
増減額	△ 3,190	△ 1,595	△ 798	0	0	△ 797

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	災害危険住宅移転事業補助金	401							
16	災害危険住宅移転事業補助金	200								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律に基づき知事が指定した土砂災害特別警戒区域に存する既存不適格住宅で、生活の本拠を有する住宅の除却、解体又はひき家を行い、土砂災害特別警戒区域から住宅を移転を行う。  
**【効果】**  
 ・土砂災害による住宅等の被害から、市民の生命・財産が守られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 30年度に移転先の住宅を建築したため、既存住宅の除却費に対して補助を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 災害危険住宅移転事業 802千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	802	災害危険住宅移転事業補助金(除却補助)								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	(5)	コード	011004300			
		課・係等	建築住宅課 住宅係			
予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	05	住宅費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	住宅管理費		基本施策	良質な住環境の整備
	事業	0108290	住宅管理費			

予算書ページ	270
--------	-----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	39,820	5,953	0	0	33,867	0
前年度	54,379	8,258	0	0	46,121	0
増減額	△ 14,559	△ 2,305	0	0	△ 12,254	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	公営住宅使用料	30,079	14	公営住宅滞納督促手数料	1	21	住宅防火施設整備補助金	262	
14	公営住宅駐車場使用料	3,280	15	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	5,953					
14	公営住宅使用料滞納繰越分	1	21	太陽光発電売電等	242					
14	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	1	21	市営住宅等一時使用料	1					

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・安全で快適に暮らせる住環境を確保するため、市営住宅14か所、特定公共賃貸住宅2か所の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ・住宅に困窮する低額所得者に対し、市営住宅を低廉な家賃で賃貸することで、セーフティーネットの役割を持ち、市民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・入居の募集、入居決定、入退去の立会いを行う。  
 ・入居者が快適に生活できるよう、建物、遊具、敷地内全般の維持管理・修繕を実施する。  
 ・県営住宅アルプス団地協働建替え事業の5号棟の完成に向け、移転可能な市営住宅入居者の移転を行う。  
 ・居住水準を満たさない住宅の計画的な改善及び効率的な維持管理をするために、「安曇野市公営住宅等長寿命化計画」に整備計画を盛り込む。

**【詳細事業内訳】**  
 公営住宅等維持管理事業 16,868千円 公営住宅等長寿命化事業 22,532千円 公営住宅整備事業 420千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	32	職員研修旅費						
11	需用費	11,861	施設修繕費、参考図書、電気料						
12	役務費	708	遊具点検、施設点検等手数料、火災保険料						
13	委託料	4,729	田沢団地改修工事設計監理業務、消防施設点検						
15	工事請負費	22,044	田沢団地外壁屋根改修、追分団地駐車場舗装等						
16	原材料費	26	市営住宅敷地用砕石						
22	補償補填及び賠償金	420	市営住宅アルプス団地移転補償料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	公営住宅等長寿命化事業	市営住宅等を安全で快適な住まいとして長きにわたり確保するため、安曇野市公営住宅等長寿命化事業化計画に基づく修繕及び耐久性の向上等を図る改善を行うことで、更新コストの削減と事業量の平準化を図る。	15	工事請負費	17,604
				13	委託料	2,808
				11	需用費	2,120
					計	22,532
2					計	0

# 上下水道部

予算書ページ	196
--------	-----

重点施策	—	コード	011101100
		課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)

予算	款	04	衛生費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	03	上水道費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	01	上水道施設費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0104300	水道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	221,662	0	0	162,300	0	59,362
前年度	314,562	0	0	255,200	0	59,362
増減額	△ 92,900	0	0	△ 92,900	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	22	一般会計出資債(上水道分)	162,300							

【目的・効果】

- 1 19負担金補助及び交付金
  - 【目的】旧豊科町で政策的に実施した水道事業会計の整備費用分を負担する。
  - 【効果】原因者負担により地方公営企業である水道事業経営の安定化を図る。
- 2 24投資及び出資金
  - 【目的】事業統合により実施する豊科・明科地域整備事業にかかる経費の2分の1を出資する。
  - 【効果】上水道事業の経営基盤の強化及び資本費負担の軽減を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 1 19負担金補助及び交付金
  - 下水道工事関連水道事業負担金 51,533,276円
  - 光ニュータウン開発に伴う水道施設設置負担金 7,827,876円
- 2 24投資及び出資金 162,300,000円

【詳細事業内訳】

水道事業負担金 59,362千円 水道事業出資金 162,300千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	59,362	下水道工事関連水道事業負担金外				
24	投資及び出資金	162,300	豊科・明科地域整備事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	水道事業出資金	災害対策 旧田沢橋に架設している水道管は大規模地震発生時に破管の恐れがあり、被災時に豊科地域犀川右岸地区で水道水が確保できるよう水道施設の耐震化整備をする	24	投資及び出資金	162,300
					計	162,300
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	011101100
課・係等	経営管理課 庶務担当(上下水)

予算書ページ	270
--------	-----

予算	款	08	土木費	総合計画	基本目標	安全・安心で快適なまち
	項	04	都市計画費		基本方針	住みやすさを感じるまち
	目	05	下水道事業費		基本施策	安定した水道・下水道事業の運営
	事業	0108270	下水道事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,037,126	0	0	0	0	2,037,126
前年度	2,189,031	0	0	0	0	2,189,031
増減額	△ 151,905	0	0	0	0	△ 151,905

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】総務省で定める地方公営企業操出金の基準内分および、生活保護受給者の下水道使用料などの基準外分の操出を行う。

【効果】下水道処理施設・下水管路の整備と適切な維持管理を図り、公共用水域の水質保全を図る。  
下水道接続の促進による下水道事業の経営の安定化に努め、快適な生活環境の持続を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・基準内で繰出すもの 下水道事業 2,031,783,000円
- ・基準外で繰出すもの 生活保護受給者に対する下水道使用料の基本料金分 1,638,000円  
環境整備排水路に係る現地調査に要する経費 3,704,400円

【詳細事業内訳】

下水道事業繰出金 2,037,126千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
28	繰出金	2,037,126	下水道事業繰出金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

# 会計課

重点施策	-		コード	011201100		予算書ページ	76
			課・係等	会計課 出納係			
予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて	
	項	01	総務管理費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針	
	目	04	会計管理費		基本施策	方針5 健全財政の堅持	
	事業	0102240	会計管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,866	0	0	0	1,301	6,565
前年度	8,224	0	0	0	1,301	6,923
増減額	△ 358	0	0	0	0	△ 358

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	財務会計処理実費徴収	1,300							
21	会計雑入	1								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市財務規則等にとり、適正に市会計事務全般を処理する。  
**【効果】**  
 ・適正な財政運営のための基本である、公金の適正な管理を図ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・現金及び物品等の出納事務  
 ・伝票等の審査事務  
 ・決算書の調製  
 ・基金等の管理、運用

**【詳細事業内訳】**  
 会計管理事務 7,866千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,816	窓口対応臨時職員 1,748、源泉徴収票送付事務 68				
09	旅費	56	NOMA研修(名古屋) 鉄路、宿泊、日当2回分				
11	需用費	3,285	消耗品費 300、印刷製本費 2,955、物品修繕費 30				
12	役務費	2,563	振込手数料等 363、派出派遣手数料 2,200				
14	使用料及び賃借料	72	データ伝送サービス				
19	負担金補助及び交付金	64	NOMA研修会負担金2回分				
22	補償補填及び賠償金	10	欠損補填金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

# 教育部(教育委員会)

重点施策	—
------	---

コード	011301100
課・係等	学校教育課 教育総務係

予算書ページ	282
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	教育委員会費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110010	教育委員会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,673	0	0	0	0	5,673
前年度	5,917	0	0	0	0	5,917
増減額	△ 244	0	0	0	0	△ 244

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定められた教育委員会の活動に必要な経費を支出する。  
**【効果】**  
 ・教育委員会の職務である学校等の教育機関を管理し、学校の組織編成、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教職員の身分の取扱いに関する事務、並びに社会教育その他の教育、学術及び文化に関する事務を管理、執行する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・教育委員4人の報酬等の支出  
 ・学校教職員初任者研修の実施  
 ・全国都市教育長協議会定期総会、関東甲信越静市町村教育委員会研修会総会等への参加  
 ・定例・臨時教育委員会、総合教育会議の開催  
 ・教育関係者による活力ある小中学校のあり方検討  
 ・長野県市町村教育委員会連絡協議会等への負担金の支出

**【詳細事業内訳】**  
 教育委員会費 5,673千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	3,322	教育委員4人報酬			19	負担金補助及び交付金	371	県市町村教育委員会連絡協議会、会議・研修等参加負担金		
08	報償費	354	活力ある学校あり方検討会議有識者謝礼、教育委員会事務事業点検評価有識者謝礼等								
09	旅費	301	教育委員、事務局職員研修会等旅費								
11	需用費	386	事務用品、教育長会議贈、教育要覧印刷代等								
12	役務費	18	元市内小中学校長逝去に伴う弔電								
13	委託料	916	教育委員会会議、総合教育会議反訳委託料等								
14	使用料及び賃借料	5	研修会等駐車料金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育委員会費	少子化に対応した市内小中学校の活力ある学校のあり方と今後の方向性について有識者で構成する検討委員会を設置する。統廃合だけでなく小中一貫教育等を導入することで、地域に根ざす活力ある学校づくりを行う。	08	報償費	311
					計	311
2					計	0

予算書ページ	282
--------	-----

重点施策	—	コード	011301100
		課・係等	学校教育課 教育総務係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110015	事務局費			

単位：千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
209,286	233,848	△ 24,562	0	0	0	13,477
			0	0	0	37,983
			0	0	0	△ 24,506
						△ 56

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	入学準備金貸付基金利子	217							
	19	入学準備金貸付基金繰入金	7,000							
	21	入学準備貸付金	3,914							

【目的・効果】

学校教育課 教育総務係  
 高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。

学校教育課 学校庶務担当  
 教育委員会事務局として活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。

学校教育課 学校教育係  
 教育委員会事務局として必要な活動を進めるための予算を計上し、学校教育の充実を図るとともに学校・家庭・地域と連携して特色ある学校づくりを目指す。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育課 学校庶務担当  
 事務局として必要な経費を計上する。  
 市校長会等への負担金及び交付金を支出する。  
 県大会以上の大会出場における補助及び私立高等学校への運営補助金を交付する。

学校教育課 学校教育係  
 教育委員会へセンターサーバを設置し、各学校の情報共有、セキュリティの確保、高速化を推進する。  
 学校図書館システム等の共通管理システムと学校ネットワークの一元管理を図る。  
 児童、生徒の安全対策を図るため、熊よけ鈴の配布、学校安全マップの作成、学校安全連絡網メール配信システムの活用、安曇野市交通安全推進協議会通学路交通安全部会による通学路合同点検などによる安全確保を進める。

【詳細事業内訳】

事務局費総務 170,562千円 学校システム管理事業 21,126千円 学校安全対策事業 6,465千円 入学準備金貸付事業 11,133千円

【一般財源増加理由】 入学準備金貸付制度を設けたことによる

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	105	通学区域審議会	12	役務費	3,863	電話料、公用車車検手数料、自賠責保険、害虫駆除/インターネット回線通信料、フレッツ光利用料、プロバイダ料金ほか
02	給料	74,227	職員給与	13	委託料	4,990	入学通知作成、産業廃棄物処理/センターサーバ・図書館システム管理保守
03	職員手当等	36,742	諸手当	14	使用料及び賃借料	16,284	センターサーバ・図書館システムリース料、安全連絡網配信システム使用料
04	共済費	23,702	共済組合	15	工事請負費	2,066	通学路標識設置工事、緊急地震速報受信装置設置工事
07	賃金	10,914	一般事務、教育指導員	18	備品購入費	990	緊急地震速報受信装置
08	報償費	3,171	講演会等講師謝礼、就学相談員・調査員謝礼等、委員会出席謝礼、通学路交通安全部会/通学路交通安全部会関連謝礼	19	負担金補助及び交付金	17,714	小中学校校長会等負担金、各種大会等出場補助金、私立高等学校運営補助金等
09	旅費	200	職員研修、講演会講師	21	貸付金	7,000	高校、専門学校、短大、大学の入学準備金
11	需用費	3,084	事務用消耗品、公用車用消耗品、中学生議会用消耗品、就学相談用品、交通安全対策用消耗品、参考図書、通学路安全マップ、公用車燃料、公用車修繕、無線通報システム修繕、交通安全標識修繕/安全マップ印刷、緊急無線通報システム修繕、交通安全標識修繕ほか	25	積立金	4,133	入学準備金貸付基金、貸付基金利子
				27	公課費	101	公用車重量税

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	入学準備金貸付事業	高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。	21	貸付金	7,000
				25	積立金	4,133
					計	11,133
2	ソフト	学校システム管理事業	教育委員会でシステムの一元管理を行うことで、学校系ネットワークのセキュリティの確保、機能の充実を図る。	14	使用料及び賃借料	15,237
				13	委託料	4,073
				12	役務費	1,816
		計	21,126			

重点施策	—
------	---

コード	011301200
課・係等	学校教育課 教育指導室

予算書ページ	286
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110020	学校支援員配置事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	146,040	607	0	0	0	145,433
前年度	148,044	685	0	0	0	147,359
増減額	△ 2,004	△ 78	0	0	0	△ 1,926

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・障害者差別解消法の施行に加え、インクルーシブ教育の浸透によるよりきめ細やかな支援について保護者からの要望が高くなっている。加えて医療的ケアの必要な児童を受け入れている学校もある。そこで各学校に医療支援員を含む支援員を配置することにより、集団不応や心身障がい児等、配慮を要する児童生徒への支援や教科指導を充実させる。また、スクールカウンセラーを派遣し、教育相談の充実を図る。  
**【効果】**  
 ・教諭を補助的に支援することにより、指導内容が広がるとともに、少人数による行き届いた指導が可能となる。  
 ・個々の児童生徒に応じた指導や支援により、安全で適切な教育が実現する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・特別支援学級支援員、障がい児支援員、中間教室支援員、学力向上支援員、医療支援員については、市内17校の学校長ヒアリングを実施し、審議の上で配置(任務及び人数と時間数)を決定している。また支援員のスキルアップを図るために研修会を年3回実施する。  
 ・スクールカウンセラーについては、県からの派遣のみでは対応できない学校に市から派遣し、全学校に配置できるようにしている。  
 ・小中学校の実情や要望により障がい児等指導相談員を派遣し、教職員や保護者への支援・助言・相談を実施している。  
 ・放課後学習室は、全小学校で放課後に実施。校長会と連携し指導者を派遣している。

**【詳細事業内訳】**  
 学校支援員配置事業 146,040千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	140,459	学校配置支援員、SSW、不登校支援コーディネーター賃金							
08	報償費	4,872	SC、障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員謝礼							
09	旅費	666	SC、障がい児等指導相談員、SSW、不登校支援コーディネーター等旅費							
11	需用費	43	放課後学習室用品							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	学校支援員配置事業	年々増加する発達障がいや医療支援等の身体的な配慮を要する児童生徒に、支援員による個別対応を行うことで、当該児童生徒の安定した生活や周りの児童生徒の落ち着いた環境を作り、学校全体の生活力・学力の向上を図る。	07	賃金	140,459
				08	報償費	4,872
				09	旅費	666
				11	需用費	43
					計	146,040
2					計	0

重点施策	(4)
------	-----

コード	011301400
課・係等	学校教育課 学校教育係

予算書ページ	286
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110025	コミュニティスクール事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,272	0	4,704	0	0	10,568
前年度	9,675	0	0	0	0	9,675
増減額	5,597	0	4,704	0	0	893

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	中学校部活動指導員任用事業補助金	4,704							

【目的・効果】

学校・地域・家庭が一体となり、子どもの育てる連携体制の強化を図り、児童・生徒の育成環境の充実に向け、開かれた学校づくりを進め子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・学校支援プログラムによるボランティア派遣の実施。  
[学習活動][子ども安全見守り][総合的な学習・読書活動][環境整備][課外活動・部活動][日本語支援][障がいのある児童生徒支援][不登校の児童生徒支援][放課後活動]
- ・実行委員会による学校支援の企画事業評価の実施。
- ・地域教育協議会による学校運営の理解、参画、学校支援、学校関係者評価の実施。
- ・地域コーディネーター及びボランティア養成講座の開催。
- ・立志塾の開催支援。
- ・子どもと保護者を対象とした安全対策講習会の実施。

【詳細事業内訳】

コミュニティスクール事業 15,272千円

【一般財源増加理由】	中学生の自主的な朝の活動を支援するため、「朝の校内活動見守り活動」の取組みを追加したことによる謝礼増額						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	7,056	中学校部活動指導員				
08	報償費	7,126	コーディネーター・学校応援隊謝礼、各種委員会出席謝礼				
11	需用費	15	実行委員会消耗品				
12	役務費	315	コミュニティスクールボランティア保険料				
13	委託料	760	講習会業務				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	コミュニティスクール事業	地域住民による学校応援隊と協力して、地域とともにある開かれた学校の実現を目指す。また、中学校部活動指導員を導入し、教職員の勤務時間の削減を図る。	08	報償費	7,126
				07	賃金	7,056
				13	委託料	760
				12	役務費	315
					計	15,257
2					計	0



重点施策	—		コード	011301200		予算書ページ	288
			課・係等	学校教育課 教育指導室			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110030	教育支援センター運営事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,891	0	0	0	0	10,891
前年度	10,685	0	0	0	0	10,685
増減額	206	0	0	0	0	206

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
 平成28年4月より「教育支援センター」を開設し、「適応指導教室」と「教育相談室」を設置。  
 ○適応指導教室  
**【目的】**学校に行けない不登校の児童生徒が通い、学習指導や適応指導等をうけながら学校復帰を目指す。  
**【効果】**不登校児童生徒の引きこもりを防止できる。学習の場を保障できる。学校との連携により、学校登校者が増える。  
 ○教育相談室  
**【目的】**児童生徒や保護者等の教育全般に関する相談を行なう。  
**【効果】**適応指導教室とも連携して学校不適応に対応できる。また、児童生徒、保護者、教職員等からの幅広い相談に対応し、学校生活を充実したものとするための支援ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・適応指導教室職員体制:適応指導員(非常勤)4名(内訳:月給2名・時給2名)。  
 ・教育相談室職員体制:教育相談員(非常勤)2名(内訳:月給1名・時給1名)。  
 ・開室日:原則として、学校の登校日。(夏季休暇中の特別開室もあり)。  
 ・教育支援センターの運営経費を支出する。

**【詳細事業内訳】**  
 教育支援センター運営事業 10,891千円

【一般財源増加理由】		賃金、謝礼単価見直しによる増額							
節	節名称	金額	主要内容		節	節名称	金額	主要内容	
07	賃金	9,004	教育支援センター(教育相談室、適応指導教室)職員賃金						
08	報償費	1,505	実習講師謝礼、教育相談員謝礼						
09	旅費	8	教育支援センター職員旅費						
11	需用費	224	教育支援センター用消耗品(事務用品、施設管理用品、実習・指導用教材、施設小破修繕)						
12	役務費	150	電話料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	教育支援センター運営事業	不登校児童生徒にとって学校と家庭との中間的な役割を果たすことで学校への復帰を促す。また、面談他によって未就学家庭から一般の家庭までの子育てについての相談を幅広く受け付け、相談内容に応じて学校につなぐ等、必要な支援を行う。	07	賃金	9,004
				08	報償費	1,505
				11	需用費	224
				12	役務費	150
					計	10,883
2					計	0

予算書ページ	288
--------	-----

重点施策	—	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110035	学校バス運行事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	95,203	0	0	0	0	95,203
前年度	94,409	0	0	0	0	94,409
増減額	794	0	0	0	0	794

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
 遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。  
 市バス又は民間バスを利用して学校行事における児童生徒の運搬を行い、保護者負担の軽減を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行する。利用者増により2つの路線で運行台数が増える。また、大口沢から通学する児童がいるため、スクールタクシーを運行する。  
 学校の行事に対するバスについては、一定の基準を設けて市バス又は民間バスを利用した児童生徒の運搬を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 学校行事バス運行事業 10,407千円 スクールバス運行事業 84,796千円

【一般財源増加理由】 利用者増により運行するバス等が増えたことによる

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,047	車両関係消耗品、燃料、車両修繕				
12	役務費	596	車検等点検手数料、自賠責保険				
13	委託料	87,211	スクールバス運行业務、学校行事バス運行业務				
14	使用料及び賃借料	5,226	学校行事バス借り上げ				
27	公課費	123	重量税				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	スクールバス運行事業	遠距離通学になる児童生徒が安全で安心した通学が行えるようにスクールバスを運行する。	13	委託料	82,774
				11	需用費	1,303
				12	役務費	596
				27	公課費	123
					計	84,796
2	ソフト	学校行事バス運行事業	市バスまたは民間バスを利用して学校行事における児童生徒の運搬を行い、保護者負担の軽減を図る。	14	使用料及び賃借料	5,226
				13	委託料	4,437
				11	需用費	744
					計	10,407

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	290
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	住宅管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110040	教職員住宅運営事業			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,970	0	0	0	3,970
前年度	7,120	0	0	0	7,120
増減額	△ 3,150	0	0	0	△ 3,150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	教員住宅貸付料	3,958							
21	その他雑入(学校教育課)	12								

【目的・効果】

県内各地から安曇野市立学校に配属された教職員の赴任に要する住宅を整備することにより、教職員の勤務(居住)環境の充実が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 住宅の保守・点検・修繕により居住環境を整える。
- 老朽化等により賃貸に不適となった住宅の所管換えを行い、管理戸数の適正化を図る。

【詳細事業内訳】

教職員住宅運営事業 3,970千円 教職員住宅解体事業 0千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	2,379	管理用消耗品、住宅修繕、電気料				
12	役務費	94	点検・清掃作業				
13	委託料	642	排水設備清掃、消防設備等点検、境界測量				
15	工事請負費	855	住宅営繕工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—		コード	011301300		予算書ページ	288
			課・係等	学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110042	学校関係計画策定事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,357	0	0	0	0	5,357
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	5,357	0	0	0	0	5,357

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 長寿命化改良工事等の改修工事を建築年だけでなく、実際の老朽化の状況に応じて適切に実施するため。  
**【効果】**  
 現地調査により現状を把握し、長期的な視点をもって、更新や長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担の軽減・平準化が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・学校施設の現状及び老朽化状況の把握するため現地調査を行い、劣化度調査を実施する。  
 ・点検結果を集約した個別計画を策定し、関係部署と協議の上、改修の優先度を設定する。

**【詳細事業内訳】**  
 学校施設長寿命化計画策定事業 5,357千円

【一般財源増加理由】 新規事業のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	5,357	学校施設長寿命化計画作成支援業務				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 学校施設長寿命化計画策定事業	・公共施設の約4割を占める学校施設のうち、建築後40年以上を経過した建物が保有面積の約5割を占めるなど老朽化が深刻である。また、学校施設は旧町村においてほぼ同時期に建築されているため、更新時期が集中している。 ・安曇野市公共施設等総合管理計画(平成29年2月策定済)の個別計画として、学校毎に具体的な対応方針を定めコストを抑えながら建て替え同等の教育環境を確保するとともに、更新時期を分散させ費用に平準化を図る。	13	委託料	5,357
					計	5,357
2					計	0

予算書ページ	290
--------	-----

重点施策	—	コード	011301500
		課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110045	給食センター総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150,512	0	0	0	0	150,512
前年度	152,561	0	0	0	0	152,561
増減額	△ 2,049	0	0	0	0	△ 2,049

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市内4か所の学校給食センターの運営を円滑に実施する。  
**【効果】**  
 ・人件費等学校給食の全体監理に係る事業費であり、職員への衛生管理・安全作業を徹底し安心で安全な給食を提供する。  
 ・学校給食費の口座振替を推進する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・学校給食センター運営委員会の運営  
 ・安全な食材への取り組み(放射性物質検査)  
 ・学校給食提供非常勤職員雇用管理  
 ・学校給食栄養士の資質向上  
 ・学校給食費の徴収

**【詳細事業内訳】**  
 学校給食費徴収事業 918千円 給食センター総務費 149,594千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	154	学校給食センター運営委員会委員			13	委託料	550	給食費会計監査資料作成業務		
02	給料	19,911	職員			19	負担金補助金及び交付金	56	長野県学校栄養職員部会負担金 外		
03	職員手当等	9,943	職員								
04	共済費	6,325	職員								
07	賃金	112,549	非常勤職員								
11	需用費	269	督促状、再振通知書等印刷 外								
12	役務費	755	システム回線通信料 外								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	292
--------	-----

重点施策	—	コード	011301500
		課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110050	北部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,020	0	0	0	14	53,006
前年度	44,665	0	0	0	13	44,652
増減額	8,355	0	0	0	1	8,354

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	食用廃油売渡し収入	14							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・北部学校給食センターにおいて、管内の小中学校へ学校給食を安定的に提供できるよう施設及び環境を整備する。  
**【効果】**  
 ・穂高南小学校・穂高北小学校・穂高西小学校・穂高東中学校・穂高西中学校へ、安心安全でおいしい給食を提供する。  
 ・食育の推進、地産地消の推進等の継続充実を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 [北部学校給食センター]  
 (1)対象校:穂高南・北・西小学校、穂高東・西中学校  
 (2)用地:安曇野市穂高9747番地(5,991.02㎡)  
 (3)概要:鉄骨造一部二階建て 延床面積2,091.65㎡  
 (4)県築年:平成24年1月31日竣工(4月1日稼働)  
 (5)規模等:最大3,500食(H30.4.1現在2,830食)  
 オール電化施設

**【詳細事業内訳】**  
 北部給食センター管理運営費 53,020千円

【一般財源増加理由】劣化の激しい給食用食器(ボール、角仕切り皿)の購入(買い替え)のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	36,252	調理機器・洗浄機関係等消耗品費(給食用食器購入9,669千円)、燃料費、光熱水費、施設器具等修繕費。				
12	役務費	1,450	保菌検査手数料等。				
13	委託料	13,081	施設設備、厨房機器等の管理運営委託料。				
14	使用料及び賃借料	135	コピー機借上料及び使用料。				
18	備品購入費	2,006	角型食缶、コンテナの購入				
27	公課費	96	公用車、配送車重量税。				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	011301500		予算書ページ	294
			課・係等	学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110055	堀金給食センター費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	22,330	0	0	2	22,328
前年度	20,403	0	0	2	20,401
増減額	1,927	0	0	0	1,927

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	食用廃油売渡し収入		2						

【目的・効果】

目的

・堀金学校給食センターが、管内の小・中学校へ安定的に学校給食を提供できるように施設及び調理環境を整備する。

効果

・堀金小学校・堀金中学校へ安全・安心でおいしい給食を提供する。  
 ・食育の推進、地産地消の推進等を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①対象校:堀金小学校・堀金中学校
- ②用 地:安曇野市堀金烏川3000番地
- ③施設概要:鉄骨造1階建て 延床面積752㎡
- ④建築年:平成17年3月23日(竣工)
- ⑤調理規模:最大1,100食 (H30.4月現在:910食、2校30クラス分)
- ⑥公用車等:配送コンテナ車:1台(配送業務は直営で実施)、軽貨物車:1台
- ⑦付帯設備:特になし  
 ・学校給食提供に伴う施設及び物品等の整備による調理環境維持・ボイラー等の点検整備委託を行う。

【詳細事業内訳】

堀金給食センター管理運営費 22,330千円

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	15,528	調理・洗浄用消耗品、灯油等燃料費、食糧費、センター施設小破修繕費、電気料等光熱水費、厨房機器等物品修繕費				
12	役務費	1,050	電話料等通信運搬費、給食従事者保菌検査・食品検査・厨房清掃等手数料、自賠責保険料				
13	委託料	5,063	機械設備保守点検業務・厨房機器保守点検業務等管理委託料、一般廃棄物収集運搬業務委託料				
14	使用料及び賃借料	142	コピー機等借上料及びコピー使用料				
18	備品購入費	509	洗浄作業用台車(4台)、保温食缶等備品購入				
27	公課費	38	配送コンテナ車自動車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301500
課・係等	学校教育課 学校給食担当

予算書ページ	294
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110060	中部給食センター費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	45,550	0	0	0	409	45,141
前年度	40,852	0	0	0	410	40,442
増減額	4,698	0	0	0	△1	4,699

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	食用廃油売渡し収入	9								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・中部学校給食センターにおいて、所管する学校へ安心して安全な給食を提供できるように施設及び環境を整備する。  
**【効果】**  
 ・所管する7校へ安心して安全なおいしい給食の提供  
 ・食育の推進、地産地消等

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ①対象校 豊科北小、豊科東小、明北小、明南小、豊科北中、豊科南中、明科中  
 ②施設概要 鉄骨一部2階建て 延床面積1,951㎡  
 ③建築年 平成19年8月1日(竣工)  
 ④調理規模 1日約2,250食、7校75クラス  
 ⑤公用車等 給食配送車3台、軽自動車1台  
 ⑥付帯設備 太陽光発電システム90kw  
 ・施設の老朽化に伴い修繕費・維持管理費が増えたため、予算額も増加した。

**【詳細事業内訳】**  
 中部給食センター管理運営費 45,550千円

【一般財源増加理由】 洗浄室床の修繕費、保守点検業務委託費の増加

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	28,718	調理用器具、洗剤、燃料費、光熱費 外				
12	役務費	1,894	保菌検査、食品微生物検査 外				
13	委託料	14,168	施設設備保守点検業務、給食運搬車運転業務 外				
14	使用料及び賃借料	188	コピー機借上料及び使用料 外				
18	備品購入費	508	給食コンテナ				
27	公課費	74	自動車重量税				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



重点施策	—		コード	011301500		予算書ページ	296
			課・係等	学校教育課 学校給食担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	04	給食センター費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110065	南部給食センター費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	44,827	0	0	0	410	44,417
前年度	44,417	0	0	0	410	44,007
増減額	410	0	0	0	0	410

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	太陽光発電売電収入	400							
21	食用廃油売渡し収入	10								

【目的・効果】

目的 管轄校(豊科南小学校・三郷小学校・三郷中学校)へ学校給食が安定的に供給できるように環境を整備する。

効果 管轄内の学校へ安心安全なおいしい給食の提供  
 児童生徒への食育の推進  
 地産地消の推進

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ①対象校 豊科南小、三郷小、三郷中
- ②用地 三郷明盛84番地2 敷地面積2,508㎡
- ③施設概要 鉄骨造一部2階建 延床面積1,793㎡
- ④竣工年月日 平成19年7月25日
- ⑤調理規模 最大3,000食(H30.4月現在2,300食、69クラス)
- ⑥公用車等 配送コンテナ車2台 公用車軽貨物車1台
- ⑦付帯施設 太陽光システム 90kw  
光熱水費の単価上昇のため

【詳細事業内訳】

南部給食センター管理運営費 44,827千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	29,296	調理器具、食器・食缶洗浄関係消耗品、作業着、光熱水費、施設修繕、厨房機器等の修繕				
12	役務費	2,109	給食用麺・パン輸送費、職員保菌検査手数料				
13	委託料	12,832	施設設備、厨房機器備品の保守点検委託料				
14	使用料及び賃借料	207	コピー機等借り上げ及び使用料				
15	工事請負費	117	米貯蔵庫遮光版取付				
18	備品購入	208	荷受け用台車2台				
27	公課費	58	配送車・公用車重量税				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—		コード	011301400		予算書ページ	288
			課・係等	学校教育課 学校教育係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	01	教育総務費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	事務局費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110070	学校保健事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	36,456	0	0	0	0	36,456
前年度	35,877	0	0	0	0	35,877
増減額	579	0	0	0	0	579

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

学校における児童生徒の健康保持推進と疾病を予防するために学校保健安全法及び同法施行規則に基づき、毎年定期的に健康診断を実施する。教職員の健康診断及びカウンセリング事業を推進するほか、ストレスチェックを実施することにより心身の健康管理も進める。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・児童生徒については、学校医による健康診断(内科、耳鼻科、歯科、眼科)実施するほか、尿、心臓、血液の検査を実施する。
- ・教職員については、健康診断及びストレスチェックの推進を行うほか、必要に応じてカウンセリングも実施する。

【詳細事業内訳】

小学校保健指導事業費 19,622千円 教職員健康推進事業 5,565千円 中学校保健指導事業費 11,269千円

【一般財源増加理由】 オートクレーブ、視力検査器などの備品購入費が増えたため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	13,707	学校医	18	備品購入費	1,935	オーゾメータ、オートクレーブ
07	賃金	317	就学時健康診断事務臨時職員				
08	報償費	3,992	学校管理医、就学時健康診断医師ほか、歯科指導、養護教諭補助看護師ほか				
11	需用費	587	知能検査用紙、環境衛生用品、保健記録カード印刷ほか				
12	役務費	11,941	検査手数料、オーゾメータ検査、水質検査ほか				
13	委託料	3,971	教職員カウンセリング・ストレスチェック事業、教職員健康診断、結核健康診断精密検査				
14	使用料及び賃借料	6	心臓検診送迎用タクシー				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	296
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110075	小学校総務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	290,707	0	0	0	95	290,612
前年度	273,697	0	0	0	625	273,072
増減額	17,010	0	0	0	△ 530	17,540

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	小学校公衆電話料	10								
21	その他雑入(学校教育課)	5								

**【目的・効果】**  
 学校教育課 学校庶務担当  
 学校運営に必要な経費を計上し、児童が安全で安心した学校生活を行える環境を整えとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

学校教育課 学校教育係  
 学校運営に必要な経費のうち、小学校の総括した予算を計上することで児童が安全で安心した学校生活を送れる環境を整える。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育課 学校庶務担当  
 学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。  
 学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。  
 学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。

学校教育課 学校教育係  
 教育用パソコンの更新等を行い、情報機器 (ICT) を活用した分かりやすい授業の推進を図る。  
 校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 堀金小学校総務管理費 12,388千円 豊科南小学校総務管理費 16,709千円 豊科東小学校総務管理費 9,582千円 小学校総務管理費 104,352千円 豊科北小学校総務管理費 13,034千円 明北小学校総務管理費 6,473千円 穂高南小学校総務管理費 15,461千円 穂高北小学校総務管理費 15,835千円 穂高西小学校総務管理費 12,937千円 明南小学校総務管理費 9,570千円 小学校情報教育推進事業 51,003千円 三郷小学校総務管理費 23,363千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	60,841	学校事務、図書館司書、学校庁務員			18	備品購入費	35,246	学校管理備品(机・椅子、簡易テント、コピー機、印刷機、石油温風暖房機等)／情報機器等
08	報償費	2,764	講演会・講習会等講師謝礼、卒業記念品			19	負担金補助及び交付金	4,805	防火管理者、学校災害共済等
09	旅費	568	市費非常勤職員、講演会講師等						
11	需用費	108,259	校用消耗品、燃料費、小破修繕、光熱水費、印刷製本費、物品修繕／情報機器等修繕費						
12	役務費	10,636	電話料、楽器調整、クリーニング、各種清掃、モップマット交換等						
13	委託料	28,531	ごみ処理、学校警備、消防・防火設備等点検、電気工作物保安全管理、エレベーター保守等／学校サーバ保守管理、セキュリティ設定管理、ソフトウェア更新						
14	使用料及び賃借料	39,057	学校用地、学校田・畑借上げ等／学校パソコンリース料						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	小学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新・時代に適した機器の導入を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業の推進と教職員の業務に係る負担軽減を図り、子どもたちに高度情報化の進んだ社会に適應できるよう教育環境を整備する。	14	使用料及び賃借料	30,978
				18	備品購入費	15,205
				13	委託料	3,820
				11	需用費	1,000
					計	51,003
2					計	0

重点施策	—		コード	011301300		予算書ページ	300
			課・係等	学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110130	小学校教育振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	156,280	2,608	294	0	10,000	143,378
前年度	114,965	1,535	454	0	15,000	97,976
増減額	41,315	1,073	△ 160	0	△ 5,000	45,402

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	要保護児童生徒援助費補助金	10	18	ふるさと寄附金	10,000				
15	特別支援教育就学奨励費補助金	1,798								
15	理科教育設備整備費補助金	800								
16	被災児童生徒就学等支援事業補助金	294								

**【目的・効果】**  
 学校教育課 学校庶務担当  
 教育振興に必要な経費を計上し、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

学校教育課 学校教育係  
 教育振興に関わる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 学校教育課 学校庶務担当  
 学力検査や体力テスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。  
 吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。  
 学校ごとに教科用の消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。

学校教育課 学校教育係  
 外国語指導講師を配置し、児童の外国語活動、国際理解教育を進める。  
 要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

**【詳細事業内訳】**  
 豊科北小学校教育振興費 3,299千円 穂高北小学校教育振興費 3,796千円 小学校外国語指導講師配置事業 27,773千円 小学校教科用指導書等購入事業 37,740千円 豊科東小学校教育振興費 1,882千円 穂高西小学校教育振興費 2,897千円 三郷小学校教育振興費 4,740千円 堀金小学校教育振興費 3,216千円 豊科南小学校教育振興費 3,781千円 小学校教育振興費 10,574千円 穂高南小学校教育振興費 3,441千円 明南小学校教育振興費 2,155千円 小学校就学援助事業 49,256千円 明北小学校教育振興費 1,730千円

【一般財源増加理由】 新学習指導要領の実施に伴う日本ALTの増員及び前年度実績による就学援助認定者増加のため

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	7,520	英語指導教員賃金	20	扶助費	49,256	要保護・準要保護就学援助費、特別支援教育就学奨励費
09	旅費	134	英語指導教員費用弁償				
11	需用費	55,173	教科用消耗品、楽器等修繕/教師用教科書・指導書、英語指導教材				
12	役務費	4,752	標準学力検査、ハイパーQU検査、体力テスト				
13	委託料	19,878	外国語指導助手派遣業務				
18	備品購入費	19,537	教育振興備品、児童用図書、楽器				
19	負担金補助及び交付金	30	英語教育指導研修会				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校外国語指導講師配置事業	新学習指導要領の実施に伴う英語教育の充実のため、外国語コーディネーター及び外国人外国語指導講師(ALT)を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英語教科化に向けての教職員の研修を実施する。	13	委託料	19,878
				07	賃金	7,520
				11	需用費	211
				09	旅費	134
					計	27,743
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301200
課・係等	学校教育課 教育指導室

予算書ページ	300
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110185	通級指導教室事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	394	0	0	0	0	394
前年度	444	0	0	0	0	444
増減額	△ 50	0	0	0	0	△ 50

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・通級による指導は平成5年に制度化され、18年には学校教育法施行規則が改正され、対象の障がいも広がった。それを受け、本市でも小学校の通常学級に在籍している、言語障害・学習障害・発達障害などの障がいをもつ児童のうち、比較的軽度の障がいがある児童に対して、通級による取り出し指導を行なう。  
**【効果】**  
 ・言語障害(ことばの教室)、学習障害・発達障がい(まなびの教室)の2教室を運営し、個に応じた専門性の高い指導支援ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【施設概要 等】**  
 ・設置校:穂高北小学校(設置主体:県)  
 ・ことばの教室職員体制:県教員1名  
 ・まなびの教室職員体制:県教員1名、市費補助指導員2名  
**【事業概要】**  
 ・通級の可否を判定する運営委員会の開催。  
 ・市費補助指導員への賃金の支払い。  
 ・各教室運営のための教材等の整備。

**【詳細事業内訳】**  
 小学校通級指導教室事業 394千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	270	小学校通級指導教室 補助指導員賃金						
11	需用費	124	小学校通級指導教室 運営用消耗品(事務用品、指導用教材等)						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	小学校通級指導教室事業	県費加配担当教員に加え、市費補助指導員を配置し、個別の対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上させ、学校・家庭生活になじめるように成長を促すと共に、情緒の安定を図る。	07	賃金	270
				11	需用費	124
					計	394
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	300
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	43,008	0	0	0	0	43,008
前年度	37,731	0	0	0	0	37,731
増減額	5,277	0	0	0	0	5,277

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

小学校10校の施設を修繕することにより、安心・安全な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 小学校10校の施設の修繕・改修工事の実施
- 安全点検の実施(遊具、他)

【詳細事業内訳】

小学校施設維持修繕事業 43,008千円

【一般財源増加理由】 学校施設の老朽化に対応するため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	13,451	管理用消耗品、施設修繕				
12	役務費	586	施設点検・清掃作業				
13	委託料	5,991	除草等作業(シルバー人材)、施設台帳作成、排水管清掃、設計・監理業務				
14	使用料及び賃借料	251	作業用重機借上				
15	工事請負費	22,729	施設営繕工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	302
--------	-----

重点施策	—	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	02	小学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110195	小学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	652,939	94,825	0	167,900	220,000	170,214
前年度	746,061	106,086	0	175,100	160,000	304,875
増減額	△ 93,122	△ 11,261	0	△ 7,200	60,000	△ 134,661

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	学校施設環境改善交付金	94,825							
19	公共施設整備基金繰入金	220,000								
22	学校施設改修事業	167,900								

【目的・効果】

- 小学校施設について、国が示す耐震性能を確保することで、安心・安全な施設環境を提供できる。
- 老朽化した施設を改修することで、施設全体の長寿命化を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

屋内運動場における天井材、照明器具等の非構造部材の耐震化工事の実施  
 設計: 穂高西小学校講堂  
 工事: 穂高南小学校体育館、堀金小学校体育館、明北小学校体育館

【長寿命化改良】

老朽化した校舎の長寿命化対策と老朽対策工事の実施  
 設計: 穂高南小学校長寿命化改良工事(Ⅳ期)  
 工事: 穂高南小学校長寿命化改良工事(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期)  
 調査: 豊科南小学校長寿命化改良工事

【詳細事業内訳】

堀金小学校施設改修事業 39,732千円、明北小学校施設改修事業 55,671千円、豊科東小学校施設改修事業 864千円、穂高南小学校施設改修事業 527,926千円、穂高西小学校施設改修事業 1,194千円、三郷小学校施設改修事業 14,383千円、豊科南小学校施設改修事業 13,169千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	476	建築確認検査手数料				
13	委託料	55,142	工事設計、監理業務、コンクリートブロック内部調査、耐震再診断				
15	工事請負費	597,321	非構造部材耐震化工事、長寿命化改良工事他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	防災機能強化(屋内運動場非構造部材耐震化)	災害発生時に避難所となる屋内運動場の天井材等の落下防止対策である非構造部材の耐震化を行い、安全・安心な施設環境を確保する。(工事箇所: 穂高南小学校体育館、堀金小学校体育館、明北小学校体育館、穂高西小学校)	15	工事請負費	218,383
				13	委託料	7,293
				12	役務費	238
					計	225,914
2	ハード	長寿命化改良	校舎の長寿命化対策(コンクリートの中性化対策等)の実施と共に老朽化対策を実施して、健全な施設環境を確保する。(工事箇所: 穂高南小学校、豊科南小学校)	15	工事請負費	354,797
				13	委託料	30,324
				12	役務費	238
					計	385,359

重点施策	(4)	コード	011301300		予算書ページ	302
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	01	学校管理費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110205	中学校総務管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	206,551	0	0	0	135	206,416
前年度	212,720	0	0	0	665	212,055
増減額	△ 6,169	0	0	0	△ 530	△ 5,639

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	その他雑入(学校教育課)	5								
21	中学校公衆電話料	50								

【目的・効果】

学校教育課 学校庶務担当  
 学校運営に必要な経費を計上し、生徒が安全で安心した学校生活を行える環境を整えるとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じたきめ細やかな対応が行える。

学校教育課 学校教育係  
 学校運営に必要な経費のうち、中学校の総括した予算を計上することで生徒が安全で安心した学校生活を送れる環境を整える。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育課 学校庶務担当  
 学校教育や教員のスキルアップに必要な講演会等を行うための経費を計上。  
 学校運営や施設維持のために必要な経費の計上。  
 学校に必要な備品購入にかかわる経費を計上。

学校教育課 学校教育係  
 教育用パソコンの更新、維持や電子黒板等の情報機器(ICT)を活用した分かりやすい授業の推進を図る。  
 校務用パソコンや管理ソフトウェアの更新、維持を行い、学校教職員の事務処理に係る負担軽減を図る。

【詳細事業内訳】

中学校情報教育推進事業 40,011千円 豊科南中学校総務管理費 10,357千円 穂高西中学校総務管理費 14,177千円 穂高東中学校総務管理費 16,023千円 堀金中学校総務管理費 10,297千円 三郷中学校総務管理費 17,880千円 中学校総務管理費 77,047千円 豊科北中学校総務管理費 12,025千円 明科中学校総務管理費 8,734千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	42,500	学校事務、図書館司書、学校庁務員	18	備品購入費	10,830	学校管理備品(机・椅子、草刈り機、コピー機、石油温風暖房機等)／情報機器等
08	報償費	3,602	講演会・講習会等講師謝礼、学校登山付添謝礼、卒業記念品	19	負担金補助及び交付金	2,640	防火管理者、学校災害共済等
09	旅費	784	市費非常勤職員				
11	需用費	75,988	校用消耗品、燃料費、小破修繕、光熱水費、印刷製本費、物品修繕／情報機器修繕				
12	役務費	9,012	電話料、楽器調整、クリーニング、各種清掃、モップマット交換等				
13	委託料	21,047	ごみ処理、学校警備、消防・防火設備等点検、電気工作物保安全管理、エレベーター保守等／学校サーバ保守管理、セキュリティ設定管理、ソフトウェア更新、電子黒板研修講師派遣				
14	使用料及び賃借料	40,148	学校用地／学校パソコン・電子黒板リース料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	中学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新・時代に適した機器の導入を行う。電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業を推進し、校務支援システムを活用して教職員の業務に係る負担軽減を図る。	14	使用料及び賃借料	35,864
				13	委託料	2,894
				11	需用費	700
				18	備品購入費	553
					計	40,011
2					計	0



重点施策	—		コード	011301300		予算書ページ	306
			課・係等	学校教育課 学校庶務担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110245	中学校教育振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	130,247	2,508	662	0	14,100	112,977
前年度	129,853	1,415	637	0	30,100	97,701
増減額	394	1,093	25	0	△ 16,000	15,276

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	要保護児童生徒援助費補助金	29	18	ふるさと寄附金	10,000				
15	特別支援教育就学奨励費補助金	1,679	19	青少年育成基金繰入金	2,000					
15	理科教育設備整備費補助金	800	21	海外ホームステイ参加者負担金	2,100					
16	被災児童生徒就学等支援事業補助金	662								

【目的・効果】

学校教育課 学校庶務担当  
教育振興に必要な経費を計上し、教育活動の推進や設備の充実を図るとともに、各学校へ個別の予算を計上することで学校の実情に応じた教材や備品の整備が行える。

学校教育課 学校教育係  
教育振興に関わる経費のうち、総括した予算を計上することで教育活動の推進や設備の充実を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

学校教育課 学校庶務担当  
学力検査や体カテスト、ハイパーQU検査を行うための経費を計上。  
吹奏楽の楽器等の修理や購入費用を計上。  
学校ごとには教科用の消耗品及び備品の購入費用、図書購入費用を計上。

学校教育課 学校教育係  
外国語指導講師を配置し、中学校における英語教育の充実と国際理解を進める。  
英会話能力向上のための課外授業の実施。  
海外での語学(英語)体験を通じて、国際社会に対応できる人材の育成を図るための海外ホームステイ交流派遣事業の実施。  
要保護・準要保護児童への就学援助費の支給及び特別支援教育就学援助費の支給。(教育基本法第4条第3項並びに学校教育法第19条の規定に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に対し、就学援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的として行う。)

【詳細事業内訳】

中学生海外ホームステイ交流派遣事業 8,809千円 豊科北中学校教育振興費 4,299千円 中学校外国語指導講師配置事業 35,269千円 穂高西中学校教育振興費 4,421千円 中学校教育振興費 7,090千円 豊科南中学校教育振興費 4,121千円 明科中学校教育振興費 3,046千円 中学校就学援助事業 48,902千円 三郷中学校教育振興費 5,475千円 堀金中学校教育振興費 3,742千円 穂高東中学校教育振興費 4,998千円 中学校教科用指導書等購入事業 75千円

【一般財源増加理由】 国の示す支給限度単価の増額と前年度実績による就学援助認定者増加のため										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	81	海外ホームステイ贈呈用記念品							
09	旅費	64	海外ホームステイ引率者旅費・実費弁償							
11	需用費	18,748	教科用消耗品、楽器等修繕/海外ホームステイ体験作文集印刷製本							
12	役務費	3,301	標準学力検査、ハイパーQU検査、体カテスト							
13	委託料	43,825	外国語指導助手派遣業務、英語課外授業委託業務、海外ホームステイ交流派遣事業アシスタント							
18	備品購入費	15,326	教育振興備品、生徒用図書、楽器							
20	扶助費	48,902	要保護・準要保護就学援助費、特別支援教育就学奨励費							

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校外国語指導講師配置事業	英語教育の充実のため、外国人外国語指導講師(ALT)を各校に配置・活用し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養う。英会話を中心とした英語課外授業を各校で実施する。	13	委託料	35,269
					計	35,269
2	ソフト	中学生海外ホームステイ交流派遣事業	海外でのホームステイ経験を中学生が異なる文化や英会話の基礎を学ぶ機会とし、グローバル化が進む現代社会において、すぐれた国際感覚とコミュニケーション力により活躍できる人材を育成する。	13	委託料	8,556
				11	需用費	108
				08	報償費	81
				09	旅費	64
					計	8,809

重点施策	—		コード	011301200		予算書ページ	306
			課・係等	学校教育課 教育指導室			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	教育振興費		基本施策	学校教育の充実	
	事業	0110250	中学校通級指導教室事業				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	138	0	0	0	138
前年度	0	0	0	0	0
増減額	138	0	0	0	138

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・第2次長野県特別支援教育推進計画により、小学校だけに開設されていた通級指導教室が平成29年度から中学校にも設置されるようになった。本市でも中学校の通常学級に在籍し、学習障害・発達障害などの障がいをもつ生徒のうち、比較的軽度の障がいがある生徒に対して、通級による取り出し指導を行なう。  
**【効果】**  
 ・LD等通級指導教室(まなびの教室)を運営し、個に応じた専門性の高い指導支援ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【施設概要 等】**  
 ・設置校:穂高東中学校(設置主体:県)  
 ・まなびの教室職員体制 県教員1名  
**【事業概要】**  
 ・通級の可否を判定する運営委員会の開催。  
 ・各教室運営のための教材等の整備。

**【詳細事業内訳】**  
 中学校通級指導教室事業 138千円

【一般財源増加理由】平成30年度から市内中学校に通級指導教室が新設置されたことによる増

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	100	中学校通級指導教室 運営用品(事務用品、指導用教材等)				
18	備品購入費	38	通級指導教室用備品				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	中学校通級指導教室事業	個別の対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上させ、学校・家庭生活になじめるように成長を促すとともに、情緒の安定を図る。	11	需用費	100
				18	備品購入費	38
					計	138
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	308
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,928	0	0	0	0	29,928
前年度	23,694	0	0	0	0	23,694
増減額	6,234	0	0	0	0	6,234

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・中学校7校の施設を修繕することにより、安心・安全な学校生活ができる環境を提供できるとともに、施設の長寿命化が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・中学校7校の施設の修繕・改修工事の実施

【詳細事業内訳】

中学校施設維持修繕事業 29,928千円

【一般財源増加理由】 学校施設の老朽化に対応するため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	7,564	管理用消耗品、施設修繕				
12	役務費	71	トイレ詰り対応				
13	委託料	3,722	除草作業等(シルバー人材)、排水管清掃、設計・監理				
14	使用料及び賃借料	168	作業用重機借上げ				
15	工事請負費	18,403	施設営繕工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	308
--------	-----

重点施策	—	コード	011301300
		課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110290	中学校施設改修事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,146	0	0	0	0	2,146
前年度	121,350	26,061	0	43,700	30,000	21,589
増減額	△ 119,204	△ 26,061	0	△ 43,700	△ 30,000	△ 19,443

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

- 災害時の避難場所となる体育館の、ガラス飛散防止対策を実施することで、安心・安全な施設環境を提供できる。
- 学校施設内のコンクリートブロックの内部調査することで、安心・安全な施設環境を提供できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【防災機能強化】

屋内運動場におけるガラス飛散防止工事の工事設計  
 工事箇所:豊科北中学校体育館

【コンクリートブロック塀等内部調査】

渡り廊下で使用されているコンクリートブロックの内部調査  
 調査箇所:豊科南中学校  
 穂高東中学校

【詳細事業内訳】

豊科南中学校施設改修事業 864千円、豊科北中学校施設改修事業 418千円、穂高東中学校施設改修事業 864千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
13	委託料	2,146	工事設計、コンクリートブロック内部調査				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	ガラス飛散防止工事	屋内運動場におけるガラス飛散防止工事を実施することで、災害時の避難場所となる体育館の安全を確保できる。 工事箇所:豊科北中学校	13	委託料	418
					計	418
2	ソフト	○ コンクリートブロック内部調査	大阪府北部地震によるブロック塀の倒壊被害を受け、ブロック塀の内部の安全点検を実施し、学校施設内の安全を確保できる。 調査箇所:豊科南中学校 穂高東中学校	13	委託料	1,728
					計	1,728

重点施策	(4)
------	-----

コード	011301300
課・係等	学校教育課 学校庶務担当

予算書ページ	308
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	03	中学校費		基本方針	子どもが健やかに育つまち
	目	03	学校施設整備費		基本施策	学校教育の充実
	事業	0110292	中学校冷房設備等整備事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,100	0	0	0	12,100	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	12,100	0	0	0	12,100	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	19	ふるさと寄附基金繰入金	12,100							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 冷房設備を整備することにより、暑さから生徒の命と健康を守る  
**【効果】**  
 教室内の温度の適正化により、集中力・学習意欲が高まり、学力向上や生徒会などの諸活動の活性化が期待できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・平成32年度(2020)に中学校普通教室への冷房設置工事に係る工事設計の作成

**【詳細事業内訳】**  
 中学校冷房設備等整備事業 12,100千円

【一般財源増加理由】	新規事業のため						
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
13	委託料	12,100	中学校の普通教室への冷房設備工事に係る工事設計の作成				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	○ 中学校冷房設備等整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国(文部科学省)が定める「学校環境衛生基準」では、教室内温度は「17℃以上、28℃以下」が望ましいとされている。</li> <li>・災害に匹敵すると言われた平成30年の猛暑を踏まえ、すべての市内中学校の普通教室に冷房設備を早期に整備し室温の適正化を実現することにより、暑さから児童生徒の命と健康を守るとともに、集中力・学習意欲が高まり、学力向上や児童会・生徒会などの諸活動の活性化が期待できる。</li> </ul>	13	委託料	12,100	
					計	12,100	
2					計	0	

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	140
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0103260	児童館運営費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	210,927	16,059	16,059	0	41,231	137,578
前年度	214,370	20,726	20,726	0	41,842	131,076
増減額	△ 3,443	△ 4,667	△ 4,667	0	△ 611	6,502

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	13	児童クラブ負担金	41,230							
13	児童クラブ負担金滞納繰越分	1								
15	子ども子育て支援交付金	16,059								
16	子ども子育て支援交付金	16,059								

【目的・効果】

【目的】

・児童館、児童クラブ事業により、子育て支援を進めるとともに放課後の児童の安全・安心な居場所を提供する。

【効果】

・児童館事業として子育て支援事業を広く展開することにより、子どもの健全な発達と子育て世代の交流や子育て不安の解消を図る。  
 ・児童クラブの開設により、保護者が安心して働ける環境づくりができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・市内9児童館、11児童クラブを指定管理制度による指定管理委託により運営する。
- ・児童クラブの6年生までの受入れ拡大や、入所要件緩和に向けた検討を進める。
- ・児童館の環境整備のため、豊科中央児童館、穂高西部児童館にエアコン増設を行う。

【詳細事業内訳】

児童館運営事業(民間委託事業) 210,927千円

【一般財源増加理由】 児童館施設修繕費の増額と児童クラブ施設整備の減による特定財源の減額のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,725	児童クラブ事務 非常勤職員賃金				
11	需用費	2,441	児童クラブ納付書用封筒、児童館施設修繕費				
13	委託料	204,502	児童館、児童クラブ指定管理委託料				
14	使用料及び賃借料	478	児童館用地借地料				
15	工事請負費	1,781	児童館エアコン設置工事、児童クラブ網戸設置工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	児童館運営事業(民間委託事業)	児童館での子育て支援事業により、子どもの健全な発達と子育て世代の交流や子育て不安の解消を図る。児童クラブ開設により、児童に安全・安心な居場所の提供を行うことで、保護者が安心して働ける環境づくりができる。	07	賃金	1,725
				11	需用費	2,441
				13	委託料	204,502
				14	使用料及び賃借料他	2,259
					計	210,927
2						
					計	0

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	142
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	02	児童福祉費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	02	児童館費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0103270	児童館整備事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	583	0	0	0	0	583
前年度	281	0	0	0	0	281
増減額	302	0	0	0	0	302

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・子育て支援の充実を図るため、老朽化した穂高北部児童館の建替えによる環境整備を行う。  
**【効果】**  
 ・新たな児童館の建設に際し、これまでなかった園庭やプレールーム等の施設を整備することで、より充実した環境での子育て支援が可能になる。  
 ・現在の穂高北部児童館は有明会館2階にあるが、新たに建設することで階段の上り下りの不便解消やバリアフリー化を図る。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・建設用地取得にあたり、候補地の不動産鑑定評価を行う。  
 ・児童館建設検討会を開催し、新たな児童館の規模、機能等の検討を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 穂高北部児童館整備事業 583千円

【一般財源増加理由】 児童館建設検討会出席謝礼の新規増額のため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	273	児童館建設検討会出席謝礼				
13	委託料	310	不動産鑑定委託料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	312
--------	-----

重点施策	—	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110305	社会教育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	311,012	0	0	0	0	311,012
前年度	331,414	0	0	0	0	331,414
増減額	△ 20,402	0	0	0	0	△ 20,402

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○第2次総合計画の基本方針「学び合い人と文化を育むまち」を図るため、安曇野市教育大綱(安曇野市の教育)並びに第2次安曇野市生涯学習推進計画などの個別計画に基づく施策を進める体制などを統括する。  
**【効果】**  
 ○市民や各種団体との連携・協力により生涯学習の推進体制を構築し、組織の充実・強化が図られる。  
 ○第2次安曇野市生涯学習推進計画に基づく、生涯学習活動の展開が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○社会教育に係る統括的総務事務を行う。  
 ○社会教育に関する諸計画について、社会教育委員が審議する。  
 ○第2次生涯学習推進計画(平成30年度～平成39年度)を生涯学習推進本部及び生涯学習推進市民会議とともに進捗管理、各種施策の検討等を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 社会教育総務事業 311,012千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	336	社会教育委員報酬			11	需用費	165	事務消耗品		
02	給料	166,767				13	委託料	72	バス運転業務		
03	職員手当等	75,992				14	使用料及び賃借料	5	駐車場代他		
04	共済費	52,577				19	負担金補助及び交付金	32	社会教育委員連絡協議会負担金、関東甲信越静社会教育研究大会参加負担金		
07	賃金	14,911	社会教育指導員賃金								
08	報償費	91	生涯学習推進市民会議出席謝礼他								
09	旅費	64	関東甲信越静社会教育研究大会旅費他								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1						計	0
2						計	0



重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	314
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110308	生涯学習推進費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,293	0	0	0	0	3,293
前年度	3,046	0	0	0	0	3,046
増減額	247	0	0	0	0	247

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

○第2次安曇野市生涯学習推進計画に掲げる基本理念「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」の実現に向けて施策を展開する。

【効果】

○市民の学習要望に応じて学習機会の充実が図れる。  
○学習成果を活かし、支え合い認め合う協働のまちづくりが推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 安曇野アカデミーを開催し、安曇野市の歴史や文化・伝統を学ぶことで郷土愛を育む。
- 市民大学講座、学校開放講座を開催し市民の学習機会を充実する。
- 日本語教室を運営し、外国人住民への学習支援と日本語指導ボランティア講習会によりボランティアを育成する。
- 芸術文化協会への補助金交付により運営を支援する。
- 囲碁将棋大会実行委員会への補助金交付により大会を充実させる。
- 安曇野市太鼓連盟外への補助金交付により生涯学習団体を育成する。

【詳細事業内訳】

社会教育団体支援事業 1,395千円 生涯学習講座実施事業 1,898千円

【一般財源増加理由】 市民大学講座講師謝礼、雑踏警備、手話通訳等経費増額のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	629	各種講座講師謝礼他				
11	需用費	238	各種講座教材他、ポスター・チラシ印刷				
12	役務費	647	市民大学講座特別編(時勢)講演料、手話通訳				
13	委託料	371	日本語教室運営業務、講座現地学習バス運行业務他				
14	使用料及び賃借料	13	市民大学講座特別編無線機借上げ				
19	負担金補助及び交付金	1,395	社会教育団体補助金(芸術文化協会、太鼓連盟、囲碁将棋大会他)				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	市民大学講座信州大学編 (生涯学習講座実施事業)	市民大学講座信州大学編の開催回数を増やし、アンケート調査を基に市民の要望に応じて内容の充実を図る。	08	報償費	180
				11	印刷製本費	61
					計	241
2					計	0

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	330
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	03	人権教育推進費		基本施策	人権の尊重	
	事業	0110365	人権教育推進事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,124	0	85	0	0	7,039
前年度	4,349	0	95	0	0	4,254
増減額	2,775	0	△ 10	0	0	2,785

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	人権教育促進事業補助金	85							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標「人権を尊重し差別のない明るい住みよい安曇野市の実現」のため、人権教育・啓発を推進する。  
 ○公共施設再配置計画に基づき人権教育集会所の譲渡又は廃止に向けて整備を行う。  
**【効果】**  
 ○地域に即した人権教育ができる。  
 ○人権への市民意識の醸成を図ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○人権教育推進委員、人権教育指導員の設置により人権教育の推進・振興に努める。  
 ○人権教育講演会及び講座を開催し、人権意識の醸成を図る。  
 ○大会及び研修会に参加し、人権問題への理解を深める。  
 ○企業人権教育推進協議会を運営し、指導者の育成と情報提供を行う。  
 ○豊科解放館の廃止及び市内3カ所の人権教育集会所の譲渡又は廃止に向けて調整を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 人権教育推進事業 5,147千円 人権集会所整備事業 1,977千円

【一般財源増加理由】		人権教育集会所の譲渡及び廃止に係る廃棄物処理料、不動産鑑定・アスベスト調査等の経費増額のため									
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	2,545	人権教育推進協議会出席謝礼、人権教育講演会・学習会講師謝礼、人権尊重作文入選者記念品他			19	負担金補助及び交付金	2	安曇野市企業人権推進協議会負担金		
09	旅費	45	全国人権・同和教育研究大会旅費								
11	需用費	649	人権尊重作文集印刷、大会資料代、人権教育集会所光熱水費他								
12	役務費	1,014	人権・平和特別授業演劇料、雑踏警備他								
13	委託料	2,030	人権教育集会所不動産鑑定・アスベスト調査・廃棄物処分・消防設備点検、人権・平和特別授業バス運行業務他								
14	使用料及び賃借料	635	人権・平和特別授業バス借上料他								
15	工事請負費	204	人権教育集会所ブロック塀撤去								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハードソフト	○	人権集会所整備事業	豊科解放館は、現在設置目的の利用はなく、建物の老朽化が進み安全性が確保できていないため、上川手書庫と合わせて廃止する(解体工事は財産管理課で実施)。他の3ヶ所の人権教育集会所についても関係団体や地元住民と協議し、譲渡又は廃止に向けて調整を行う。	12	役務費	10
					13	委託料	1,763
					15	工事請負費	204
						計	1,977
2					計	0	

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	332
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0110370	青少年健全育成費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,396	0	0	0	9	25,387
前年度	19,799	0	0	0	26	19,773
増減額	5,597	0	0	0	△17	5,614

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17		青少年育成基金利子	9						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもを育てていく。  
**【効果】**  
 ・様々な体験学習を通し、集団での活動や世代間交流を進めることで、多様な考え方に触れ、互いの価値観を認め合うことができる。  
 ・地域の人々とふれあう中で、人との接し方や人間関係を学んでいくことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・青少年健全育成の取り組みを行うため、街頭巡回や啓発などの青少年センター事業を実施する。  
 ・子どもたちの創造性の発揮、コミュニケーション能力の向上、共同作業の楽しさを知ること、自分自身の新たな発見をすることを目的に体験型の講座を開催する。  
 ・市内の子ども達が一堂に会し、日頃行っている活動を自由な発想で発表、展示する機会として子ども文化祭を開催する。  
 ・地区子ども会育成会と連携し、地域で行われる行事についての手法・技術の講習会を行うことにより、地域を担う核となる、人間性豊かな子どもやリーダーの育成を図る。  
 ・地区子ども会育成会の活発な活動を支援するため、補助金を交付する。

**【詳細事業内訳】**  
 青少年育成環境整備事務 8,908千円 青少年体験事業 1,115千円 成人式実施事業 3,802千円 子ども会育成会支援事務 11,571千円

【一般財源増加理由】 黒沢洞合公園用地の購入のため。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	35	青少年健全育成審議会委員報酬	17	公有財産購入費	7,453	黒沢洞合公園用地購入
07	賃金	1,725	子ども会育成会連合会事務 非常勤職員賃金	19	負担金補助及び交付金	8,871	青少年健全育成団体補助金、子ども会育成会補助金
08	報償費	3,616	成人式記念品、青少年センター運営委員出席謝礼、体験活動講師謝礼、子ども会育成会連合会委員出席謝礼	25	積立金	10	青少年育成基金利子
11	需用費	1,510	成人式贈り物、青少年センター消耗品、体験活動消耗品、子ども会育成会だより印刷				
12	役務費	71	青少年センター巡回活動保険料、体験活動保険料				
13	委託料	1,895	成人式会場設営委託、洞合公園管理委託、子ども体験講座委託				
14	使用料及び賃借料	210	成人式テント、無線借上料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	子ども会育成会支援事務	補助金交付により、地区子ども会の活動活性化を図るとともに、異世代交流や地域の伝統文化の継承を促進させ、人間性豊かな子どもの育成を図る。	07	賃金	1,725
				08	報償費	868
				11	需用費	594
				19	負担金補助及び交付金	8,384
					計	11,571
2					計	0

重点施策	—		コード	011302100		予算書ページ	334
			課・係等	生涯学習課 社会教育担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	子どもが健やかに育つまち	
	目	04	青少年健全育成費		基本施策	青少年の健全育成	
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,338	0	1,864	0	0	6,474
前年度	8,526	0	2,587	0	0	5,939
増減額	△ 188	0	△ 723	0	0	535

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	放課後子どもプラン補助金	1,864							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・地域ぐるみで青少年の健全な育成に取り組み、人間性豊かな子どもを育てていく。  
**【効果】**  
 ・学校施設を活用することで、放課後の子どもたちの安全・安心で健やかな遊び場や居場所を提供できる。  
 ・異年齢間での遊びや活動、地域住民との交流を図ることで、心豊かなたくましい子どもを育てていく。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・市内の小学生を対象として、放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢の交流による様々な体験や集団遊びの場を提供し、心豊かなたくましい子どもを育てるために、放課後子ども教室を開催する。

**【詳細事業内訳】**  
 放課後子ども教室実施事業 8,338千円

【一般財源増加理由】 補助金交付決定の実績により特定財源額を見込んだため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	6,930	放課後子ども教室スタッフ謝礼				
11	需用費	521	放課後子ども教室消耗品				
12	役務費	868	放課後子ども教室保険料				
13	委託料	19	放課後子ども教室スタッフ研修会バス運転委託				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	放課後子ども教室実施事業	市内の小学生を対象として、放課後の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢の交流による様々な体験や集団遊びの場を提供し、心豊かなたくましい子どもを育てる。	08	報償費	6,930
				11	需用費	521
				12	役務費	868
				13	委託料	19
					計	8,338
2					計	0

重点施策	(4)
------	-----

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	342
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110380	中央公民館事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	53,840	0	0	0	30,825	23,015
前年度	61,013	0	0	0	30,825	30,188
増減額	△ 7,173	0	0	0	0	△ 7,173

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○「安曇野市公民館の理念」の下、地域住民の交流と学習の場として時代に即した公民館運営を行い、市民の生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与する。  
**【効果】**  
 ○各種講座を開設し、市民の学習要望に応じることで、市民一人ひとりが生き生きと活動することができる。  
 ○市民に最も身近な地区公民館を支援し、地域コミュニティの充実に寄与できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○公民館事業の企画実施について、公民館運営審議会が調査審議する。  
 ○安曇野市公民館大会を開催し、公民館活動の発展を推進する。  
 ○安曇野市公民館報を発行し、公民館活動を広く市民に周知する。  
 ○地域を超えた全市的事业として安曇野市総合芸術展を開催し、市民に一体感の醸成を図る。  
 ○県、中信地区協議会事業に参加し、公民館職員の資質向上に努める。  
 ○公民館活動推進功労者・地区公民館報の表彰を実施し、その功績を称える。  
 ○地区公民館の活動と建設に対し補助金を交付し、地区公民館を支援する。  
 ○生涯学習情報～Link～を発行し、市民が生涯学習に関する情報を一括して入手できるようにすることで生涯学習への取り組みを喚起する。

**【詳細事業内訳】**  
 中央公民館事業 53,840千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	147	公民館運営審議会委員報酬				
08	報償費	2,340	公民館講座講師謝礼、館報編集委員謝礼、総合芸術展実行委員会委員出席謝礼、芸術展出展者記念品他				
09	旅費	108	関東甲信越静公民館研究大会旅費				
11	需用費	1,757	公民館報発行、ポスター・チラシ印刷、大会資料、総合芸術展事務用品他				
12	役務費	26	表彰状筆耕				
14	使用料及び賃借料	8	公民館大会無線機借上げ				
19	負担金補助及び交付金	49,454	地区公民館活動補助金、地区公民館建設補助金、市民運動会交付金、県公民館運営協議会分担金他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	生涯学習情報～Link～の発行 (中央公民館事業)	公民館やスポーツ施設等生涯学習施設の利用案内や市民サークルの紹介、リーダーバンク情報等を掲載した冊子「生涯学習情報～Link～」を年2回発行し、市民へ生涯学習に関する情報提供を行うことで、生涯学習施設やリーダーバンクの利用促進や市民サークル等の自主活動の推進を図る。		計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011302100
課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算書ページ	344
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110385	豊科公民館管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	23,342	0	0	0	2,548	20,794
前年度	26,809	0	0	0	2,056	24,753
増減額	△ 3,467	0	0	0	492	△ 3,959

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科公民館使用料	2,500							
21	豊科公民館雑入	48								

【目的・効果】

【目的】

・生涯学習に触れる機会、学ぶ拠点として公民館が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を図るため。

【効果】

・学びや交流の場として公民館の環境整備を図ることで、より活力あるまちづくりとともに誰もが住みたいまちづくりの建設の推進に寄与する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・ホールの稼働率が高まる中で、設備の延命化を図り、幅広い利用形態や用途に対応するため、ホールの保安・管理の充実化とともにホール利用者が快適かつ安全に過ごせるよう施設・設備について法制度の規範に応える事業委託を推進する。

【詳細事業内訳】

豊科公民館施設管理運営事業費 23,342千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	481	ホール貸館管理業務	27	公課費	9	車検重量税
11	需用費	4,820	消耗品、灯油、電気代、施設・物品修繕				
12	役務費	5,988	PCB処分費用、電話料、ピアノ調律・保守点検				
13	委託料	10,549	機械警備保障、エレベーター保守点検、消防用設備点検、ホール冷暖切替保守点検、シルバー人材委託等				
14	使用料及び賃借料	1,372	コピー使用料、駐車場借地料				
18	備品購入費	119	展示用パネル・ポール購入				
19	負担金補助及び交付金	4	防火管理者協議会負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	346
--------	-----

重点施策	(4)	コード	011302100
		課・係等	生涯学習課 社会教育担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	05	公民館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110390	豊科公民館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,362	0	0	0	12	5,350
前年度	5,723	0	0	0	16	5,707
増減額	△ 361	0	0	0	△ 4	△ 357

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	豊科公民館雑入		12						

【目的・効果】

【目的】

・文化活動やスポーツ事業を通じ、生きがいや健康増進及び様々な交流や連携の推進を図るため。

【効果】

・多くの市民が公民館事業に参加することで地域のつながりが深まり、地域間交流にも寄与する。  
 ・文化祭・芸能発表会等、学びの成果の発表の場を提供することで生きがいとともに更なる学習意欲が生まれる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・ホール利用のPR及び催事の誘致  
 ・文化祭出展を目指して大輪菊づくりを学ぶ菊作り講座  
 ・幅広い世代の参加を促すため、競技種目やルールに配慮した2回の球技大会と市民運動会の開催  
 ・気軽に参加できる親子ふれあい塾、自身の体験談や趣味にスポットを当てた講座の開講など

【詳細事業内訳】

豊科公民館事業 5,362千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	2,478	公民館長報酬				
08	報償費	1,530	公民館役員研修会講師謝礼、文化祭・体育大会等協力者謝礼、体育大会等参加賞ほか				
11	需用費	423	消耗品、体育大会競技用品、文化祭プログラム				
12	役務費	216	レンタルトイレ汲取り料、公民館総合補償保険掛金				
13	委託料	255	文化祭会場設営委託、バス運転業務				
14	使用料及び賃借料	460	体育大会・文化祭パイプtent、競技用具運搬車両借上げ、				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	○ 豊科公民館ホール無料お試し体験事業(豊科公民館事業)	音楽演奏や踊り、ダンスなどを行う個人・団体・グループで、これまでホールを利用したことがない者を対象としてホールステージの無料体験を応募により行う。ホールを実体験することよりのその魅力にふれてもらうことで、ホールの今後の新たな利用者を新規開拓すると共に公民館利用者の増加を図り将来的に安曇野市の文化・芸術の裾野を拡げていく。経費は通常の維持管理の中での電気料等が見込まれるが、新たにかかることはしない。		計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	350
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110440	社会体育総務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,162	0	0	0	0	16,162
前年度	16,811	0	0	0	0	16,811
増減額	△ 649	0	0	0	0	△ 649

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・健康志向の高まりなどに伴い、スポーツ活動に対する市民の関心とニーズは一段と高まる中、市民がスポーツを自主的・主体的にスポーツ活動を展開するための仕組みを構築し、市民スポーツの活性化と市のスポーツ活動の発展に寄与する。また、第2次安曇野市スポーツ推進計画実現に向けて施策を展開する。  
**【効果】**  
 ・生涯スポーツの推進、健康体づくり、競技力の向上が図られるとともに、スポーツを通じたコミュニティの活性化と健全な精神の高揚につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・スポーツ推進委員が生涯学習課及び公民館事業(スポーツ教室・運動会等)の企画、指導、協力を行う。  
 ・スポーツ審議会を開催し、スポーツ振興に関する計画等重要事項を審議する。  
 ・全国大会以上の各種競技会等へ出場する個人・団体に対して激励金を交付する。  
 ・市体育協会、スポーツ少年団に対し、組織強化、財務強化、指導者育成、競技力向上に対する支援を行う

**【詳細事業内訳】**  
 社会体育総務費 4,952千円 体育団体等支援事業 11,210千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	2,727	スポーツ推進委員会、スポーツ審議会		19	負担金補助及び交付金	10,111	体育協会、スポーツ少年団補助金、各種負担金		
07	賃金	1,722	非常勤職員賃金							
08	報償費	1,210	大会出場激励金							
09	旅費	149	研修会、説明会							
11	需用費	162	事務用品、賞状印刷							
12	役務費	56	スポーツ保険(スポーツ推進委員)							
13	委託料	25	バス運転業務							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	体育団体等支援事業	中核的なスポーツ振興を図っている団体(体育協会、スポーツ少年団)に対する支援を行う。また、全国以上の大会に出場する選手に激励金を交付する。	08	報償費	1,210	
				19	負担金補助及び交付金	10,000	
					計	11,210	
2					計		



予算書ページ	352
--------	-----

重点施策	(4)	コード	011302200
		課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	保健体育総務費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110445	スポーツ推進事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10,815	0	160	0	2,447	8,208
前年度	8,963	0	0	0	1,800	7,163
増減額	1,852	0	160	0	647	1,045

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	16	元気づくり支援金	160							
19	地域振興基金繰入金	1,200								
21	スポーツ教室参加料	1,247								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活を送るためにスポーツに親しむことは極めて重要な意義を持っており、スポーツ教室等を充実・実現させ、生涯スポーツの推進、スポーツを通じたコミュニティづくり等を図る。  
**【効果】**  
 ・スポーツにかかわることができる環境を整えることで、スポーツをする楽しさや喜びを感じるとともに仲間との連帯感を深め、心身の健康と活力をもたらす。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・市民ニーズやライフステージに応じたスポーツ教室を開催する。  
 ・市スポーツ大使による「有森裕子ランニングクリニック」を開催する。  
 ・「自転車を活用したまちづくり」の取り組みとして、サイクリング教室を開催する。  
 ・幼児期・児童期の運動能力を身につけるコーディネーショントレーニングの促進を図る。  
 ・市町村対抗駅伝、県縦断駅伝大会の支援を行う。  
 ・実行委員会を編成し、第10回市民スポーツ祭記念事業を開催する。

**【詳細事業内訳】**  
 スポーツ教室等開催事業 10,815千円

【一般財源増加理由】	有森裕子ランニングクリニック委託事業及び市民スポーツ祭記念事業の実施による増額						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	3,476	スポーツ教室講師謝礼、医師等労務謝礼				
11	需用費	164	スポーツ教室開催等に係る消耗品、講師湯茶				
12	役務費	434	傷害保険料(スポーツ参加者)				
13	委託料	3,637	スポーツ教室業務				
18	備品購入費	54	レクリエーション用品購入				
19	負担金補助及び交付金	3,050	駅伝大会(市町村対抗・県縦断)、市民スポーツ祭				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	有森裕子ランニングクリニック(スポーツ教室等開催事業)	「信州安曇野ハーフマラソン大会」が5回目を迎える節目の記念として、大会出場を希望する市民等を対象に、走るための知識や大会に向けてのトレーニング方法を講義と実技で学ぶ。	13	委託料	1,045	
					計	1,045	
2	ソフト	第10回市民スポーツ祭記念事業(スポーツ教室等開催事業)	多くの市民が参加できる市民スポーツ祭を実行委員会等と連携し開催する。10年の節目として、アスリートの講習会やスポーツ体験・展示等多くのスポーツに親しむものを提供する。	19	負担金補助及び交付金	2,500	
					計	2,500	

重点施策	—		コード	011302200		予算書ページ	352
			課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実	
	事業	0110450	社会体育施設管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	97,245	0	0	0	20,750	76,495
前年度	164,930	0	0	0	60,807	104,123
増減額	△ 67,685	0	0	0	△ 40,057	△ 27,628

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	文化公園施設使用料	1,100	21	社会体育施設自動販売機電気料	420				
14	学校施設使用料	4,520	21	社会体育施設公衆電話料	5					
14	社会体育施設使用料	14,700								
21	文化公園公衆電話料	5								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備する。  
 ・市内の体育施設の維持管理を行う。  
**【効果】**  
 ・体育施設の環境を整備することにより、市民が屋内外の各種スポーツ施設を積極的に利用し、健康増進やスポーツ活動の活発化が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**■市内社会体育施設の維持管理及び施設修繕**  
 ・破損箇所や危険箇所を把握し、利用者の安全確保のため必要な修繕  
 ・管理人配置及び施設管理委託(施設予約受付・許可、使用料徴収、清掃、鍵受け渡し等の管理)  
 ・公共施設予約システムの管理  
 ・マレットゴルフ場の指定管理委託  
 ・学校開放施設の適切な修繕  
**●市内社会体育施設**  
 豊科南社会体育館、豊科勤労者総合スポーツ施設、豊科武道館、豊科弓道場、県民豊科運動広場、高家スポーツ広場、豊科屋内ゲートボール場、梓橋運動広場、穂高総合体育館、西穂高運動場、有明運動場、北穂高運動場、牧運動場、三郷文化公園体育館、三郷体育館、三郷競技場、堀金総合体育館、常念ドーム、明科体育館、龍門淵公園運動広場、明科農村広場、各マレットゴルフ場 等

**【詳細事業内訳】**  
 社会体育施設管理費 97,245千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	3,387	管理人賃金(堀金総合体育館)	23	償還金、利子及び割引料	10	施設使用料還付金
11	需用費	35,161	施設消耗品、施設修繕費、施設光熱水費、施設物品修繕費	27	公課費	9	自動車重量税
12	役務費	1,392	施設電話料、モップ交換代、汲取手数料				
13	委託料	46,903	施設管理業務、施設整備委託、指定管理委託				
14	使用料及び賃借料	10,365	コピー機、重機借上料、公共施設予約システムリース料、体育施設借地料				
19	負担金補助及び交付金	8	防火管理者協議会負担金				
22	補償補填及び賠償金	10	補償金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ハード	体育施設修繕(社会体育施設管理費)	・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備するため、施設修繕を行う。主な修繕は、明科中学校屋外分電盤発錆修繕、堀金総合運動場・西穂高運動場・穂高総合体育館卓球室配管の漏水修繕である。	11	需用費	35,161	
					計	35,161	
2					計	0	

重点施策	—		コード	011302200		予算書ページ	354
			課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実	
	事業	0110455	市民プール管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,903	0	0	0	0	21,903
前年度	25,065	0	0	0	0	25,065
増減額	△ 3,162	0	0	0	0	△ 3,162

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・市内唯一の公共プールを維持管理及び運営する。  
**【効果】**  
 ・夏場の市民の娯楽や体力向上、健康増進を促進することができる。  
 ・夏休み時の子どもたちを楽しみの場・憩いの場として提供できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・営業を3シーズン延長した、1シーズン目の運営(3シーズン営業後に廃止)  
 ・必要最低限の施設修繕(起流ポンプと排水ポンプのみの修繕)  
 ・安全面に考慮した修繕  
 ・ウォータースライダーの運営は行わない  
 ・指定管理委託  
 ・プール用地の借地料支払い  
 ●施設概要  
 ちびっこプール、子供プール、25Mプール、流水プール、売店 等

**【詳細事業内訳】**  
 市民プール管理費 21,903千円

【一般財源増加理由】		主な内容		主な内容	
節	節名称	金額	節	節名称	金額
11	需用費	1,078			
13	委託料	12,102			
14	使用料及び賃借料	8,723			

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	指定管理者委託(市民プール管理費)	穂高プールの管理運営を体育施設運営のノウハウを持つ、株式会社フクシ・エンタープライズに指定管理委託することにより、施設の安全・安心な運営、住民サービスの向上と経費削減等を図る。	13	委託料	12,102
					計	12,102
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011302200
課・係等	生涯学習課 スポーツ推進担当

予算書ページ	354
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	06	保健体育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	02	保健体育施設費		基本施策	スポーツ活動の充実
	事業	0110457	社会体育施設整備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	484	0	0	0	483	1
前年度	100,247	0	0	0	246	100,001
増減額	△ 99,763	0	0	0	237	△ 100,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○安曇野市公式スポーツ施設整備計画に掲げる施設の整備のため設置された「安曇野市公式スポーツ施設整備基金」への積立を行う。  
**【効果】**  
 ○安曇野市公式スポーツ施設整備計画に掲げる施設が整備されることにより、その施設を使用し、スポーツに親しむことで、体力の向上、ストレス解消、生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の維持、増進に大きな効果を得ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 公式スポーツ施設整備計画に掲げた施設の整備に向け、本年度は基金利子分のみを積み立てる。

**【詳細事業内訳】**  
 公式スポーツ施設整備基金積立金 484千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
25	積立金	484	公式スポーツ施設整備基金利子								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	(4)		コード	011303100		予算書ページ	314
			課・係等	文化課 文化振興係 (文化課 文化振興担当)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進	
	事業	0110310	文化振興費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	117,168	国支出金	県支出金	市債	その他	
		0	0	0	2,446	114,722
前年度	104,150	0	0	0	695	103,455
増減額	13,018	0	0	0	1,751	11,267

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	17	博物館等における美術品取得及び特別企画展開催基金利子	43	21	高橋節郎記念美術館電気料	1,821				
17	名誉市民田淵行男顕彰基金利子	4								
17	ちくに生きものみらい基金利子	129								
19	ちくに生きものみらい基金繰入金	449								

【目的・効果】

【目的】

- ・諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出する。
- ・指定管理者との連携により美術館活動の活性化を図る。

【効果】

- ・心豊かで潤いある市民生活を実現することができる。
- ・安曇野市の活力と魅力を高めることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・諸団体と協働で音楽祭、能公演などを行う。また、文化芸術を振興する事業に対し補助金を交付する。
- ・東京藝術大学音楽学部との連携による安曇野市の中学生への演奏指導を実施し、演奏技術の向上を図るとともに、音楽家と接する機会を設ける。
- ・安曇野市内の美術館・博物館が連携する取り組みをおこない、各施設の学芸員の資質の向上をはかり、単独の施設では担いきれない鑑賞の機会を創出する。ちくに生きものみらい基金を活用した小中学校のクラス単位の自然観察会の開催補助と美術館・博物館の利用促進。
- ・美術館・記念館等の指定管理(指定管理期間:平成31年4月1日～平成36年3月31日)  
安曇野市豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・安曇野市穂高陶芸会館・安曇野高橋節郎記念美術館:公益財団法人安曇野文化財団

【詳細事業内訳】

田淵行男記念館管理運営事業 13,800千円 穂高陶芸会館管理運営事業 7,191千円 文化芸術施設整備事業 416千円 豊科近代美術館管理運営事業 37,295千円 文化団体補助事業 18,017千円 安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業 22,624千円 安曇野高橋節郎記念美術館施設整備事業 7,623千円 美術館・博物館連携事業 1,271千円 飯沼飛行士記念館管理運営事業 2,405千円 文化振興総務費 2,598千円 芸術教育普及事業 3,928千円

【一般財源増加理由】

安曇野高橋節郎記念美術館に指定管理者制度を導入するにあたり、平成30年度まで別事業であった「高橋節郎記念美術館費」を当事業に組み込んだため、管理運営の費用が増額となっている。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	256	博物館協議会・美術資料等選定委員会委員報酬	14	使用料及び賃借料	1,232	東京藝大連携事業・能楽教室講師宿泊費、礪山美術館使用料、飯沼館借地料
07	賃金	1,787	臨時職員賃金	15	工事請負費	6,380	高橋節郎記念美術館ロビーエアコン改修工事
08	報償費	1,830	東京藝大連携事業・能楽教室講師謝礼	18	備品購入費	1,000	美術資料等購入
09	旅費	214	東京藝大連携事業・能楽教室職員、講師旅費	19	負担金補助及び交付金	17,766	早春賦音楽祭・安曇野文化財団・能楽鑑賞会補助金等
11	需用費	2,398	高橋節郎記念美術館光熱水費・事業消耗品費等	25	積立金	179	基金積立金利子
12	役務費	591	学校ミュージアム作品運搬費				
13	委託料	83,535	豊科近代美術館外5館指定管理委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	芸術教育普及事業	東京藝術大学との連携や、県の事業の招致等により、身近な会場で一流の芸術家が公演・展示を行い、市民が直接触れる機会を設ける。芸術鑑賞の機会を創出し、豊かな感性を育む機会とする。	08	報償費	1,646
				18	備品購入費	1,000
				14	使用料及び賃借料	708
					その他	574
					計	3,928
2	ソフト	美術館・博物館連携事業	学校等への出前展示等を行い、市民が芸術や文化に接する機会を増やす。ちくに生きものみらい基金を活用し、小中学生が自然に触れ、文化施設等を活用する機会を創る。美術館等の連携を促進し活性化を図る。	13	委託料	713
				12	役務費	558
					計	1,271

重点施策	—
------	---

コード	011303300
課・係等	文化課 博物館係

予算書ページ	318
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110320	郷土博物館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	25,732	0	0	0	715	25,017
前年度	24,567	0	0	0	300	24,267
増減額	1,165	0	0	0	415	750

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	郷土博物館等使用料	250							
19	ちくに生きものみらい基金繰入金	415								
21	郷土博物館刊行物等頒布代	30								
21	郷土博物館雑入	20								

**【目的・効果】**  
**【目的】**郷土の自然、歴史、民俗及び文化に関する知識の向上と文化の発展に寄与するため、資料の展示並びに収集及び保管を行う。所在地:豊科4289番地8 開館年:昭和54年。『安曇野市新市立博物館構想』に基づき、学芸体制の整備、コンパクト展示等を実施する。  
**【効果】**安曇野市の魅力を市内外に発信し、郷土に対する市民の関心を高めることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 年3回企画展(夏季、秋季、春季)を開催する。  
 昔のくらし体験教室等各種講座を開催する。  
 博物館紀要等の刊行物を発行する。  
 『新市立博物館構想』に基づき、コンパクト展示を展開する。  
 新市立博物館構想を見直すべきか検討を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 新市立博物館整備事業 726千円 豊科郷土博物館等施設運営管理事業 21,132千円 豊科郷土博物館教育普及事業 3,874千円

【一般財源増加理由】 新市立博物館構想を見直すべきか検討する。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	1,689	館長報酬	14	使用料及び賃借料	899	借地料外、印刷機等借上料、コピー機使用料、サーバー使用料外
07	賃金	10,748	臨時職員賃金、短期雇用職員賃金	18	備品購入費	254	標本殺虫用冷凍庫
08	報償費	751	講座・講演会講師謝礼外	19	負担金補助及び交付金	52	防火管理者協議会外負担金
09	旅費	216	研修会等出張旅費外				
11	需用費	6,020	施設管理用需用費、教育普及用需用費、コンパクト展示用外消耗品				
12	役務費	872	施設管理用(電話料外)役務費、教育普及用(広告料外)役務費				
13	委託料	4,231	施設管理(シルバー外)委託料、構想策定支援業務等、展示委託料等				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	豊科郷土博物館教育普及事業	事業内容:「縄文土器の変わり者たち」「絹の道～家蚕と天蚕～」旅と土産」をテーマに企画展を開催、調査研究、館だより、紀要の発行等 効果:日頃の調査研究の成果を市民などに還元できる。	11	需用費	2,291	印刷製本費外
				08	報償費	723	講師謝礼外
				13	委託料	290	ケース作成委託料外
					備品購入費外	570	標本殺虫用冷凍庫外
					計	3,874	
2	ソフト	新市立博物館整備事業	過去の企画展等の内容を活用したコンパクト展示を市内各施設で開催する。また、博物館協議会等で新市立博物館構想の見直しについて検討する。 効果:資料収集や調査研究の成果を市民に還元することが出来る。また新市立博物館構想の見直しが可能かどうか検討する。	13	委託料	495	構想見直し支援業務
				11	需用費	200	展示用消耗品
				08	報償費	28	講師謝礼
				12	役務費	3	保険料
					計	726	

重点施策	—		コード	011303200		予算書ページ	320
			課・係等	文化課 文化財保護係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進	
	事業	0110325	文化財資料センター費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,144	0	0	0	0	4,144
前年度	3,912	0	0	0	0	3,912
増減額	232	0	0	0	0	232

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 埋蔵文化財調査に伴い出土した遺物の整理作業を行い、適正な保存管理に努める。また博物館係所管の博物館等施設に展示及び保存する資料の収集、整理等を行う。豊科郷土博物館と連携して学芸活動を補完する役割を果たす。所在地:安曇野市穂高5836番地 開館年:平成25年  
**【効果】**  
 出土遺物や収蔵資料の整理等は地道な作業であるが、適切な保存と活用に向けて資料の収集、整理を進めている。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 埋蔵文化財調査に伴い出土した遺物の整理作業を行い、適正な保存管理に努める。  
 博物館等施設の資料整理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 文化財資料センター施設運営管理事業 4,144千円

【一般財源増加理由】消費税率の引き上げ 複合機リース料金の改定による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
7	賃金	2,024	資料整理及び資料復元作業				
11	需用費	1,267	事務用品、管理用品、燃料費、施設修繕、光熱水費、物品修繕ほか				
12	役務費	197	電話料ほか				
13	委託料	313	施設管理(警備 消防設備点検 剪定外) 廃棄物処理(粗大ごみ等)				
14	使用料及び賃借料	343	複合機等リース 回線使用料				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	文化財資料センター施設運営管理事業	発掘調査により得られた資料の保存活用を図るための整理作業を行う。	7	賃金	2,024
				11	需用費	1,267
				13	委託料	313
					その他	540
					計	4,144
2					計	0

予算書ページ	320
--------	-----

重点施策	—	コード	011303300
		課・係等	文化課 博物館係

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110335	貞享義民記念館事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,500	0	0	0	335	14,165
前年度	14,362	0	0	0	381	13,981
増減額	138	0	0	0	△ 46	184

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	貞享義民記念館使用料	250							
21	義民館刊行物等頒布代	70								
21	義民館雑入	15								

【目的・効果】

【目的】貞享義民の業績にかかわる資料の収集、保存、展示及び調査研究を通じて、郷土の歴史や義民の顕彰、人権尊重の精神を広く啓発し、講座及び学習会などの教育普及活動を行う。  
 【効果】義民の精神を伝え、市民の人権学習の場となる。安曇野市南部における文化拠点の一つとして、市民に発表の機会と多様な芸術文化に接する機会を提供する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。  
 市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として企画展を開催する。  
 義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。  
 『貞享騒動のお話』(500部)を増刷する。

【詳細事業内訳】

貞享義民記念館教育普及事業 798千円 貞享義民記念館施設運営管理事業 13,702千円

【一般財源増加理由】 『貞享騒動のお話』(500部)を増刷する。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	1,689	館長報酬	14	使用料及び賃借料	1,764	借地料、コピー使用料・借上料外
07	賃金	3,544	臨時職員賃金	15	工事請負費	786	研究室エアコン設置外
08	報償費	157	講師謝礼外	16	原材料費	40	義民公園用苗木外
09	旅費	22	職員登録者使用旅費	19	負担金補助及び交付金	35	日本博物館協会会費外
11	需用費	2,816	施設管理用需用費(光熱水費外)、教育普及用需用費(チラシ印刷費外)				
12	役務費	237	教育普及用役務費(広告料外)、電話料、モップ交換				
13	委託料	3,410	施設管理用委託料(シルバー外)、バス運転委託料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	貞享義民記念館教育普及事業	企画展や講座を開催し、義民の顕彰、人権尊重の精神を広く市民へ啓発していく。	11	需用費	524	書籍増刷外
				08	報償費	157	謝礼等外
				12	役務費	94	広告料外
				13	委託料	23	バス運転委託料
					計	798	
2					計	0	



重点施策	(2)
------	-----

コード	011303200
課・係等	文化課 文化財保護係

予算書ページ	326
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110355	文化財保護費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,018	1,216	0	0	0	7,802
前年度	13,461	1,139	0	0	0	12,322
増減額	△ 4,443	77	0	0	0	△ 4,520

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	民俗文化財調査	1,216							

【目的・効果】

安曇野市内にある文化財の保全を図り、公開へ向けた周辺整備と市民へ向けた啓発活動を推進する。  
また、地域史の解明と文化財の保全を図るため、文化財の調査、記録保存を進め保存・活用を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ◎文化財保全事業
  - ・文化財保全、保存管理に係る補助事業
  - 市指定有形文化財保存管理事業
  - 市指定無形民俗文化財保存伝承事業
  - ・「いわれの地」等文化財標柱、説明板等の整備
- ◎地域史研究と文化財保存・活用
  - ・安曇平のお船祭り調査のまとめ
  - ・古民家調査(信州大学工学部連携)
  - ・映像資料保存活用事業

【詳細事業内訳】

文化財保護事業事務 2,240千円 文化財保全事業 3,099千円 地域史研究と文化財保存・活用 3,679千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
1	報酬	53	文化財保護審議会	15	工事請負費	401	文化財標柱設置等工事
7	賃金	1,722	文化財保護臨時職員	19	負担金補助及び交付金	1,557	無形民俗文化財保存伝承事業ほか
8	報償費	972	指定文化財公開謝礼、文化財専門者相談謝礼、文化財調査委員会、オフネ祭り調査ほか				
9	旅費	325	職員研修視察、文化財保護審議会委員費用弁償、オフネ祭り調査委員等費用弁償				
11	需用費	1,856	事務用消耗品、文化財調査消耗品、文化財調査報告書、燃料費、物品修繕ほか				
12	役務費	11	公用車点検				
13	委託料	2,121	史跡内除草、無形民俗文化財記録作成推進支援(オフネ調査)、古民家調査、映像資料保存活用事業				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	指定文化財保存修理等補助金他(文化財保全事業)	市内にある文化財の保全を図るため、文化財の指定等に関する事務手続きを行う。また、指定文化財の保存管理のための助言及び財政支援を行う。	8	報償費	455
				13	委託料	574
				19	負担金補助及び交付金	1,557
					その他	513
					計	3,099
2	ソフト	オフネ祭り調査、古民家調査、映像資料保存活用他(地域史研究と文化財保存・活用)	地域史解明と、文化財の保全活用を図るため、記録保存・調査を進め保存活用を図る。また市民へ向けた啓発活動を推進する。	8	報償費	471
				11	需用費	1,545
				13	委託料	1,547
					その他	116
					計	3,679

重点施策	—
------	---

コード	11303300
課・係等	文化課 博物館係

予算書ページ	328
--------	-----

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進
	事業	0110356	文書館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	21,377	0	0	0	40	21,337
前年度	47,071	0	0	0	35	47,036
増減額	△ 25,694	0	0	0	5	△ 25,699

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
21	文書館雑入	10								

【目的・効果】

重要文書等を適切に保存し、公開することにより、市や市民の諸活動や歴史的事実を現在および将来の市民に対して説明する責任を果たすことができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・歴史的若しくは文化的価値を有する公文書等の移管を受け、地域資料などを収集する。
- ・資料の分類、整理、撮影、データベース化を行う。
- ・資料の閲覧、複写サービスを行う。
- ・企画展示、講演会等を開催する。
- ・市史の編さん及び刊行についての検討を行う。
- ・臼井吉見文学館の管理運営を行う。
- ・第45回全史料協(全国歴史資料保存利用機関連絡協議会)全国大会を安曇野にて開催する。

【詳細事業内訳】

文書館施設運営管理事業 16,168千円 臼井吉見文学館管理運営事業 953千円 市史編纂事業 158千円 文書館教育普及事業 4,098千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	35	運営審議会委員報酬	14	使用料及び賃借料	1,203	文書館コピー使用料外
07	賃金	7,808	非常勤職員賃金	15	工事請負費	500	文書館防犯カメラ設置工事
08	報償費	1,610	文書館講師謝礼外、市史編纂計画策定委員、文学館講師謝礼	18	備品購入費	300	文書館図書・資料購入費
09	旅費	532	研修会等出張旅費外、文学館講演会講師外旅費	19	負担金補助及び交付金	72	文書館防火管理者協議会会費外
11	需用費	4,063	文書館電気料、文書館展示用消耗品、文学館清掃用品外				
12	役務費	413	文書館電話料、文書館広告料外				
13	委託料	4,841	文書館シルバー、文書館紀要作成、文学館警備外				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	臼井吉見文学館管理運営事業	文書館との一体管理によりコスト削減を図る。	13	委託料	454	警備業務外
				11	需用費	314	清掃用品外
				12	役務費	80	広告料外
					報償費外	105	講師謝礼外
					計	953	
2	ソフト	文書館教育普及事業	事業内容:「改元と生活」「安曇野の変遷を探る」をテーマに企画展を開催する。重要文書、臼井吉見関連資料等の整理作業、館だより、紀要の発行等 効果:日頃の資料収集、調査研究の成果を市民などに還元できる。	08	報償費	1,480	調査員謝礼外
				13	委託料	1,329	刊行物作成業務外
				11	需用費	825	展示用消耗品
					旅費外	464	職員旅費外
					計	4,098	

重点施策	—		コード	011303200		予算書ページ	330
			課・係等	文化課 文化財保護係			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	文化を創り育むまち	
	目	02	文化財保護費		基本施策	芸術文化活動の推進	
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	14,402	1,672	0	0	12,729
前年度	13,891	0	0	0	13,890
増減額	511	1,672	0	0	△ 1,161

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	市内遺跡補助金	1,672							
21	埋蔵文化財発掘調査委託料	1								

【目的・効果】

文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等に対して保護措置(発掘調査、試掘、確認調査、工事立会等)を行う。文化財保護法に基づき過年度の発掘調査記録(図面、遺物)を整理し、報告書を作成する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・官・民の土木工事等に際し、施工地が周知の埋蔵文化財包蔵地で、遺構等への工事の影響が不可避の場合は、記録保存(発掘調査)を行う。

【詳細事業内訳】

埋蔵文化財保護事業 14,402千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
7	賃金	8,836	遺物調査整理学芸員等、遺跡調査整理作業員、遺跡発掘作業員	16	原材料費	42	発掘調査後の埋戻用砕石等
8	報償費	88	専門者相談、報告書執筆				
11	需用費	1,097	発掘及び調査整理用品、燃料費、光熱水費、報告書作成ほか				
12	役務費	72	発掘作業労働保険、測量機材点検				
13	委託料	2,686	発掘測量、出土遺物保存処理・分析				
14	使用料及び賃借料	1,416	発掘機材・重機借上、整理用機材借上				
15	工事請負費	165	発掘調査時の安全対策等工事				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為について、文化財保護法に基づき保護対策を進める。また記録保存(発掘調査)により得られた資料についての保存活用を図る。	7	賃金	8,836
				13	委託料	2,686
				14	使用料及び賃借料	1,416
					その他	1,464
					計	14,402
2					計	0

重点施策	-		コード	11304100		予算書ページ	322
			課・係等	図書館交流課 図書館交流担当 (文化課 文化振興担当)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち	
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち	
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進	
	事業	0110340	交流学习センター等管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	79,531	0	0	0	13,199	66,332
前年度	82,690	0	0	0	6,338	76,352
増減額	△ 3,159	0	0	0	6,861	△ 10,020

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	14	豊科交流学习センター使用料	2,280	21	その他教育費雑入(交流学习センター等)	170				
14	穂高交流学习センター使用料	3,180	21	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,198					
14	三郷交流学习センター使用料	300	21	豊科交流学习センター施設利用料	5,687					
14	学習館使用料	384								

【目的・効果】

【目的】市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、図書館を核とした複合施設である、安曇野市穂高交流学习センター、安曇野市豊科交流学习センター、安曇野市三郷交流学习センター、安曇野市明科子どもと大人の交流学习施設の4施設の適正かつ円滑な管理運営(施設管理、貸館事業他)を行う。

【効果】展覧会やコンサート等、個人や団体による文化芸術活動を支援するため、有償ボランティアである音響照明スタッフやレセプションを育成し、市民主導で、文化芸術の企画、運営が行える体制づくりを進め、市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容、鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展することで、利用者相互の交流を深め、自己実現を図ることが可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・施設及び備品等の点検を行い、市民が安心して利用できる環境整備を図る。
- ・利用者の意向・要望に添えるよう情報提供を行う。
- ・館内清掃を業務委託し、施設を常に清潔な環境に保つ。
- ・夜間、職員休暇等の貸館事務等の業務委託

【詳細事業内訳】

交流学习センター等管理費 79,531千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	7,227	非常勤職員賃金(施設管理・受付窓口)	19	負担金補助及び交付金	16	防火管理者協会費(4施設)
08	報償費	1,704	音響照明、レセプション謝礼等	27	公課費	5	公用車重量税
11	需用費	32,617	管理用品、公用車等燃料費、施設修繕費、光熱水費等				
12	役務費	3,219	通信費、マット交換、ピアノ調律等				
13	委託料	31,398	夜間・休日窓口管理業務、各種施設管理保守業務等				
14	使用料及び賃借料	2,504	複合機、印刷機				
18	備品購入費	841	穂高交流学习センター室内消火栓ホース、エントランスホール椅子				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	(4)	コード	011304100 (011303400)		予算書ページ	348
		課・係等	図書館交流課 図書館交流担当 (文化課 図書館係)			
予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	06	図書館費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110435	図書館費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	159,232	0	0	0	26,940	132,292
前年度	179,180	0	0	0	29,721	149,459
増減額	△ 19,948	0	0	0	△ 2,781	△ 17,167

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	市町村振興協会交付金	26,770							
21	図書カード再発行手数料	20								
21	図書館コピー使用料等	150								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○ 多様化する市民の「学び」に応える図書館を目指します。  
 ○ 「本と人、人と人の出会いの広場」となる図書館を目指します。  
**【効果】**  
 ○ 市民へ新鮮な資料や最新の情報を提供し、さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実等により、自ら学び挑戦する心を育み、学んだ知識や技術が地域社会に活かされる環境づくりに寄与する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【事業概要】**  
 ○ 市図書館資料収集要綱により、市民の「学び」に幅広く役立つ図書資料の収集を進めます。  
 ○ 市民のさまざまな「学び」の場になるよう読書活動推進のための研修会、読書月間(週間)、講演会、講座、おはなし会等を行います。  
 ○ 図書館利用に障がいのある方々へのサービスを行います。  
 ○ 市民の調査・研究を支援するレファレンス(相談・調査)サービスのため、職員の専門知識や新しい技術の習得に努めます。  
 ○ ホームページや市広報、ツイッターによる情報発信に努め、図書館活動の周知を図ります。  
 ○ 市内認定子ども園、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校との連携を図り、子どもの読書に関わる活動、学習支援を行います。  
 ○ 安曇野市子ども読書活動推進計画の策定に向けて、準備を進めます。  
 ○ 図書館フェスタをはじめとする全館統一事業を行います。

**【詳細事業内訳】**  
 図書館サービス事業 5,248千円 図書館総務費 134千円 図書館管理運営費 124,416千円 図書館資料収集事業 29,434千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	105	図書館協議会10人		14	使用料及び賃借料	20,082	図書館システムリース料(17,096)、書誌データ使用料(1,384)、有料データベース使用料(910)		
07	賃金	89,985	非常勤嘱託職員		18	備品購入費	24,597	通常図書(20,700)、三郷図書館資料充実(2,850)、調べ学習用(570)		
08	報償費	3,448	講演会(200)、図書館講座講師謝礼(200)、障がい者対面朗読謝礼(200)、ブックスタート等(2,001)		19	負担金補助及び交付金	109	県図書館協会(29)、講座受講(80)		
09	旅費	97	職員旅費等		27	公課費	18	配本車等重量税		
11	需用費	11,485	新聞・新聞購読料(5,038)、図書館整備・講座用消耗品(2,400)、イベントチラシ等印刷(239)、ICタグ(2,054)							
12	役務費	1,724	電話料(997)							
13	委託料	7,582	配本車運転(1,260)、図書館システム保守(5,018)、図書館抽出マーク作成(1,205)							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	図書館資料収集事業	1 新聞・雑誌 5,038千円	18	備品購入費	24,120
			2 通常図書購入費 20,700千円	11	需用費	5,215
			3 三郷計画購入図書 2,850千円	13	委託料	99
			4 学校調べ学習用図書 570千円 ほか		計	29,434
2	ソフト	○ セカンドブック事業(図書館サービス事業)	ファーストブック(4か月児対象)のフォローアップ事業として、2歳児健診日に図書館司書が出向き、絵本1冊、図書袋、図書館案内等を配布する。 効果:家庭での読書習慣の定着、図書館利用促進、絵本を通して親子のコミュニケーションが図れる。	08	報償費	890
				計	890	

予算書ページ	324
--------	-----

重点施策	—	コード	11304100
		課・係等	図書館交流課 図書館交流担当 (文化課 文化振興担当)

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	学び合い人と文化を育むまち
	項	05	社会教育費		基本方針	生涯を通じて学び合うまち
	目	01	社会教育総務費		基本施策	生涯学習の推進
	事業	0110460	交流学习センター等事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,829	0	0	0	290	3,539
前年度	4,807	0	0	0	432	4,375
増減額	△ 978	0	0	0	△ 142	△ 836

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	交流学习センター講座受講料	290							

**【目的・効果】**  
**【目的】**複合施設の特徴を活かし、地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、多種多様な芸術公演を開催するとともに、市民活動を支援する。  
**【効果】**地域学習の中核機能を持った穂高交流学习センターと気軽に通える各地域の交流学习センター(施設)を一体的に活用し、市民に多様な芸術文化に接する機会を提供する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
**【実演芸術の創作活動】**  
 ・新進音楽家の発掘(オーディション)と、選出者によるコンサートの実施  
**【音楽鑑賞事業】**  
 ・アンサンブル藝弦コンサート  
**【交流事業】**  
 ・作品展示、ワークショップ開催  
**【熊井啓顕彰事業】**  
 ・熊井啓監督作品の上映会、講演会

**【詳細事業内訳】**  
 交流学习センター等事業費 3,829千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	1,563	講演会講師、コンサート出演者謝礼				
09	旅費	29	講演会講師旅費				
11	需用費	201	熊井啓記念館管理用品等				
13	委託料	1,991	映画上映業務、広告物制作業務等				
14	使用料及び賃借料	45	コンサート著作権使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	若手音楽家演奏会	新進音楽家の発掘(オーディション)と、選出者による発表の場としてのコンサートを開催し、市民が身近に音楽芸術に触れられる機会を提供する。	13	委託料	701	
				08	報償費	190	
				11	需用費	86	
				14	使用料及び賃借料	45	
					計	1,022	
2					計	0	

# 監査委員事務局

予算書ページ	114
--------	-----

重点施策	—	コード	011500000
		課・係等	監査委員事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	06	監査委員費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	監査委員費		基本施策	方針5 健全財政の堅持
	事業	0102640	監査委員事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	29,054	0	0	0	0	29,054
前年度	29,262	0	0	0	0	29,262
増減額	△ 208	0	0	0	0	△ 208

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 行財政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、もって住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資する。  
**【効果】**  
 監査を実施することにより、市の行財政運営が公正で合理的かつ効果的に実施されているか、また予算の執行・事業の経営が適正に効果的で効率的かつ経済的に行われているかを検証できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・年間の監査計画を策定し、その後各監査の実施計画の作成を行い監査を実施する。  
 ・全国都市監査委員会総会・研修会等に参加し、知識の取得と意識向上を図る。

**【詳細事業内訳】**  
 監査委員事務費 29,054千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,956	監査委員報酬						
02	給料	13,628	職員給料						
03	職員手当等	7,472	職員手当等						
04	共済費	4,423	職員共済費等						
09	旅費	406	全国都市監査委員会総会、東海地区都市監査委員会総会、三地区共催都市監査事務研修会、監査委員研修等						
11	需用費	78	参考図書(地方財務他)、エイナーファイル、インデックスラベル他						
19	負担金補助及び交付金	91	全国都市監査委員会負担金、東海地区都市監査委員会負担金、監査委員研修会負担金等						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



# 選挙管理委員会事務局

重点施策	—	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	01	選挙管理委員会費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源				
本年度	15,791	国支出金	0	県支出金	1	市債	0	その他	0	15,790
前年度	22,695	0	1	0	0	0	0	0	0	22,694
増減額	△ 6,904	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 6,904

特定財源の内訳	款	16	在外選挙人名簿登録事務委託費	金額	1	合計金額

【目的・効果】

【目的】

公正、公平、中立な選挙執行を確保するため、選挙管理委員会事務、各種選挙人名簿の調製等を行う。

【効果】

各種選挙の執行にあたり、正確な事務執行を行うことができる。また、委員及び職員が研修会へ参加することにより、選挙制度の情勢などについて新たな見識を得ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 選挙管理委員会事務  
選挙管理委員会定例会(月1回)及び臨時会(必要に応じ)の開催
- 選挙人名簿の調製  
選挙人名簿(定時登録年4回・選挙時登録)及び在外選挙人名簿の調製
- 総会、研修会への参加  
全国選挙管理委員会連合会北信越支部・長野県選挙管理委員会連合会・長野県19市選挙管理委員会連合会・中信四市選挙管理委員会が開催する総会、研修会への参加

【詳細事業内訳】

選挙管理委員会事務費 15,791千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	2,016	選挙管理委員報酬				
02	給料	7,201					
03	職員手当等	3,995					
04	共済費	2,263					
09	旅費	6	職員旅費・委員費用弁償				
11	需用費	61	参考図書・事務消耗品				
19	負担金補助及び交付金	249	選挙管理委員会連合会ほか負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	011600000
課・係等	選挙管理委員会事務局

予算書ページ	106
--------	-----

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	02	明るい選挙推進費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102510	明るい選挙推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	664	0	0	0	0	664
前年度	675	0	0	0	0	675
増減額	△ 11	0	0	0	0	△ 11

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
									0	

【目的・効果】

【目的】

有権者が主権者としての自覚を持ち、自ら進んで投票に参加するよう主権者教育・常時啓発を行う。

【効果】

主権者教育・啓発活動を通じ、政治や選挙、候補者に関心を持ってもらうことにより政治意識の向上、投票率の向上を図ることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 啓発活動を推進するため、市明るい選挙推進協議会の開催、県主催の明るい選挙推進県大会等へ参加する。
- 選挙に関心を持ってもらう主権者教育の一環として、明るい選挙啓発ポスターを小・中学校、高等学校より募集し、市選考を経て県審査、中央(全国)審査へ出品する。併せて優秀作品の展示、ホームページへの掲出を行う。
- 任期満了による参議院議員通常選挙に伴う一般有権者向けの選挙啓発を行うと共に、中信四市合同で新有権者に向けた啓発活動を行う。

【詳細事業内訳】

明るい選挙推進事業 664千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	609	中信四市(松本・塩尻・大町・安曇野市)合同啓発事業記念品、啓発ポスター参加賞、啓発活動出席謝礼				
11	需用費	55	新有権者・成人式用啓発パンフ				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	03	土地改良区総代選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102525	拾ヶ堰土地改良区総代選挙			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
本年度	前年度	増減額	国支出金	県支出金	市債	その他
82	0	82	0	0	0	82
0	0	0	0	0	0	0
82	0	82	0	0	0	82

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	拾ヶ堰土地改良区総代選挙費	82							

【目的・効果】

【目的】

任期満了に伴う安曇野市拾ヶ堰土地改良区総代選挙の執行管理

【効果】

正確な事務執行を行うことで、土地改良法及び土地改良区定款に定められた総代を決定することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

任期満了に伴う安曇野市拾ヶ堰土地改良区総代選挙の執行管理

選挙の告示により、立候補届出の受理、被選挙権資格の確認など選挙長事務を行う。

立候補届出が定数を超えた場合は投票を行い、開票、選挙会において当選人を決定し、当選証書を付与する。

- 1 任期 4年
- 2 任期満了日 平成31年4月25日
- 3 執行予定日 任期満了日前30日以内
- 4 選挙区 1区
- 5 定数 総代数 43人

【詳細事業内訳】

拾ヶ堰土地改良区総代選挙 82千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	39	選挙長・選挙立会人報酬				
11	需用費	32	事務消耗品・当選証書印刷				
12	役務費	11	郵送料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	011600000	予算書ページ	108
		課・係等	選挙管理委員会事務局		

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	04	参議院議員選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	1120100	参議院議員選挙費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	57,943	0	55,946	0	0	1,997
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	57,943	0	55,946	0	0	1,997

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 任期満了に伴う参議院議員通常選挙の執行管理  
**【効果】**  
 正確な事務執行を行うことで、投開票結果を報告することができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 任期満了に伴う参議院議員通常選挙執行管理  
 期日前投票及び当日投票所の設営準備・運営、開票所の設営準備・運営、公営ポスター掲示場の保守等を行う。

1 任期 6年  
 2 任期満了日 2019年7月28日  
 3 執行予定日 任期満了日前30日以内  
 ただし参議院開会中又は参議院閉会から23日以内にかかる場合は、閉会から24日以後30日以内  
 公示日(前回:平成28年6月22日)  
 期日前投票(前回:平成28年6月23日から7月9日(17日間))  
 投開票日(前回:平成28年7月10日)  
 4 定数 選挙区選出議員 1人

**【詳細事業内訳】**  
 参議院議員選挙費 57,943千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	7,589	投票管理者・投票管理者職務代理・投票立会人・開票管理者・開票立会人報酬		14	使用料及び賃借料	2,024	投票所借上料・開票所物品リース・投票箱送致用タクシー使用料ほか		
03	職員手当等	23,494			18	備品購入費	4,494	機械器具等		
07	賃金	2,873	期日前投票事務・不在者投票事務臨時職員賃金							
08	報償費	100	ポスター掲示場設置謝礼							
11	需用費	2,326	事務消耗品・選挙啓発物品・投票事務従事者食糧費・掲示物等印刷・選挙事務機器修繕ほか							
12	役務費	3,200	入場券等郵送料・電話回線使用料・選挙事務機器点検ほか							
13	委託料	11,843	入場券作成電算処理業務・ポスター掲示板作成設置保守撤去廃棄業務・選挙公報配布業務・開票システム設定委託							

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	011600000
		課・係等	選挙管理委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	04	選挙費		基本方針	基本計画推進に当たっての経営方針
	目	05	県議会議員選挙費		基本施策	方針1 協働によるまちづくりの推進
	事業	0102560	県議会議員選挙費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	38,398	0	38,398	0	0	0
前年度	11,616	0	11,616	0	0	0
増減額	26,782	0	26,782	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 任期満了に伴う長野県議会議員一般選挙の執行管理  
**【効果】**  
 正確な事務執行を行うことで、投開票結果を報告することができる。また、選挙啓発により明るい選挙を推進することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 任期満了による長野県議会議員一般選挙の執行管理  
 立候補届事前審査、立候補受付事務の確認準備等、選挙長事務を行う。  
 期日前投票及び当日投票所の設営準備・運営、開票所の設営準備・運営、公営ポスター掲示場の保守を行う。

1 任期 4年  
 2 任期満了日 平成31年4月29日  
 3 告示日 平成31年3月29日  
 4 期日前投票 平成31年3月30日から4月6日(8日間)  
 5 投開票日 平成31年4月7日  
 6 定数 安曇野市選挙区 2人

**【詳細事業内訳】**  
 県議会議員選挙費 38,398千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	5,280	投票管理者・投票管理者職務代理・投票立会人・開票管理者・開票立会人報酬			14	使用料及び賃借料	1,692	投票所借上料・開票所物品リース・投票箱装置用タクシー使用料ほか		
03	職員手当等	17,920				18	備品購入費	2,268	投票記載台ほか		
07	賃金	1,401	期日前投票事務・不在者投票事務臨時職員								
08	報償費	100	ポスター掲示場設置謝礼								
11	需用費	1,194	事務消耗品・選挙啓発物品・事務従事者食糧費・選挙事務機器修理								
12	役務費	305	入場券等郵送料・白布等クリーニング								
13	委託料	8,238	入場券作成電算処理業務・ポスター掲示板作成設置保守撤去廃棄業務・選挙公報配布業務・開票システム設定委託								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

# 農業委員会事務局

予算書ページ	200
--------	-----

重点施策	—	コード	011700000
		課・係等	農業委員会事務局

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106010	農業委員会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	80,251	12	8,953	0	1,372	69,914
前年度	77,306	21	8,719	0	1,666	66,900
増減額	2,945	△ 9	234	0	△ 294	3,014

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	15	国有農地管理事務委託金	12	21	農地転用許可表示板	2				
16	農業費負担金	8,770	21	農業投資価格評定謝金	8					
16	機構集積支援事業費補助金	183	21	農業新聞購読料等	1,300					
21	県農業開発公社業務委託金	62								

【目的・効果】

【目的】

優良農地の確保や効率的利用の実現に向け、農地の保全と有効利用の促進を図る。  
農地法その他の法令により、農地の利用関係の調整を通じて、農地の円滑化、適正化を図る。

【効果】

農用地の流動化により、農業者への集積や遊休農地の解消など、農地を保全するとともに限りある資源を有効に活用することが出来る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

農地法に基づく業務の遂行、農地法第3条・第4条・第5条等の書類の審査受付、農業委員会定例総会(毎月1回)による審議、県への進達及び許可事務

- ・農地台帳整備、標準作業料金決定、賃借料情報の提供
- ・農地流動化促進のため、農地の有効利用と中核担い手農家への農地集積を支援
- ・荒廃農地対策、農地パトロールによる遊休・荒廃農地解消指導
- ・人・農地プランと農地中間管理事業を活用し農地の集積・集約化に努める

【詳細事業内訳】

農業委員会事業 80,251千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	28,790	農業委員・農地利用最適化推進委員報酬	11	需用費	2,547	事務用品、農業委員会だより印刷外
02	給料	23,186		12	役務費	241	郵便料金
03	職員手当等	10,309		13	委託料	3,389	農地台帳更新データ作成業務委託外
04	共済費	7,115		14	使用料及び賃借料	52	窓口パソコンリース
07	賃金	1,270	農地法関連業務に伴う臨時職員賃金	19	負担金補助及び交付金	2,902	県農業会議、松塩筑安曇農業委員会協議会負担金外
08	報償費	303	農作業労賃・機械作業料金改定会議出席謝礼外				
09	旅費	147	農業委員会事務局研修会出席				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



予算書ページ	200
--------	-----

重点施策	—	コード	011700000
		課・係等	農業委員会事務局

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	農業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	農業委員会費		基本施策	農業の振興
	事業	0106020	農業者年金事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	320	0	0	0	315	5
前年度	367	0	0	0	251	116
増減額	△ 47	0	0	0	64	△ 111

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	21	農業者年金事務費	229							
21	農業者年金新規加入奨励金	86								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 農業者の生涯所得の充実を図り、農業を職業として選択し得る魅力あるものとしていく。  
**【効果】**  
 農業者が「老後生活の安心と安定」を展望しながら、農業生産活動に従事でき、長期間営農を継続する上で効果がある。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 農業者年金への加入推進  
 年金得喪事務

**【詳細事業内訳】**  
 農業者年金事業 320千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
11	需用費	188	事務用品、農業者年金リーフレット外								
12	役務費	132	郵便料金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

# 公平委員会事務局

予算書ページ	116
--------	-----

重点施策	—	コード	011800000
		課・係等	公平委員会事務局

予算	款	02	総務費	総合計画	基本目標	計画の実現に向けて
	項	07	公平委員会費		基本方針	基本計画の推進に当たっての経営方針
	目	01	公平委員会費		基本施策	方針4 質の高い行政経営の推進
	事業	0102650	公平委員会事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	404	0	0	0	0	404
前年度	472	0	0	0	0	472
増減額	△ 68	0	0	0	0	△ 68

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

- ・地方公務員法第7条第4項の規定に基づき設置された公平委員会を運営するため

【効果】

- ・不利益処分に関する審査請求制度の実効性の確保
- ・措置要求制度の実効性の確保

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・年2回の委員会開催
- ・各種研修会、総会へ参加し、他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う

【詳細事業内訳】

公平委員会事務費 404千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
1	報酬	171	公平委員報酬				
9	旅費	127	委員研修旅費、職員随行旅費				
11	需用費	5	消耗品費				
19	負担金補助及び交付金	101	全公連負担金、研究会参加負担金 北信越支部総会・研究会開催県連負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	公平委員会事務費	他自治体における審査請求、措置要求に関する取り扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う。	01	報酬	171
				09	旅費	127
				19	負担金補助及び交付金	85
					計	383
2						
					計	0



# 特別会計



# 国民健康保険特別会計

重点施策	—		コード	010703100		予算書ページ	18
			課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	1100010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,396	0	0	0	27,396	0
前年度	24,579	0	0	0	24,579	0
増減額	2,817	0	0	0	2,817	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	事務費分	27,396							
									27,396	

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業の安定的な運営のための事務経費。  
**【効果】**  
 ・事務経費が確保されていることにより、事務事業が円滑に執行できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 27,396千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	8,938	一般事務非常勤職員賃金(5名分)8,938千円				
09	旅費	92	全国市町村国保主管課長研究協議会(東京1泊)28千円、国保制度説明会(東京日帰り2名分)64千円				
11	需用費	820	事務執行に伴う消耗品類購入523千円 保険証等の発送に伴う封筒印刷297千円				
12	役務費	8,100	電算共同処理手数料(国保連合会)4,690千円、国保情報集約システム運用手数料(国保連合会)3,410千円				
13	委託料	7,104	保険証等封入封緘業務委託2,650千円 制度改正に伴うシステム改修業務委託4,180千円 療養費の支給に係る調査業務委託274千円				
14	使用料及び賃借料	28	有料道路使用料28千円				
18	備品購入費	2,314	国保総合システム用パソコン等2,314千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	連合会負担金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100020	連合会負担金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,155	0	0	0	4,155	0
前年度	4,155	0	0	0	4,155	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	05	事務費分	金額	4,155	合計金額	
							4,155

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業の安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・負担金支払により、事務事業が円滑に執行できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事業運営上求められる負担金額を予算執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 連合会負担金 4,155千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	4,155	国保連合会負担金4,155千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	賦課徴収費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100040	賦課徴収費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	9,916	0	709	0	9,207	0
前年度	10,034	0	494	0	9,540	0
増減額	△ 118	0	215	0	△ 333	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	1,200							
03	特別調整交付金分	709								
05	事務費分	8,007								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業の賦課業務を安定的に運営するための事務経費。  
**【効果】**  
 ・運営経費があることにより、事務事業が円滑に執行できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 賦課徴収費 9,916千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
09	旅費	55	徴収事務等研修会	55千円					
11	需用費	1,367	賦課徴収事務用品	234千円、公用車燃料費	109千円、納税通知書等発送用封筒印刷	915千円、公用車修繕	109千円		
12	役務費	74	公用車定期点検	43千円、預金照会手数料	5千円、公用車自賠責保険料	26千円			
13	委託料	8,149	電算システム業務委託	7,440千円	システム改修	709千円			
14	使用料及び賃借料	201	有料道路使用料	6千円、コンビニ収納システム使用料	195千円				
19	負担金補助及び交付金	63	徴収事務等研修会参加負担金	63千円					
27	公課費	7	公用車自動車重量税	7千円					

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	運営協議会費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	運営協議会費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100050	運営協議会費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	363	0	0	0	363	0
前年度	435	0	0	0	435	0
増減額	△ 72	0	0	0	△ 72	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	事務費分		363						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険法及び市国保条例により義務付けられている国保運営協議会を運営するための事務経費  
**【効果】**  
 ・国保事業を審議する会であり、国保事業の推進ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事業運営上求められる諸費用を予算執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 運営協議会費 363千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
01	報酬	276	運営協議会、委員研修会出席報酬276千円								
11	需用費	82	国保新聞購読料82千円								
14	使用料及び賃借料	5	有料道路使用料5千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	趣旨普及費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	趣旨普及費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100060	趣旨普及費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,014	0	0	0	1,014	0
前年度	1,014	0	0	0	1,014	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業の啓発用事務経費。  
**【効果】**  
 ・制度説明用パンフレットがあることにより、国保制度の説明や案内が市民に対して簡潔にできる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・保険証や高齢受給者証の一斉更新時及び窓口での説明に必要なパンフレット等の整備。

**【詳細事業内訳】**  
 趣旨普及費 1,014千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	1,014	啓発用パンフレット購入1,014千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者療養給付費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,173,890	0	6,173,890	0	0	0
前年度	6,187,500	0	6,187,500	0	0	0
増減額	△ 13,610	0	△ 13,610	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
	03	普通交付金	6,173,890								6,173,890

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払を滞ることなくできる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者療養給付費 6,173,890千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	6,173,890	一般被保険者療養給付費6,173,890千円				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	02	退職被保険者等療養給付費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100081	退職被保険者等療養給付費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,050	0	8,050	0	0	0
前年度	37,101	0	37,101	0	0	0
増減額	△ 29,051	0	△ 29,051	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者等が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者等療養給付費 8,050千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	8,050	退職被保険者等療養給付費8,050千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100091	一般被保険者療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	71,000	0	71,000	0	0	0
前年度	71,000	0	71,000	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	71,000							

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。

【効果】

・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。  
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者療養費 71,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	71,000	一般被保険者療養費71,000千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	22
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	04	退職被保険者等療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100101	退職被保険者等療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	400	0	400	0	0	0
前年度	454	0	454	0	0	0
増減額	△ 54	0	△ 54	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	400							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞りなくできる。  
 ・被保険者が医療機関等へ直接10割分を支払った場合において、診査ののち被保険者へ自己負担相当額を除いた金額の支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費及び国保連合会で審査され支給決定を受けた療養費について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者等療養費 400千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	400	退職被保険者等療養費 400千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0



重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	療養諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	05	審査支払手数料		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100111	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	19,400	0	19,400	0	0	0
前年度	19,474	0	18,884	0	0	590
増減額	△ 74	0	516	0	0	△ 590

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・国保連合会で審査を行うことにより、医療費請求審査が円滑にできる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 審査支払手数料 19,400千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
12	役務費	19,400	審査支払手数料19,400千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者高額療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,020,000	0	1,020,000	0	0	0
前年度	1,023,400	0	1,023,400	0	0	0
増減額	△ 3,400	0	△ 3,400	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	1,020,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。  
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。  
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者高額療養費 1,020,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	1,020,000	一般被保険者高額療養費1,020,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	退職被保険者等高額療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100131	退職被保険者等高額療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,200	0	1,200	0	0	0
前年度	5,257	0	5,257	0	0	0
増減額	△ 4,057	0	△ 4,057	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者が受診した医療機関等へ国保連合会を経由して医療費の支払が滞ることなくできる。  
 ・被保険者からの申請により、高額療養費として被保険者へ支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、国保連合会から請求される医療費について、遅滞なく支払を行う。  
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者等高額療養費 1,200千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	1,200	退職被保険者等高額療養費1,200千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	03	一般被保険者高額介護合算療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,000	0	1,000	0	0	0
前年度	1,154	0	1,154	0	0	0
増減額	△ 154	0	△ 154	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	1,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者高額介護合算療養費 1,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	1,000	一般被保険者高額介護合算療養費1,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	高額療養費		基本方針	健康を大切にすま
	目	04	退職被保険者等高額介護合算療養費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100136	退職被保険者等高額介護合算療養費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	100	0	0	0
前年度	200	0	200	0	0	0
増減額	△ 100	0	△ 100	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	100							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者からの申請により高額介護合算療養費として被保険者へ支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・毎月、被保険者から申請のあった高額介護合算療養費の支給申請について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者等高額介護合算療養費 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	100	退職被保険者等高額介護合算療養費 100千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	移送費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者移送費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100141	一般被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	250	0	0	0
前年度	250	0	250	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	250							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	250	一般被保険者移送費 250千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	移送費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者移送費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100151	退職被保険者移送費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	250	0	250	0	0	0
前年度	250	0	250	0	0	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	普通交付金	250							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・被保険者からの申請により移送費として被保険者へ支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・被保険者からの支給申請について、遅滞なく支払を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者移送費 250千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	250	退職被保険者等移送費250千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	出産育児諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	出産育児一時金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100161	出産育児一時金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	18,900	0	0	0	12,600	6,300
前年度	33,600	0	0	0	22,400	11,200
増減額	△ 14,700	0	0	0	△ 9,800	△ 4,900

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	出産育児一時金等	12,600							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業の出産給付における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・国保被保険者の出産費用の軽減が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・国保連合会からの請求や被保険者からの請求により随時支給を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 出産育児一時金 18,900千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金	18,900	出産育児一時金18,900千円						

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	



重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	出産育児諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	審査支払手数料		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100162	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10	0	0	0	0	10
前年度	17	0	0	0	0	17
増減額	△7	0	0	0	0	△7

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・国保連合会経由で処理を行うことにより、円滑な支払いができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事業運営上必要な経費を随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 審査支払手数料 10千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
12	役務費	10	審査支払手数料10千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	葬祭諸費		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	葬祭費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100171	葬祭費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	5,400	0	0	0	0	5,400
前年度	5,400	0	0	0	0	5,400
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業の葬祭給付における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・葬祭費用の一部として給付するため、葬祭執行者が負担する葬祭費用の軽減が図られる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・葬祭執行者からの請求により随時支給を行う。

【詳細事業内訳】

葬祭費 5,400千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	5,400	葬祭費5,400千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	06	精神諸費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	精神給付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100181	精神給付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	20,000	0	0	0	20,000	0
前年度	20,000	0	0	0	20,000	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	精神給付金	20,000							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における医療費支払分の健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・精神通院医療に該当する国保被保険者の通院費用の軽減が図られる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・国保連合会からの請求により随時支給を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 精神給付金 20,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	20,000	精神給付金20,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	医療給付費分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般被保険者医療給付費分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100371	一般被保険者医療給付費分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,988,451	0	57,040	0	690,028	1,241,383
前年度	1,863,454	0	56,792	0	570,997	1,235,665
増減額	124,997	0	248	0	119,031	5,718

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	保険者努力支援分	45,829	05	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	203,446	05	地単事業減額調整分補填金	1,544	
03	特別調整交付金分	8,279	05	保険基盤安定事業(保険者支援分)	112,661	07	軽減特例措置	70		
03	県繰入金(2号分)	2,931	05	財政安定化支援事業	67,271					
03	財政安定化基金交付金	1	05	基金繰入金	305,036					

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者医療給付費分 1,988,451千円

【一般財源増加理由】 県が算定し市町村が納付する、国民健康保険事業費納付金が増額となったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	1,988,451	一般被保険者医療給付費分1,988,451千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	医療給付費分		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等医療給付費分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100381	退職被保険者等医療給付費分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,670	0	0	0	0	1,670
前年度	7,821	0	0	0	1	7,820
増減額	△ 6,151	0	0	0	△ 1	△ 6,150

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等医療給付費分 1,670千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	1,670	退職被保険者等医療給付費分 1,670千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	後期高齢者支援金等分		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100391	一般被保険者後期高齢者支援金等分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	642,451	0	0	0	145,800	496,651
前年度	580,927	0	0	0	144,744	436,183
増減額	61,524	0	0	0	1,056	60,468

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	保険基盤安定事業(保険者支援分)	50,061								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 県からの請求により支払いを行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者後期高齢者支援金等分 642,451千円

【一般財源増加理由】 県が算定し市町村が納付する、国民健康保険事業費納付金が増額となったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	642,451	一般被保険者後期高齢者支援金等分642,451千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	後期高齢者支援金等分		基本方針	健康を大切にすま
	目	02	退職被保険者等後期高齢者支援金等分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100401	退職被保険者等後期高齢者支援金等分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	546	0	0	0	0	546
前年度	2,434	0	0	0	0	2,434
増減額	△ 1,888	0	0	0	0	△ 1,888

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
県からの請求により支払いを行う。

【詳細事業内訳】

退職被保険者等後期高齢者支援金等分 546千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	546	退職被保険者等後期高齢者支援金等分546千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	30
--------	----

予算	款	03	国民健康保険事業費納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護納付金分		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	01	介護納付金分		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100411	介護納付金分			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	224,135	0	0	0	60,635	163,500
前年度	191,204	0	0	0	35,434	155,770
増減額	32,931	0	0	0	25,201	7,730

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	05	保険基盤安定事業(保険税軽減分)	22,491							
05	保険基盤安定事業(保険者支援分)	13,180								
05	基金繰入金	24,964								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・長野県により決められた事業費納付金を納入することにより、国民健康保険財政運営が円滑に行われる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 県からの請求により支払いを行う。

**【詳細事業内訳】**  
 介護納付金分 224,135千円

【一般財源増加理由】 県が算定し市町村が納付する、国民健康保険事業費納付金が増額となったため。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	224,135	介護納付金分 224,135千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	



重点施策	—		コード	010703100		予算書ページ	30
			課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	04	保健事業費		総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	保健事業費			基本方針	健康を大切にすま
	目	01	保健事業費			基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100250	保健事業費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	16,103	0	7,330	0	6,767	2,006
前年度	13,670	0	3,730	0	6,955	2,985
増減額	2,433	0	3,600	0	△ 188	△ 979

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	保険者努力支援分	3,158	07	高額療養費貸付金収入(過年度分)	10				
03	県繰入金(2号分)	4,172								
05	事務費分	4,767								
07	高額療養費貸付金収入(現年度分)	1,990								

【目的・効果】

【目的】

・健康の保持増進や医療費適正化に取り組むことで健康長寿と医療保険制度の安定運営を図る。

【効果】

・健康意識の高まりにより、楽しみながら健康づくりを行える健康ポイント制度を導入。健康維持や疾病予防効果により国保財政運営の健全化が期待できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・医療費通知、ジェネリック医薬品の差額通知の発送を行う。
- ・医療機関等への重複・頻回受診者に対し、保健師が訪問し、療養方法等必要な保健指導を行う。
- ・市の各種健診等を受診した国保加入者に健康ポイントを与し、保健センターで行う検診、農産物直売所で交換。

【詳細事業内訳】

健康ポイント事業 3,158千円 保健事業費 12,945千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,971	保健事業関係事務職員、多受診頻回受診訪問保健師賃金2,971千円	21	貸付金	2,000	高額療養費貸付金
08	報償費	30	研修会講師謝礼	28	繰出金	250	健診無料券補助
09	旅費	17	研修会講師旅費				
11	需用費	2,123	健康づくり事業事務用品・糖尿病連携手帳・活動量計394千円、野菜ノート321千円、健康ポイント広報パンフレット・ポイント補助券1,408千円				
12	役務費	6,072	医療費・ジェネリック医薬品差額通知3,032千円、レセプト点検支援業務3,040千円				
13	委託料	1,140	医療費通知作成・ジェネリック医薬品差額通知作成1,140千円				
19	負担金補助及び交付金	1,500	健康ポイント割引券補助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	健康ポイント事業	保険者努力支援制度の評価指標の一つである「個人へのインセンティブの提供」を実施するため、20歳以上の国保加入者に対し、市が実施する各種検診等を受診した場合に健康ポイントを付与する。	19	負担金補助及び交付金	1,500
				11	需用費	1,408
				28	繰出金	250
				13	委託料	0
					計	3,158
2						
					計	0

重点施策	—		コード	010703100		予算書ページ	32
			課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	04	保健事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	02	特定健康診査等事業費		基本方針	健康を大切にすま	
	目	01	特定健康診査等事業費		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	1100249	特定健康診査等事業費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	205,715	0	36,679	0	45,685	123,351
前年度	186,354	0	35,420	0	46,745	104,189
増減額	19,361	0	1,259	0	△ 1,060	19,162

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	特定健康診査等負担金	30,629	07	特定健康診査等受託料	14,680				
03	特別調整交付金分	6,050	07	特定健診等個人負担金	5,920					
05	事務費分	16,817								
05	後期高齢者健診繰入金	8,268								

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険特定健康診査等実施計画により、40歳から74歳までの国保被保険者を対象に、生活習慣病予防に着眼した特定健康診査及び特定保健指導を行う。

【効果】

・特定健康診査及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療、健康保持され、その結果国保医療費の負担軽減に繋がる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・特定健康診査を医療機関等と連携を図り実施する。(集団健診・個別健診・人間ドック・通院治療者受診結果受領票)
- ・保健師・管理栄養士による個別での特定保健指導を行う。
- ・特定健診受診結果によるハイリスク対象者を把握し、二次健診(動脈硬化検査、微量アルブミン検査)を実施する。

【詳細事業内訳】

特定健康診査等事業費 205,715千円

【一般財源増加理由】 人間ドックの受診者が増加したため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	1,664	集団健診受付事務396千円、特定健診保健指導保健師1,250千円				
11	需用費	2,164	受診啓発用ポスター・パンフレット購入1,001千円、二次健診検査用品124千円、健診お知らせ及び結果通知封筒印刷682千円、特定健診申込みハガキ印刷291千円				
12	役務費	681	新聞による啓発広告料681千円				
13	委託料	197,806	集団・個別等事業委託料18,337千円、未受診者対策業務6,050千円、特定健診受診委託79,427千円、人間ドック受診委託87,300千円				
19	負担金補助及び交付金	3,400	人間ドック等受診補助3,400千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	05	積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	積立金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	基金積立金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100261	基金積立金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35,000	0	0	0	0	35,000
前年度	100,000	0	0	0	0	100,000
増減額	△ 65,000	0	0	0	0	△ 65,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。

【効果】

・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に、取崩しての運営が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・事業運営上必要な額を積立てる。

【詳細事業内訳】

基金積立金 35,000千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
25	積立金	35,000	基金積立金35,000千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	05	積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	積立金		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	02	基金積立金利子		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100266	基金積立金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,052	0	0	0	2,051	1
前年度	1,576	0	0	0	1,575	1
増減額	476	0	0	0	476	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	04	基金積立金利子	2,051							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・基金への積立てを行うことにより、急に資金が必要となった場合に取崩しての運営が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・会計課から示された額を積立てる。

**【詳細事業内訳】**  
 基金積立金利子 2,052千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
25	積立金	2,052	基金積立金利子	2,052千円					

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	06	公債費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	公債費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一時借入金利子		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100275	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・一時借入があった場合、円滑に支払ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・支払が必要となった場合、随時支払をする。

**【詳細事業内訳】**  
 一時借入金利子 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	一時借入金利子1千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすま
	目	01	一般被保険者保険税還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,000	0	0	0	0	6,000
前年度	8,000	0	0	0	0	8,000
増減額	△ 2,000	0	0	0	0	△ 2,000

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。  
**【効果】**  
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者保険税還付金 6,000千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主要内容				節	節名称	金額	主要内容	
23	償還金、利子及び割引料	6,000	還付金 6,000千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	02	退職被保険者等保険税還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	150	0	0	0	0	150
前年度	150	0	0	0	0	150
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。  
**【効果】**  
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・納入された国保税について過誤納となった場合に、随時還付処理により執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者等保険税還付金 150千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
23	償還金、利子及び割引料	150	還付金 150千円							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	03	一般被保険者還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	150	0	0	0	0	150
増減額	△ 50	0	0	0	0	△ 50

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。

【効果】

・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

【詳細事業内訳】

一般被保険者還付加算金 100千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	100	還付加算金 100千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	04	退職被保険者等還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	10	0	0	0	0	10
前年度	10	0	0	0	0	10
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全な運営の遂行。  
**【効果】**  
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・還付加算金シートにより計算を行い、国保税の還付口座へ国保税還付金とともに支払う。

**【詳細事業内訳】**  
 退職被保険者等還付加算金 10千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	10	還付加算金 10千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010703100
課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすするまち
	目	05	保険給付費等交付金償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100315	保険給付費等交付金償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	1	0
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	1	0	0	0	1	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	07	療養給付費等返還金	1							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営  
**【効果】**  
 ・前年度交付金が超過していた場合に、速やかに返還対応が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する前年度の精算により超過交付となった場合、随時執行できる。

**【詳細事業内訳】**  
 保険給付費等交付金償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	保険給付費等交付金償還金1千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	06	一般被保険者返納金還付金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	35	0	0	0	0	35
前年度	35	0	0	0	0	35
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・還付対象となった場合に速やかに還付対応が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・被保険者から返還請求があった場合に随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 一般被保険者返納金還付金 35千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	35	一般被保険者返納金還付金 35千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金利子及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち
	目	07	軽減特例措置償還金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100365	軽減特例措置償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	0	0	0	0	0	0
増減額	100	0	0	0	0	100

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営【効果】  
 ・償還が生じた場合に速やかに償還できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 軽減特例措置の償還が生じた場合に即時執行できる。

**【詳細事業内訳】**  
 軽減特例措置償還金 100千円

【一般財源増加理由】 本年度からの新規事業のため

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	100	軽減特例措置償還金100千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	08	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	予備費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	1100340	予備費			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,312	0	0	0	2,312
前年度	69,363	0	0	0	69,363
増減額	△ 67,051	0	0	0	△ 67,051

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・国民健康保険事業における健全かつ安定的な運営。  
**【効果】**  
 ・急な支払増に対応できるため支払業務が円滑に執行できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事業運営上必要が生じた場合は随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 予備費 2,312千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
29	予備費	2,312	予備費 2,312千円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

# 後期高齡者医療特別会計

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	総務管理費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	一般管理費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600010	一般管理費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	48	0	0	0	48	0
前年度	48	0	0	0	48	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	事務費繰入金	48							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・後期高齢者医療保険事務事業の経費として必要である。  
**【効果】**  
 ・事務費を確保することにより、事務事業が円滑に執行できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事務事業を執行する上で、必要な経費を随時執行する。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 48千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
11	需用費	48	事務執行に伴う消耗品の購入及び予算書・決算書の印刷								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	14
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	徴収費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	徴収費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600030	徴収費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	4,603	0	0	0	4,603	0
前年度	5,510	629	0	0	4,881	0
増減額	△ 907	△ 629	0	0	△ 278	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	60							
03	事務費繰入金	4,543								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・後期高齢者医療保険料収納事務として必要な経費を計上するため。  
**【効果】**  
 ・収納事務の円滑な執行が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・事務運営上必要な経費を随時執行する。  
 ・保険料納付の利便性を向上させるためのコンビニ収納を開始した。

**【詳細事業内訳】**  
 徴収費 4,603千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
11	需用費	126			事務執行に伴う消耗品及び通知書用封筒印刷				
13	委託料	4,062			納付書等封入等事務委託(4,062千円)				
14	使用料及び賃借料	415			電算処理システム・コンビニ収納システム使用料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	



重点施策	—		コード	010703100		予算書ページ	14
			課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本方針	健康を大切にすま	
	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	2600070	広域連合納付金				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,161,716	0	0	0	268,443	893,273
前年度	1,127,702	0	0	0	281,466	846,236
増減額	34,014	0	0	0	△ 13,023	47,037

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	事務費繰入金	33,600							
03	保険基盤安定繰入金	234,843								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・保険者である長野県後期高齢者医療広域連合へ、法令に基づく負担金を支払うため。  
**【効果】**  
 ・後期高齢者医療保険の健全な運営が保たれ、制度も持続可能な保険制度として維持されていく。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 財源を確保し、請求に基づき市町村負担金を広域連合納付金として、保険者へ支払う。  
 ・保険料納付金: 毎月の保険料徴収額を長野県後期高齢者医療広域連合へ支払う。  
 ・保険基盤安定納付金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年6回: 5月・7月・9月・11月・1月・3月)  
 ・事務費負担金: 長野県後期高齢者医療広域連合からの請求に基づき支払う。(年4回: 5月・8月・12月・3月)  
 ・被保険者の増加及び10月から行われる軽減特例見直しによる保険料収入の増により事務費負担金の増に伴う広域連合納付金が増加。

**【詳細事業内訳】**  
 広域連合納付金 1,161,716千円

【一般財源増加理由】	広域連合納付金の増加										
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	1,161,716	事務費負担金 33,656千円、保険料基盤安定負担金 234,843千円、保険料負担金 893,217円								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—		コード	010703100		予算書ページ	16
			課・係等	国保年金課 国保年金担当			
予算	款	03	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	健康を大切にするまち	
	目	01	保険料還付金		基本施策	健康づくりの推進	
	事業	2600080	保険料還付金				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	780	0	0	0	0	780
前年度	950	0	0	0	0	950
増減額	△ 170	0	0	0	0	△ 170

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務に対応するため。  
**【効果】**  
 ・過年度に遡及されて過誤納となった保険料の還付事務が速やかに遂行できる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・納入された後期高齢者医療保険料について、過誤納となった場合に速やかに還付していく。  
 ・死亡による減額更正で過誤納金が発生した場合は、長野県後期高齢者医療広域連合の定められた様式を遺族へ窓口で渡し、相続人及び還付する口座を指定してもらう。

**【詳細事業内訳】**  
 保険料還付金 780千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
23	償還金、利子及び割引料	780	過年度保険料還付の支払い								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

予算書ページ	16
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	03	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	健康を大切にすまち
	目	02	還付加算金		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600085	還付加算金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	70	0	0	0	0	70
前年度	50	0	0	0	0	50
増減額	20	0	0	0	0	20

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

【目的】

・過誤納となった保険料について、還付加算金が発生した場合に支出をする。

【効果】

・過誤納となった保険料の還付金と併せて還付加算金の支払いも可能となり、迅速な対応ができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・還付加算金計算シートにより計算を行い、保険料の還付口座へ保険料とともに支払う。

【詳細事業内訳】

還付加算金 70千円

【一般財源増加理由】 保険料還付加算金の増額による

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	70	保険料還付加算金の支払い				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

予算書ページ	16
--------	----

重点施策	—	コード	010703100
		課・係等	国保年金課 国保年金担当

予算	款	04	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	健康を大切にするまち
	目	01	予備費		基本施策	健康づくりの推進
	事業	2600150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	0	100
前年度	100	0	0	0	0	100
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・後期高齢者医療における安定的な運営のため。  
**【効果】**  
 ・緊急に対応しなければならない事項について、迅速な対応が可能となる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・予算額を上回る支払いを緊急的に行う必要が生じたときに、対応が可能となる。

**【詳細事業内訳】**  
 予備費 100千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
29	予備費	100	緊急的な事項への対応				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

# 介護保険特別会計

重点施策	—		コード	010702100		予算書ページ	18
			課・係等	介護保険課 介護保険担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	高齢者福祉の充実	
	事業	3100010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,627	1	0	0	12,626	0
前年度	13,417	1	0	0	13,416	0
増減額	△ 790	0	0	0	△ 790	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	介護保険審査支払等システム改修経費補助金	1							
08	事務費繰入金	12,626								

【目的・効果】

【目的】

・介護保険運営のための総務一般管理費。(介護保険等運営協議会委員報酬等、賦課徴収以外の経費)

【効果】

・介護保険事業の円滑な運営をはかる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・安曇野市老人福祉計画及び第7期介護保険事業計画の推進。(地域包括ケアシステムの深化と推進)
- ・介護保険制度改正に伴う事務対応。
- ・次期介護保険事業計画に向けた高齢者実態調査の実施。

【詳細事業内訳】

介護保険事業計画策定業務 1,750千円 介護保険課総務費(特別会計によるもの) 10,877千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	231	介護保険等運営協議会委員報酬(介護保険事業所選考会報酬含む)				
09	旅費	147	介護保険指導監督等研修、介護給付適正化研修参加旅費				
11	需用費	1,323	事務用品、参考図書、予算書・高齢者実態調査票印刷				
12	役務費	9,437	介護保険証、高額介護・福祉用具等給付通知、高齢者実態調査等郵送料				
13	委託料	1,032	負担割合証印刷封入業務				
14	使用料及び賃借料	393	介護保険さがせるnet利用料、介護事業所台帳管理システム利用料				
19	負担金補助及び交付金	64	施設指導監督研修、給付適正化研修参加負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	介護保険事業計画策定業務	第7期介護保険事業計画の進捗管理を行い、地域包括ケアシステムの深化・推進をすすめる。	01	報酬	98
				11	需用費	690
				12	役務費	962
					計	1,750
2						
					計	0

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	徴収費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	賦課徴収費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100020	賦課徴収事務費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	6,065	0	0	0	6,065	0
前年度	6,132	0	0	0	6,132	0
増減額	△ 67	0	0	0	△ 67	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	督促手数料	228							
08	事務費繰入金	5,835								
09	事務費繰越金	1								
10	延滞金	1								

【目的・効果】

・介護保険事業の運営財源として、介護保険第1号被保険者(65歳以上)から介護保険料を徴収する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険第1号被保険者へ納入通知書(納付書)等を発送する。
- ・適正な事務処理を学ぶため、徴収、相続(納付義務承継)等の研修へ参加する。

【詳細事業内訳】

賦課徴収事務 6,065千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
09	旅費	29	研修会参加旅費				
11	需用費	323	事務用品、封筒等印刷費				
13	委託料	5,401	介護保険料業務				
14	使用料及び賃借料	66	コンビニ収納システム使用料				
19	負担金補助及び交付金	246	特別徴収情報經由事務負担金、研修参加負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702200
課・係等	介護保険課 認定調査係

予算書ページ	20
--------	----

予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護認定審査会費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	認定調査費等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100030	認定調査費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	87,846	0	0	0	87,846	0
前年度	77,498	0	0	0	77,498	0
増減額	10,348	0	0	0	10,348	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	08	事務費繰入金	87,845							
10	雑入	1								

【目的・効果】

要支援・要介護状態の者が、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、必要な時に必要なサービスを受けることができるようにする。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・介護保険法及び厚生労働省令で定められた事項について、申請者を訪問して調査を行い、調査結果を介護認定審査会へ諮る。
- ・認定更新、区分変更の対象者が多く見込まれるため、調査員の増員により予算額が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

介護認定調査事務 87,846千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
07	賃金	37,697	介護認定調査員(14人)、一般事務(2名)の賃金				
11	需用費	1,520	消耗品、公用車燃料代、封筒作成、リーフレット作成				
12	役務費	25,123	通信費、主治医意見書作成手数料				
13	委託料	131	県外での認定調査事務委託費				
14	使用料及び賃借料	1,723	公用車リース料、有料道路使用料、コピー機使用料				
19	負担金補助及び交付金	21,652	松本広域連合介護認定費負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	20
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護サービス等諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護サービス等諸費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100070	介護サービス等諸費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,319,914	1,998,627	1,257,187	0	3,653,052	1,411,048
前年度	8,176,170	1,997,639	1,253,071	0	3,526,320	1,399,140
増減額	143,744	988	4,116	0	126,732	11,908

特定財源の内訳	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	款	細節名称		金額	合計金額
	03	介護給付費負担金現年度分		1,593,703	04	介護給付費交付金過年度分		1	08	低所得者保険料軽減繰入金		43,958	6,908,866
	03	介護給付費負担金過年度分		1	05	介護給付費負担金現年度分		1,257,186	08	介護保険支払準備基金繰入金		132,035	
	03	現年度分調整交付金		404,923	05	介護給付費負担金 過年度分		1	10	第3者納付金		1	
	04	介護給付費交付金現年度分		2,376,722	08	介護給付費繰入金		1,100,334	10	返納金		1	

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・介護サービス給付費の支払い。  
 【効果】  
 ・介護保険サービスの実施。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・概ね3年に一度の介護報酬改定が実施され、プラス改定となるため、一般財源額が前年度を上回った。介護保険施設としては、平成30年度に、グループホーム、小規模多機能型居宅介護、地域密着特養等が整備されたため給付費の増加が見込まれる。

【詳細事業内訳】  
 介護サービス等諸費 8,319,914千円

【一般財源増加理由】 グループホーム、小規模多機能、地域密着特養等の介護保険施設が整備され給付費の増加が見込まれる。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
19	負担金補助及び交付金	8,319,914	居宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス他				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010702100
		課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100080	審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	8,801	0	0	0	0	8,801
前年度	9,024	0	0	0	0	9,024
増減額	△ 223	0	0	0	0	△ 223

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・介護保険給付費等の適正な審査支払いを実施するために国保連合会を介した給付費の支払いを行う。  
**【効果】**  
 ・給付費支払の事務が煩雑になることを防止し、適正な給付事務が行える。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・予防給付から総合事業に移行したことにより審査件数は減少傾向。

**【詳細事業内訳】**  
 審査支払手数料 8,801千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
12	役務費	8,801	審査支払手数料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100082	高額介護予防サービス費相当事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	600	150	75	0	237	138
前年度	600	150	75	0	237	138
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	162								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	75								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	75								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 高額介護予防サービス費相当事業の月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。  
**【効果】**  
 利用者の経済的負担の軽減。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 高額介護予防サービス費相当事業の月額上限額超過分を利用者申請に基づき返還する。

**【詳細事業内訳】**  
 高額介護予防サービス費相当事業 600千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
19	負担金補助及び交付金	600	高額介護予防サービス費相当事業・高額合算相当事業								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—		コード	010702100		予算書ページ	22
			課・係等	介護保険課 介護保険担当			
予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	03	高額介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	高額介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実	
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	162,333	0	0	0	0	162,333
前年度	170,314	0	0	0	0	170,314
増減額	△ 7,981	0	0	0	0	△ 7,981

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・介護保険サービス利用者の所得に応じて、1割(2割、3割※平成30年8月～)の自己負担額が1カ月で一定額(15,000円、24,600円、44,400円)を超えた場合に、超過分を払い戻す。  
**【効果】**  
 ・介護費用が高額になることでサービス利用が困難になることを防止する。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・高齢化の進行に基づき利用者は増加しているが、予防給付から総合事業へ移行した分の減少が見込まれる。  
 ・平成30年8月から導入された自己負担3割の方については、増加が見込まれる。

**【詳細事業内訳】**  
 高額介護・予防サービス費 162,333千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	162,333	高額介護、予防給付費							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	特定入所者介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	287,026	0	0	0	0	287,026
前年度	306,838	0	0	0	0	306,838
増減額	△ 19,812	0	0	0	0	△ 19,812

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 介護保険施設入所者のうち低所得者について食費、居住費の自己負担額が負担限度額を超えた場合、超過分を保険者が施設に払う。  
**【効果】**  
 低所得者への介護サービス利用の負担軽減。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 平成27年度以降の制度改正により利用者の資産要件として預貯金1000万円以下が利用条件に追加。また配偶者の所得要件は世帯分離しても適用。  
 非課税年金の収入額も、段階判定の指標とされている。

**【詳細事業内訳】**  
 特定入所者介護・予防サービス費 287,026千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	287,026	負担限度額超過給付								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	24
--------	----

予算	款	02	保険給付費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	24,601	0	0	0	0	24,601
前年度	29,391	0	0	0	0	29,391
増減額	△ 4,790	0	0	0	0	△ 4,790

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 世帯内で1年間(毎年8月1日～翌7月31日)の医療及び介護両制度における自己負担が著しく高額となった場合に、一定の上限額を超える部分について給付を行う。  
**【効果】**  
 介護サービス高額利用者への軽減措置。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 12月に該当になるとと思われる者に勧奨通知を送付し、申請に従って給付を行う。年度末に、給付が集中する。

**【詳細事業内訳】**  
 高額医療合算介護・予防サービス費 24,601千円

【一般財源増加理由】										
節	節名称	金額	主な内容		節	節名称	金額	主な内容		
19	負担金補助及び交付金	24,601	合算負担限度額超過給付							

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	(1)	コード	010702300			
		課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護予防事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	一般介護予防事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100102	一般介護予防事業費			

予算書ページ	24
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	17,721	4,431	2,215	0	7,000	4,075
前年度	17,605	4,401	2,200	0	6,953	4,051
増減額	116	30	15	0	47	24

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	4,785								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	2,215								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	2,215								

**【目的・効果】**  
**【目的】**65歳以上の市民及びその支援者を対象に介護予防事業を行うことにより、生活機能の維持・向上を図り、できるだけ自ら介護予防の取り組みができるよう支援し、地域における介護予防の推進を図る。  
**【効果】**  
 ・65歳以上の方が介護予防に関する正しい知識を持つことで、自らの生活の中で介護予防に取り組むことができる。  
 ・65歳以上の方が介護予防事業に参加することで、生活機能の維持・向上を図ることができる。  
 ・65歳以上の方が介護予防事業を活用し、地域における介護予防の推進を図ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・目的別・地域別の体操教室など、できるだけ多くの方が参加できる介護予防教室を開催する。  
 ・介護予防や認知症予防などに対する正しい知識を持っていただくための講演会や講座を開催し、普及啓発を行う。  
 ・地域の自主的なグループ活動を対象とした認知機能検査による認知症予防活動の推進を図る。  
 ・65歳以上の方の口腔機能の向上を図るための健診・相談・啓発活動を行う。  
 ・地域や団体等の自主的な介護予防活動の支援を行う。  
 ・地域の介護予防拠点における介護予防教室を実施する。  
 ・認知症予防に特化した教室を実施する。  
 ・健康推進課、国保年金課と連携しフレイルについて正しい理解や予防の啓発に取り組み、介護予防教室での講話に取り入れる。  
 ・委託料等について、消費税増税が見込まれるため、一般財源額が前年度を上回った。

**【詳細事業内訳】**  
 一般介護予防事業 17,721千円

【一般財源増加理由】 認知症予防講習会等研修旅費計上、あずさクーポン廃止による鉄道運賃増、認知機能向上教室委託料増、消費税増額に伴う消耗品費増											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
07	賃金	3,787	歯科衛生士・介護予防教室の保健師等の専門職の臨時職員賃金								
08	報償費	2,822	各種介護予防教室・歯科健診・介護予防講演会等の講師謝礼と労務謝礼								
09	旅費	63	認知症予防研修会参加のための旅費								
11	需用費	384	各種介護予防教室・介護予防講演会・広報活動・口腔機能向上事業のための消耗品								
13	委託料	10,665	各種体操教室と認知機能検査、データ分析委託料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	一般介護予防事業	・介護予防拠点で、介護予防教室を実施し、自主的な活動への支援も強化する事業。これにより拠点を中心とした自主的な介護予防活動の拡大に繋がる事を図る。 ・認知症予防に特化した教室を4教室実施する。この事業により、自主的な認知症予防の取組の拡大を図る。	07	賃金	3,787
				08	報償費	2,822
				11	需用費	384
				13	委託料外	10,728
					計	17,721
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	30
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	27,768	6,943	3,471	0	10,968	6,386
前年度	29,896	7,473	3,736	0	11,808	6,879
増減額	△ 2,128	△ 530	△ 265	0	△ 840	△ 493

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	地域支援交付金(新総合事業)	6,942								
04	支払基金支援交付金現年度分	7,497								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	3,471								

【目的・効果】

【目的】

地域包括支援センターは、総合事業対象者が適切な介護予防ケアマネジメントを利用できるよう、自立に向けたプラン作成を行い、介護予防支援を行う。

【効果】

総合事業対象者の状況・環境を考慮し、自立に向けたプランを作成することで、安心して地域で暮らすことができる。ケアプラン作成業務の一部を、地域包括支援センター運営協議会で承認を受けた適切な指定居宅介護支援事業所へ委託することによっても、適切なサービスを利用することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

地域包括支援センターは、総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行い、適切なサービスが確保できるよう、関係機関との連携を図る。中央地域包括支援センター、北部地域包括支援センター、南部地域包括支援センターが、それぞれ総合事業対象者の介護予防ケアマネジメントを行った際、ケアプラン作成費として支払いを行う。ケアプラン作成業務の一部を、適切な指定介護支援事業所へ委託する。

【詳細事業内訳】

介護予防ケアマネジメント事業 27,768千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
07	賃金	2,844	介護支援専門員等賃金				
13	委託料	9,254	介護予防ケアマネジメント業務直営包括ケアプラン作成費委託分				
19	負担金補助及び交付金	15,670	介護予防ケアマネジメント業務委託包括ケアプラン作成費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0



重点施策	—		コード	010702300		予算書ページ	30
			課・係等	介護保険課 介護予防担当			
予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち	
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち	
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業		基本施策	高齢者福祉の充実	
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	282,636	70,659	35,329	0	111,641	65,007
前年度	275,939	68,984	34,492	0	108,995	63,468
増減額	6,697	1,675	837	0	2,646	1,539

特定財源の内訳	款	細節名称	金額		款	細節名称	金額		合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業)		70,659					217,629
	04	支払基金支援交付金現年度分		76,312					
	05	地域支援県交付金(新総合事業)		35,329					
	08	地域支援事業繰入金(新総合事業)		35,329					

【目的・効果】

介護保険法改正により全国一律の基準で提供していた介護予防訪問介護及び介護予防通所介護を、市の事業である介護予防・日常生活支援総合事業へ完全移行し、それぞれ「第1号訪問事業」及び「第1号通所事業」を実施する。

【効果】

要支援1、2と事業対象者が、介護予防と日常生活を支援するための適正なサービスを受けることができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・指定事業者による「訪問介護相当サービス」、「訪問型サービスA」、「通所介護相当サービス」、「通所型サービスA」の実施。
- ・事業所へ業務委託しての「通所型サービスC」の実施。
- ・歯科衛生士、理学療法士を自宅へ派遣する「訪問型サービスC」の実施。
- ・前年度より利用者増が見込まれるため一般財源額が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

第1号訪問事業 67,339千円 第1号通所事業 215,297千円

【一般財源増加理由】	要支援1.2の者が介護度の更新時に当該事業の対象者となることが多いため事業費が増加となった。						
節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
08	報償費	321	訪問型サービスC 理学療法士等訪問謝礼				
13	委託料	3,354	通所型サービスC委託、総合事業従事者研修事業委託				
19	負担金補助及び交付金	278,961	相当サービスとサービスAの国民健康保険団体連合会への支払い				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	第1号訪問事業	訪問介護相当サービス、訪問型サービスA、訪問型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来る。	08	報償費	321
				13	委託料	1
				19	負担金補助及び交付金	67,017
					計	67,339
2	ソフト	第1号通所事業	通所介護相当サービス、通所型サービスA、通所型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことにより高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来る。	13	委託料	3,353
				19	負担金補助及び交付金	211,944
					計	215,297

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	76,599	29,491	14,746	0	14,746	17,616
前年度	69,758	26,857	13,429	0	13,429	16,043
増減額	6,841	2,634	1,317	0	1,317	1,573

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	14,746								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	14,746								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 市内3か所の地域包括支援センターが包括的支援事業を実施することで、高齢者の方ができるだけ地域において自立した生活を営めるよう支援する。さらに、地域包括ケア推進に向けた事業の推進を図る。  
**【効果】**  
 地域包括支援センターにおいて、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を行うことで、高齢者の方が要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域でその人らしい自立した生活を営むことができるようになる。  
 在宅医療・介護連携や認知症施策の推進、地域ケア会議の充実等に関する取り組みにより、地域包括ケアの推進を図ることができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・市内3か所の地域包括支援センターの内、豊科・明科を担当する中央地域包括支援センターは本庁舎内で直営にて運営し、穂高を担当する北部地域包括支援センターは穂高支所内にて委託で運営し、三郷・堀金を担当する南部地域包括支援センターは三郷支所内にて委託でそれぞれ運営を行う。  
 ・地域包括支援センターにおいては、「総合相談支援業務」、「権利擁護業務」、「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」、「介護予防ケアマネジメント」を実施する。  
 ・3か所の地域包括支援センターが連携を図り、包括的支援事業を地域で一体的に実施する中核的機関を目指す。  
 ・地域包括支援センターの適切・公正・中立な運営を確保するために、地域包括支援センター運営協議会を開催する。  
 ・地域包括ケア推進のため、地域ケア個別会議を開催する。また、在宅医療・介護連携や認知症施策推進にも一定の役割を果たす。  
 ・給与改定により人件費が増となったため一般財源額が前年度を上回った。

**【詳細事業内訳】**  
 地域包括支援センター運営事業 76,599千円

【一般財源増加理由】 給与改定により人件費が増となったため一般財源額が前年度を上回った。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
02	給料	11,298	中央地域包括支援センター職員の給料	12	役務費	21	損害賠償保険料等
03	職員手当等	5,975	中央地域包括支援センター職員の職員手当等	13	委託料	40,450	南部・北部地域包括支援センター運営業務委託料
04	共済費	3,549	中央地域包括支援センター職員の共済費	14	使用料及び賃借料	1,058	南部・北部地域包括支援センターパソコン等借上料、中央地域包括支援センター自動車借上料
07	賃金	11,479	中央地域包括支援センター非常勤職員の賃金	19	負担金補助及び交付金	2,139	介護支援専門員研修負担金、退職手当負担金等
08	報償費	237	介護支援専門員研修・市地域包括支援センター運営協議会委員出席謝礼等				
09	旅費	86	地域包括ケアシステム研修等旅費				
11	需用費	307	中央地域包括支援センターで使用する事務用品、自動車燃料費等				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	26
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	02	任意事業費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100107	任意事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	11,065	4,261	2,129	0	2,129	2,546
前年度	9,504	3,659	1,829	0	1,829	2,187
増減額	1,561	602	300	0	300	359

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
03	保険者機能強化推進交付金	1								
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	2,129								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	2,129								

【目的・効果】

【目的】

高齢者が、住み慣れた地域で安心な生活を継続していくことができるようにするため、介護保険事業の運営の安定化を図るとともに、要介護者・要支援者及び家族を介護する者に対して、必要な支援を行う。

【効果】

高齢者が住み慣れた地域で可能な限り在宅生活が継続できる。  
 成年後見制度を利用することにより、認知症等により判断力の低下した高齢者の権利が擁護できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・家族介護者を支援するため介護用品購入助成券を非課税世帯の対象者に交付する。助成品目に口腔ケア用品2品を加える。
- ・認知症に関する理解を深め、認知症者と家族を支えていくために認知症サポーター養成講座を実施する。
- ・在宅高齢者の住宅改修について、作業療法士等の専門家を派遣し必要な助言等を行う。
- ・受給者が真に必要とする過不足のないサービスを、事業者が適切に提供されているかを確認するためケアプラン点検を行う。
- ・介護相談員を養成して、介護保険施設に派遣し、施設利用者の相談に応じ、サービス事業者との橋渡しを行い、介護サービスの質の向上を図る。
- ・新規事業として介護相談員派遣事業の実施により一般財源が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

介護給付等費用適正化事業 263千円 家族介護支援事業 8,875千円 成年後見制度利用支援事業 295千円 福祉用具・住宅改修支援事業 64千円 認知症サポーター等養成事業 204千円 介護相談員派遣事業 1,364千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
08	報償費	844	ケアプランチェック講師謝礼・認知症サポーター養成講座講師謝礼				
09	旅費	490	介護相談員研修旅費				
11	需用費	118	認知症サポーター養成講座テキスト・ステッカー				
12	役務費	74	成年後見市長申立に要する費用				
13	委託料	44	住宅改修相談作業療法士等への委託費				
19	負担金補助及び交付金	360	介護相談員研修参加負担金				
20	扶助費	9,135	介護用品購入助成扶助・成年後見市長申立分に係る後見人報酬費扶助				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	家族介護支援事業	市民税非課税世帯で要介護4～5の高齢者を在宅介護している人に1か月あたり5,000円の介護用品購入助成券を交付。介護する家族の精神的、経済的負担の緩和が図られる。	20	扶助費	8,875
					計	8,875
2	ソフト	○ 介護相談員派遣事業	介護相談員を介護保険施設に派遣し、施設利用者の相談に応じ、サービス事業者との橋渡しを行い、介護サービスの質の向上を図る。	08	報償費	504
				09	旅費	490
				12	役務費	10
				19	負担金補助及び交付金	360
					計	1,364

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	04	介護サービス事業費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	介護予防支援事業		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護予防支援事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100108	介護サービス事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	15,836	0	0	0	15,836	0
前年度	10,941	0	0	0	10,941	0
増減額	4,895	0	0	0	4,895	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 直営の中央地域包括支援センターは、要支援者が介護予防サービスの適切な利用ができるよう、介護予防サービス計画を作成し、関係機関との連携を図るよう指定介護予防支援業務を実施する。  
**【効果】**  
 要支援者の状況・環境を勘案し、介護予防サービス計画を作成することで、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定介護予防支援事業者に委託し、要支援者が適切な介護予防サービスを利用することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・直営の中央地域包括支援センターは、要支援者の介護予防サービス計画を作成し、適切な介護予防サービスが確保できるよう、関係機関との連絡調整を図る。  
 ・指定介護予防支援業務の一部を、適切な指定居宅介護支援事業者へ委託する。  
 ・前年度より要支援者の増加が見込まれるため、一般財源額が前年度を上回った。

**【詳細事業内訳】**  
 介護サービス事業費 15,836千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
13	委託料	15,836	介護予防支援業務(予防給付分)の委託料								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	05	基金積立金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	基金積立金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100110	介護保険支払準備基金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,123	0	0	1,121	2
前年度	977	0	0	975	2
増減額	146	0	0	146	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	07	支払準備基金利子	1,121							

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・保険給付に当てるため、介護保険支払準備基金への積立。  
**【効果】**  
 ・安定した介護保険会計の運用を行う。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・予算においては、利子分について見込んだ。

**【詳細事業内訳】**  
 介護保険支払準備基金積立金 1,123千円

【一般財源増加理由】 積立金増加による利子の増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
25	積立金	1,123	介護保険支払準備基金利子積立				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

重点施策	—	コード	010702300	予算書ページ	28
		課・係等	介護保険課 介護予防担当		

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,271	489	244	0	244	294
前年度	400	154	77	0	77	92
増減額	871	335	167	0	167	202

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	03	地域支援交付金(新総合事業以外)	489							
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	244								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	244								

【目的・効果】

【目的】

在宅療養者に切れ目のない医療・介護のサービス提供を図るため、医療・介護関係者の「顔の見える関係作り」により連携推進事業を実施することで地域包括ケアシステムの構築を目指す。

【効果】

医療・介護関係者と協力し、課題の分析と対応策の検討、研修、啓発活動等により、在宅医療・介護連携を推進できる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- 在宅医療・介護連携推進業務の一部を市医師会へ委託し、多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施するために、地域の医療・介護関係者との協力により事業を推進する。安曇野市医療と介護の連携マップを作成し、地域資源の活用、周知を図る。
- 医療・介護連携マップの改訂を行うため、一般財源額が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

在宅医療・介護連携推進事業費 1,271千円

【一般財源増加理由】 安曇野市医療と介護の連携マップ作製のため印刷製本費181千円 連携マップPDF作成委託料690千円

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
11	需用費	181	安曇野市医療と介護の連携マップ印刷製本費				
13	委託料	1,090	在宅医療・介護連携推進事業業務委託料400千円 連携マップ作成委託料690千円				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ソフト	在宅医療・介護連携推進事業費	業務を市医師会へ委託し、地域の医療・介護関係者との協力により多職種連携の研修会、市民に向けた啓発のための講演会等を実施する。事業を推進することにより、地域包括ケアシステムの構築につながる。	11	需用費	181
				13	委託料	1,090
					計	1,271
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	10702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	28
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	7,521	2,896	1,448	0	1,448	1,729
前年度	7,771	2,991	1,496	0	1,496	1,788
増減額	△ 250	△ 95	△ 48	0	△ 48	△ 59

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	1,448								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	1,448								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 市内5地域それぞれに、助け合い体制や、介護予防体制、新たな資源を開発するなど、高齢者が住み慣れた地域で、できる限り自分らしく生活ができる体制を構築する。  
**【効果】**  
 介護職員不足の問題解決につなげる。  
 介護給付費の抑制につなげる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・作成した生活支援ガイドブックを活用し、地域の高齢者が、介護予防の活動等に参加するように勧奨する。  
 ・地域学習会を実施し、支えあえる地域づくりを推進する。  
 ・地域見守り活動を推進する。  
 ・地域支えあい推進フォーラムを開催する。

**【詳細事業内訳】**  
 生活支援体制整備事業費 7,521千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
08	報償費	100	地域支え合い推進フォーラム講師謝礼他								
09	旅費	33	協議体研修会等講師交通費								
11	需用費	335	生活支援ガイドブック製本費他								
13	委託料	7,053	生活支援コーディネーター事業委託								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1	ソフト	生活支援体制整備事業費	・市内5地域に生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置し、地域における生活支援や介護予防の体制づくりを進める。 ・高齢者が生きがいや役割を持ち生活することで介護予防や重症化防止が期待できる。	08	報償費	100	
				09	旅費	33	
				11	需用費	335	
				13	委託料	7,053	
					計	7,521	
2							
					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	30
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100114	認知症総合支援事業費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	831	319	159	0	159	194
前年度	891	343	171	0	171	206
増減額	△ 60	△ 24	△ 12	0	△ 12	△ 12

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	159								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	159								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 高齢者が認知症になっても地域で安心してできるだけ長く暮らせるよう、認知症の人やその家族に効果的な支援を行う。  
**【効果】**  
 高齢者が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるようになる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・認知症専門医、保健師、社会福祉士等のチーム員で構成される「認知症初期集中支援チーム」により、認知症が疑われる人、治療につながっていない人等に対し、自宅訪問等を行い、早期診断、早期対応に向けた支援を集中的に行う。  
 ・認知症の人やその家族等の集いの場でもある「認知症カフェ」運営に対して、補助金を交付する。

**【詳細事業内訳】**  
 認知症総合支援事業 831千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	200	認知症初期集中支援事業専門医訪問、会議出席報酬								
09	旅費	58	認知症初期集中支援チーム研修旅費								
19	負担金補助及び交付金	573	認知症カフェ運営費補助								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0



予算書ページ	30
--------	----

重点施策	—	コード	010702300
		課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	168	65	33	0	33	37
前年度	168	65	32	0	32	39
増減額	0	0	1	0	1	△2

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
05	地域支援県交付金(新総合事業以外)	33								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業以外)	33								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 保健、医療、福祉サービス及び地域の社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアシステムの構築及び推進を図る。  
**【効果】**  
 集約された課題等の解決を図ることで、地域包括ケアシステムの構築につながる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 地域包括ケア体制構築推進のための会議を開催する。

**【詳細事業内訳】**  
 地域ケア会議推進事業 168千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
08	報償費	168	地域包括ケア推進会議の委員出席謝礼								

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果		節	節名称	金額
1							
						計	0
2							
						計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	32
--------	----

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	04	その他諸費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	審査支払手数料等		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	995	248	125	0	393	229
前年度	1,031	258	129	0	407	237
増減額	△ 36	△ 10	△ 4	0	△ 14	△ 8

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
04	支払基金支援交付金現年度分	268								
05	地域支援県交付金(新総合事業)	125								
08	地域支援事業繰入金(新総合事業)	125								

【目的・効果】

【目的】

介護予防・日常生活支援総合事業に関する、事業者の報酬の請求を審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託する。

【効果】

審査支払に関する事務の適正化と軽減が図れる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 審査、支払い業務等を国民健康保険団体連合会へ委託し、手数料として支払う。

【詳細事業内訳】

審査支払手数料 995千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
12	役務費	995	介護予防・日常生活支援総合事業審査支払手数料				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	06	公債費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	公債費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	利子		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100120	一時借入金利子			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	100	0	0	0	100	0
前年度	100	0	0	0	100	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
10	介護保険会計歳計現金利子	1								100

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 介護保険給付費支払いに際し国・県等の負担金の歳入の遅れから一時的に金融機関からの借入を受けた場合の利息。  
**【効果】**  
 安定した介護保険会計の運用を行う。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する必要に応じて実施。

**【詳細事業内訳】**  
 一時借入金利子 100千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	100	一時借入金利子								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	34
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100140	第1号被保険者保険料還付金			

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1,069	0	0	0	1,069
前年度	1,000	0	0	0	1,000
増減額	69	0	0	0	69

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

【目的・効果】

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

・所得段階の変更や被保険者資格の喪失(死亡・転出等)に伴う介護保険料(過年度分)を還付する。  
 ・返還実績による増加が見込まれるため一般財源額が前年度を上回った。

【詳細事業内訳】

第1号被保険者保険料還付金 1,069千円

【一般財源増加理由】 返還実績による増加。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
23	償還金、利子及び割引料	1,069	保険料還付金、還付加算金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100141	償還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	0	1
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 県・国及び支払基金交付金等の交付超過分について、返還が翌年度に繰越す為の科目設置。  
**【効果】**  
 年度内に、返還額が確定しない事から該当年度以降に交付超過額について適切な処理ができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・平成30年度の給付額確定後、負担金額を算出。決裁後に繰越し、31年度に返還する。

**【詳細事業内訳】**  
 償還金 1千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容	
23	償還金、利子及び割引料	1	国庫負担金等返還金								

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

重点施策	—
------	---

コード	010702300
課・係等	介護保険課 介護予防担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	07	諸支出金	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	償還金及び還付加算金		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	償還金及び還付加算金		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100142	地域支援事業返還金			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	1	0	0	0	0	1
前年度	1	0	0	0	1	0
増減額	0	0	0	0	△1	1

特定財源の内訳	款	金額	款	金額	款	金額	合計金額
							0

【目的・効果】  
地域支援事業国庫・県費交付金は翌年度精算となるため、返還金が生じた場合の費用

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

【詳細事業内訳】  
地域支援事業返還金 1千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
23	償還金、利子及び割引料	1	地域支援事業補助金返還金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—
------	---

コード	010702100
課・係等	介護保険課 介護保険担当

予算書ページ	36
--------	----

予算	款	08	予備費	総合計画	基本目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	項	01	予備費		基本方針	一人ひとりが大切にされるまち
	目	01	予備費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	3100150	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	50	0	0	0	50	0
前年度	50	0	0	0	50	0
増減額	0	0	0	0	0	0

特定財源の内訳	款	08	事務費繰入金	金額	50	合計金額	
							50

【目的・効果】  
 【目的】  
 ・事務費において突発的な内容等、補正に間に合わない場合の予備費。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する必要に応じて実施。

【詳細事業内訳】  
 予備費 50千円

【一般財源増加理由】							
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	50	予備費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

# 上川手山林財産区特別会計



重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	12
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興	
	事業	5100020	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	879	0	0	0	26	853
前年度	1,028	0	0	0	24	1,004
増減額	△ 149	0	0	0	2	△ 151

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子		26						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積170haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。  
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。  
 ・1000人サクラプロジェクトに参加する。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 879千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
01	報酬	147	委員報酬(7人)			22	補償補填及び賠償金	150	貸付地権利解消補償金		
08	報償費	252	会議等出席謝礼			25	積立金	27	基金利子積立		
10	交際費	10	慶弔費								
11	需用費	82	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷等								
12	役務費	22	郵送料、障害保険								
13	委託料	165	支障木撤去等								
16	原材料費	24	苗木代								

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	林業費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	造林費		基本施策	林業の振興
	事業	5100040	造林費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	700	0	0	0	1	699
前年度	907	0	0	0	1	906
増減額	△ 207	0	0	0	0	△ 207

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	立木売払収入		1						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積170haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・約2.0haの森林整備。

**【詳細事業内訳】**  
 造林費 700千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
19	負担金補助及び交付金			700	森林造成事業負担金				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1					計	0	
2					計	0	

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	03	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5100050	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	246	0	0	0	0	246
前年度	208	0	0	0	0	208
増減額	38	0	0	0	0	38

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積170haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な整備により効率よく森林づくりを行うことができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・上川手山林財産区特別会計の予備費。

**【詳細事業内訳】**  
 予備費 246千円

【一般財源増加理由】		予備費の増											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容			
29	予備費	246	予備費										

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

# 北の沢山林財産区特別会計

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	12
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興	
	事業	5200010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	2,069	0	0	0	24	2,045
前年度	790	0	0	0	475	315
増減額	1,279	0	0	0	△ 451	1,730

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	基金利子		24						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積335haの財産管理を行う。  
 ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。  
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。  
 ・水源林造林協議会等に係る事業に参加する。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 2,069千円

【一般財源増加理由】 東電鉄塔敷地貸付収入があるため、基金積立を増額した。

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
01	報酬	49	委員報酬(7人)	25	積立金	1,525	基金積立
08	報償費	73	会議等出席謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	231	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷等				
12	役務費	22	郵送料、障害保険				
13	委託料	110	倒木処理等				
19	負担金補助及び交付金	49	水源林造林協議会等関連団体負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	14
--------	----

予算	款	03	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5200040	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	587	0	0	0	0	587
前年度	134	0	0	0	0	134
増減額	453	0	0	0	0	453

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- ・森林面積335haの財産管理を行う。
- ・水源林分収造林に伴う植林、保育、間伐等の施業について、管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

- ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・北の沢山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】

予備費 587千円

【一般財源増加理由】 予備費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	587	予備費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

# 有明山林財産区特別会計

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	12
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興	
	事業	5300010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	3,137	0	0	0	53	3,084
前年度	782	0	0	0	254	528
増減額	2,355	0	0	0	△ 201	2,556

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		53						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積316haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。  
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 3,137千円

【一般財源増加理由】 東電鉄塔敷地貸付料収入があるため、基金積立を増額した。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	49	委員報酬(7人)				
08	報償費	63	会議等出席謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	231	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷等				
12	役務費	20	郵送料、障害保険				
13	委託料	110	倒木処理等				
25	積立金	2,654	基金積立				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0



予算書ページ	12
--------	----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5300030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	489	0	0	0	0	489
前年度	171	0	0	0	0	171
増減額	318	0	0	0	0	318

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額	
											0

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積316haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・有明山林財産区特別会計の予備費。

**【詳細事業内訳】**  
 予備費 489千円

【一般財源増加理由】		予備費の増					
節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	489	予備費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】							
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額	
1							
					計	0	
2							
					計	0	

# 富士尾沢山林財産区特別会計

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	12
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興	
	事業	5400010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	690	0	0	0	6	684
前年度	613	0	0	0	7	606
増減額	77	0	0	0	△1	78

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		6						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積119haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。  
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 690千円

【一般財源増加理由】 基金積立の増。

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	49	委員報酬(7人)				
08	報償費	63	会議等出席謝礼				
10	交際費	10	慶弔費				
11	需用費	231	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷等				
12	役務費	20	郵送料・障害保険				
13	委託料	110	倒木処理等				
25	積立金	207	基金積立				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

予算書ページ	12
--------	----

重点施策	—	コード	010802200
		課・係等	耕地林務課 林務担当

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5400030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	435	0	0	0	0	435
前年度	158	0	0	0	0	158
増減額	277	0	0	0	0	277

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積119haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・富士尾沢山林財産区特別会計の予備費

**【詳細事業内訳】**  
 予備費 435千円

【一般財源増加理由】		予備費の増											
節	節名称	金額	主な内容				節	節名称	金額	主な内容			
29	予備費	435	予備費										

【上記予算の内の主な取組みの概要】								
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額
1								
							計	0
2								
							計	0

# 穂高山林財産区特別会計

重点施策	—		コード	010802200		予算書ページ	12
			課・係等	耕地林務課 林務担当			
予算	款	01	総務費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	総務管理費		基本方針	農林水産業を振興するまち	
	目	01	一般管理費		基本施策	林業の振興	
	事業	5500010	一般管理費				

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	778	0	0	0	4	774
前年度	832	0	0	0	155	677
増減額	△ 54	0	0	0	△ 151	97

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	基金利子		4						

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ・森林面積2haの財産管理を行う。  
 ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。  
**【効果】**  
 ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・管理会を開催し予算及び事業計画を協議する。  
 ・現地踏査を行い適切な森林管理を行う。

**【詳細事業内訳】**  
 一般管理費 778千円

【一般財源増加理由】		節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
01	報酬	49	委員報酬(7人)						
08	報償費	63	会議等出席謝礼						
10	交際費	10	慶弔費						
11	需用費	231	事務用品・現地踏査用具・予算書印刷等						
12	役務費	20	郵送料・障害保険						
25	積立金	405	基金積立						

【上記予算の内の主な取組みの概要】						
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1					計	0
2					計	0

重点施策	—
------	---

コード	010802200
課・係等	耕地林務課 林務担当

予算書ページ	12
--------	----

予算	款	02	予備費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	予備費		基本方針	農林水産業を振興するまち
	目	01	予備費		基本施策	林業の振興
	事業	5500030	予備費			

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	461	0	0	0	0	461
前年度	103	0	0	0	0	103
増減額	358	0	0	0	0	358

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額

0

【目的・効果】

【目的】

- ・森林面積2haの財産管理を行う。
- ・植林、保育、間伐等を管理会で協議し計画的な森林整備を行う。

【効果】

- ・森林の適切な管理により集中豪雨や台風などからの山地災害を防ぐとともに、計画的な森林整備により豊かな地下水の涵養に寄与することができる。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する

- ・穂高山林財産区特別会計の予備費。

【詳細事業内訳】

予備費 461千円

【一般財源増加理由】 予備費の増

節	節名称	金額	主な内容	節	節名称	金額	主な内容
29	予備費	461	予備費				

【上記予算の内の主な取組みの概要】

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1						
					計	0
2						
					計	0

# 産業団地造成事業特別会計



重点施策	(2)		コード	010901200		
			課・係等	商工労政課 工業振興係 (商工労政課 産業立地支援係)		
予算	款	01	産業団地事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	産業団地事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	産業団地事業費		基本施策	工業の振興
	事業	6100010	産業団地建設事業費			

予算書ページ	12
--------	----

単位:千円

当初予算額		特定財源				一般財源
		国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	32,412	0	0	31,800	612	0
前年度	1,153	0	0	0	1,153	0
増減額	31,259	0	0	31,800	△ 541	0

  

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	02	一般会計繰入金	611							
03	前年度繰越金	1								
04	地域開発事業債	31,800								

**【目的・効果】**  
**【目的】**  
 ○市内産業団地分譲地の完売したことを受け、雇用の促進、移住定住を促すため、地域未来投資促進法を活用した新たな産業集積地を造成する。  
**【効果】**  
 2022年度以降、複数の企業が操業を開始することで、市民の就労環境が拡大するとともに、就労世代移住希望者の就業先の選択肢の拡大が図れる。

**【当該年度の事業概要(手法)】** ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ○庁内関係部署との調整会議の開催  
 ○土地利用調整計画の国同意  
 ○造成事業基本計画の策定  
 ○県農振変更手続き

**【詳細事業内訳】**  
 産業団地建設事業 31,864千円 産業団地建設総務費 548千円

【一般財源増加理由】

節	節名称	金額	主要内容	節	節名称	金額	主要内容
9	旅費	64	職員旅費				
11	需用費	173	産業団地看板修繕費他				
13	委託料	32,140	用地測量・基本設計・地質調査・実施設計業務、産業団地排水路清掃費				
19	負担金補助及び交付金	35	屋外広告物設置負担金				

**【上記予算の内の主な取組みの概要】**

事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果	節	節名称	金額
1	ハード	○ 産業団地建設事業	地域未来投資促進法を活用した新たな産業集積地を造成するため、あづみ野産業団地北隣接農地を重点促進区域に設定し、造成事業基本計画の策定を行う。次年度以降、用地取得・造成・分譲・工場建設等を経て、2022年度、複数の企業が操業を開始することで市民の就労環境が拡大するとともに就労世代移住希望者の就業先の選択肢拡大が図れる。	13 09	委託料 旅費	31,800 64
					計	31,864
2					計	0

# 有明莊特別會計

重点施策	—		コード	010902300		予算書ページ	12
			課・係等	観光交流促進課 拠点維持整備係			
予算	款	01	施設事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち	
	項	01	施設事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち	
	目	01	施設事業費		基本施策	観光の振興	
	事業	7100001	有明荘施設管理費				

単位:千円

当初予算額	特定財源				一般財源
	国支出金	県支出金	市債	その他	
本年度	12,303	0	0	0	12,302
前年度	20,786	0	0	0	20,785
増減額	△ 8,483	0	0	0	△ 8,483

特定財源の内訳	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	款	細節名称	金額	合計金額
	01	一般会計繰入金	8,682							
02	有明荘施設使用料	3,620								

【目的・効果】

【目的】・市内を訪れる観光客の受入れ環境を整備することにより、快適な天然温泉の宿泊施設を提供し、交流人口の拡大を図ると共に、市民の憩いの場を提供し、福祉の向上を図る。  
 【効果】・有明荘の施設整備により、来訪者の市内での滞在時間の延長を図る。

【当該年度の事業概要(手法)】 ※また、当年度の一般財源額が前年度を上回った場合は、その理由も簡潔に記入する  
 ・有明荘の指定管理者と連携して、施設の維持管理を行なう。

【詳細事業内訳】  
 有明荘運営管理事業 12,303千円

【一般財源増加理由】											
節	節名称	金額	主な内容			節	節名称	金額	主な内容		
09	旅費	90	施設打合せ等			18	備品購入費	1,151	有明荘エアコン		
11	需用費	2,640	施設小破修繕、公用車燃料等			27	公課費	57	車検用重量税		
12	役務費	272	電話料、レジオネラ菌検査料、車検費用			29	予備費	500	予備費		
13	委託料	735	有明荘屋根塗装工事設計業務委託・同工事監理業務委託								
14	使用料及び賃借料	2,029	土地借地料(有明荘)								
15	工事請負費	4,804	有明荘屋根塗装工事、有明荘非常照明器具LED化工事、有明荘外壁塗装工事、施設維持工事								
16	原材料費	25	施設駐車場整備用砕石								

【上記予算の内の主な取組みの概要】											
事業区分	新規	事業名称	事業内容と効果			節	節名称	金額			
1	ハード	有明荘屋根塗装工事	有明荘の大浴場部分のカラー鋼板葺屋根の腐食が進行しており、雨漏り等による施設の損傷を防ぐため、屋根の塗装工事を行なう。			13	委託料	735	設計・監理		
						15	工事請負費	1,836			
							計	2,571			
2											
							計	0			